

# 鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 38

## 令和3年度発掘調査報告 (第1分冊)

若宮大路周辺遺跡群

鎌倉城

令和4年3月

鎌倉市教育委員会





若宮大路周辺遺跡群（雪ノ下一丁目 161 番 43 地点）2 区 5 面 遺構 24（北から）



若宮大路周辺遺跡群（雪ノ下一丁目 161 番 43 地点）第 7 面構成土出土 木簡



## ごあいさつ

本市は、市域の6割以上が周知の埋蔵文化財包蔵地であり、遺跡が眠る土地の上で多くの市民が生活を送っています。そのため、家屋や店舗の新築や建替え等に伴い、遺跡に影響を及ぼす工事が行われることも多くあります。このように、私たちが日々の生活を送っていく上でやむを得ず失われる埋蔵文化財について、記録を保存し後世に残すことは、現在を生きる私たちの責務であると言えます。

鎌倉市教育委員会では、昭和59年度から個人専用住宅の建築等に係る発掘調査を実施しています。本書は平成30年度～令和3年度に実施した、個人専用住宅の建築等に伴う発掘調査4か所の調査記録を掲載しています。そのうち、若宮大路周辺遺跡群の調査では、疫病除けのまじないに使う蘇民将来札が出土しました。鎌倉時代の人々も疫病に立ち向かって生きていたことが良く分かる資料です。

このように、本書に収めたひとつひとつの調査成果は様々な内容ですが、いずれも武家政権発祥の地であり、今もその歴史を継承し文化を発信する鎌倉の貴重な文化遺産です。これらの成果を広く知っていただくとともに、研究資料として活用されることを願って止みません。

最後になりましたが、発掘調査の実施にあたっては、関係者の皆様に深いご理解を賜るとともに、さまざまなご協力をいただきましたことを心からお礼を申し上げます。

令和4年3月25日  
鎌倉市教育委員会

## 例　　言

- 1 本書は令和3年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第1分冊）である。
- 2 本書所収の調査地点及び所収分冊は別表・別図のとおりである。
- 3 現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
- 4 出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
- 5 各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。

## 第1分冊 目次

ごあいさつ .....	I
例言 .....	II
目次 .....	III
第1・2分冊掲載の平成30年度～令和3年度発掘調査地点一覧 .....	IV
令和3年度調査の概観 .....	V
調査地点位置図 .....	VII

### 1 若宮大路周辺遺跡群 (No. 242) 雪ノ下一丁目 161 番 43 地点

第一章 調査地点の位置と歴史的環境 .....	6
第二章 発見された遺構と遺物 .....	13
第三章 若宮大路周辺遺跡群の大型植物遺体 .....	122
第四章 考察とまとめ .....	129

### 2 鎌倉城 (No. 87) 極楽寺一丁目 136 番 7、137 番 3 地点

第一章 調査に至る経緯 .....	252
第二章 遺跡の位置と歴史的環境 .....	252
第三章 調査の方法と経過 .....	255
第四章 基本土層 .....	257
第五章 検出遺構と出土遺物 .....	258
第六章 調査成果のまとめ .....	264

第1・2分冊掲載の平成30年度～令和3年度発掘調査地点一覧

第1分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1	若宮大路周辺遺跡群 (No. 242)	雪ノ下一丁目161番43	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都 市 城館跡	55.18	平成30年7月17日 ～平成30年10月26日
2	鎌倉城 (No. 87)	極楽寺一丁目136番7、137番3	集合住宅 (柱状改良工事)	城館跡	102.65	令和3年3月15日 ～令和3年4月9日

第2分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
3	武藏大路周辺遺跡 (No. 194)	肩ガ谷三丁目451番の一部	個人専用住宅 (柱状改良工事)	都 市 城館跡	96.35	令和元年12月10日 ～令和2年5月8日
4	佐助ヶ谷遺跡 (No. 203)	佐助一丁目601番6	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	城館跡 社寺跡	113.00	令和2年9月1日 ～令和2年12月25日

## 令和3年度調査の概観

令和3年度の緊急調査実施件数は5件であり、調査面積は368.63m<sup>2</sup>であった。これを前年度の5件、278.78m<sup>2</sup>と比較してみると件数に増減はなく、調査面積は89.85m<sup>2</sup>の増加となる。ただし、このうち、1件は令和2年度から継続してきた調査で、1件は令和4年度に継続する予定の調査である。

調査原因是4件が個人専用住宅、1件が集合住宅の建設である。これらの工種別内訳は、柱状改良工事が2件、鋼管杭工事が3件となっている。以下、各地点の調査成果の概要を紹介する。(調査面積及び調査期間等については「令和3年度発掘調査地点一覧」を参照のこと。)

### 1 鎌倉城（No. 87）

極楽寺一丁目に所在し、極楽寺駅から南へ約333mに位置している。地盤の柱状改良工事を行う集合住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀後半～14世紀前半の遺構面が確認され、道路状の整地面、貯蔵穴と思われる土坑列が検出されている。遺物はかわらけ、国産陶器、金属製品が出土しており、中世遺構より下層の古代遺物包含層から須恵器片が出土している。

### 2 横小路周辺遺跡（No. 259）

二階堂に所在し、佐柄天神社から南東へ約90mに位置している。鋼管杭工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀中葉から15世紀にかけての生活面を確認し、柱穴、土坑、溝、井戸を確認した。遺物はかわらけ、国産陶器、船載陶磁器、瓦、金属製品、石製品、木製品等が出土している。

### 3 武藏大路周辺遺跡（No. 194）

扇ガ谷三丁目に所在し、鶴岡八幡宮から北西へ約657mに位置している。鋼管杭工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀中頃から15世紀にかけての生活面を確認し、道路状遺構、柱穴、土坑、溝、井戸が検出されている。遺物はかわらけ、国産陶器、船載陶磁器、木製品等が出土している。

### 4 甘縄神社遺跡群（No. 177）

長谷一丁目に所在し、長谷寺から北東へ約445mに位置している。柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀後半から14世紀前半の遺構面が確認され、柱穴列、溝状の落ち込みを検出した。かわらけ、国産陶器等が出土している。中世遺構より下層は古代の遺物包含層で、8世紀から9世紀の土師器・須恵器・卜骨・灰釉陶器等が出土している。

### 5 大慶寺旧境内遺跡（No. 361）

寺分一丁目に所在し、湘南モノレール湘南深沢駅から北東へ約340mに位置している。鋼管杭工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。次年度に継続する予定である。

**令和3年度発掘調査地点一覧**

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1	鎌倉城 No. 87	極楽寺一丁目136番7、137番3	集合住宅 (柱状改良工事)	城郭跡	102.65	令和3年4月1日 ～ 令和3年4月9日
2	横小路周辺遺跡 No. 259	二階堂字住柄81番22	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	城郭跡	56.99	令和3年5月24日 ～ 令和3年9月7日
3	武藏大路周辺遺跡 No. 194	扇ガ谷三丁目444番の一部	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	都市 城郭跡	110.13	令和3年6月18日 ～ 令和4年1月21日
4	甘利神社遺跡群 No.177	長谷一丁目236番1	個人専用住宅 (柱状改良工事)	城郭跡 社寺跡	56.39	令和3年6月28日 ～ 令和3年10月5日
5	大慶寺旧境内遺跡 No. 361	寺分一丁目810番1	個人専用住宅 (鋼管杭工事)	社寺跡	42.47	令和4年2月21日 ～ 令和4年3月31日

※1は前年度から継続。 5は次年度に継続

# 鎌倉市全図



令和3年度の緊急発掘調査地点(1~5)  
本書掲載の平成30年度～令和3年度鉢堀調査地点(①・③・④)  
※遺跡名は一覧表を参照 1と②は同地点のため②は省略



若宮大路周辺遺跡群 (No.242)

鎌倉市雪ノ下一丁目 161 番 43 地点

## 例　言

1. 本報告は、鎌倉市雪ノ下一丁目 161 番 43 地点に所在する若宮大路周辺遺跡群（鎌倉市 No.242）の発掘調査報告である。

2. 発掘調査は個人住宅建築にかかる建築範囲約 55.18 m<sup>2</sup>を対象とし、国庫補助事業として鎌倉市教育委員会が実施した。調査期間は平成 30 年 7 月 17 日から平成 30 年 10 月 26 日である。

3. 現地における調査体制は以下の通りである。

調査担当者：後藤 健（鎌倉市文化財課 臨時の任用職員）

調査員：神田倫子・菅野智子・岡田慶子（鎌倉市文化財課 臨時の任用職員）

作業員：大滝信治・寺尾征夫・南齊敬資・根市真古人・松澤和通・三嶋義人  
(公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 文化財班)

4. 本報告作成は以下の分担により行った。

遺物実測：伊丹まさか・岩崎卓治・岡田慶子・岡本夏菜・神田倫子・菅野智子・須佐直子・  
梅岡渙音・吉田桂子

遺物図版作成：後藤 健・岡田慶子・岡本夏菜・清水由加里・梅岡渙音

遺構図版作成：後藤 健・岡田慶子

観察表：岡本夏菜・田畠衣理・吉田桂子

遺構写真：後藤 健

遺物写真：須佐仁和・田畠衣理

写真図版作成：後藤 健・岡田慶子・岡本夏菜

執筆：後藤 健（第三章以外）（以上鎌倉市文化財課 臨時の任用職員）、

パンダリスダルシャン（第三章、パレオ、ラボ）

5. 発掘に関わる出土品などの資料は鎌倉市教育委員会が管理・保管している。本調査地の略称は鎌倉市教育委員会の統一基準により「WA1801」とし、遺物の注記などに使用した。

6. 遺物図版の縮尺は遺物実測図 1/3、錢 1/1 である。各押印にはスケールを表示してある。

7. 本文中に記載している国土座標値は測地成果 2011 (JGD2011- 第 IX 系) によるものである。

8. 遺物は可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していない。遺物に関する詳細は観察表にまとめて記載している。

・復原実測の遺物に関しては、計測値に 0 を付して表記している。

・文章中の「かわらけ」はロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。ロクロ成形かわらけの底径は回転糸切りの外径部分で、手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所で計測している。

・出土遺物の年代観については以下の文献を参照した。筆者の理解が不足している部分もある。

かわらけ他　宗臺秀明 2019「鎌倉出土かわらけの系譜と編年・東国社会の変質と中世の成立(後)」  
『鶴見大学紀要 第 56 号 第 4 部 人文・社会・自然科学編』鶴見大学

船載陶磁器　大宰府市教育委員会 2000「大宰府条坊跡 XV- 陶磁器分類編 -」

常滑・渥美窯　愛知県 2012「愛知県史 別編窯業 3 中世・近世常滑系」

瀬戸窯　藤澤良祐 2008「中世瀬戸窯の研究」高志書院

瓦質上器　河野眞知郎 1993「中世鎌倉火鉢考」『考古論叢神奈川 第 2 集』神奈川県考古学会

## 本文目次

第一章 調査地点の位置と歴史的環境 .....	6
第1節 歴史的環境 .....	6
第2節 調査の方法と経緯 .....	9
第3節 基本土層 .....	10
第二章 発見された遺構・遺物 .....	13
第1節 第1面の遺構・遺物 .....	13
第2節 第2面の遺構・遺物 .....	19
第3節 第3面の遺構・遺物 .....	22
第4節 第4面の遺構・遺物 .....	34
第5節 第5面の遺構・遺物 .....	49
第6節 第6面の遺構・遺物 .....	76
第7節 第7面の遺構・遺物 .....	99
第8節 第8面の遺構・遺物 .....	105
第9節 第9面の遺構・遺物 .....	118
第10節 その他出土遺物 .....	120
第三章 若宮大路周辺遺跡群の大型植物遺体 .....	122
第1節 はじめに .....	122
第2節 試料と方法 .....	122
第3節 結果 .....	122
第4節 考察 .....	126
第四章 考察とまとめ .....	129

## 挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡 .....	7	図14 第3面南側構成土上層出土遺物1 .....	25
図2 調査位置とグリッド配置図 .....	9	図15 第3面南側構成土上層出土遺物2 .....	26
図3 調査区壁面堆積土層図1 .....	11	図16 第3面南側構成土中層出土遺物1 .....	27
図4 調査区壁面堆積土層図2 .....	12	図17 第3面南側構成土中層出土遺物2 .....	28
図5 第1面全測図 (S=1/50) .....	14	図18 第3面南側構成土中層出土遺物3 .....	29
図6 第1面遺構・構成土出土遺物 .....	15	図19 第3面南側構成土下層出土遺物1 .....	30
図7 第1面遺構外出土遺物 .....	16	図20 第3面南側構成土下層出土遺物2 .....	31
図8 第1面遺構外・構成土出土遺物 .....	17	図21 第3面南側構成土下層出土遺物 .....	
図9 第2面全測図 (S=1/50) .....	19	およびその他構成土 .....	32
図10 第2面出土遺物 .....	21	図22 第4面全測図 (S=1/50) .....	34
図11 第3面全測図 (S=1/50) .....	22	図23 第4面遺構外出土遺物1 .....	36
図12 第3面遺構外出土遺物1 .....	23	図24 第4面遺構外出土遺物2 .....	37
図13 第3面遺構外出土遺物2 .....	24	図25 第4面遺構外出土遺物3 .....	38

図 26	第4面構成土出土遺物 1	39	図 72	第6面構成土出土遺物 8	86
図 27	第4面構成土出土遺物 2	40	図 73	第6面構成土出土遺物 9	87
図 28	第4面構成土出土遺物 3	41	図 74	第6面構成土出土遺物 10	88
図 29	第4面構成土出土遺物 4	42	図 75	第6a面全測図 (S=1/50)	89
図 30	第4面構成土出土遺物 5	43	図 76	第6a面構成土出土遺物 1	90
図 31	第4面構成土出土遺物 6	44	図 77	第6a面構成土出土遺物 2	91
図 32	第4面全測図 (S=1/50) および遺構外出土遺物	45	図 78	第6a面構成土出土遺物 3	92
図 33	第4面構成土出土遺物 1	46	図 79	第6a面構成土出土遺物 4	93
図 34	第4面構成土出土遺物 2	47	図 80	第6b面全測図 (S=1/50)	95
図 35	第4a面構成土出土遺物 3	48	図 81	第6b面出土遺物 1	96
図 36	第5面全測図 (S=1/50)	49	図 82	第6b面出土遺物 2	97
図 37	第5面遺構図 (S=1/30)	50	図 83	第6b面出土遺物 3	98
図 38	第5面遺構および遺構外出土遺物	51	図 84	第7面全測図 (S=1/50)	99
図 39	第5面板壁建物 (S=1/30)	53	図 85	第7面個別遺構 (S=1/30)	100
図 40	第5面板壁建物周辺出土遺物 1	54	図 86	第7面遺構および構成土出土遺物	101
図 41	第5面板壁建物周辺出土遺物 2	55	図 87	第7面構成土出土遺物 1	102
図 42	第5面板壁建物周辺出土遺物 3	56	図 88	第7面構成土出土遺物 2	104
図 43	第5面板壁建物周辺出土遺物 4	57	図 89	第8面全測図 (S=1/50)	105
図 44	第5面板壁建物周辺出土遺物 5	58	図 90	第8面遺構および遺構外出土遺物	107
図 45	第5面板壁建物周辺および開炉裏 周辺出土遺物	59	図 91	第8面遺構外および構成土出土遺物	108
図 46	第5面開炉裏周辺出土遺物 1	60	図 92	第8面構成土出土遺物	109
図 47	第5面開炉裏周辺出土遺物 2	61	図 93	第8a面全測図 (S=1/50)	110
図 48	第5面遺構 26 (S=1/20)	62	図 94	第8a面遺構図 (S=1/30)	111
図 49	第5面構成土出土遺物 1	63	図 95	第8a面遺構出土遺物	112
図 50	第5面構成土出土遺物 2	64	図 96	第8a面構成土出土遺物	113
図 51	第5面構成土出土遺物 3	65	図 97	第8b面全測図 (S=1/50)	114
図 52	第5面構成土出土遺物 4	66	図 98	第8b面出土遺物	115
図 53	第5面構成土出土遺物 5	67	図 99	第8c面全測図 (S=1/50) および出土遺物	116
図 54	第5面構成土出土遺物 6	68	図 100	第9面全測図 (S=1/50)	118
図 55	第5面構成土出土遺物 7	69	図 101	第9面出土遺物	119
図 56	第5面構成土出土遺物 8	70	図 102	第9面以下全測図 および土刷図 (S=1/50)	119
図 57	第5面構成土出土遺物 9	71	図 103	その他出土遺物 1	120
図 58	第5面構成土出土遺物 10	72	図 104	その他出土遺物 2	121
図 59	第5面構成土出土遺物 11	73	図 105	若宮大路周辺遺跡群から出土した 大型植物遺体 (1)	127
図 60	第5面構成土出土遺物 12	74	図 106	若宮大路周辺遺跡群から出土した 大型植物遺体 (2)	128
図 61	第5面構成土出土遺物 13	75	図 107	底部に2重の糸切り痕を残す かわらけ 1	135
図 62	第6面全測図 (S=1/50)	76	図 108	底部に2重の糸切り痕を残す かわらけ 2	136
図 63	第6面遺構図 (S=1/20)	77			
図 64	第6面遺構外および構成土出土遺物	78			
図 65	第6面構成土出土遺物 1	79			
図 66	第6面構成土出土遺物 2	80			
図 67	第6面構成土出土遺物 3	81			
図 68	第6面構成土出土遺物 4	82			
図 69	第6面構成土出土遺物 5	83			
図 70	第6面構成土出土遺物 6	84			
図 71	第6面構成土出土遺物 7	85			

## 表目次

表 1 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体（1）	123
表 2 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体（2）	123
表 3 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体（3）	124
表 4 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体（4）	124
表 5 モモ核の大きさ	126
表 6 中世出土遺物観察表	138
表 7 出土遺物集計表	187
表 8 出土動物骨一覧表	194
表 9 出土貝類一覧表	195
表 10 出土果核類一覧表	197
表 11 出土木製品集計表	198
表 12 箸状木製品出上面別統計表	200

## 図版目次

写真図版 1	201	写真図版 25	225
写真図版 2	202	写真図版 26	226
写真図版 3	203	写真図版 27	227
写真図版 4	204	写真図版 28	228
写真図版 5	205	写真図版 29	229
写真図版 6	206	写真図版 30	230
写真図版 7	207	写真図版 31	231
写真図版 8	208	写真図版 32	232
写真図版 9	209	写真図版 33	233
写真図版 10	210	写真図版 34	234
写真図版 11	211	写真図版 35	235
写真図版 12	212	写真図版 36	236
写真図版 13	213	写真図版 37	237
写真図版 14	214	写真図版 38	238
写真図版 15	215	写真図版 39	239
写真図版 16	216	写真図版 40	240
写真図版 17	217	写真図版 41	241
写真図版 18	218	写真図版 42	242
写真図版 19	219	写真図版 43	243
写真図版 20	220	写真図版 44	244
写真図版 21	221	写真図版 45	245
写真図版 22	222	写真図版 46	246
写真図版 23	223	写真図版 47	247
写真図版 24	224	写真図版 48	248

# 第一章 調査地点の位置と歴史的環境

## 第1節 歴史的環境

本調査地点はJR横須賀線鎌倉駅から北に約575mに位置する。若宮大路周辺遺跡群は南北約1km、東西約300mにわたる広範囲な遺跡であり、調査地点は若宮大路周辺遺跡群の西北域にある。東へ約270mで若宮大路、西へ約110mで今小路に達する（図1）。扇ヶ谷の開口部に位置し、北側は約50mほどで尾根の先端部となり、頼朝の鎌倉入部以前から存在していたと考えられる窟堂がある。

窟堂は現在の巖窟不動の地点と考えられる。「吾妻鏡」に「窟堂」とあり、文治4年（1188）正月一日「佐野太郎基綱窟堂下宅焼亡。」とみえる。また同年十月十日には「窟堂聖阿弥陀仏房詣勝長寿院礼仏。退出之後。於路頓減。」とある。聖阿弥陀仏は窟堂の堂守と想定され、窟堂が頼朝入府以前からあったと想定される根拠となっている。のちに窟堂は鶴岡八幡宮別当の支配下となり、応永33年（1426）7月17日の「鶴岡別当尊迎遷状」には岩井堂金事とあり、等覚院快季が卵塔を建てるので敷地を与えられていることが記されている。この文書が松源寺の所蔵であるため、窟堂が松源寺の管理下にあったと考えられている。

『扇ヶ谷村絵図』には、窟堂の東に隣接して現川喜多映画記念館のあたりに松源寺が描かれている。松源寺は窟不動とは東側に隣り合う。「日金山弥勒院松源寺」と号し日金地蔵堂の別当という。宗旨は不詳で源頼朝勧請という伝承がある。「吾妻鏡」弘長3年（1263）四月七日に「入夜、窟堂辺騒動、但則静謐、是群盜十余人隱居地藏堂之間」とあり、この地蔵堂が松源寺の前身であるとされる。

調査地点より西に約200mには鎌倉五山三位の寿福寺がある。寿福寺は源頼朝の父、源義朝の居館である「鎌倉の櫛」があったとされる。『吾妻鏡』治承4年（1180）十月七日では頼朝は鎌倉に入った日にその地を訪れ居を構えようとしたが、岡崎義実が義朝菩提のために草堂を建立してしまっていたため果たせなかった。「吾妻鏡」正治二年（1200）閏二月十二日に、北条政子が義朝の危谷「御田跡」に伽藍建立を発願し、翌日に伽藍は明庵栄西に寄進されて「寿福寺」と名づけられたという。

窟堂の前には道が通っていたことは上記『吾妻鏡』の記載からも推測されており、山裾を東西方向に走り、西は寿福寺門前より東は「鉄の井」まで通じる道は「窟小路」とも呼ばれる。

また西側すぐは扇川が流れている。調査地点は尾根からやや離れた平坦地に立地する。

窟堂については火災の記事が複数見られる。上述のように文治4年には佐野太郎基綱の館が焼け、數十宇の人家も被災している。

承久2年（1220）1月には窟堂の辺りが焼失し、工藤右衛門尉らの館が焼けた。同年3月にも火事があり、數十宇の民居が消失している。

寛喜元年（1229）12月には窟堂の下から失火し、若宮大路や甘繩の人家に被害が及んでいる。

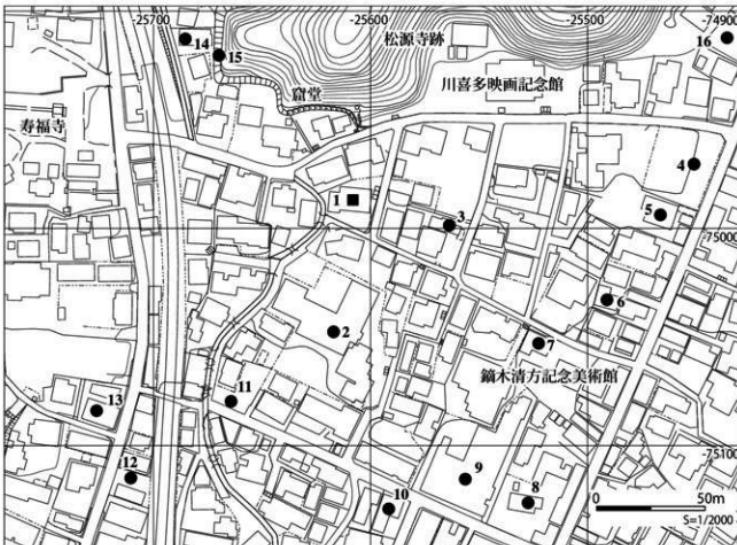
正嘉2年（1258）1月は安達泰盛宅から出火し、その影響で窟堂や周囲の民家も消失している。

また永仁4年（1296）4月には窟堂より出火し、強風によって多宝寺、浄光明寺などまで延焼している。

ほかにも建長4年（1252）2月の大火灾、正応6年（1293）4月の大地震、延慶3年（1310）11月の大火灾なども窟堂一帯は被災した可能性がある。

災害の記事からは窟堂付近には武家屋敷や多数の民家が存在していたことが想定され、また火災によって消失してもおそらくすぐに復旧してまた居宅が立ち並ぶような状況であったことが考えられる。

付近の発掘調査事例としては南側近隣の地点2で比較的広範囲の調査が行われている。上下2層の遺構面が検出され、上層では調査区西側で旧扇川と想定される石組流路、道路遺構や溝状遺構が多数見つかっている。これらによって方形に細かく区画がなされ、それぞれの区画に掘立柱建物、板壁建物、方形窓穴、井戸、土坑が多数見られる。



No.	名称	住所	調査者	調査	刊行	文献
1	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 161番 43	後藤	2018	2021	本報告
2	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 210番 他	馬淵	1988	1990	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 6-10
3	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 161番 33	馬淵 の一部	2003	2006	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 22-2-10
4	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 148番 1	宮田	2018		第29回鎌倉市遺跡調査・研究発表会 発表要旨 (2019)
5	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 148番 4, 190番 1	宮田・滝澤 ・安藤	2013	2017	若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書 鎌倉市雪ノ下一丁目 148番 4・190番 1地点
6	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 187番 4	馬淵	2008	2018	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 34-5-20
7	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 208番 3	宗義	2001	2003	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 19-6
8	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 198番 6	菊川	1998	2000	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 16-1-4
9	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 198番 1	菊川	2002		
10	若宮大路周辺遺跡群	小町二丁目 39番 6	田代	1987	1989	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 5-5
11	若宮大路周辺遺跡群	雪ノ下一丁目 218番 5	熊川	2012	2015	若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書
12	若宮大路周辺遺跡群	扇ガ谷一丁目 110番 8	宮田・滝澤	2009	2012	若宮大路周辺遺跡群(No.242)発掘調査報告書 鎌倉市扇ガ谷一丁目 110番 8地点
13	今小路西遺跡	扇ヶ谷一丁目 131番 1	馬淵	1987	1989	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 5-8
14	上杉定正御跡	扇ヶ谷二丁目 195番 2	山口	2009	2014	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 30-2-9
15	華光院跡やぐら群	扇ヶ谷二丁目 191番	沙見	2000	2003	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 19-1
16	巨福呂坂周辺遺跡	雪ノ下二丁目 144番 1	滝澤	2011	2011	巨福呂坂周辺遺跡(No.256)発掘調査報告書

図1 調査地点と周辺の遺跡

下層では上層と同様の地割が見られ、掘立柱建物を主体として板壁建物、井戸、土坑などが多数検出されている。上層は14世紀中葉、下層は13世紀後半～14世紀前半と想定されている。

また調査地点の東に近接する地点3の調査では、7面にわたる遺構面が確認され、13世紀後葉では道路遺構、14世紀前葉では道路遺構と溝、竪穴遺構と掘立柱建物、14世紀中葉では溝が検出されている。いずれの地点でも豊富な湧水のためか多様な木製品が多量に出土している。

当該地域は元来湿地帯であったとされ、中世の最初期の土層と想定されるいわゆる中世基盤層は非常に深く、その他の調査地点などから推定しても地表下3～5mにまで達する可能性が高く、中世を通じて多量の土盛がなされ、地形的にかなりの変容がなされていることが想定される。

近隣2地点の調査結果からみると、道路や溝による区画の主軸方位はそれぞれ異なり、地点2は窟小路の前を通る窟小路が現在のものとさほど変化ないと仮定すると、この窟小路に平行、直交するような方向をとる。地点3の場合も13～14世紀前半を通じてほぼ変わらず、ほぼ真北方向に平行、直交する方向である。これも北を通る道路が現在と大きく変化ないとすると、その道路に関わる主軸方向の可能性がある。

一方で現在の小町通り沿いや今小路沿いの近隣の調査において確認されている道路や溝などの主軸方位は若宮大路の方向に平行、直交するような結果となっている。本調査地点の周辺はかならずしも密に調査が行われているとは言い難いが、過去の調査例から判断すると、本調査地点の一带は若宮大路の方向に規制されるような地割がなされておらず、建物などは独特の主軸方向をとっている可能性が考えられる。

#### 参考文献

- 鎌倉国宝館編 1993「鎌倉の古絵図2」鎌倉市教育委員会  
鎌倉市史編纂委員会 1979「鎌倉市史・社寺編」  
齋木秀雄 2015「発掘調査からみる鎌倉・中世基盤層から見る若宮大路周辺」『かまくら考古』第26号 鎌倉考古学研究所  
貫達人・川副武胤 1980「鎌倉廃寺事典」有隣堂

## 第2節 調査の方法と経緯

平成29年2月、当該地における土木工事について事業者より鎌倉市教育委員会文化財課へ相談があった。その内容は、現地表下600cmに達する鋼管杭工事を行う個人専用住宅建設の計画であった。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地であり、事前に行なった確認調査の結果、現況地盤面より深さ114cmで中世遺物包含層及び遺構を確認し、更に下層まで遺跡が残存していることが確認された。その結果により、当該工事計画が埋蔵文化財に影響を及ぼすことが避けられないとの判断に至った。

平成30年4月9日付で事業者より文化財保護法第93条の規定に基づく埋蔵文化財発掘の届出を受理した。これに対して、平成30年4月24日付で神奈川県教育委員会教育長より発掘調査を実施する旨の指示が通知され、当該地の埋蔵文化財については発掘調査を実施して、記録保存の措置を図ることとなつた。事業者は平成30年7月2日付で鎌倉市教育委員会に発掘調査依頼書を提出し、発掘調査は平成30年7月17日に開始し、平成30年10月26日に終了した。

### 若宮大路周辺遺跡群（雪ノ下一丁目 161 番 43）発掘調査にかかる届出等の文書

文書種別・内容	文書番号	日付	発信者	受信者	備考
確認調査 依頼		平成 29 年 2 月 28 日	事業者	鎌倉市教育委員会	
		平成 29 年 5 月 11 日			
		平成 29 年 6 月 6 日	事業者	神奈川県教育委員会	
文化財保護法 93 条 通知	文遺第 61030 号	平成 29 年 6 月 22 日	神奈川県教育委員会	事業者	
		平成 30 年 4 月 9 日	事業者	神奈川県教育委員会	
	文遺第 61010 号	平成 30 年 4 月 24 日	神奈川県教育委員会	事業者	
出土品の手続き 発見届		平成 30 年 10 月 31 日	鎌倉市教育委員会	鎌倉警察署	
		平成 30 年 10 月 31 日	鎌倉市教育委員会	神奈川県教育委員会	
	文遺第 51018 号	平成 30 年 11 月 7 日	神奈川県教育委員会	鎌倉市教育委員会 土地所有者	

発掘調査は重機による表土除去後、掘削に伴う残土置き場を確保する必要から、55.18 m<sup>2</sup> の調査範囲を二分割して調査を進めた（図 2）。

周辺遺跡の調査や確認調査の結果から掘削深度が深くなることが予想されたため、表土掘削時に調査区壁面に傾斜をつけて掘り下げる。また 2 区の第 5 面以下は 1 区側の壁面崩落防止のため、約 40cm の幅で壁面を残して掘り下げを行った。第 8 面以下はさらに全体の掘削範囲を狭めて掘削を行った。そのため、調査区の 1 区と 2 区の間には未掘削の部分が存在している。

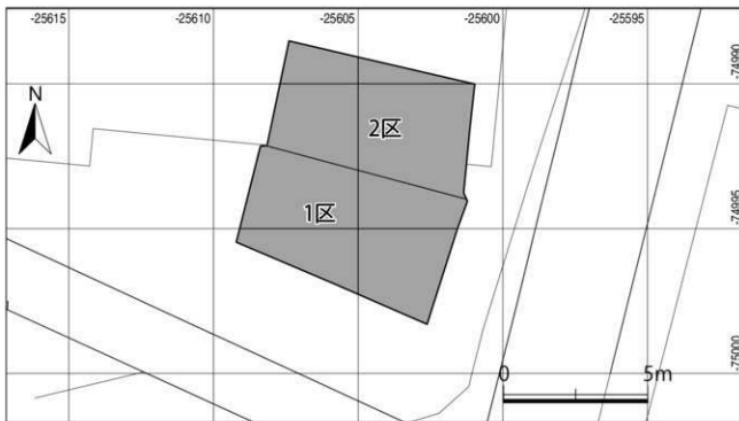


図 2 調査位置とグリッド配置図

### 第3節 基本土層

本地点では 9 面におよぶ中世の遺構面を確認した。基本となる土層の堆積状況を述べておく。

現地表面はおよそ海拔 10.43 ~ 10.51 m を測る。表土は 60 ~ 70cm ほど堆積しており、近現代の擾乱土である。

その下は小粒の破碎泥岩を含む暗褐色粘質土を基本とする整地層で、海拔は約 9.7 ~ 9.8 m。土の状

況や遺構が確認されたため第1面としたが、上方からの削平を相当程度受けていると考えられる。

第2面は海拔9.5～9.6mで検出。広い範囲で炭化物や焼土が広がる。焼土の堆積は硬化しており、人為的に敷き詰めた可能性も考えられる。一部には泥岩を敷き詰めた地業が見られる。

第3面は多数の泥岩塊や木器などの遺物を含む、しまりのややある黒褐色粘質土を基本とする。南北には泥岩塊を利用した整地層が見られる。海拔は9.41～9.54mである。

第4面も木器などの遺物を多く含む暗褐色土を基本とする整地層である。大型の泥岩塊が多数混入している。海拔は9.36～9.48mである。西北部は5cm程度の厚さで泥岩による地業層がさら見られ、間に薄い暗褐色土層を含んでいた。第4a面として記録している。海拔は9.32～9.41mである。

第5面は木製品などの遺物が多く混入した暗褐色土層を基本とする。大型の泥岩塊や砂岩塊が大量に混入し、部分的には砂粒を突き固めたような整地面も検出された。海拔は9.0～9.2mである。

第6面は暗褐色土層を基本とする。やはり遺物を多く混入し、泥岩塊もみられる。海拔は8.8～8.97mである。砂粒や泥岩による地業が直下で見られる。

西北部では炭化した薄い有機物腐植土層を挟んでさらに泥岩による整地層が確認されたため6a面とした。海拔は8.8～8.9mとなる。

西北部ではさらに泥岩による地業層下の暗褐色土層で遺構が検出されたため、6b面とした。海拔は8.71～8.8mである。比較的短時間で部分的に整地を行ったものと考えられる。

第7面はやや黒味がかった暗褐色土を基本とする。泥岩塊や木器を含む。一部には泥岩を敷き詰めた地業も確認された。海拔は8.46～8.7mである。

第8面は暗褐色土層を基本とする。依然として遺物や泥岩塊が多く混入する。一部には泥岩を敷き詰めた地業も確認された。海拔は8.4～8.5mである。特に南側では泥岩地業が間に薄い暗褐色土層を挟んでさらに検出され、これを8a面とした。海拔は8.36～8.39mとなる。

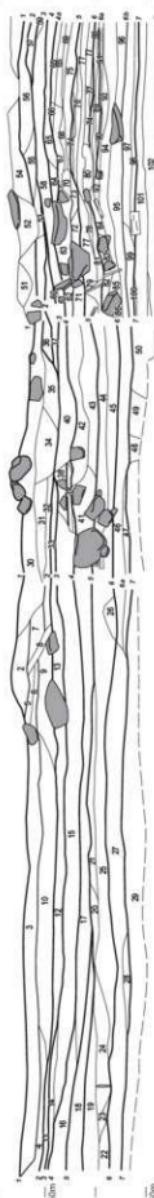
また10cm程度の厚さでさらに泥岩による地業面が確認されたため、これを8b面とした。海拔は8.27～8.31mである。

北側調査区ではさらに掘削を進め、部分的に泥岩による地業を確認したため、8c面とした。海拔は8.15～8.3mである。5～10cm程度の厚さで整地を繰り返し行ったと想定される。

調査区北側では部分的に確認のための深堀を行った。その過程で泥岩や炭化物、貝殻などを含むやや硬化した暗褐色土層を確認したため、これを第9面とした。海拔は7.9～8.05mである。

さらに確認のために7.38mまでわずかな範囲ながら掘削を行った。加工した木材などの人工遺物が含まれており、地表下約3mの地点でも確実な中世基盤層を確認することはできなかった。

調査区それぞれの壁面の土層堆積については図3～4に示した。また9面以下の堆積については図102も参照されたい。



E

8.50m

D

8.50m

C

8.50m

B

8.50m

A

8.50m

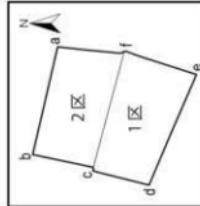


図3 調査区壁面堆積土層図1

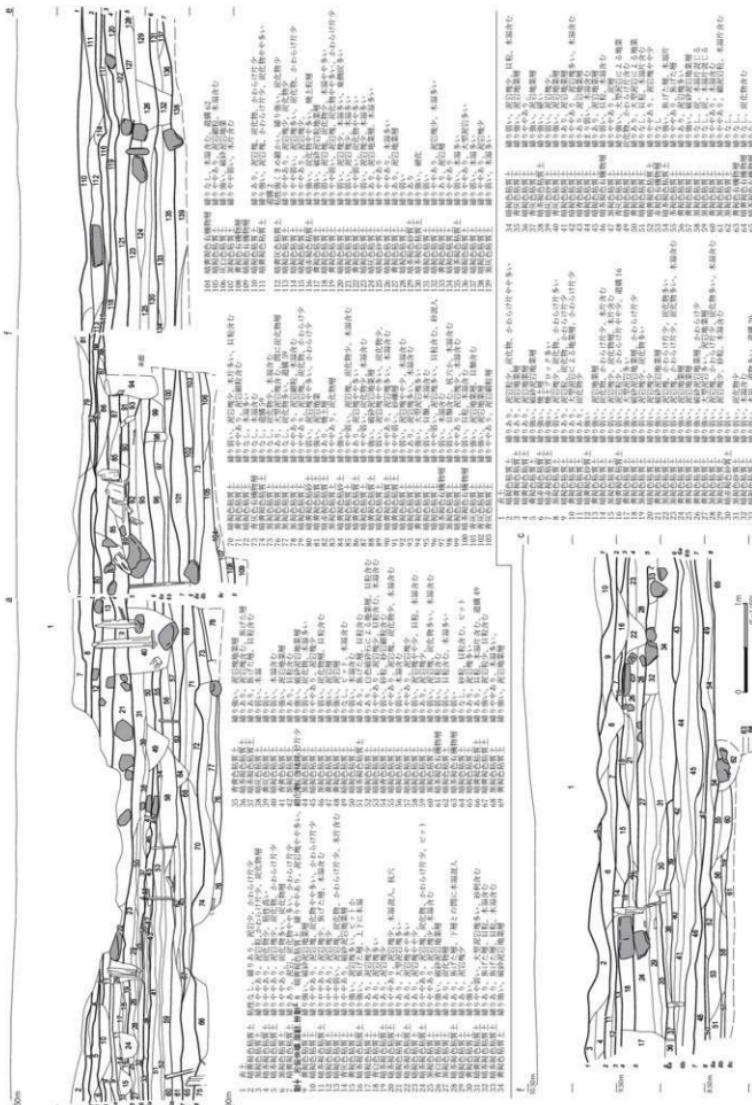


図4 調査区壁面堆積土層図2

## 第二章 発見された遺構と遺物

中世遺構面は前述の通り、表土下約60～70cmで検出された。第1面は上層は削平されている可能性があり、北部は攪乱の影響で検出した深度でも一部が削平されてしまっていた。また近現代のごみ穴などの掘削はさらに深くまでおよんでおり、第1面下の遺構も一部破壊してしまっている。掘削深度は一部は地表下約3mまで達したが、基盤層を確認するには至らなかった。周囲の調査事例の様相から、中世基盤層はおそらく地表下約4m近い地点に存在すると考えらえるが、本調査区は狭く、さらなる深度への掘削は崩落の危険なども伴うため、それ以下の調査については断念した。

結果として地表下約2.5mまでの時点で9面におよぶ遺構面を検出した。以下それぞれの遺構面の内容について報告する。

### 第1節 第1面の遺構・遺物

第1面(図5)は上部は削平されてしまっている可能性があるが、泥岩による構築物などが確認されたため、遺構面として取り扱った。遺構面は地表下0.6～0.7m、海拔9.71～9.85mで検出した。

遺構は比較的大型の泥岩を密に敷き詰めた硬化した列状の遺構2条、ピット1穴、土坑2基を検出した。南側では、西南一東北方向にかけて列状にやや大型の泥岩塊を使用した幅約1.1mの強固な部分が見られる。その南側では多量の泥岩塊が投げ込まれたような状態で検出された。北側でもほぼ平行して同様の列状泥岩面があるが、中央ほどから南にかけては存在していない。さらに西北隅には泥岩塊で強く固めた地業が広がる。列状の泥岩は通路的なものかもしれないが、幅も狭く側溝なども検出できなかった。土壌的な構造物かもしれない。

遺物は、かわらけ・青磁・天目茶碗・常滑・瀬戸・備前・東播系須恵器・瓦質製品・鉄製品・石製品・自然遺物が出土している。

遺構	色調土	上端 高さ cm	最上 端 接 触 高 さ cm	底面 高さ cm	遺構	色調土	上端 高さ cm	最上 端 接 触 高 さ cm	底面 高さ cm	遺構	色調土	上端 高さ cm	最上 端 接 触 高 さ cm	底面 高さ cm
1	暗褐色	9.64	0.42	9.49	3	暗褐色	9.75	0.72	9.52	5	-	9.81	-	9.52
2	暗褐色	9.67	1.365	9.55	4	-	9.80	-	9.66					

#### ピット

1穴のみ検出。

#### 遺構2(図5)

隅丸方形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりややあり。泥岩塊、炭化物、かわらけ片少量含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 土坑

2基のみ検出。

#### 遺構2(図5)

円形を呈する土坑か。調査区外にも広がるため規模や平面形は不明。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱い。泥岩塊少量、炭化物、かわらけ片や多く含む。出土遺物(図6):1～11は大型のロクロかわらけ、

12～25は小型のロクロかわらけ、26は常滑片口鉢1類、27は瀬戸鉢皿、28は瓦器質火鉢、29は瓦質香炉、30はかわらけ転用の円盤状土製品、31は仕上砥。

#### 遺構3(図5)

略円形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で締まりあり。泥岩塊、炭化物、かわらけ片少量含む。出土遺物(図6)：32はロクロかわらけ転用品。

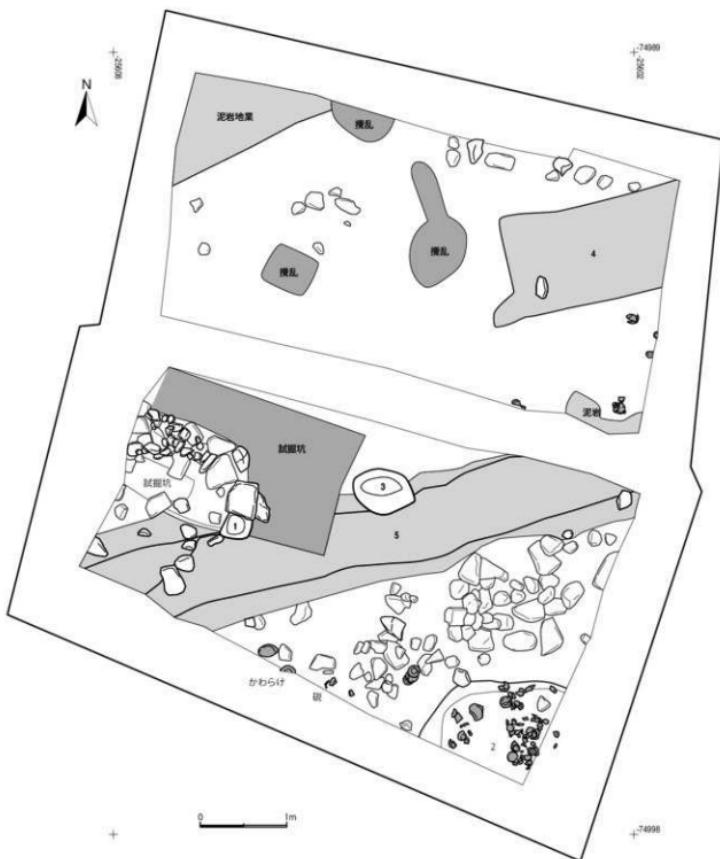
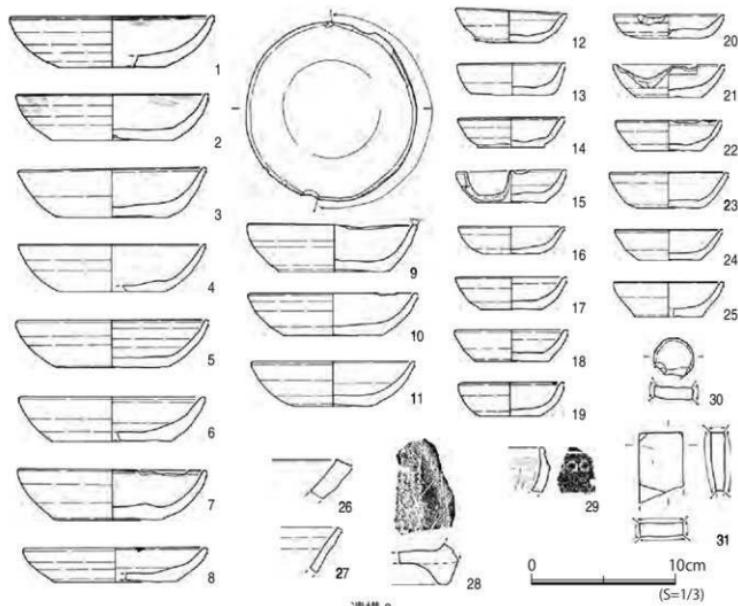
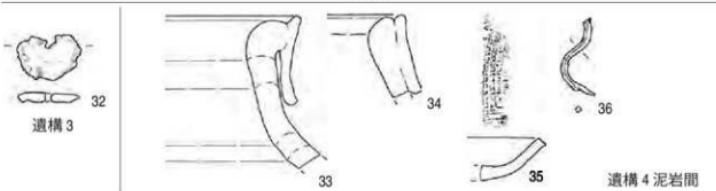


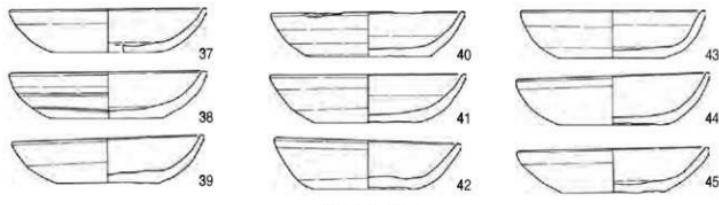
図5 第1面全測図(S=1/50)



遺構 2



遺構 4 泥岩間



遺構 5 泥岩間

図 6 第 1 面遺構・遺構外出土遺物

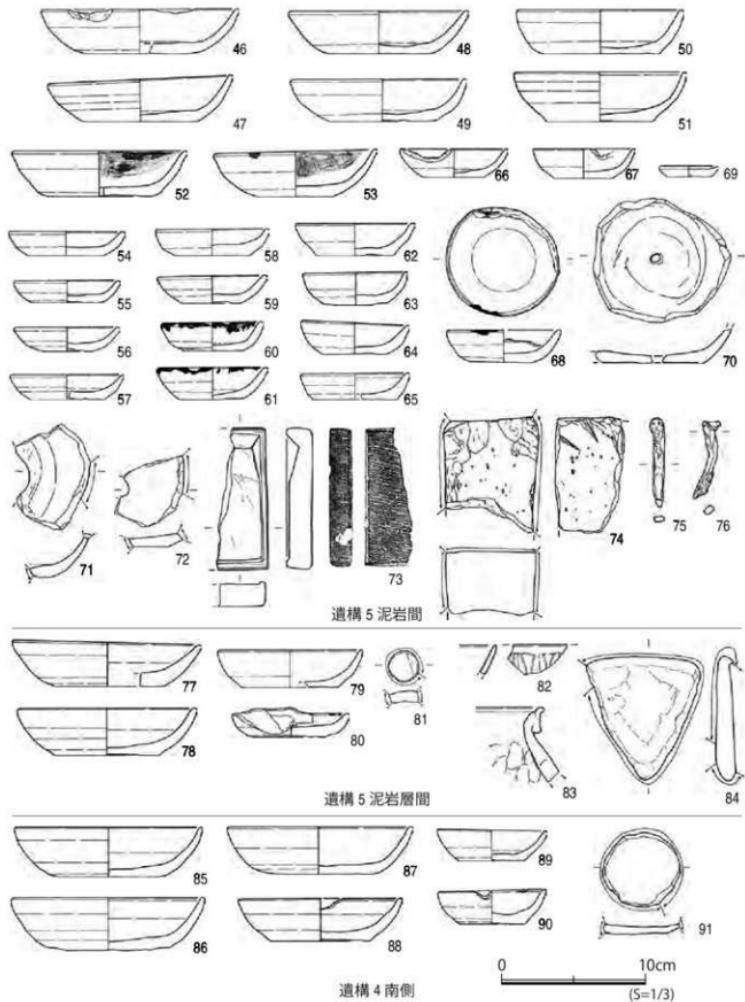


図 7 第 1 面遺構外出土遺物

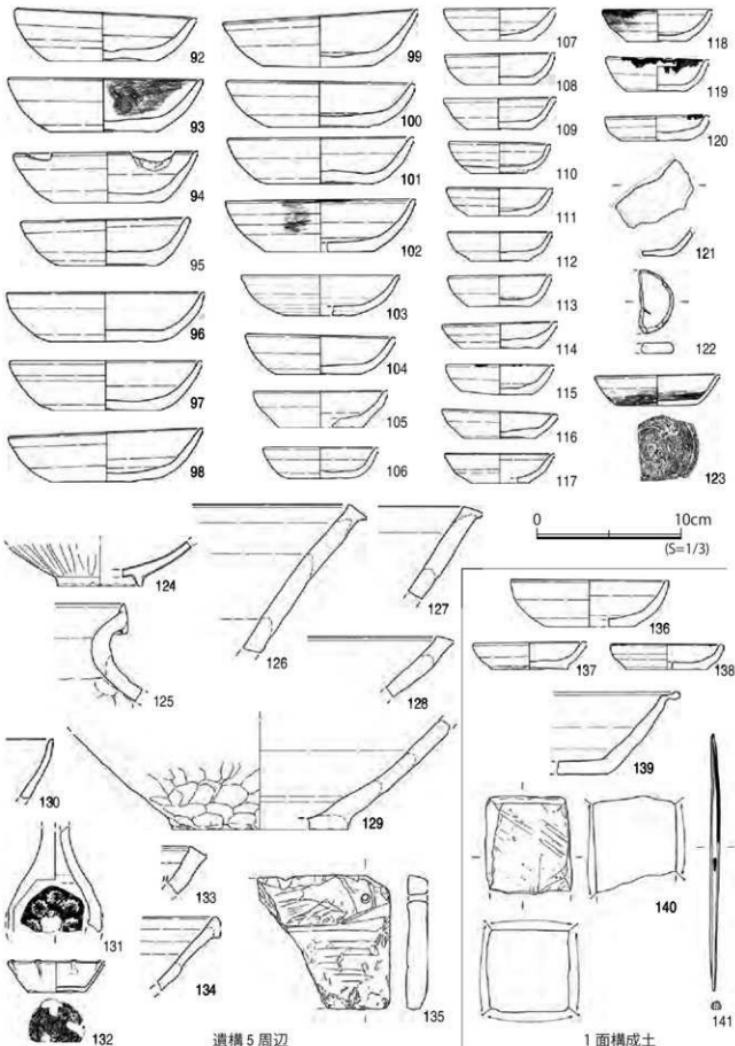


図8 第1面遺構外・構成土出土遺物

#### 列状遺構

北（遺構 4）、南（遺構 5）の 2 条を確認。大型の泥岩を密に硬く敷き詰めた幅約 1m、厚さ 30cm 程度の構造物である。両者は南西 - 北東方向（76 度）ではほぼ併行している。いずれも側溝のような構造物は検出されず、柱穴なども周囲ではほぼ確認できていない。その機能については不明である。

#### 遺構 4（図 5）

列状に泥岩を敷き詰め硬化した構造。南西側は消失しており、削平されてしまっている可能性がある。遺構を構成する泥岩の間に遺物が含まれていた（図 6）。33～34 は常滑壺、35 は瀬戸鉢皿、36 は鉄釘。

#### 遺構 5（図 5）

列状に密に泥岩を敷き詰めて硬化した構造である。断面はやや逆台形を呈し、高さは約 20cm。遺構東南部では大量の泥岩や砂岩塊が検出された。溝状遺構への投げこみの結果かとも思われたが、そのような掘り込みは検出できず、意図は不明である。

遺構を構成する泥岩の間からは遺物が出土している（図 6、7）：37～53 は大型のかわらけ、54～67 は小型のかわらけ、68 は極小型のかわらけ、69～72 はかわらけ転用品、73 は硯、74 は中砥、75～76 は鉄釘。

泥岩は 2 層はほぼ間断なく敷き詰められていた。上層と下層の間からも遺物が出土している（図 7）：77～78 は大型のかわらけ、79 は中型のかわらけ、80 は小型のかわらけ、81 はかわらけ転用の円盤状土製品、82 は青磁箇連弁文碗、83 は常滑広口壺、84 は常滑転用磨製品。

#### 第 1 面遺構外出土遺物

1 面の遺構外から出土した遺物を取り上げておく。

遺構 4 の西南部では少数だがまとまってかわらけが出土した。土坑の可能性もあるが、削平のためかブランは未確認である。遺構外遺物として取り扱っておく。図 7：85～88 は大型のかわらけ、89～90 は小型のかわらけ、91 はかわらけ転用円盤状土製品。

遺構 5 の南北の泥岩、砂岩の間からも遺物が多数出土している。図 8：92～102 は大型のかわらけ、103～105 は中型のかわらけ、106～120 は小型のかわらけ、121、122 はかわらけ転用の土製品、123 は瓦器質皿、124 は青磁箇蓮弁文碗、125 は常滑壺、126～129 は常滑片口鉢 II 類、130 は瀬戸天目茶碗、131 は瀬戸仏華瓶、132 は瀬戸入子、133 は備前播鉢、134 は東播系片口鉢、135 は滑石製の温石。図示はしていないが、雲母片も検出された（写真図版 14）。

#### 第 1 面構成土出土遺物（図 8）

1 面より 2 面検出までの間の堆積より出土した遺物。136 は中型のロクロかわらけ、137 は小型のロクロかわらけ、138 は小型のかわらけ、139 は瀬戸折縁皿、140 は砥石、141 は箸状木製品。

## 第2節 第2面の遺構・遺物

第1面より列状遺構と周囲の泥岩、砂岩を取り除くと硬く締まった広範囲に広がる焼土層が検出された。列状遺構の下には範囲を狭める形でまだ泥岩を敷き詰めた構造物が存在しているが、その上に焼土の堆積が見られたため、第2面と判断した。検出面の海拔はおよそ 9.50～9.60 m となる。

調査区の西北部を除き広範囲に焼土層が広がっている。焼土層は比較的平坦で、上面はある程度硬化していた。5～6cm の厚さで堆積しており、周囲の泥岩に被熱の影響が確認しがたいことから、この場

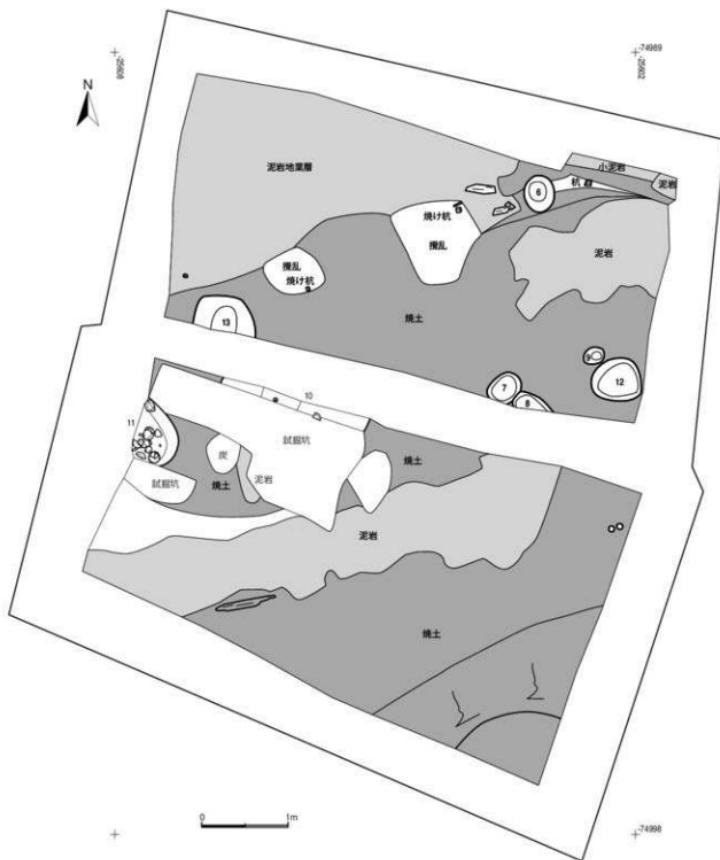


図9 第2面全測図 (S=1/50)

で火災があった結果というよりは焼土を敷き詰めているような状況を想定できる。第1面の列状遺構の下部は遺構4、遺構5ともにやや密に硬く敷き詰められた列状をなす構造物がみられるが、上層ほど直線的にはなっておらず、泥岩も敷き詰められていない箇所が多いなど、明らかに構築の精度が異なっている。

また調査区東南隅は東南方向に向けてやや高くなっている、調査区外にあたる部分は調査区範囲よりも高くなっていたと思われるが、ごく一部であるため詳細は判然としない。

その他の遺構としてはピット4穴・土坑4基が検出されたのみである。配置からは掘立柱建物址の存在を推定できるほどではない。遺構の切りあいから第2面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・舶載陶器・瀬戸・備前・瓦質火鉢・石製品が出土している。

遺構	色質 調上	レバベル	最上 端	し底 端	レバベル	遺構	色質 調上	レバベル	最上 端	し底 端	レバベル	遺構	色質 調上	レバベル	最上 端	し底 端					
6	暗褐色	9.61	0.41	9.52		8	灰褐色	9.59	0.23	9.47		10	暗褐色	9.59	1.76	9.4	12	灰褐色	9.59	0.59	9.49
7	灰褐色	9.6	0.39	9.51		9	灰褐色	9.62	47	9.49		11	暗褐色	9.51	0.83	9.35	13	暗褐色	9.48	0.73	9.36

#### ピット

##### 遺構6(図9)

楕円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱い。泥岩塊やや少量。炭化物多く含む。出土遺物(図10)：1は小型かわらけ。

##### 遺構7(図9)

隅丸方形を呈するピット。覆土は灰褐色粘質土で締まり弱い。炭化物やや多く含む。出土遺物(図10)：2は中型かわらけ。

##### 遺構8(図9)

隅丸方形を呈するピット。覆土は灰褐色粘質土で締まり弱い。炭化物やや多く含む。図示可能な遺物は出土せず。

##### 遺構9(図9)

円形を呈するピット。覆土は灰褐色粘質土で締まり弱い。炭化物やや多く含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 土坑

##### 遺構10(図9)

試掘坑と攪乱によって壊され、全体の規模や構造は不明。円形を呈するか。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱い。泥岩塊やや少量。炭化物多く、かわらけ片をやや多く含む。出土遺物(図10)：3～8は大型かわらけ、9は中型かわらけ、10～12は小型かわらけ、13は瀬戸合子、14は漆器皿。

##### 遺構11(図9)

楕円形を呈する土坑。西側は調査区外にあたり、全体規模は不明。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱い。泥岩塊やや少量。炭化物多く、かわらけ片をやや多く含む。出土遺物(図10)：15～16は小型かわらけ。

##### 遺構12(図9)

円形を呈する土坑。覆土は灰褐色粘質土で締まり弱く、炭化物をやや多く含む。図示可能な遺物は出土せず。

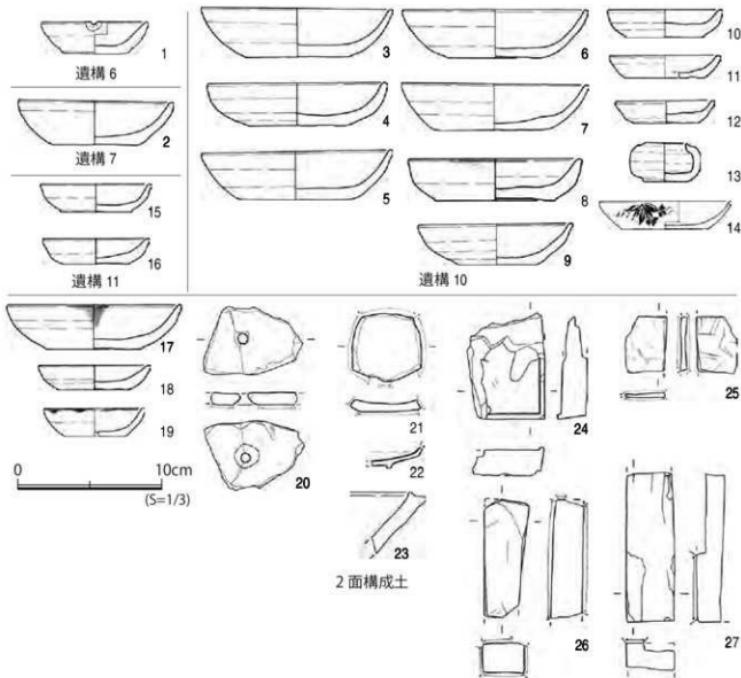


図10 第2面出土遺物

#### 遺構 13（図9）

円形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱い。図示可能な遺物は出土せず。

#### 第2面構成土出土遺物（図10）

2面より3面検出までの間の堆積より出土した遺物。17は大型かわらけ、18～19は小型かわらけ、20はかわらけ加工品で穿孔あり。21はかわらけ転用品、22は青白磁小皿、23は常滑片口鉢II類、24は硯、25～27は砥石で仕上砥。

### 第3節 第3面の遺構・遺物

第3面は第2面より焼土層堆積と列状遺構下の泥岩敷を除去した層であり、上層とは様相が異なるため、遺構面と判断した。地表下0.9～1.0mで、海拔は9.41～9.54mである。ピットや土坑などの明確な遺構は検出できなかった。調査区西北隅は比較的強固な破碎泥岩による地業区画があり、その東南側にはやや大型の泥岩を敷き詰めた区画が帶状に存在する。第1面遺構5の下部は依然として板状に加工された砂岩や泥岩などを列状に敷き詰めているが、1面ほど明確に列状にはなっていない。主軸方向は

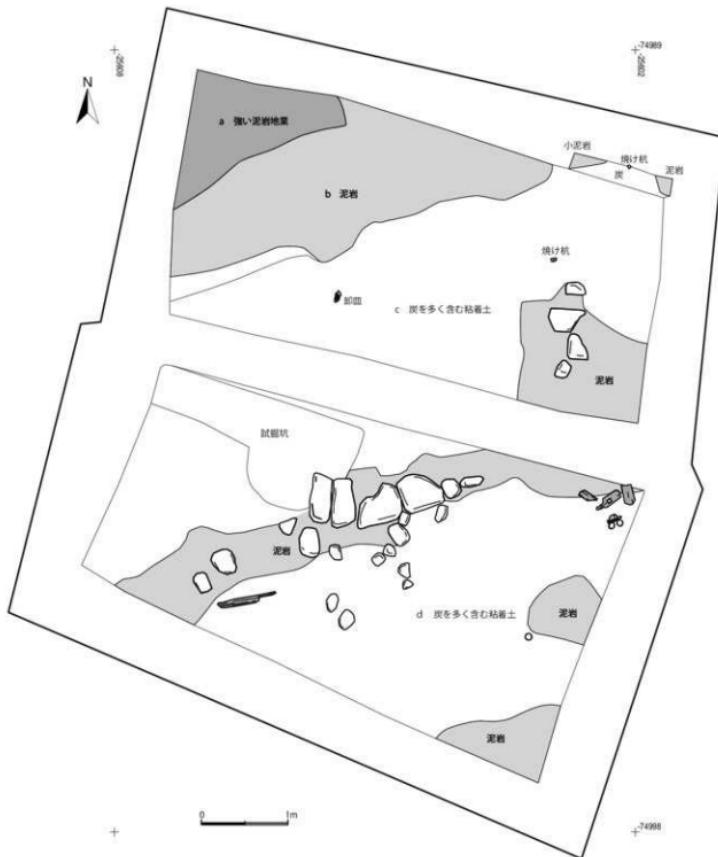


図11 第3面全測図 (S=1/50)

約 67 度である。その西北にはやや広範囲で砂質土が広がっている。

調査区南東隅はやや高くなり、破碎した泥岩を敷き詰めた硬化面となっている。およそこれらの地業は西南—東北方向で併行しており、第 1 面以来の軸と共通している。西北部の泥岩地業が途切れる境の方向もほぼ共通している。こうした泥岩地業が見られない区画は、暗褐色粘質土と泥岩塊がまじりあつた土で構成されており、一部はやや硬化している。構成土である暗褐色土は湧水により有機質の保存環

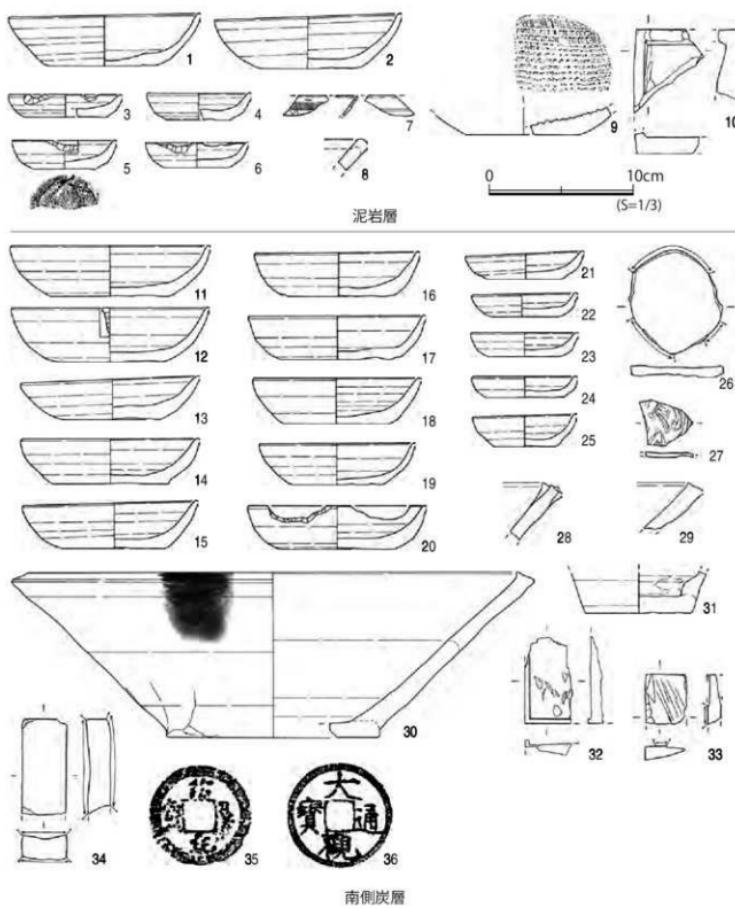


図 12 第 3 面遺構外出土遺物

境が良好であることを加味しても非常に大量の木製品を含む遺物が混入しており、第6面まで基本的にそうした状況が続く。意図的に廃棄物を混ぜ込んでいることが想定される。

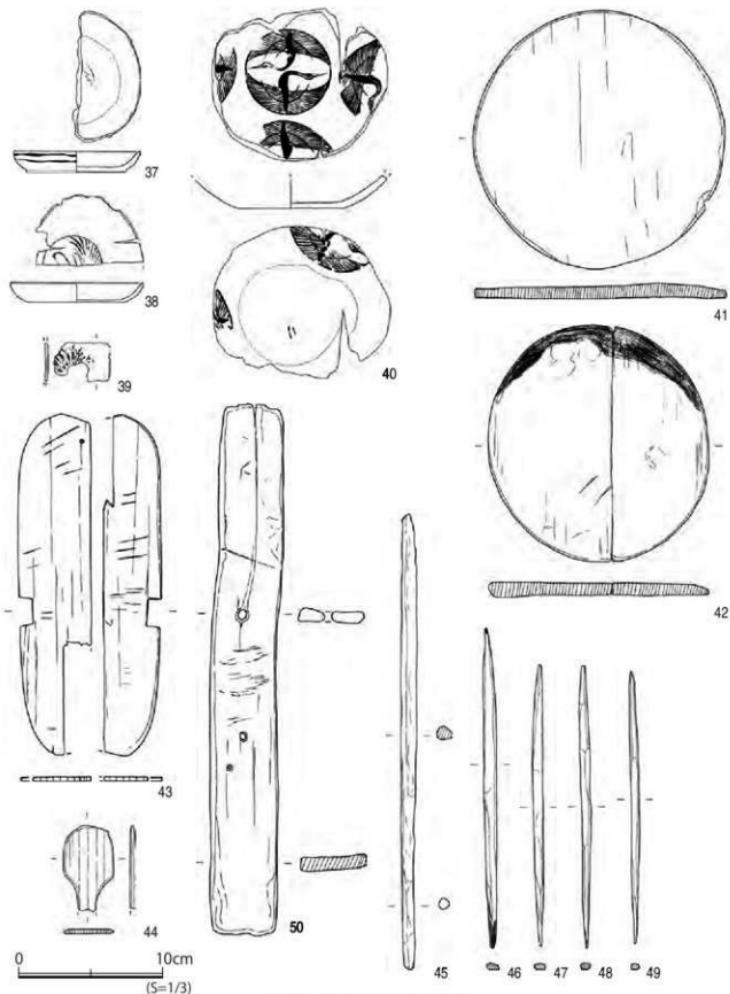


図 13 第3面遺構外出土遺物

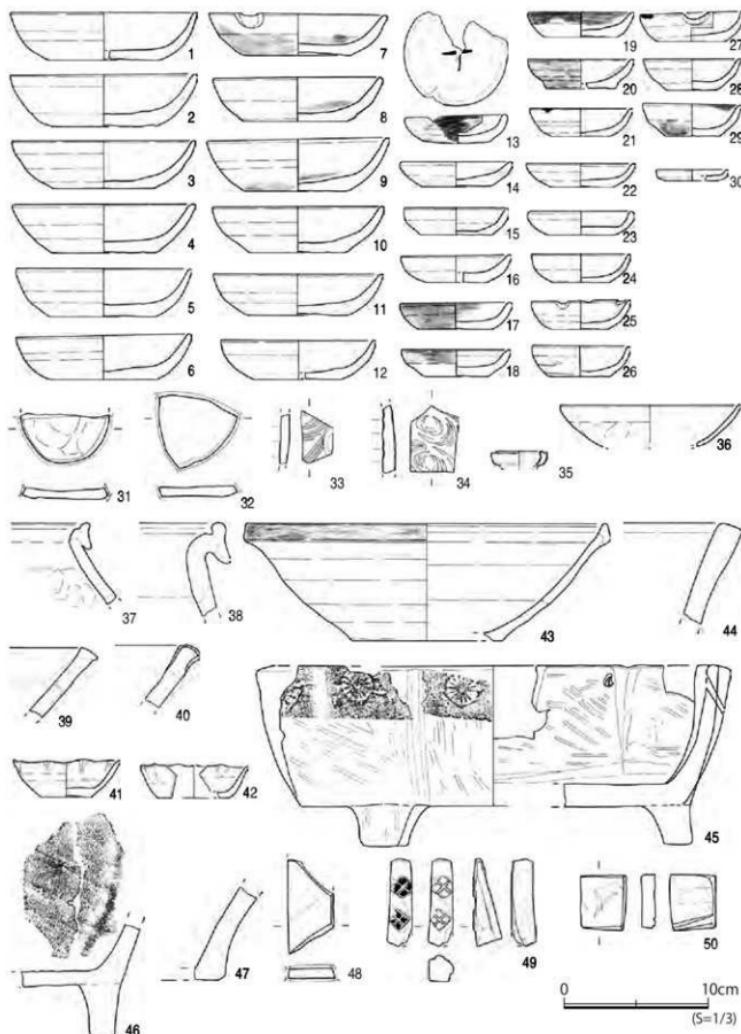


图 14 第3面南侧构成土上层出土遗物 1

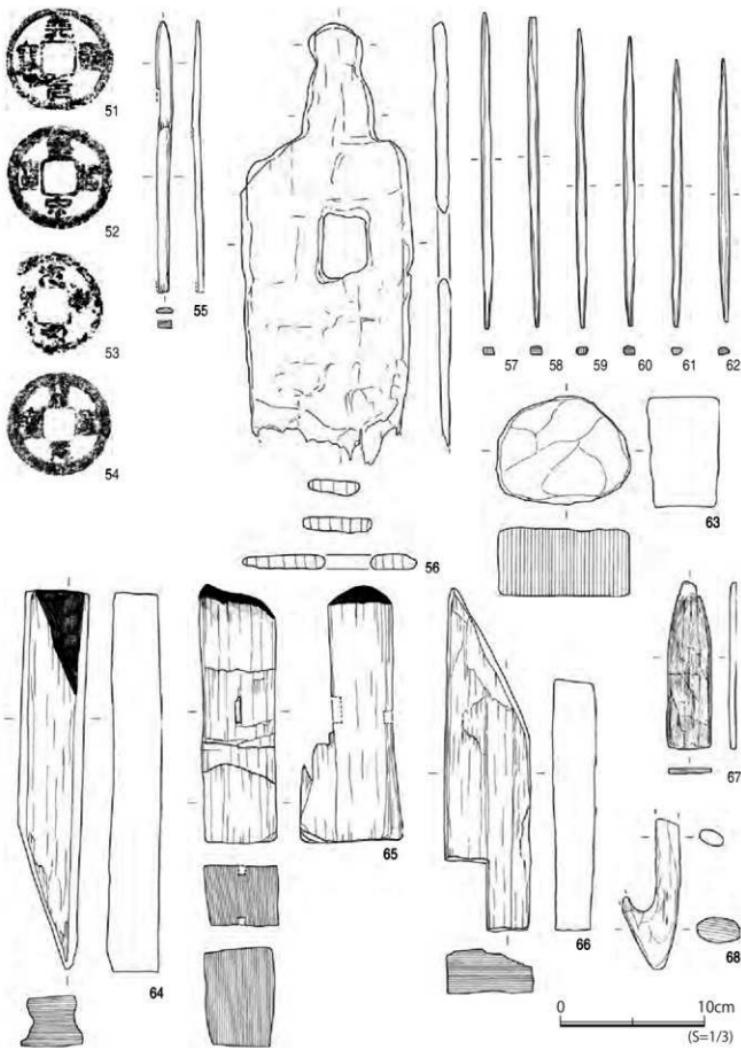


图 15 第3面南侧沟成土上层出土遗物 2

遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・備前・東播系須恵器などの国産陶器・瓦質製品・銅錢・鉄釘・石製品・自然遺物が出土している。

### 3面遺構外出土遺物

第3面の遺構外から出土した遺物を示す。

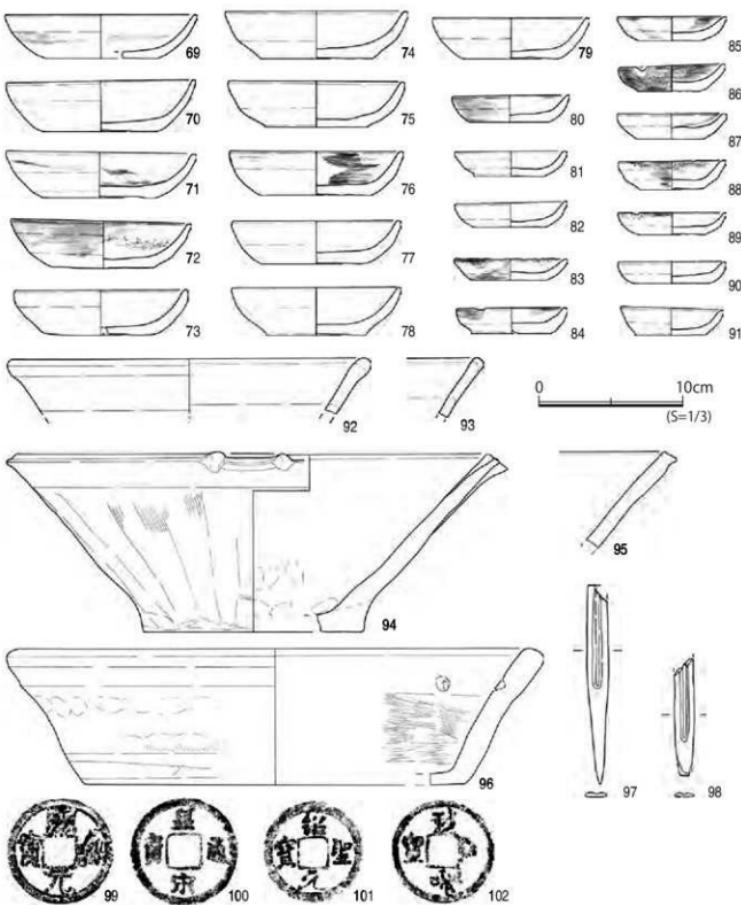


図 16 第3面南側構成土中層出土遺物 1

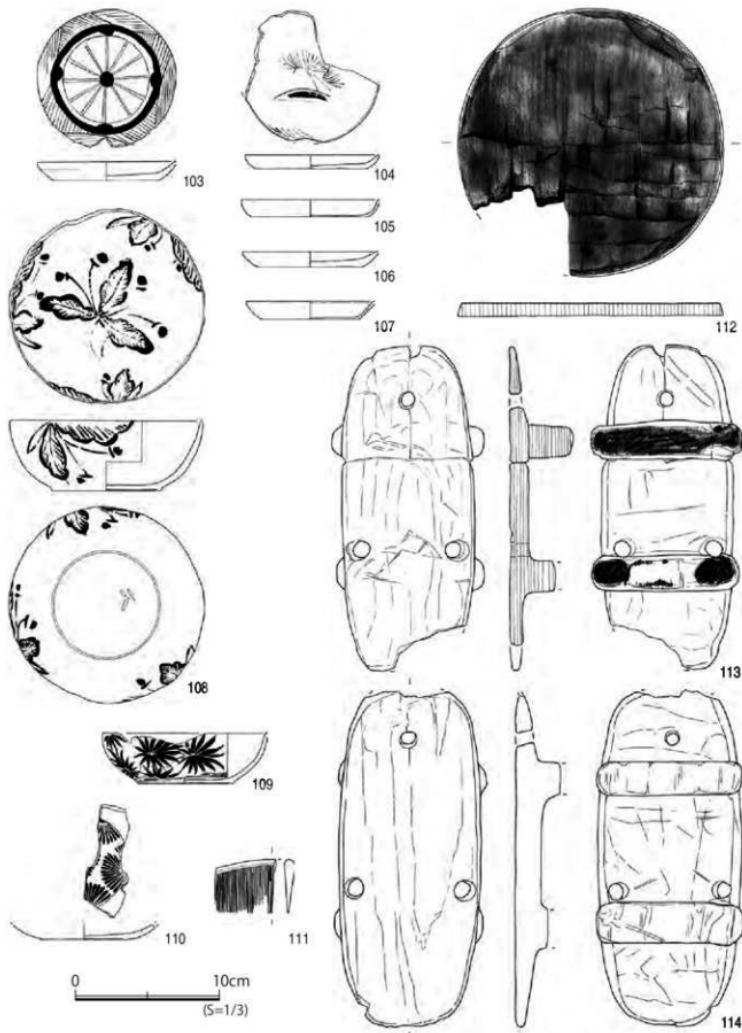


图 17 第3面南側構成土中層出土遺物 2

b の範囲から出土した遺物（図 12）

1～2は大型かわらけ、3～6は小型かわらけ、7は白磁印花文皿、8は常滑片口鉢1類、9は瀬戸鉢皿、10は覗。

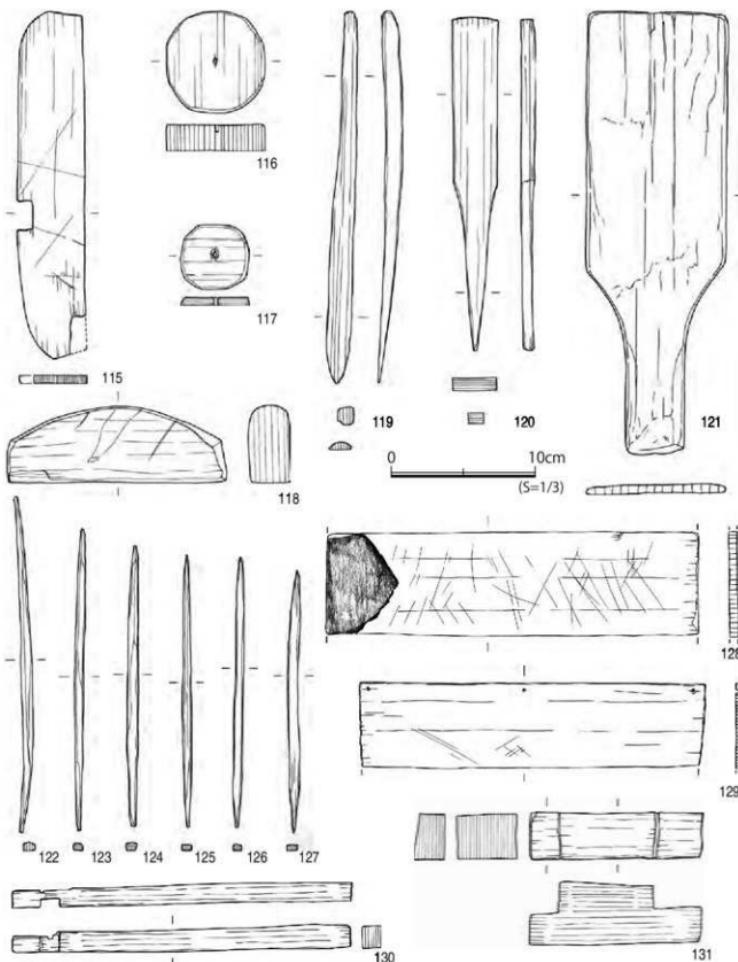


図 18 第3面南側構成土中層出土遺物 3

c の範囲から出土した遺物 (図 12 ~ 13)

11 ~ 15、17、20 は大型かわらけ、16、18 ~ 19 は中型かわらけ、21 ~ 25 は小型かわらけ、26 はかわらけ転用品、27 は青白磁蓋か、28 ~ 30 は常滑片口鉢 II 類、31 は瀬戸瓶子、32 は覗、33 ~ 34 は砥

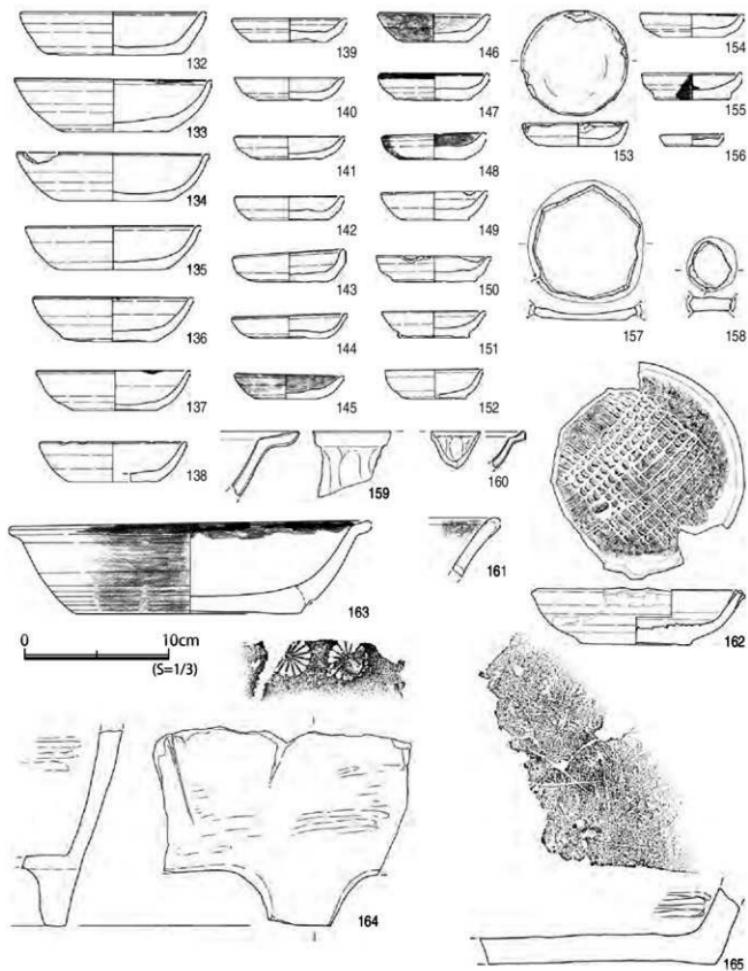


図 19 第3面南側構成土下層出土遺物 1

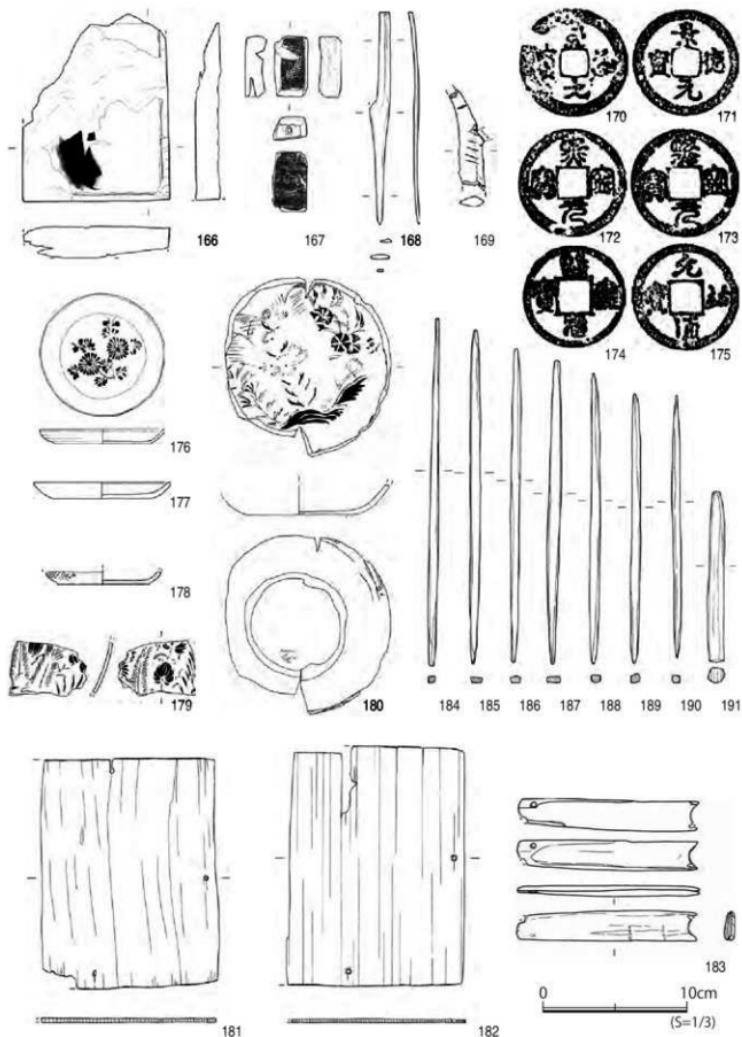


图 20 第3面南側構成土下層出土遺物 2

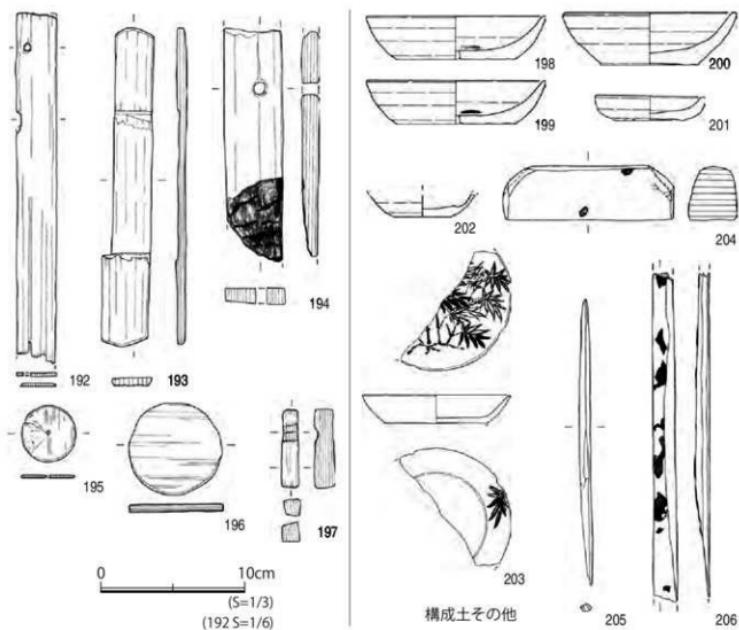


図 21 第3面南側構成土下層出土遺物およびその他構成土

石で仕上砥、35～36は銅鏡。

漆器：37～38は漆器皿、39は器種不明、40は椀。

木製品：41～42は曲物、43は草履芯、44は形代、45は串状木製品、46～49は箸状木製品、50は建築材。

### 第3面構成土出土遺物

第3面より4面検出までの間の堆積より出土した遺物を示す。

調査区南側、dの範囲下の出土遺物は堆積状況から3層に分けた。

#### 上層出土（図14、15）

1～11は大型かわらけ、12は中型かわらけ、13～29は小型かわらけ、30は極小かわらけ、31はかわらけ転用円盤状土製品、32はかわらけ転用品、33～34は青白磁梅瓶、35は青白磁合子の身、36は瓦器質碗、37は常滑広口壺、38は常滑甕、39～40は常滑片口鉢II類、41～42は瀬戸入子、43は東播系片口鉢、44～47は瓦器質火鉢、48は砥石仕上砥、49は滑石鍋転用品、50は滑石加工品で用途不明。51～54は銅鏡。

木製品：55は箆状木製品、56は鋸、57～62は箸状木製品、63～68は用途不明。

#### 中層出土（図 16～18）

69～78 は大型かわらけ、79 は中型かわらけ、80～91 は小型かわらけ、92～93 は常滑片口鉢 I 類、94～95 は常滑片口鉢 II 類、96 は瓦質火鉢、97～98 は笄、99～102 は銅錢。

漆器：103～107 は皿、108～110 は椀、111 は櫛。

木製品：112 は曲物、113～114 は下駄、115 は草履芯、116～117 は燈火台、118 は手押木、119 は串状木製品、120 は籠状木製品、121 は羽子板、122～127 は箸状木製品、128～131 は用途不明。

#### 下層出土（図 19～21）

132～135 は大型かわらけ、136～138 は中型かわらけ、139～155 は小型かわらけ、156 は極小かわらけ、157～158 はかわらけ転用品、159 は青磁鉢、160 は青磁壺、161 は常滑片口鉢 I 類、162 は瀬戸鉢皿、163 は土器質火鉢、164～165 は瓦器質火鉢、166 は硯、167 は滑石鍋転用品、168 は笄転用品、169 は用途不明加工骨、170～175 は銅錢。

漆器：176～177 は皿、178 は器種不明、179～180 は椀。

木製品：181～182 は絆木折敷、183 は刀子鞘、184～190 は箸状木製品、191 は串状木製品、192～194 は建築材、195～197 は用途不明。

#### その他構成土全体（図 21）

d の範囲以外の構成土より出土した遺物。198～200 は大型かわらけ、201 は小型かわらけ、202 は瀬戸入子。

漆器：203 は皿。

木製品：204 は手押木、205 は箸状木製品、206 は用途不明。

## 第4節 第4面の遺構・遺物

第4面は地表下1.2～1.3m、およそ海拔9.36～9.48mで検出した。調査区中央部には緻密な破碎泥岩による地業があり、その周間に砂が敷き詰められている。その上面には大型の泥岩塊や砂岩塊が多数敷き詰められ、一部は硬化している。東南隅は緻密で硬化した泥岩による地業があり、西北部も細かな泥岩による硬化した地業が見られた。東南と西北部が他の区域と地業が異なるのは3面の状況と類似している。北側では横板と杭による木組みが見られるが、機能は不明。



図22 第4面全測図 ( $S=1/50$ )

東側の調査区壁際では列状に並んだ縦板が検出された。板の上端はいずれも炭化しており火災にあったことが想定される。おそらく板壁建物の壁をなすと考えられるが他の壁は不明であり、調査区外の東側に存在していた可能性がある。また、その西側からは多数の炭化した木材が出土した。

南側では地業面に沿うようにいくつか縦板や杭が検出されたが部分的なものであり、建物の一部かと思われるが不明瞭で全体としてどのような構造をなすかは判然としない。杭などはやはり上端が炭化している。

西北の泥岩地業は10cm程度下に木器を含む硬化した褐色層を挟み、さらにもう1枚破碎した細かい泥岩による地業が検出された。それ以外の遺構はピットが1穴検出されたのみである。

泥岩や砂層地業下の構成土をなす暗褐色土層内は第3面と同様多量の遺物が混入していた。遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・備前・東播系土師器などの国産陶器・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・木製品・自然遺物が出土している。

#### ピット

##### 遺構14(図22)

隅丸方形を呈するピットか。覆土は暗褐色粘質土で綿まり弱い。泥岩塊やや少量含む。上端のレベル9.47m、底面レベルは9.4m。図示可能な遺物は出土せず。

#### 板列

##### 遺構15(図22)

調査区東側で検出。主軸方向は約161度。第5面の板壁建物の東壁を検出した際、縦板が2段にわたって構築され、その間には礎板的な板が入れられている箇所もあった(図39、写真図版10:7、8参照)。上下段の板はほぼ同じ場所に構築されているがややずれがあること、いずれも上端は炭化していることなどから別個の構築物と判断した。したがってこの遺構は板壁建物の壁をなすと考えられる。

調査区内では同様の構造を持つ板列は検出されていないことからさらに東側の調査区外に建物が存在している可能性があると考えられるが、本調査では確認することができなかった。板列の西部には完全に炭化した板材や柱材が面的に散乱していたが、建物をなしていた建材かどうかは不明。

また南側(1区)ではこれに直交するような方向(約75度)で縦板列がわずかに検出された。同一の建物の板材である可能性も考えらるるが、確実ではない。

##### 遺構16(図22)

調査区西側で検出。主軸方向はおよそ72度。検出長は1.46mである。板は横板を1枚あるいは2枚ならべ、北側にはややしっかりとした杭が2本検出され、板の補強かと考えられる。この遺構の北側には特に大型の泥岩塊が面的に多数敷き詰めたような状態で検出され、地割の区画のために構築物かとも考えられるが不詳。

その他調査区西南隅でもやや薄い横板とその周囲から数基の杭が検出された。横板の北側は泥岩塊が多く集中し、やや規則的に配置しているようにも見受けられる。遺構16と同様区画のために構築したものである可能性がある。その南側は、東南隅の泥岩地業層との間まで泥岩塊や板材が散乱した黒色土層となり、この土層中は遺物が多く含まれていたがなんらかの遺構をなすような構造は見受けられな

かった。

#### 第4面遺構外出土遺物

第4面の遺構外より出土した遺物。区域別に分ける。

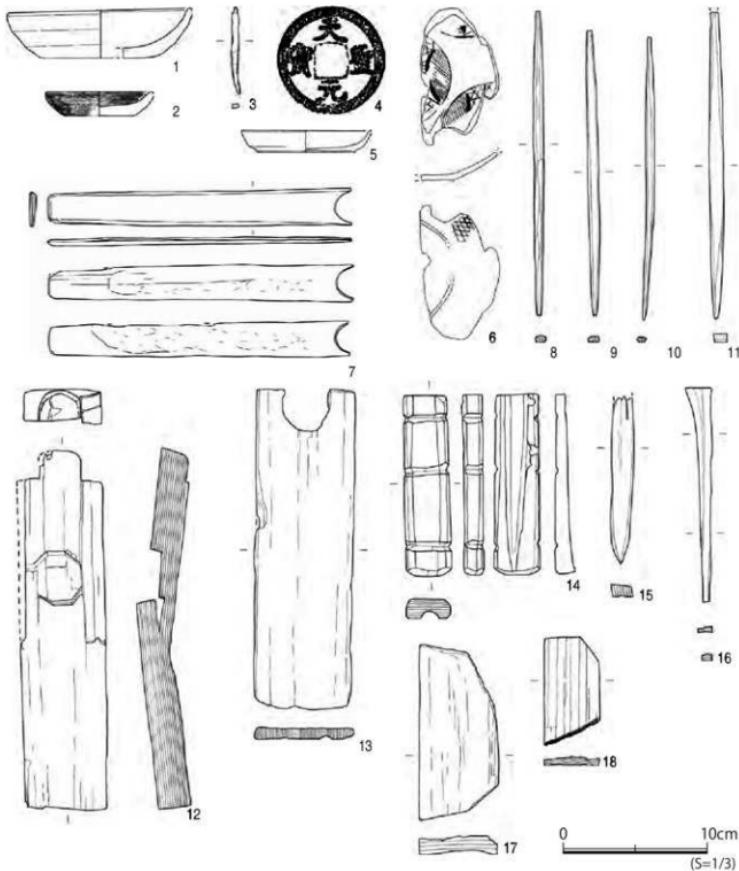


図23 第4面遺構外出土遺物1

a の範囲から出土した遺物（図23）

1は大型かわらけ、2は小型かわらけ、3は鉄釘、4は銅銭。

漆器：5は皿、6は椀。

木製品：7は刀子鞘、8～10は筈状木製品、11は串状木製品、12～18は用途不明。

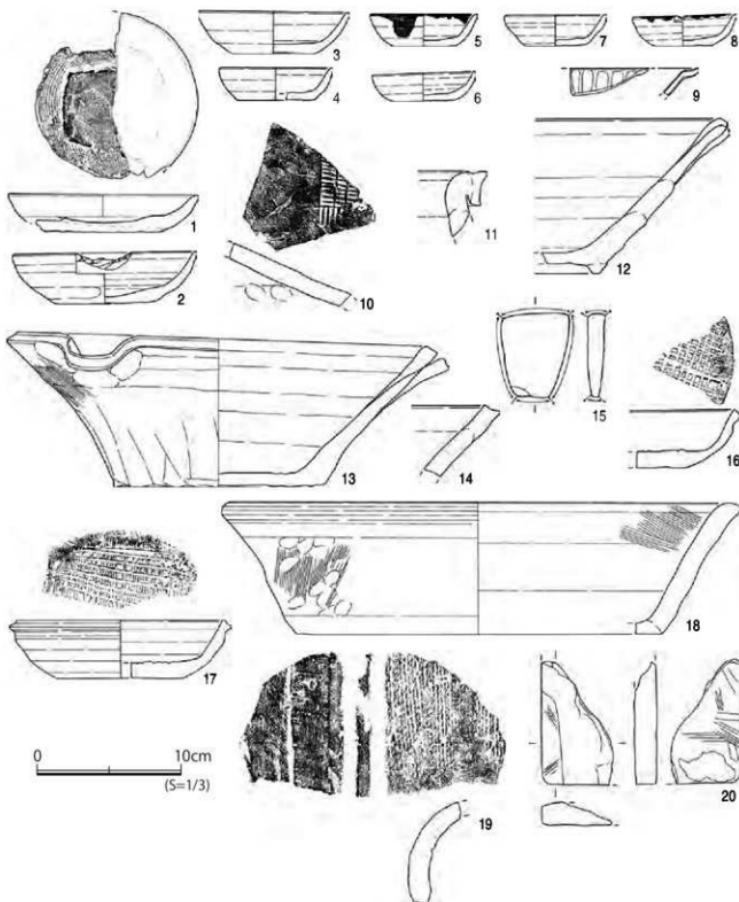


図24 第4面遺構外出土遺物2

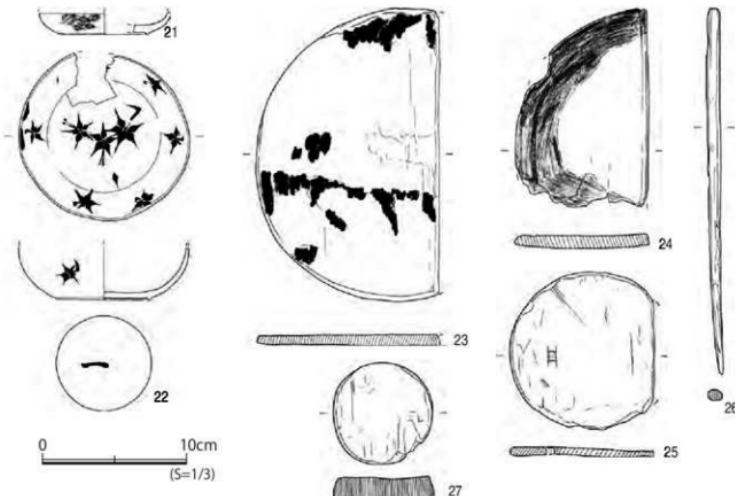


図 25 第4面造構外出土遺物 3

b の範囲から出土した遺物（図 24～25）

1～2は大型かわらけ、3は中型かわらけ、4～8は小型かわらけ、9は青磁折縁鉢、10は常滑甕、11は常滑広口壺、12は常滑片口鉢Ⅰ類、13～14は常滑片口鉢Ⅱ類、15は常滑転用磨製品、16～17は瀬戸鉗皿、18は土器質火鉢、19は丸瓦、20は滑石製温石か。

漆器：21は皿、22は椀。

木製品：23～24は曲物、25は曲物、26は串状木製品、27は用途不明。

第4面構成土出土遺物

4面より5面検出までの間の堆積より出土した遺物。南側の構成土は遺物を大量に含んでおり、それ以外の構成土とは区別する。

c の範囲下から出土した遺物（図 26～29）

1～7は大型かわらけ、8～33は小型かわらけ、34は極小かわらけ、35はかわらけ転用円盤状土製品、36～37は青磁折縁鉢、38は常滑片口鉢Ⅱ類、39は硯、40～42は砥石中砥、43は砥石仕上砥、44は加工石、45は刀子、46～52は鉄釘、53～63は銅錢。

漆器：64～71は皿、72～74は椀、75は鉢、76は器種不明、77は膳脚部、78は櫛。

木製品：79は板杓子、80は曲物、81は扇、82は下駄、83～85は草履芯、86は手押木、87は錐、88は形代、89～91は箸状木製品、92は串状木製品、93～95は箸状木製品、96～97は串状木製品、98～105は用途不明。

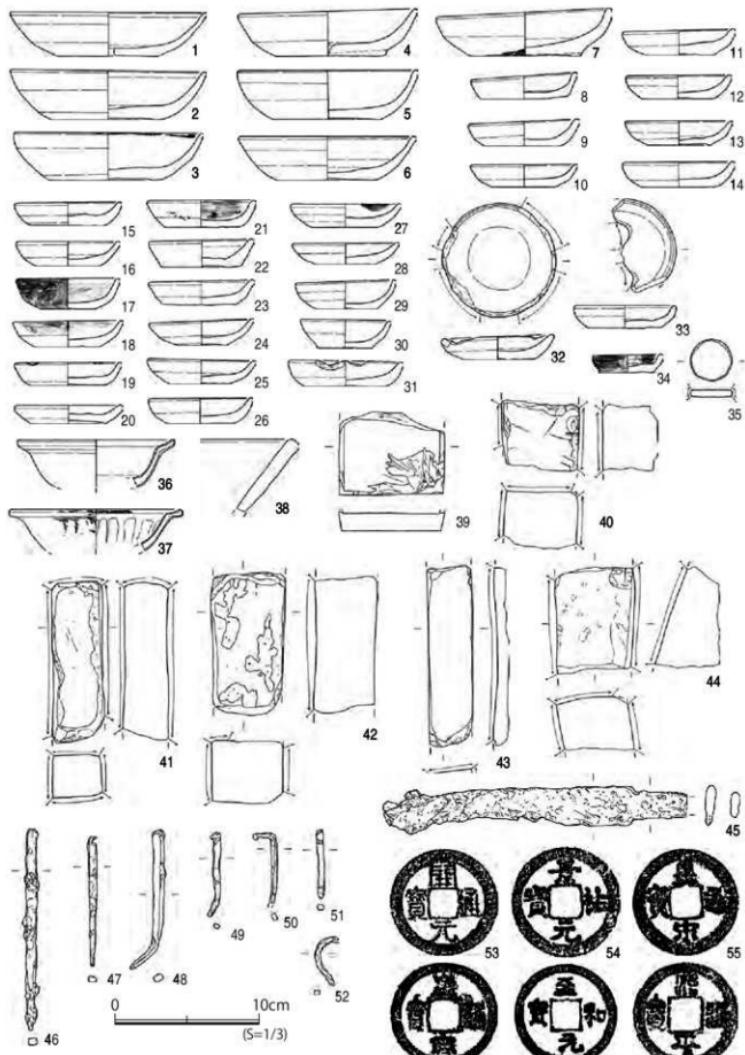


図 26 第 4 面構成土出土遺物 1

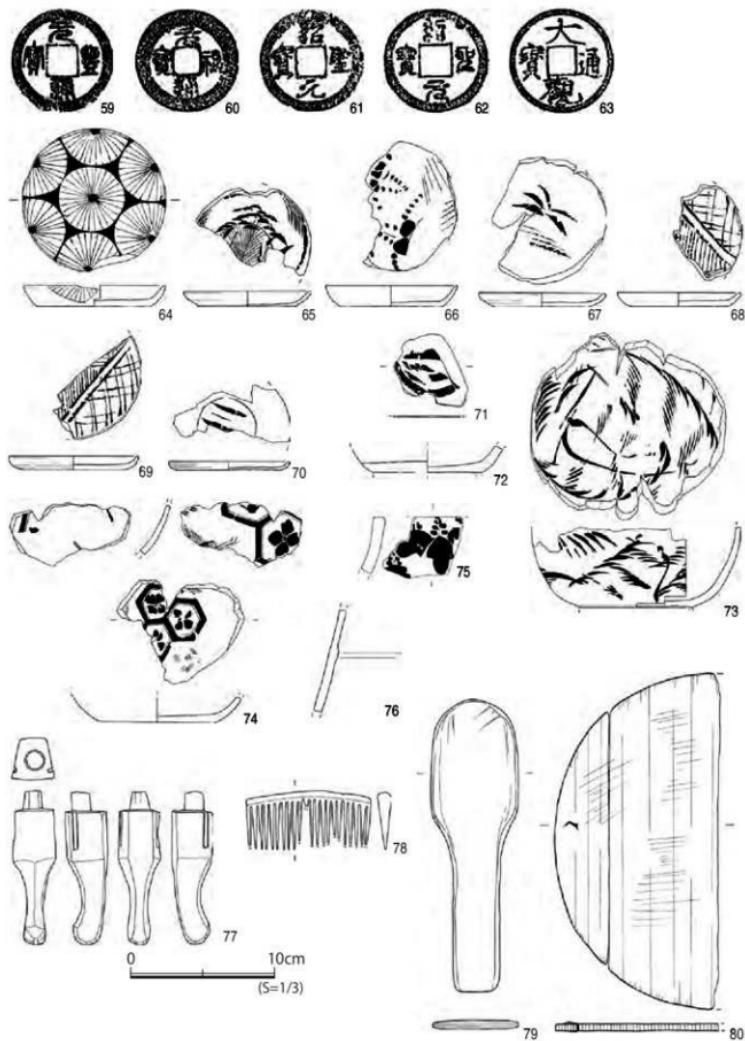


図27 第4面構成土出土遺物2

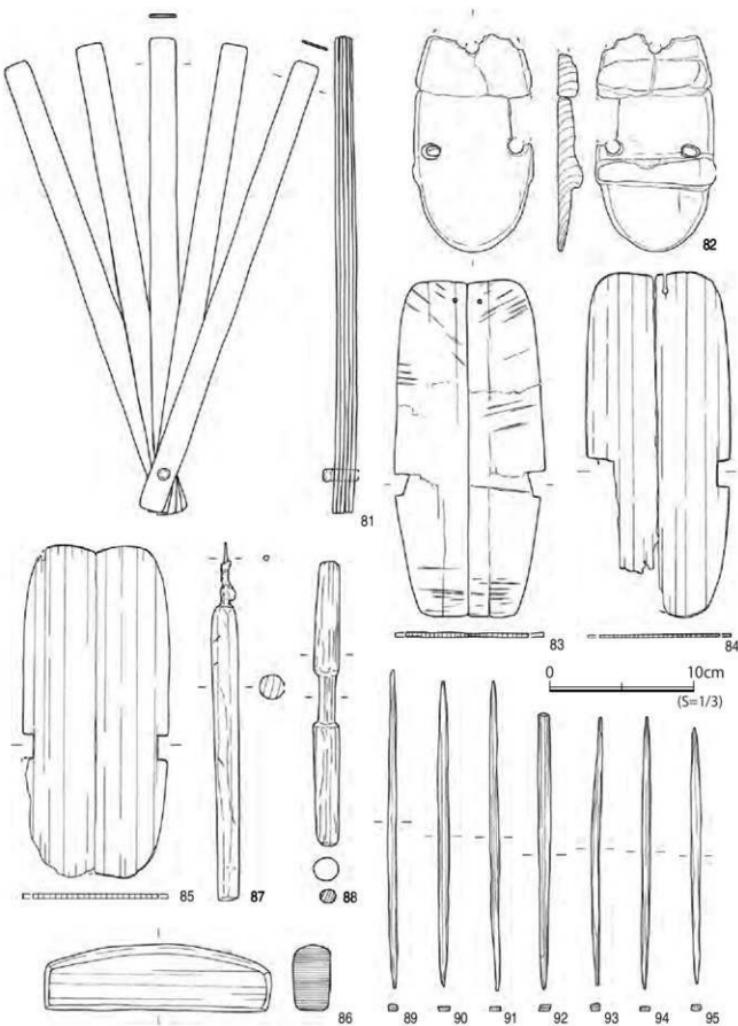


図28 第4面構成土出土遺物3

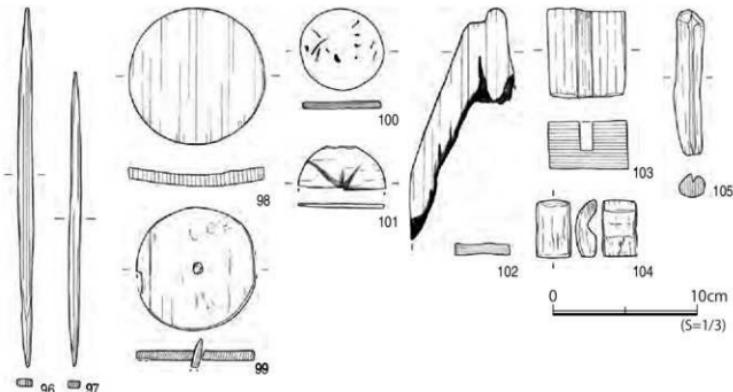


図29 第4面構成土出土遺物4

#### 構成土一括出土遺物（図30～31）

その他の区域の構成土から出土した遺物。1～5は大型かわらけ、6～7は中型かわらけ、8～27は小型かわらけ、28はかわらけ転用円盤状土製品、29は青磁折縁皿、30～33は常滑片口鉢II類、34は瀬戸鉢皿、35は瀬戸入子、36は土器質火鉢、37～39は砥石仕上砥、40は用途不明の加工骨、41は用途不明で銅製品。飾り金具か。

漆器：42～45は皿、46は膳脚部。

木製品：47～50は曲物、51は下駄、52は草履芯、53は砥石台、54～58は箸状木製品、59～62は用途不明。

#### 第4a面

第4面の西北部の泥岩地業の下約8cmでさらに厚さ数cmの薄い泥岩地業層が検出された。第4a面としておく。検出レベルはおよそ海拔9.32～9.41mである。遺構はピット1穴を検出したのみであり、その近辺に曲物の底板とその上に破碎したかわらけが検出された。

遺物は、かわらけ、青磁、白磁、常滑、瀬戸、土器製品、瓦質製品、木製品、銅錢、金属製品、自然遺物が出土している。

#### ピット

##### 遺構17（図32）

円形を呈するピット。上端のレベル9.28m、最大径0.34m、底面レベルは8.99m。覆土は黒褐色粘質土で締まり弱く、炭化物やや多い。焼けた泥岩が混入していた。図示可能な遺物は出土せず。

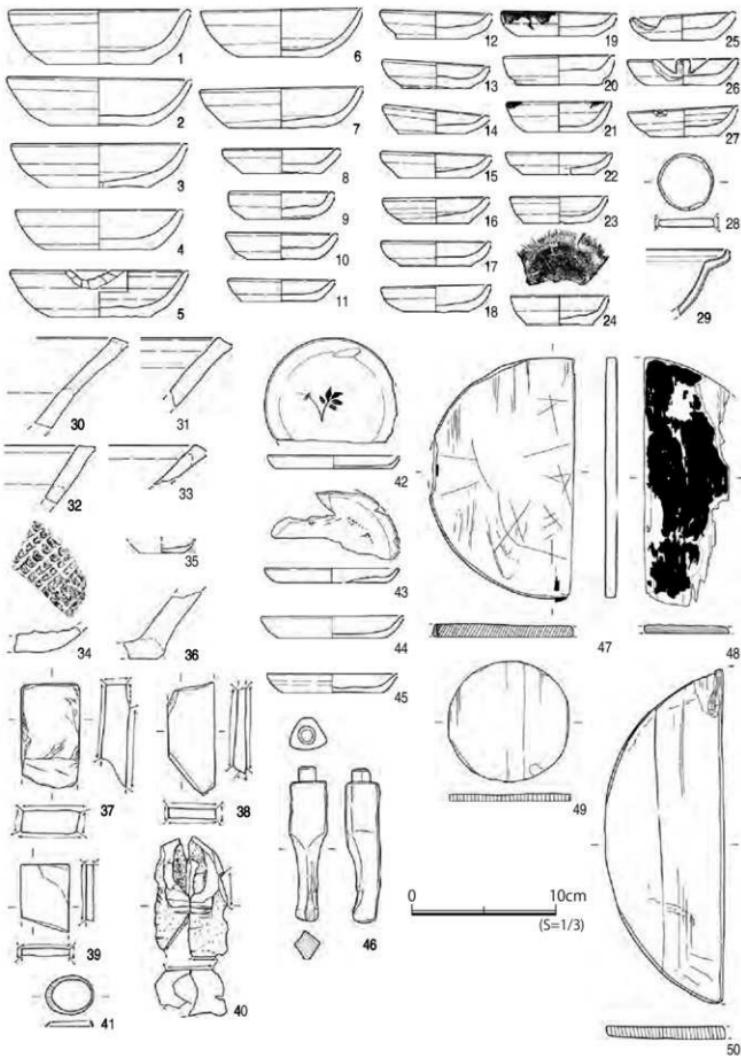


図30 第4面構成土出土遺物5

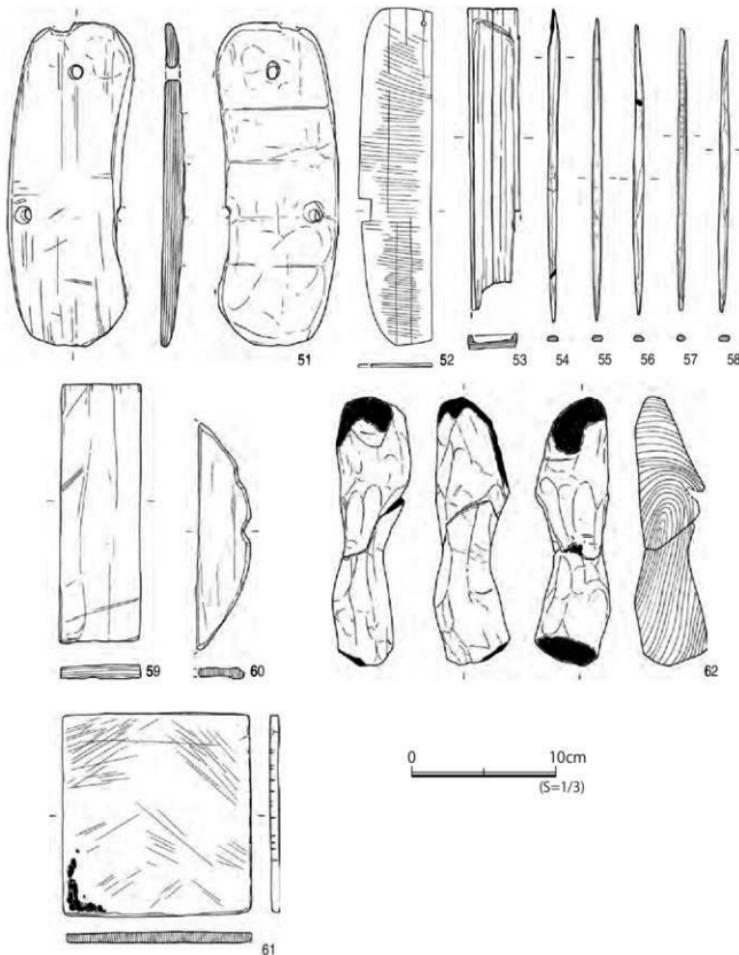


図 31 第4面構成土出土遺物 6

第4a面遺構外出土遺物（図32）

1～4は大型かわらけ、5は中型かわらけ、6～15は小型かわらけ、16は常滑片口鉢II類、17は瀬戸鉢皿、18は観、19は砥石仕上砥。

木製品：20は曲物、21～26は管状木製品、27は串状木製品。

第4a面構成土（図33～36）

4a面より5面検出までの間の堆積より出土した遺物。1～5は大型かわらけ、6～8は中型かわらけ、

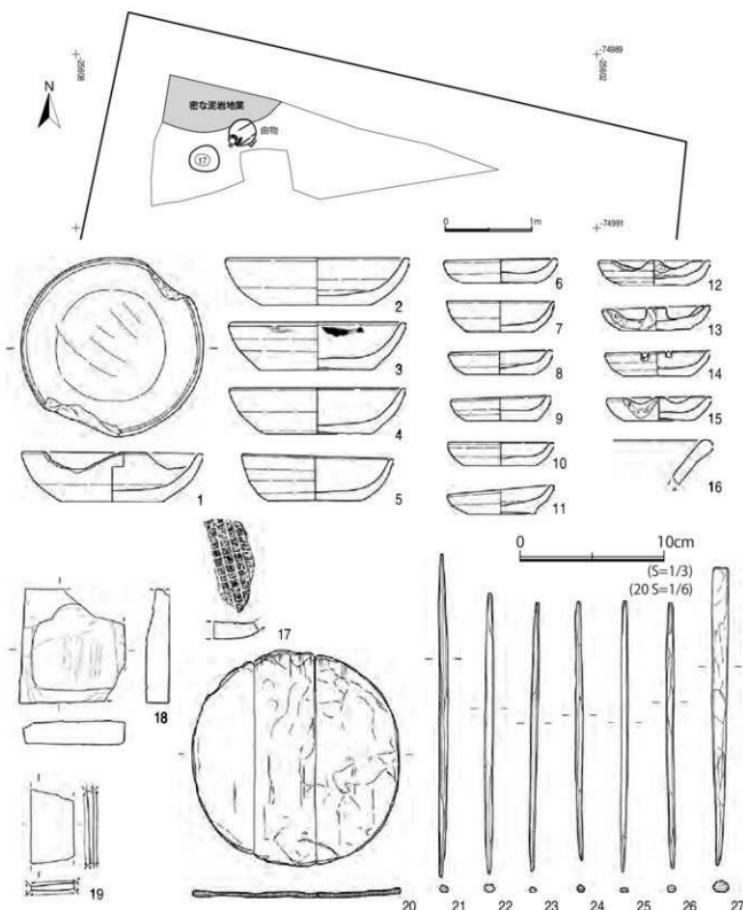


図32 第4a面全測図 (S=1/50) および遺構外出土遺物

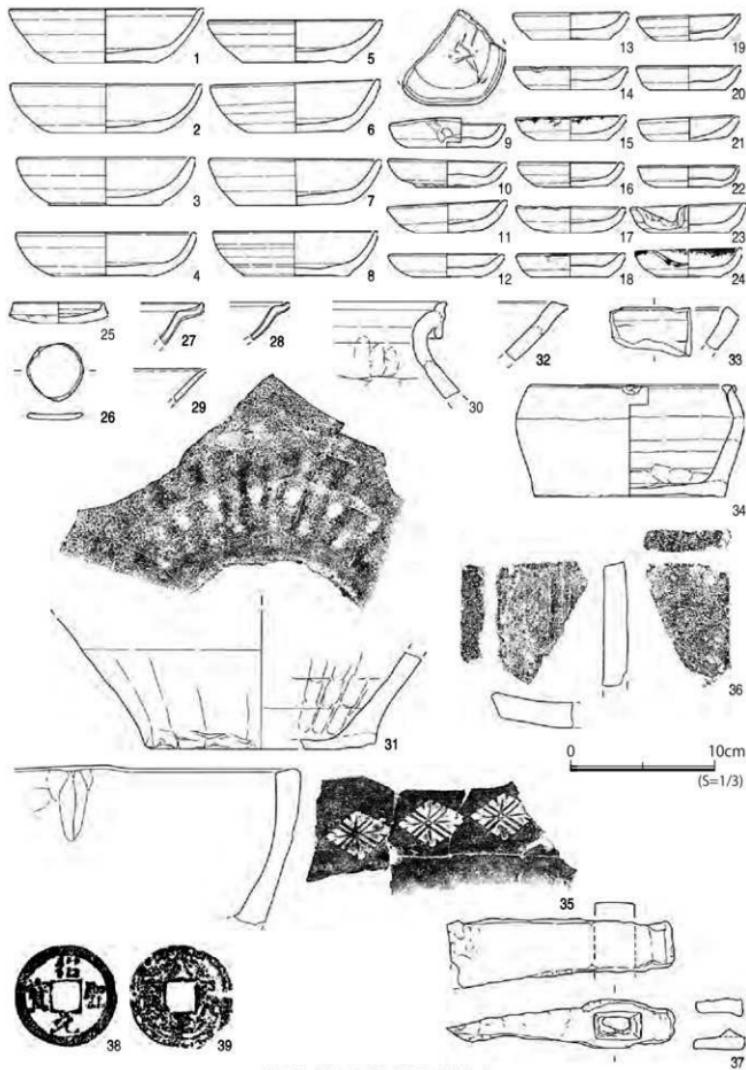


図 33 第 4a 面構成土出土遺物 1

9～24は小型かわらけ、25は小型の手づくねかわらけ、26はかわらけ転用円盤状土製品、27～28は青磁折縁皿、29は白磁口元皿、30～31は常滑甌、32は常滑片口鉢II類、33は常滑片口、34は常滑片口碗、35は瓦器質輪花型火鉢、36は平瓦、37は斧、38～39は銅錢。

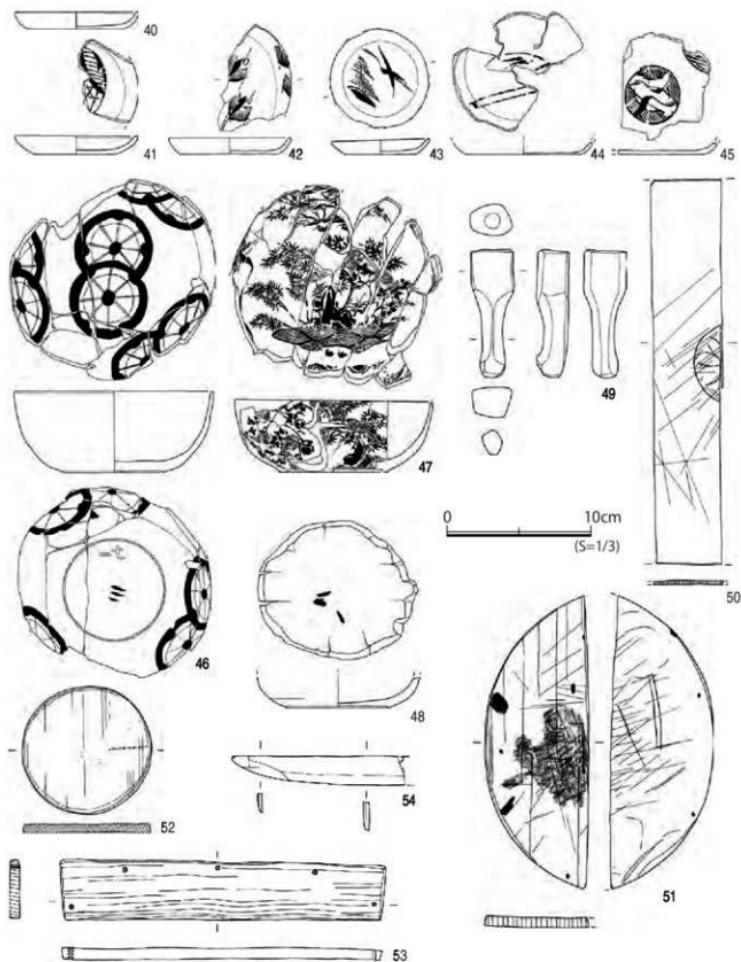


図34 第4a面構成土出土遺物2

漆器：40～44は皿、45は器種不明、46～48は椀、49は膳の脚。

木製品：50は板折敷、51～52は曲物、53は箱部材、54は形代、55～65は箸状木製品、66～67は串状木製品、68～72は用途不明。

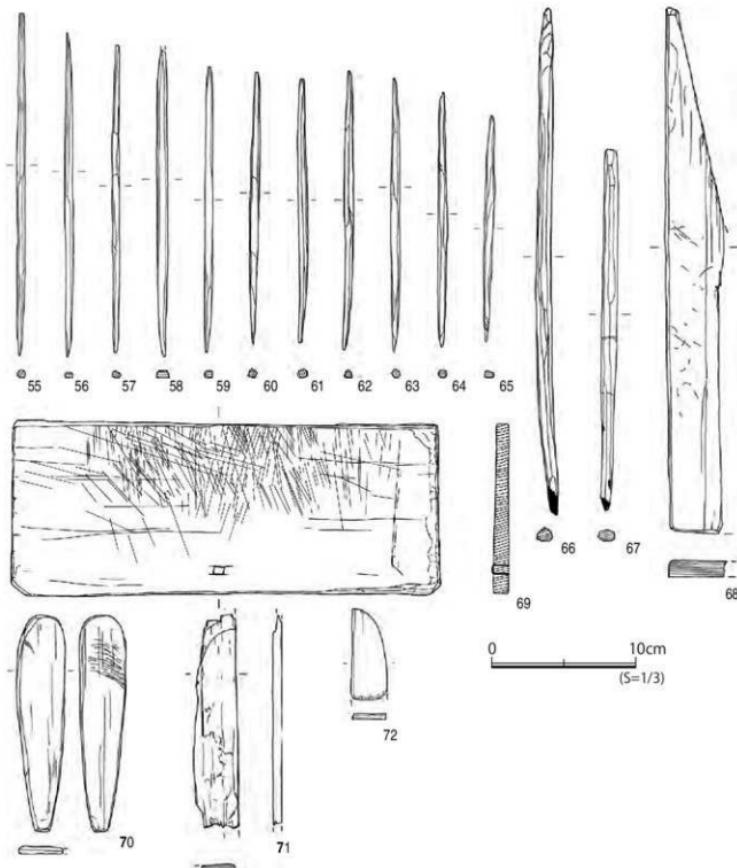


図35 第4a面構成土出土遺物3

## 第5節 第5面の遺構・遺物

第5面は地表下1.3～1.45m、およそ海拔9.0～9.2mで検出した。第4面の大型泥岩塊を取り去った下の面であり、中央部は大型の泥岩塊を敷き詰めており、その北側には杭と縦板による板列が南西～東南方向に調査区を横切って検出され、東側ではそれに直行する板列を後に検出した。また東側壁際からは板組による圓炉裏も検出されたため、板壁獨立柱建物であると推定した。板壁列は東西列も南北列も調査範囲外にさらに伸びているようであり、全体の規模などは検出しえなかった。板および杭は上端

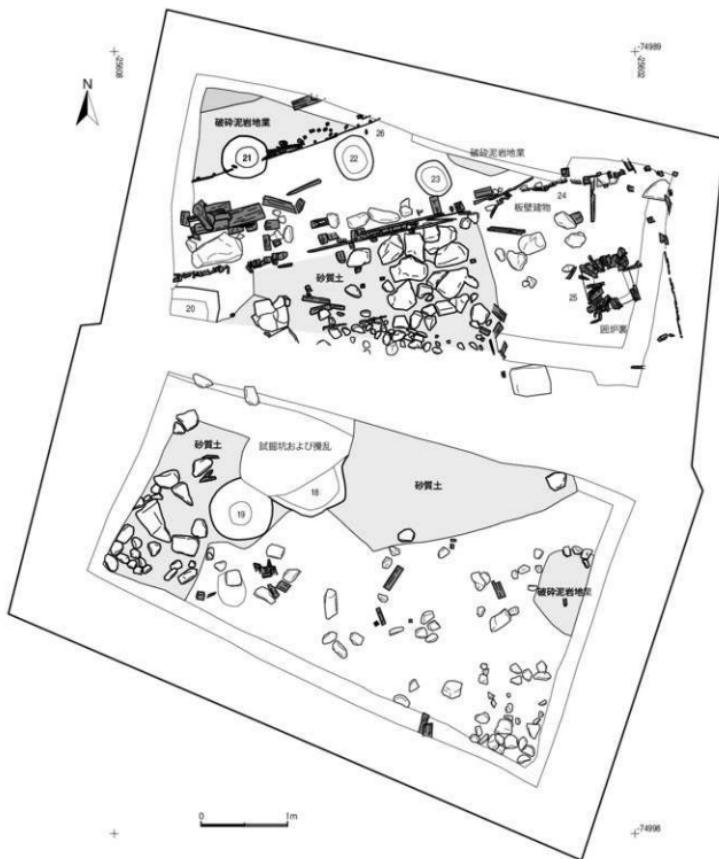


図36 第5面全測図 (S=1/50)

が被熱により炭化している。

南側（1区）では杭などがいくつか見られるものの明確な構造を示さず、大型泥岩塊も多いが散乱しており、ごく一部に破碎泥岩による地業面が見られる程度である。ほかにはピットが少数検出されている。

遺構は板壁竪穴建物1基、圓炉裏1基、ピット3穴、土坑3基、横板列1条を検出した。掘立柱建物址のプランなどは不明瞭である。

地業下の暗褐色土は木製品などの遺物を多く混入している。遺物は、かわらけ、白かわらけ、青磁・白磁・青白磁、舶載陶器、常滑・瀬戸・土製品、瓦質製品、銅錢、金属製品、石製品、木製品、自然遺物が出土している。

遺構	色 覆土	レ ベル	最 大 深 度	レ ベル	底 面	遺構	色 覆土	レ ベル	最 大 深 度	レ ベル	底 面	遺構	色 覆土	レ ベル	最 大 深 度	レ ベル	底 面	
18	暗褐色	0.08	0.7	8.86		20	黒褐色	9.18	-	8.97		22	暗褐色	8.98	0.5	8.9		
19	青灰色	8.83	0.73	8.58		21	黒褐色	9.04	0.53	8.66		23	暗褐色	8.92	0.4	8.73		

#### ピット

##### 遺構21（図36、37）

円形を呈するピット。覆土は黒褐色有機物腐植土で締まり弱い。木片を多く含む。図示可能な遺物は出土せず。

##### 遺構22（図36、37）

楕円形を呈するピット。覆土は暗褐色砂質土で締まり弱い。木器混じる。出土遺物（図38）：17～19は小型かわらけ。

##### 遺構23（図36、37）

楕円形を呈するピット。覆土は暗褐色砂質土。締まり弱く、木器混じる。図示可能な遺物は出土せず。

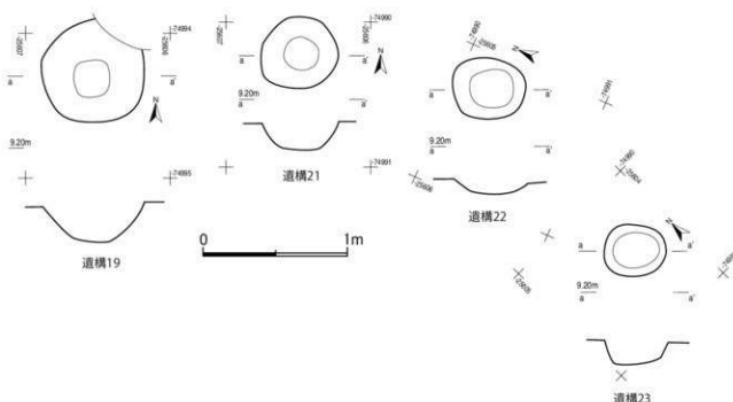


図37 第5面遺構図 (S=1/30)

土坑

遺構 18 (図 36)

隅丸方形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱い。泥岩と炭化物少量、かわらけ、木器などを含む。出土遺物 (図 38) : 1 は常滑片口鉢 1 類、2 は銅錢、3 は漆器皿、4 は籠状木製品、5 は下駄、6 ~ 8 は箸状木製品。

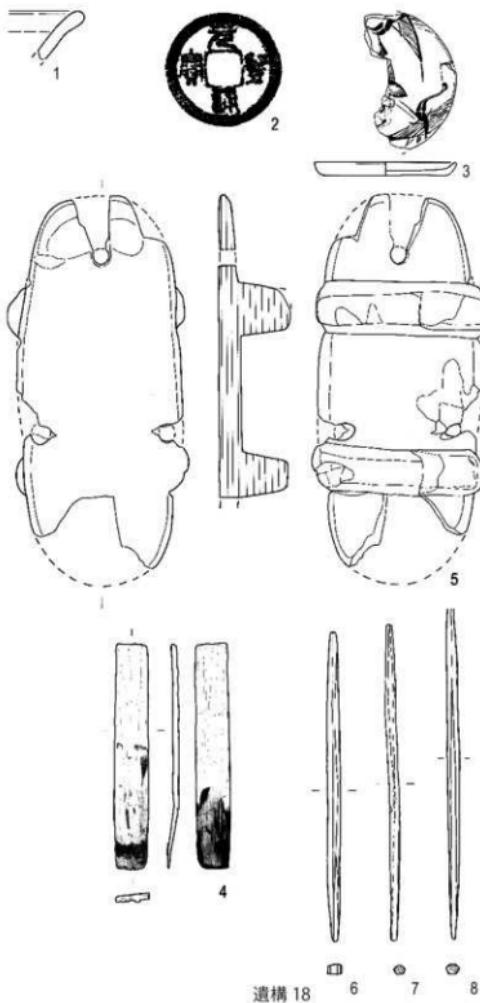
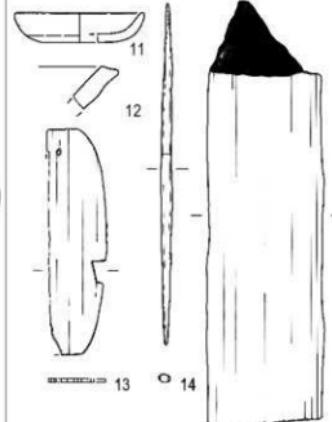


図 38 第 5 面遺構および遺構外出土遺物



遺構 19



遺構 20



遺構 22



#### 遺構 19（図 36、37）

円形を呈する土坑。覆土は青灰色砂質土で締まりややあり。出土遺物（図 38）：10 は中型かわらけ、11 は小型かわらけ。

#### 遺構 20（図 36）

隅丸方形を呈する土坑。覆土は黒褐色粘質土で締まり弱く、炭化物やや多い。かわらけ片、木器を多く含む。出土遺物（図 38）：12 は小型かわらけ、13 は常滑片口鉢 II 類、14 は草履芯、15 は箸状木製品、16 は用途不明の板材。

#### 板壁建物

##### 遺構 24（図 36、39）

調査区北側において検出。東北－西南方向約 75 度で板列が延びる。西南側はさらに調査区外に継続していることが壁面セクションでも確認された。北側壁の東西辺の検出した長さは約 5.6 m である。それに直交する形で南北方向の板列が確認された。東側壁の南北辺の検出した長さは約 2.1 m であり、方向は約 165 度である。この板列もさらに調査区外に継続していると考えられる。調査区の南側では北側の板列に対応するような構造物が確認されておらず、南側の規模は不明である。北側壁は杭が数本みられ、中央付近は縦板を 2 枚の横板によって挟んで補強している構造が確認された。

壁材である縦板は基本的には長方形であるが、一部片辺をえぐり取ったような加工が見られるものも使用されている（図 43 : 70 ~ 図 45 : 80）。東側壁の部材も同様である。杭を埋めるピットや縦板は明確には検出できなかったが、調査区北側壁面のセクションからは杭の下には縦板を据えていたことが想定される。

杭も板も上部は基本的に全て炭化しており、火災によって消失したことが考えられる。上述のように東側の壁はセクションの観察から板列が同じ箇所に 2 段に重なって構築されており、それぞれ上部が炭化していることから、異なる時期の板列と判断した。上部の板列は第 4 面の板壁建物、下部の板列が第 5 面の板壁建物と考えられる。このような重なりは北壁では確認されていないため、第 4 面と第 5 面では一部壁の位置が重複しているものの、建物の位置自体はずれていると判断した。

北壁の西北約 1.1 m には併行して横板を細かな杭で補強して並べた板列（遺構 26）が検出され、その北側は細かく破砕した泥岩地業となる。北壁の南側では焼却裏（遺構 25）が検出されたため、南側が板壁建物の室内と推定される。北壁と東壁で囲まれた範囲は砂質土が充填され、その範囲は大型の泥岩塊を多数平らに敷き詰めたような構造となっている。砂質土は板に併行する角度で南側で消失しており、その南側は塊状の泥岩が散乱するような状況で板や杭も見られるが、明確な構造をなすような状況では検出されていない。

板の北側は暗褐色土の下に大型の泥岩が敷かれていた。その上には多数の板材が置かれたような状態で検出された。一部が炭化しているものが多いが、全体が炭化しているものはない。

##### 遺構 25（図 36、39）

調査区北側において検出。一辺 40cm 程度の平面方形の掘り込みで、縦板を 4 壁に斜めに差し込んでぐらせる構造で焼却裏である。東側の壁板はほとんど残っていなかったが、他の 3 面の壁板は良好にのこっていた。壁板はいずれも上端が炭化しており、板壁建物と同様に火災で焼失したことが考えられる。内部には砂質土が台形を呈するような状態で充填されており、中央には灰がたまつた状態であった。

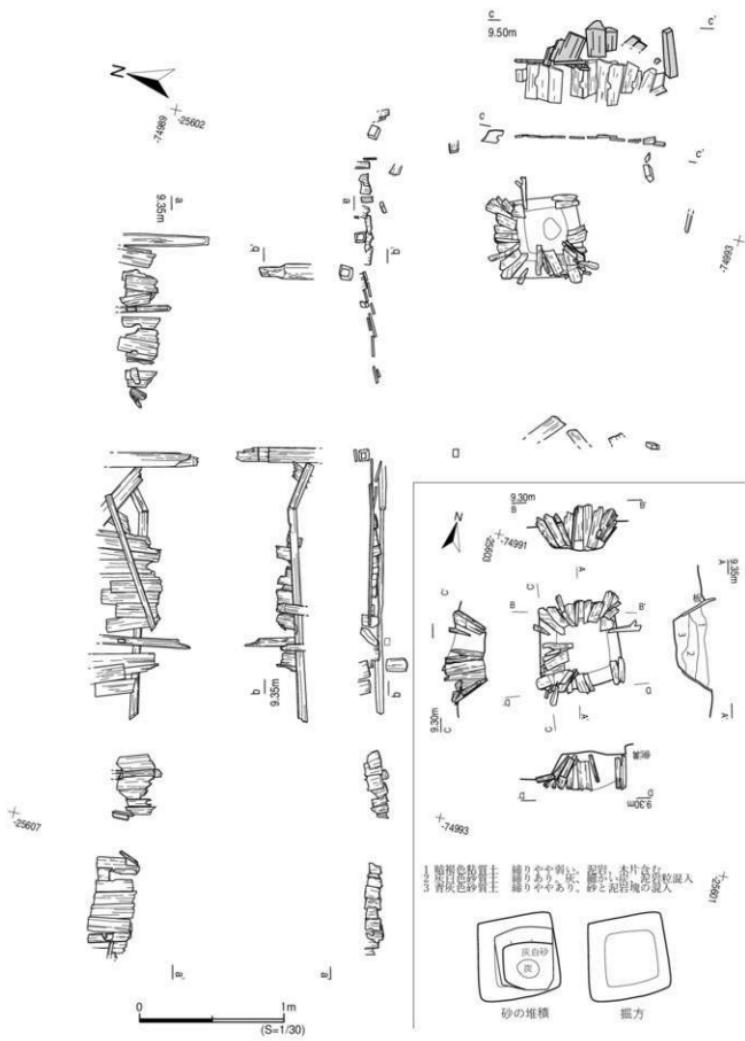


図39 第5面板壁建物 (S=1/30)

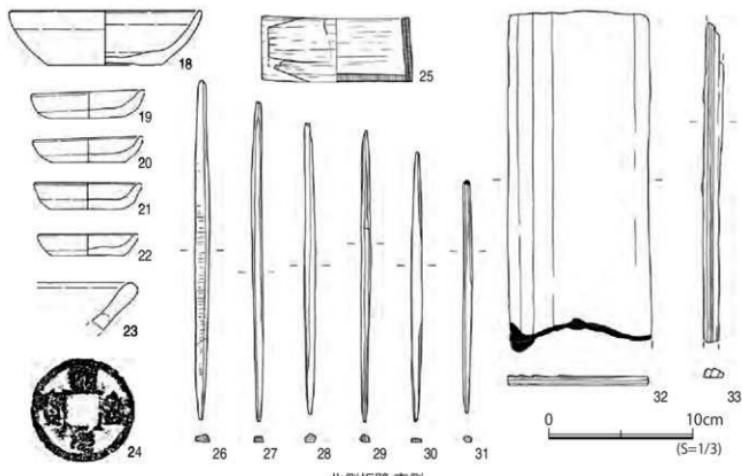
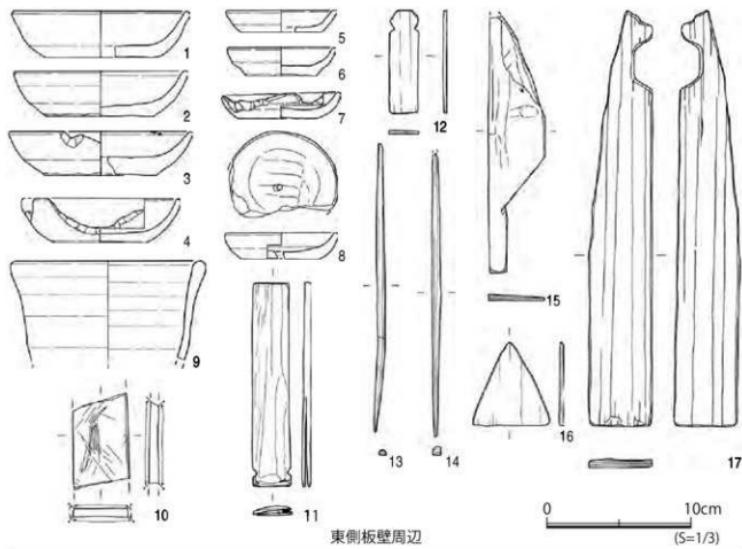


図40 第5面板壁建物周辺出土遺物 1

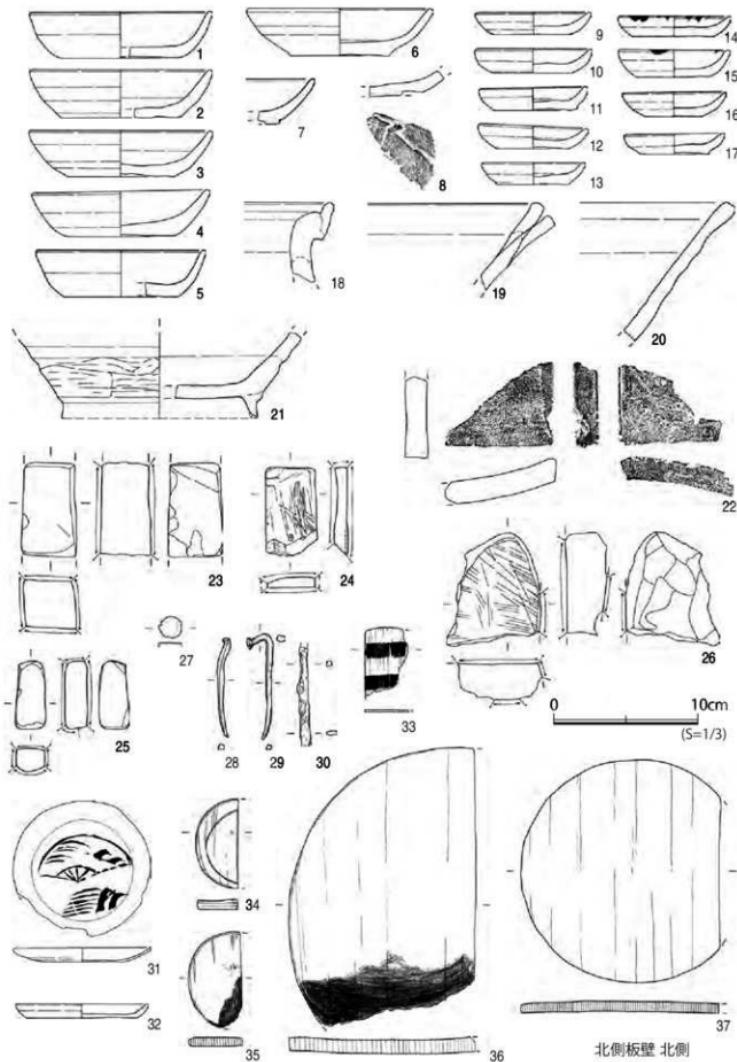


图 41 第 5 面板壁建物周辺出土遺物 2

この圓柱裏は板壁建物の室内に構築されたと考えられる。

板壁列の周辺から出土した遺物

東側の板列周辺より出土した遺物（図40）

1～3は大型かわらけ、4は中型かわらけ、5～8は小型かわらけ、9は不明土製品、10は砾石で仕上砥。

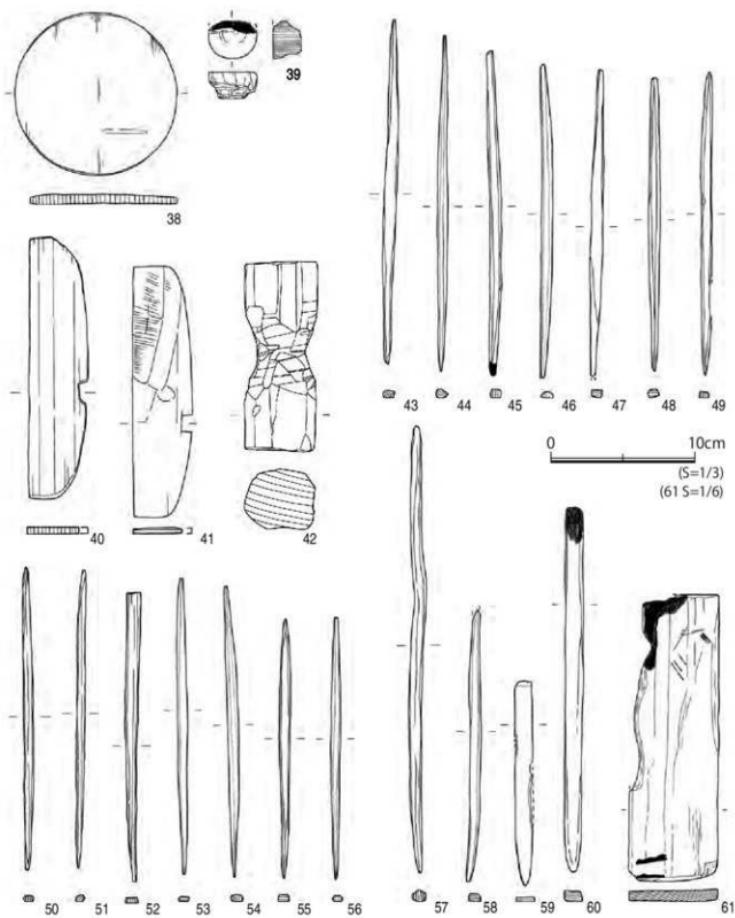


図42 第5面板壁建物周辺出土遺物3

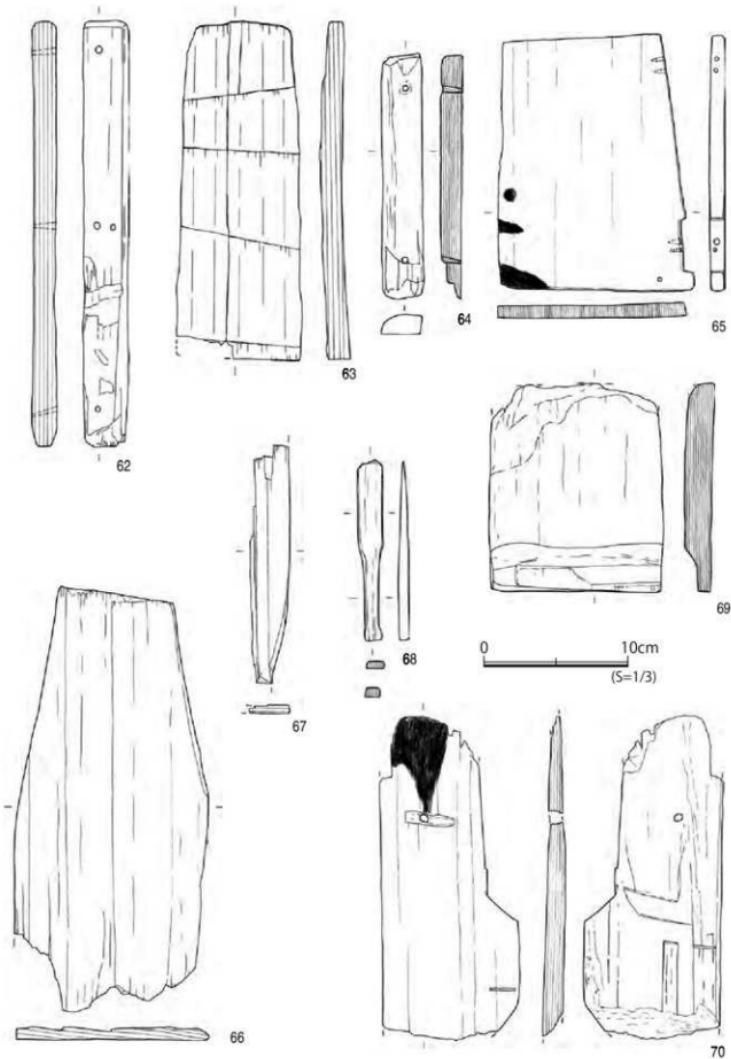


图 43 第 5 面板壁建物周辺出土遺物 4

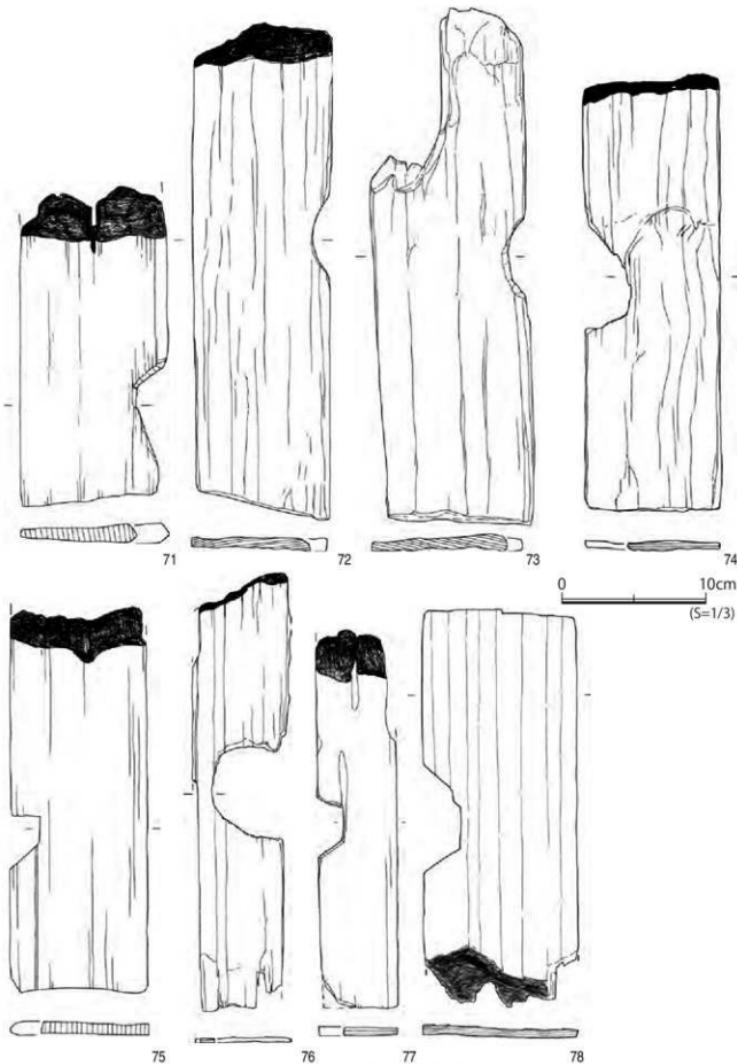
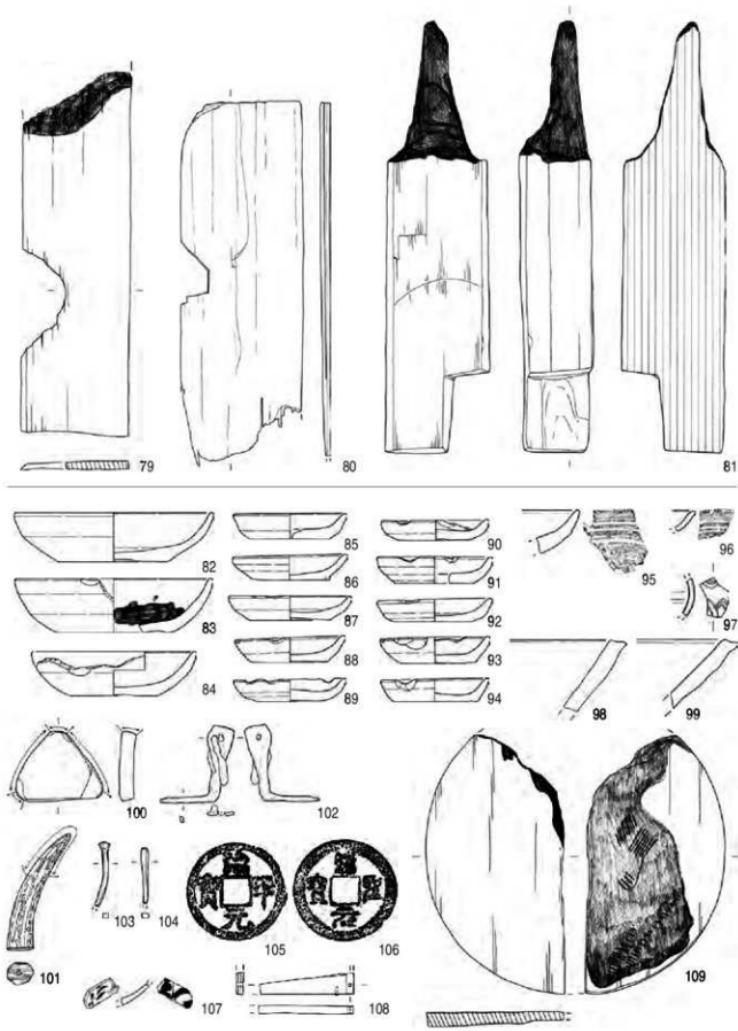


图 44 第 5 面板壁建物周辺出土遺物 5



団炉裏周辺

図45 第5面板壁建物周辺および団炉裏周辺出土遺物

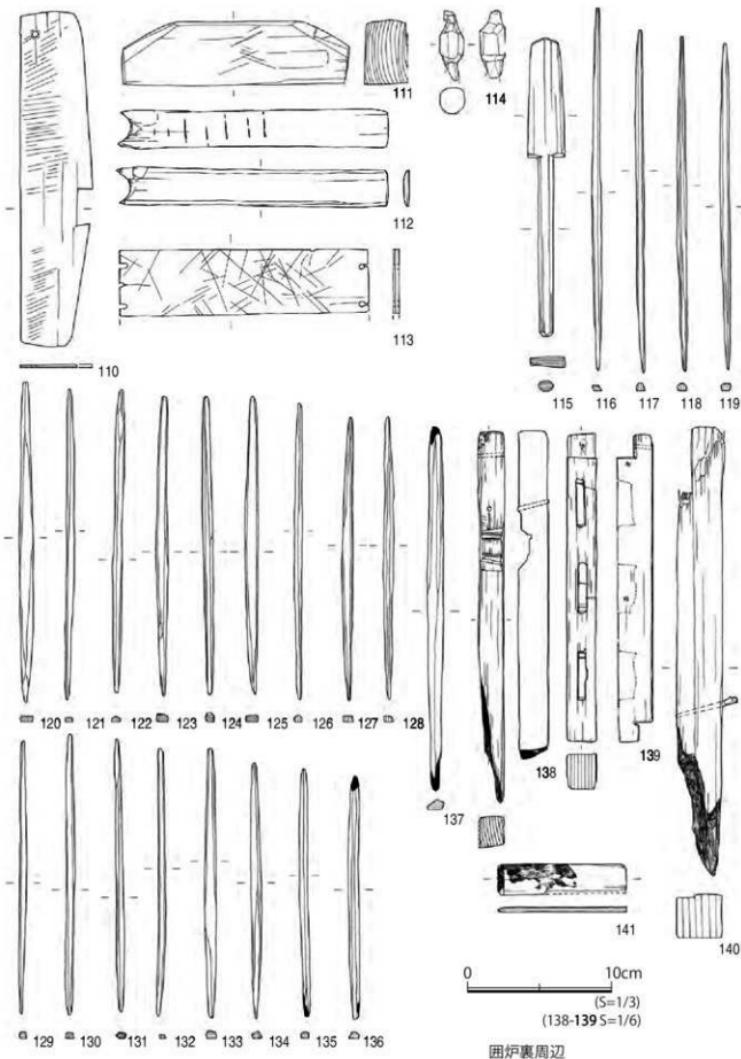
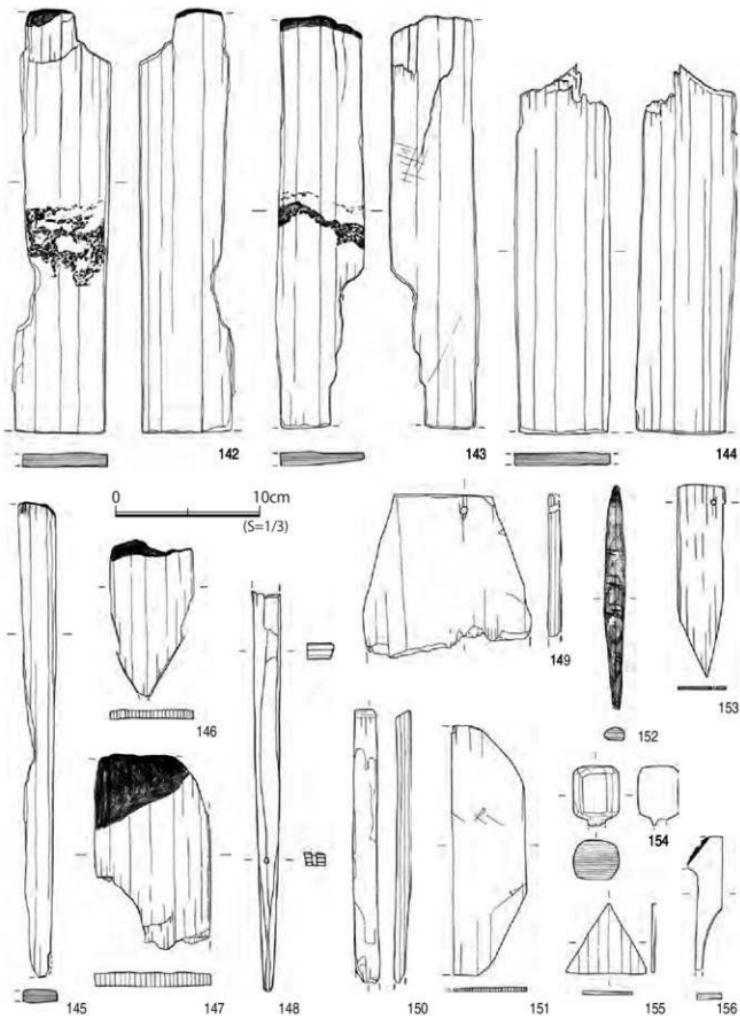


図46 第5面囲炉裏周辺出土遺物 1



囲炉裏周辺

図47 第5面囲炉裏周辺出土遺物 2

木製品：11は刷毛、12は荷札、13～14は箸状木製品、15～17は用途不明。

#### 北側板壁南側周辺（図40）

18は大型かわらけ、19～22は小型かわらけ、23は常滑片口鉢II類、24は銅鏡。

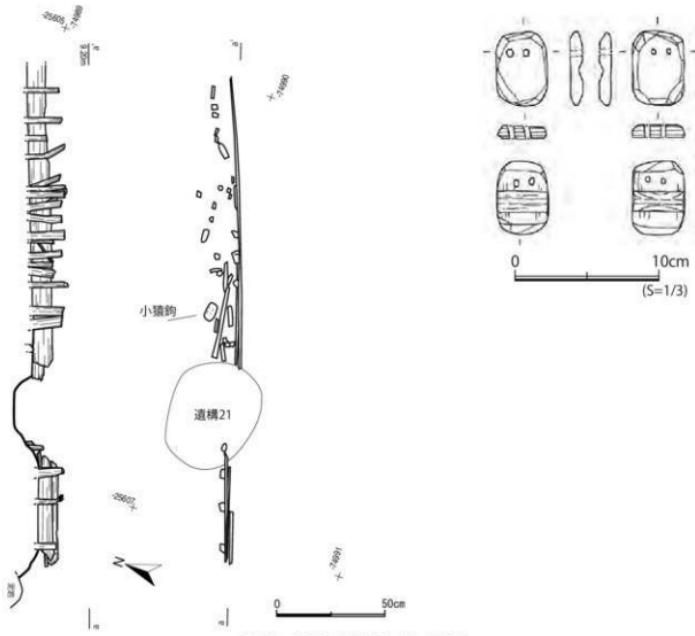
木製品：25は曲物、26～31は箸状木製品、32は板状製品、33は用途不明。

#### 北側板壁北側周辺（図41～45）

1～8は大型かわらけ、9～17は小型かわらけ、18は常滑甌、19～21は常滑片口鉢I類、22は平瓦、23は砥石中砥、24は砥石仕上砥、25は凝灰岩用途不明磨製品、26は粘板岩用途不明品、27は銅製品で釘隠か。28～29は鉄釘、30は鉄釘か。

漆器：31～32は皿。33は用途不明品。

木製品：34～38は曲物、39は栓、40～41は草履芯、42は木錘、43～56は箸状木製品、57～60は串状木製品、61～62は建材、63～70は用途不明、71～79は板壁紙板、80は用途不明、81は板壁柱材。



囲炉裏周辺（図 45～47）

82～84は大型かわらけ、85～94は小型かわらけ、95～96は大型かわらけの口縁部片、97は青磁壺か。98～99は常滑片口鉢II類、100は常滑転用磨製品、101は用途不明の加工骨、102は環状掛金具、103～104は鉄釘、105～106は銅錢。

漆器：107は椀、108は箱部材。

木製品：109は曲物、110は草履芯、111は手押木、112は刀子鞘、113は箱部材、114は形代、115は用途不明、116～136は箸状木製品、137は串状木製品、138～140は建築材、141は部材、142～147は開炉裏の板、148～156は用途不明。

その他開炉裏の北側からは大量のスタジイを含む堅果類が検出されている。

遺構 26（図 36、48）

調査区西北部で検出。東北～西南方向約72度で板列が延びる。板壁建物の板列とほぼ併行している。検出した長さは2.3mであるが、さらに調査区外に続いているため全貌は不明。長い横板を場所によつては2枚重ね、小規模な杭によって補強している。杭は北側には多数みられるが、南側には見られない。

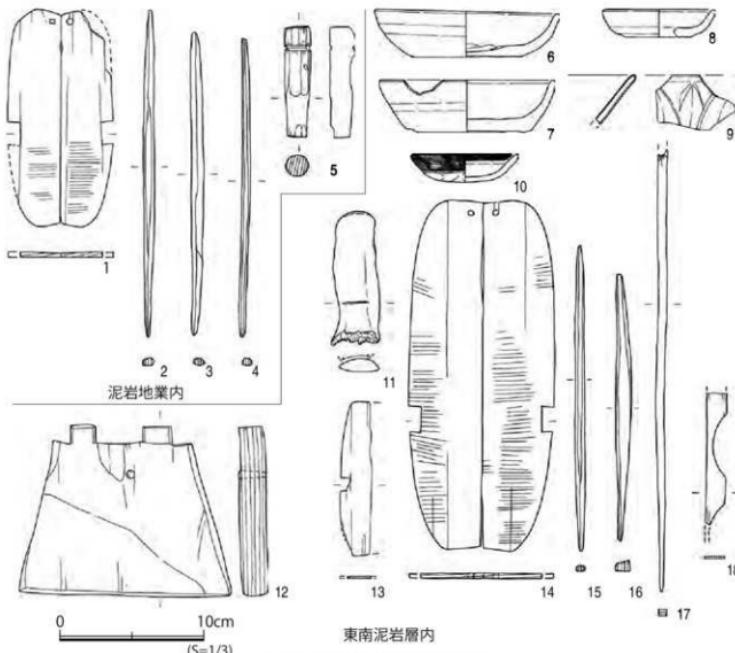


図 49 第5面構成土出土遺物 1

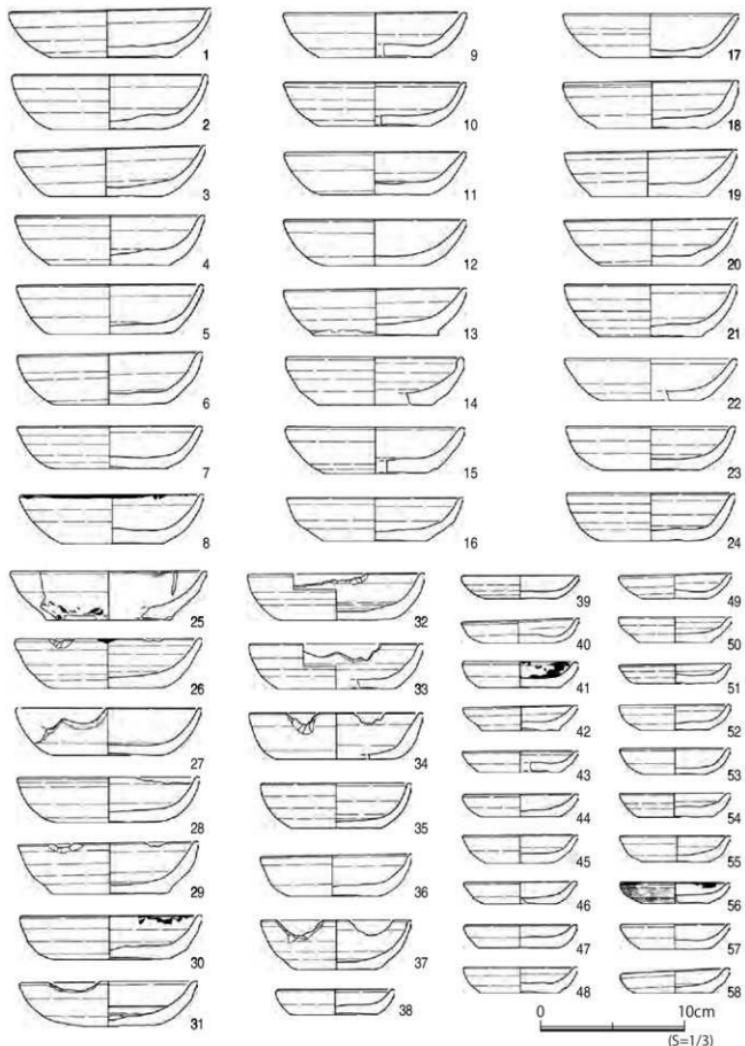


図 50 第 5 面構成土出土遺物 2

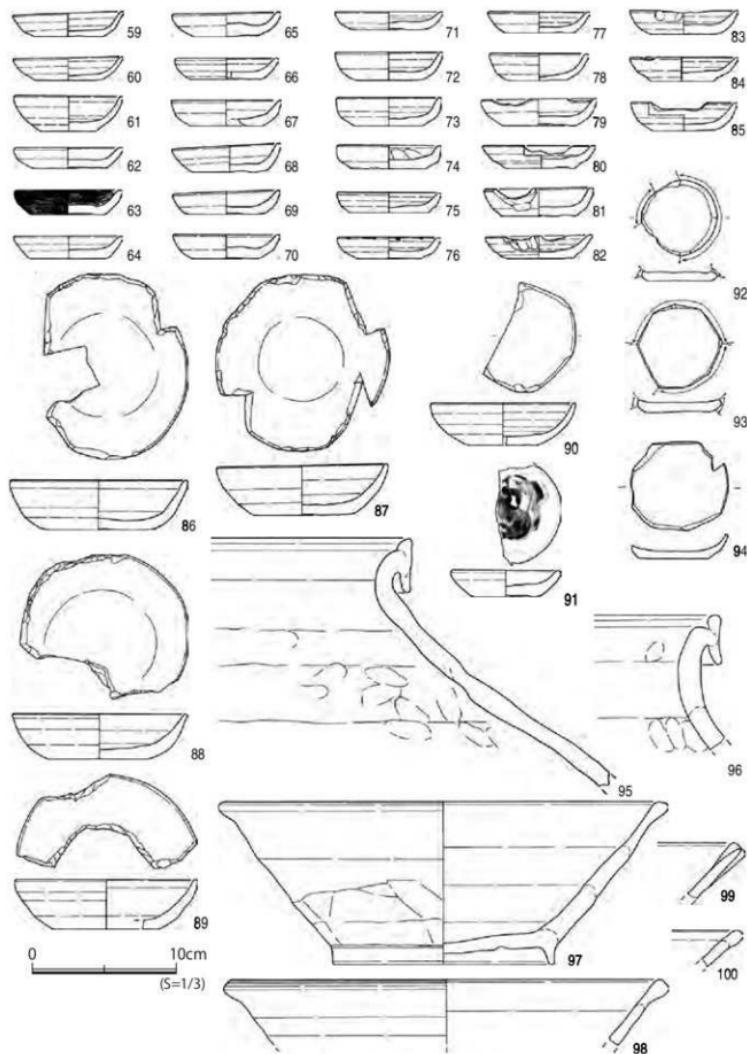


図51 第5面構成土出土遺物3

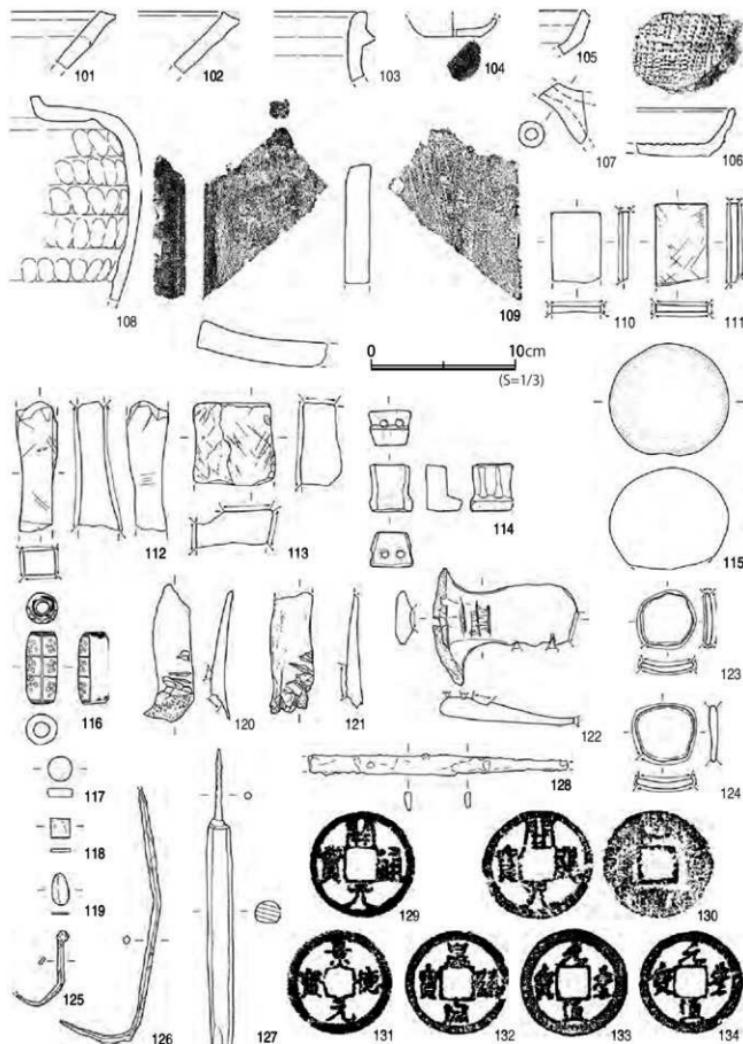


図52 第5面構成土出土遺物4

遺構 21 によって一部破壊されている。板の北側は破碎泥岩による地業、南側はそうした様相がなく、泥岩塊を多く投げ入れたような状態になっていた。地割の区画のための構造物かと考えられる。

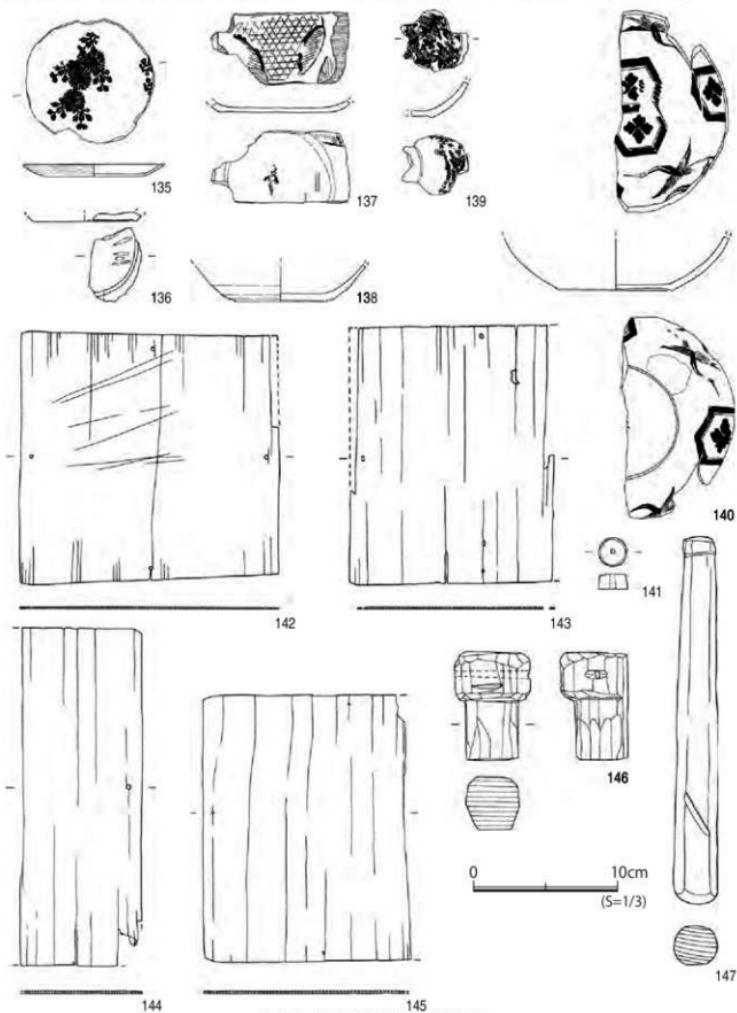


図 53 第 5 面構成土出土遺物 5

出土遺物(図48):1は2枚重なった状態で板列の直近から出土した。面取りをした方形の木製品であり、構造は2点ともほぼ同じ。上部に2点穿孔があり、片面の中央は溝状にえぐれている。自在鉤の小猿鉤か。

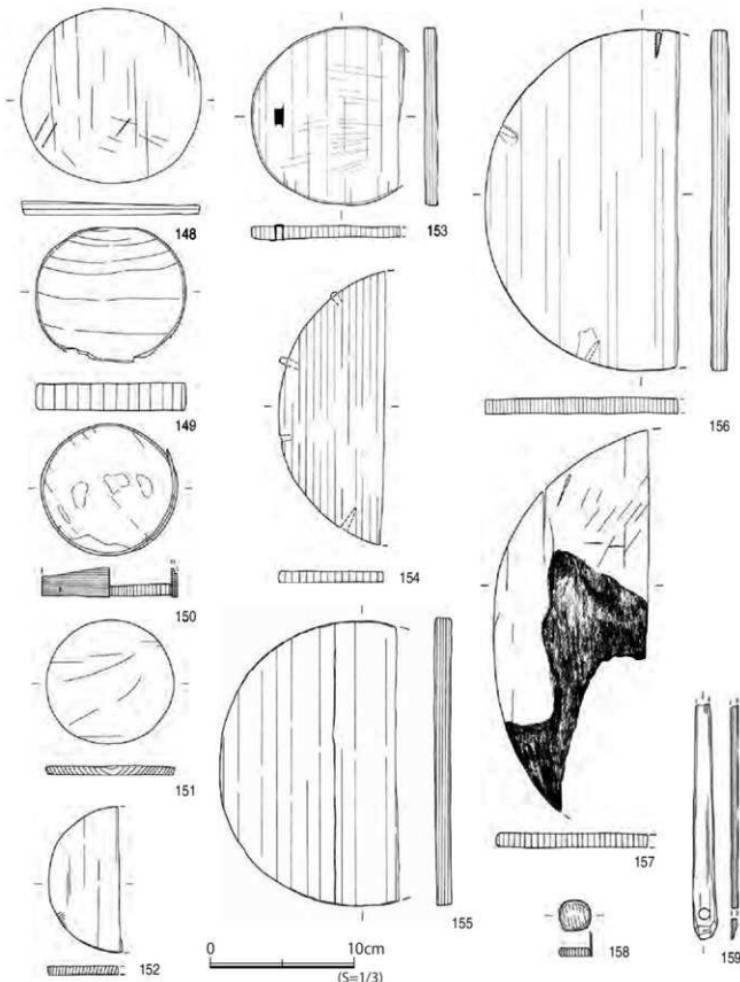


図54 第5面構成土出土遺物6

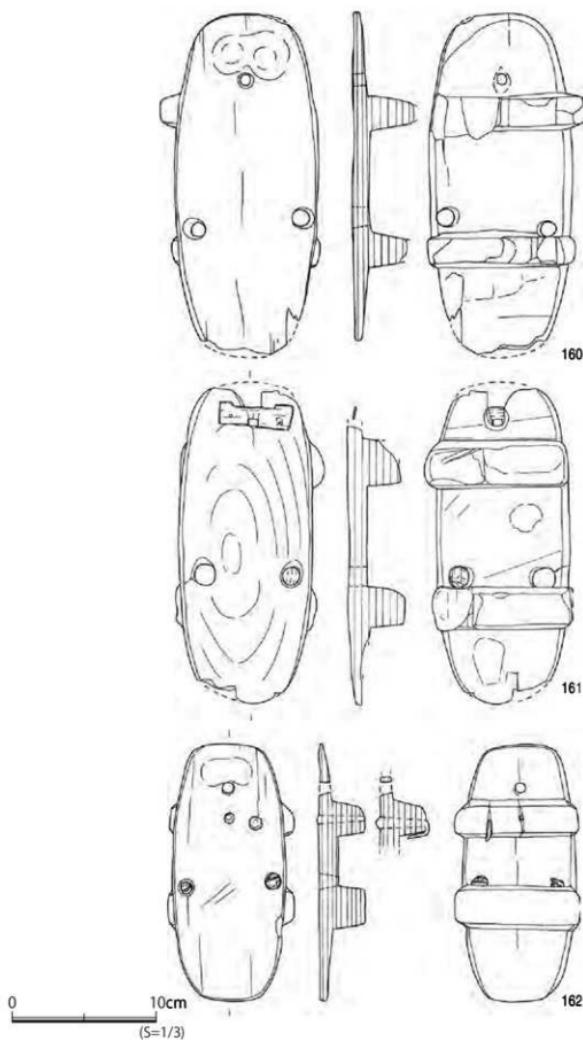


図55 第5面構成土出土遺物7

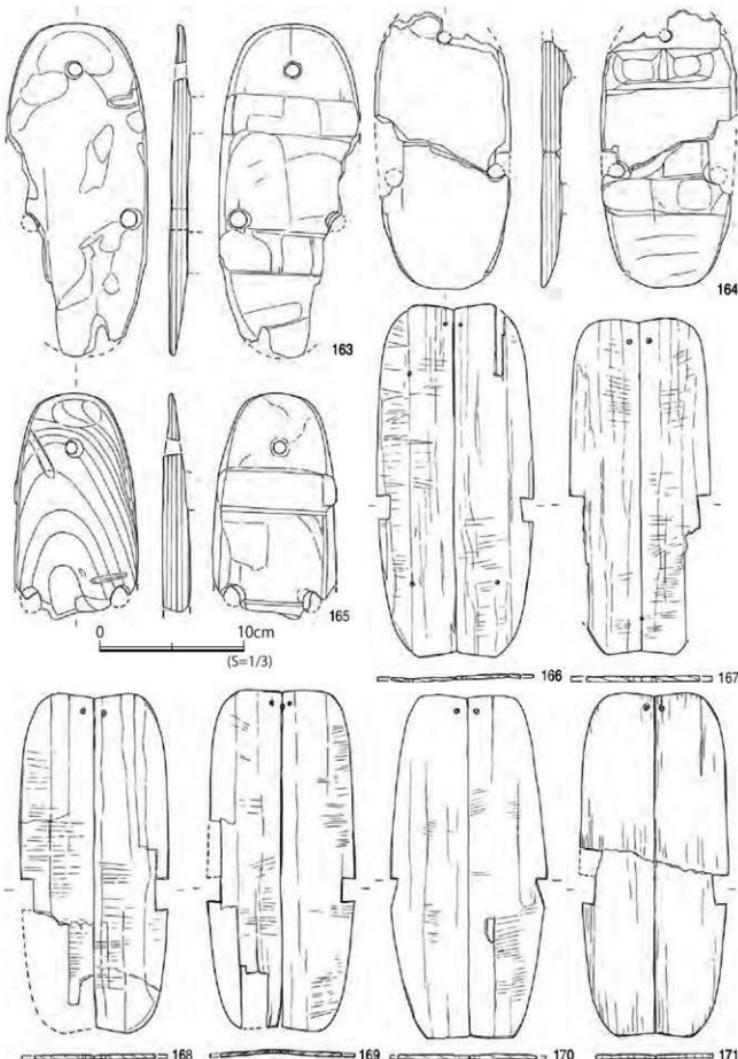


図 56 第 5 面構成土出土遺物 8

## 第5面構成土出土遺物

構成土については区域を分けて掲載する。

### 泥岩地業より出土した遺物（図49）

中央の泥岩層より出土。1は草履芯、2～4は箸状木製品、5は用途不明。

東南部泥岩層より出土。6～7は大型かわらけ、8は小型かわらけ、9は青磁鍋蓮弁文碗、10は瓦器質黒綠皿、11は用途不明加工骨。

木製品：12は下駄、13～14は草履芯、15～16は箸状木製品、17は串状木製品、18は用途不明。

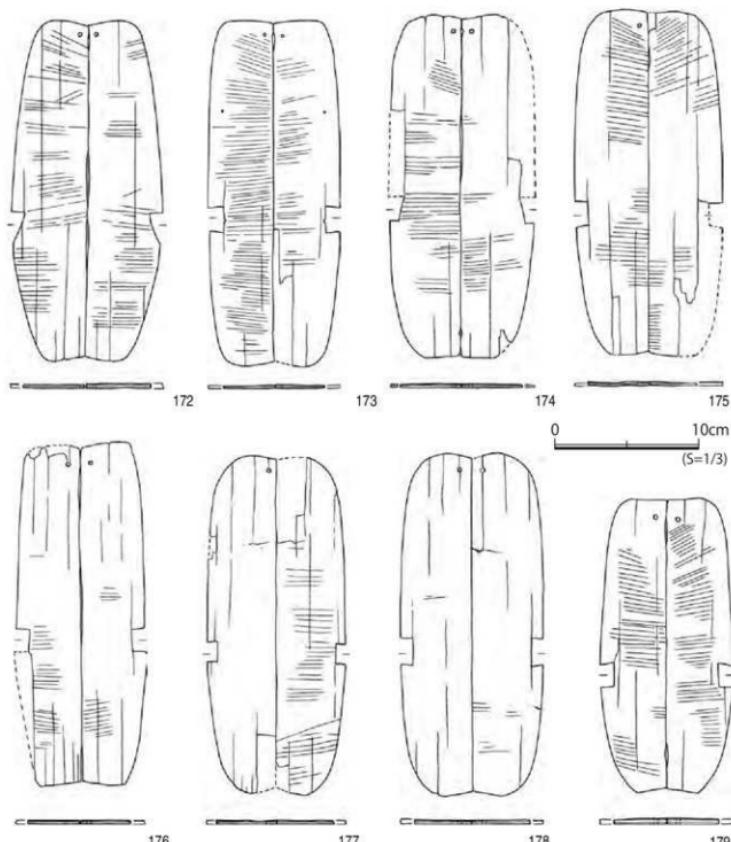


図57 第5面構成土出土遺物 9

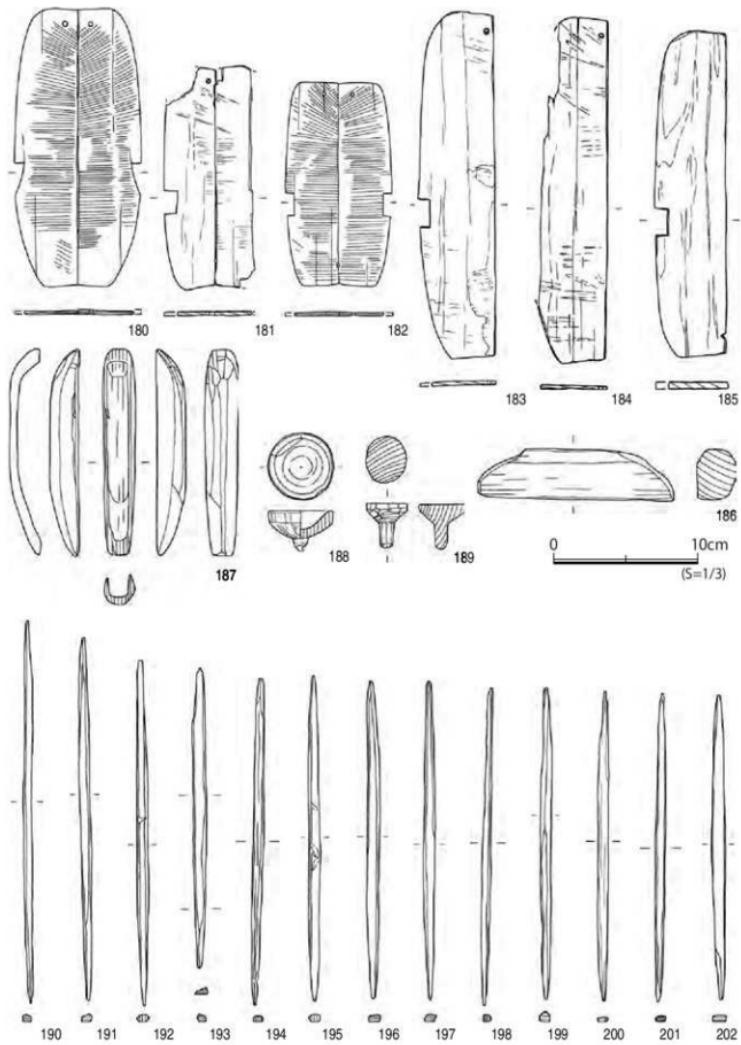


図 58 第 5 面構成土出土遺物 10

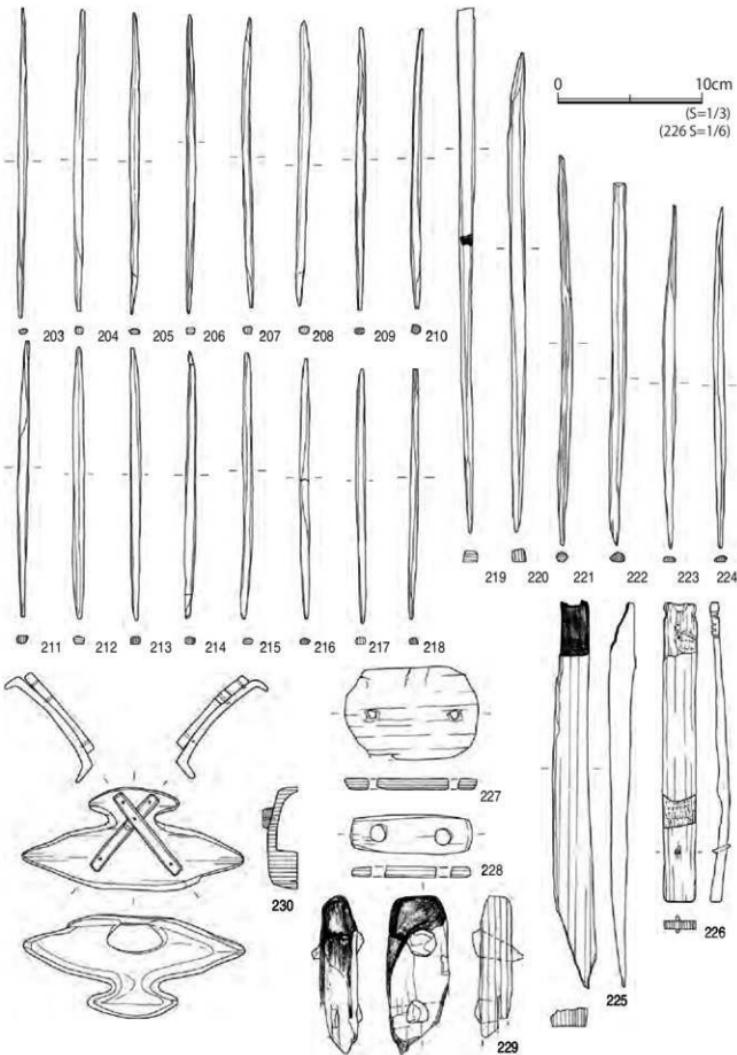


図 59 第5面構成土出土遺物 11

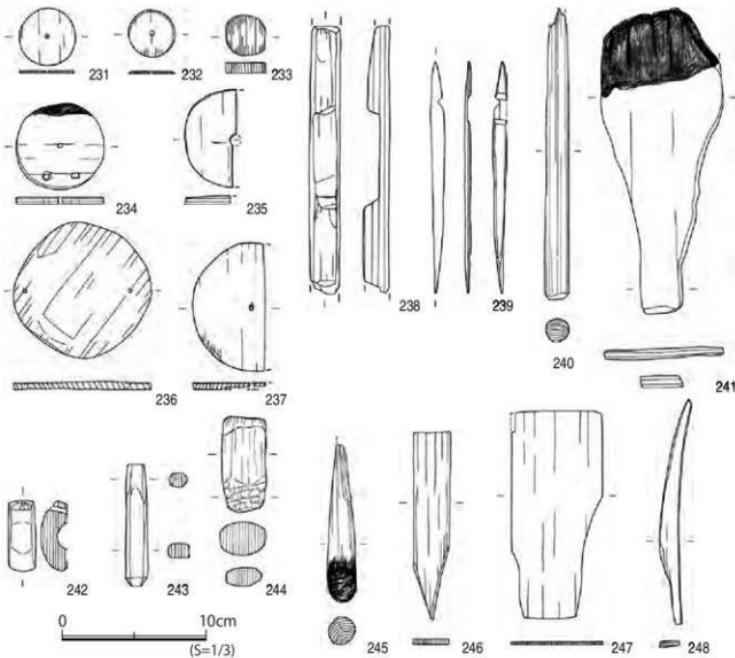


図 60 第 5 面構成土出土遺物 12

それ以外の構成土出土遺物（図 50 ~ 60）

5面から6面検出までの間の堆積より出土した遺物。

1 ~ 34 は大型かわらけ、35 ~ 37 は中型かわらけ、38 ~ 85 は小型かわらけ。86 ~ 91 は口縁部に打ち欠き痕が確認されるもの。86 ~ 89 は大型かわらけ、90 は中型かわらけ、91 は小型かわらけ。92 ~ 94 はかわらけ転用品。

95 ~ 96 は常滑甌、97 ~ 100 は常滑片口鉢 I 類、101 ~ 102 は常滑片口鉢 II 類、103 は常滑壺、104 は瀬戸入子、105 ~ 106 は瀬戸卸皿、107 は瀬戸水注、108 は瀬戸四耳壺、109 は平瓦、110 ~ 111 は砥石仕上砥、112 ~ 113 は砥石中砥、114 は滑石鍋転用未製品、115 は輝緑凝灰岩。

116 は鞍の管、117 は双穴の駒、118 ~ 122 は用途不明加工骨、123 ~ 124 は貝製品で用途不明。

125 は鉄釘、126 は鉄製品で器種不明、127 は錐、128 は刀子、129 ~ 134 は銅錢。

漆器：135 ~ 136 は皿、137 ~ 140 は椀、141 は用途不明。

木製品：142 ~ 145 は絹木折敷、146 は栓、147 は擂粉木、148 ~ 158 は曲物、159 は扇、160 ~ 165 は下駄、166 ~ 185 は草履芯、186 は手押木、187 は形代、188 ~ 189 は独楽、190 ~ 218 は箸状木製品、219 ~ 224 は巾状木製品、225 は杭、226 は建築材、227 ~ 248 は用途不明。

なお漆が付着したと考えられるハマグリの貝殻が4枚検出された。漆バレットに使用したと考えられる（写真図版48）。

5面北側構成土の下層から出土した遺物（図61）

1は特大のかわらけ、2～5は大型かわらけ、6～20は小型かわらけ、21～22はかわらけ転用品、23は穿孔かわらけ、24は瀬戸戸鉢、25は砥石仕上紙、26は銅錢、27は漆器椀、28～32は箸状木製品、33～36は串状木製品、37は管、38～39は用途不明。

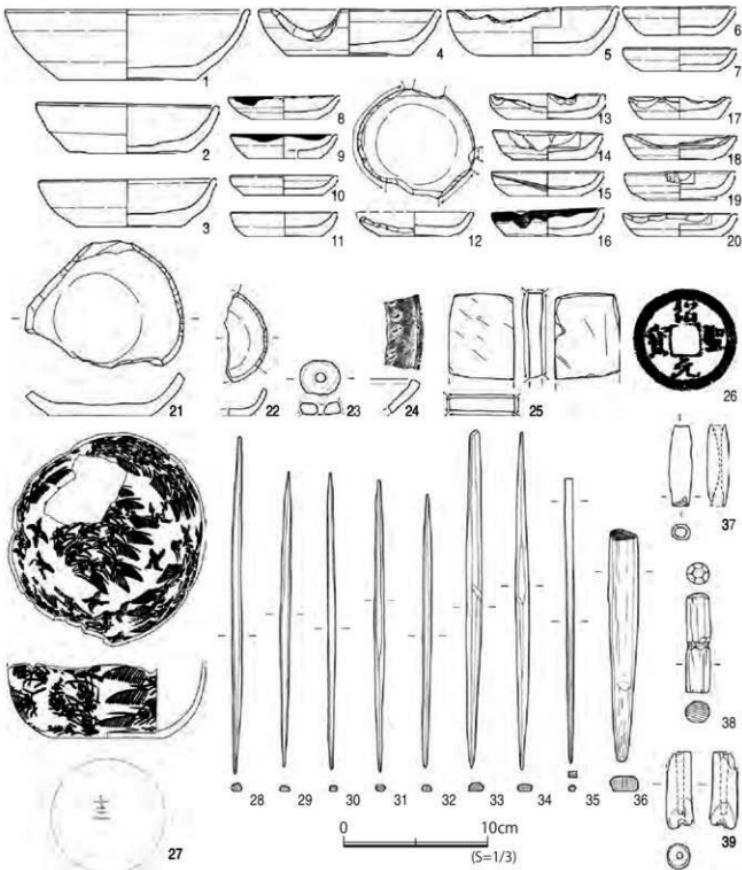


図61 第5面構成土出土遺物 13

## 第6節 第6面の遺構・遺物

第6面は地表下1.6～1.7m、およそ海拔8.8～8.97mで検出された。第5面の板壁および大型泥岩塊を取り去った下の面で暗褐色粘質土が基調となる。

北側（2区）では西北部には破碎した泥岩粒による地業面が見られる。その東南は大型の泥岩塊が敷き詰められた細長い区画がある。東側は比較的粗末な構造の横板による構造物が検出されたが、詳細は不明である。板の南側は泥岩塊、泥岩粒を混入した地業面となっている。南側（1区）では、全面的に破碎した泥岩粒によ

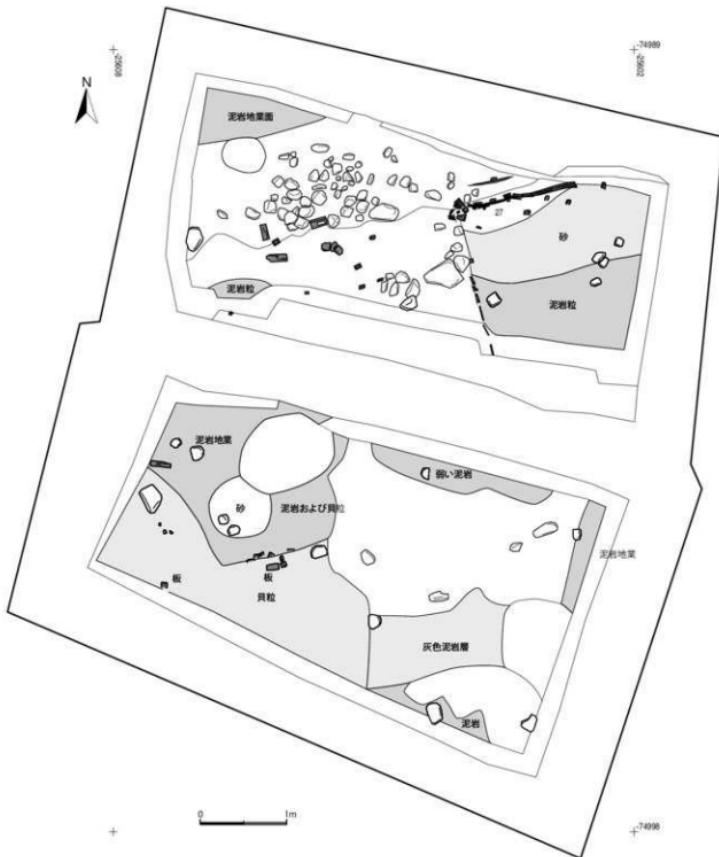


図62 第6面全測図 ( $S=1/50$ )

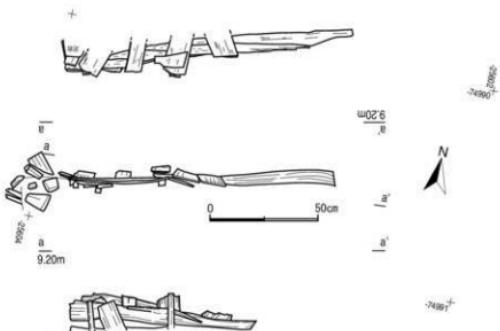


図 63 第6面遺構図 (S=1/20)

る地業面が広がるが、さほど強固ではなく泥岩が見られない箇所もある。西側では貝粒と細泥岩粒を多く混入した土による地業も確認されたが、範囲が狭い。その地業の境に縦板列がわずかに検出された。地割の区画かと考えられる。その他の遺構は不明。

特に南部の構成土は上面までと同様に木製品を含む遺物が多量に混入していた。遺物は、かわらけ・青磁・白磁・青白磁・舶載陶器・常滑・瀬戸・備前など国産陶器・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物が出土している。

#### 遺構 27 (図 62、63)

調査区東北部で検出された板組遺構。西南-東北方向へ 75 度で延びる。検出された長さは約 2.0 m。薄い横板を両側から縦板で挟むような構造となっているが、縦板は一部しか見られない。西の隅と考えられる部分には杭が見られた。この角から板列に直交する方向(約 161 度)で縦板が列状に検出された。この板で囲まれた区画は砂粒や泥岩粒を敷き詰めており地業の様相が異なっているため、区画のための構造物と考えられるが、詳細は不明。

#### 第6面遺構外出土遺物 (図 64)

1～4 は大型かわらけ、5～13 は小型かわらけ、14 は極小の手づくね内折れかわらけ、15 は常滑広口壺、16 は常滑片口鉢 II 類、17 は瀬戸入子、18～19 は鉄釘、20 は漆器蓋、21～27 は箸状木製品、28 は木鍤、29 は建築材、30 は用途不明。

#### 第6面構成土出土遺物

6 面の構成土も区域別に分ける。

#### 調査区北部の構成土出土遺物 (図 64)

31 は小型かわらけ、32 は白磁皿、33 は常滑片口鉢 I 類、34 は滑石鍋転用品、35 は漆器碗、36 は草履芯、37～41 は箸状木製品。

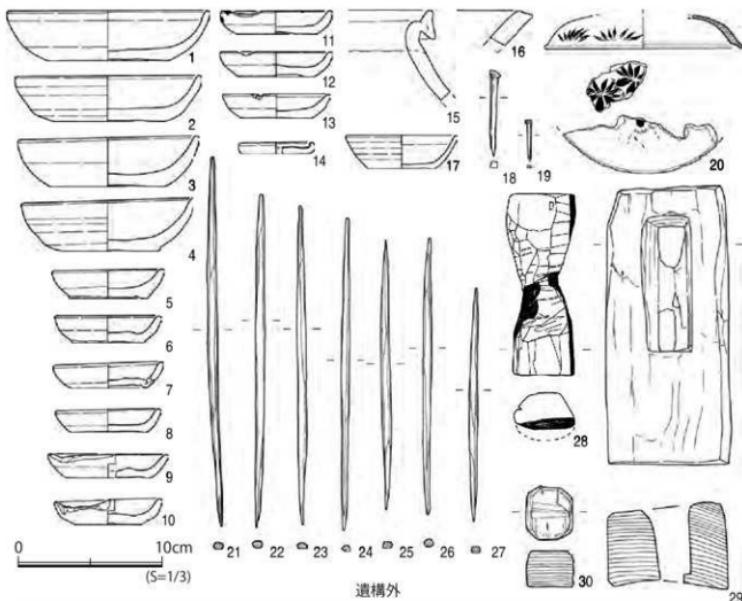


図 64 第 6 面遺構外および構成土出土遺物

調査区南部の構成土出土遺物（図 65～74）

1～34は大型かわらけ、35～39は中型かわらけ、40～110は小型かわらけ、64には内面に墨書が見られるが解説不明。111～115は極小かわらけ、116は大型かわらけで口縁大部分が打ち欠きされている。117～120はかわらけ転用品、121は青磁蓮弁文碗、122は青磁無文碗、123は青磁蓮弁文碗、124～126は白磁口元皿。

127～135は常滑壺、136は常滑広口壺、137は常滑壺、138～151は常滑片口鉢1類、152～154は常滑片口鉢II類、155～158は常滑山茶碗、159は尾張型山茶碗、160は瀬戸天目茶碗、161は備前摺鉢、162は瀬戸内系瓦器碗、163は瀬戸内系土師器碗、164は瓦質火鉢、165は平瓦。

166は台形硯転用品で文字のような刻書が見られるが判読不明。167～168は硯、169は砥石荒砥、170は砥石中砥、171～174は砥石仕上砥、175～176は滑石鍋転用の温石、177は銅製品で用途不明、178は火箸、179～185は鉄釘、186は笄、187は笄の再加工品、188～193は銅錢。

漆器（図 70～71）：194～202は皿、203～211は椀で、205は胴部と底部は同一個体だが、接合が困難なため個別に実測して掲載している。212～214は鉢、215は器種不明、216は櫛。

木製品（図 71～74）：217～218は板折敷、219～221は軽木折敷、222は蓋、223～224は曲物、225は杓子、226～229は下駄、230～233は草履芯、234～235は独楽、236～237は建具、238～258は箸状木製品、259～266は串状木製品、267は端材、268～271は用途不明。

また漆が付着したハマグリの貝殻が2枚出土。漆パレットに使用したと考えられる。

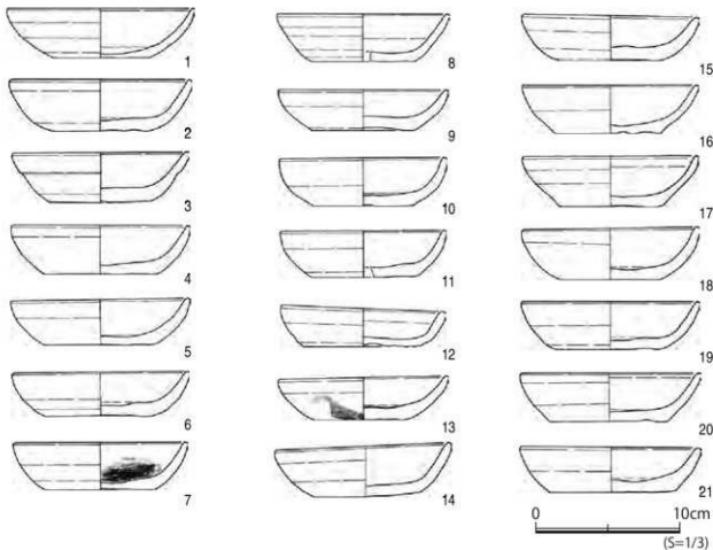


図 65 第6面構成土出土遺物 1

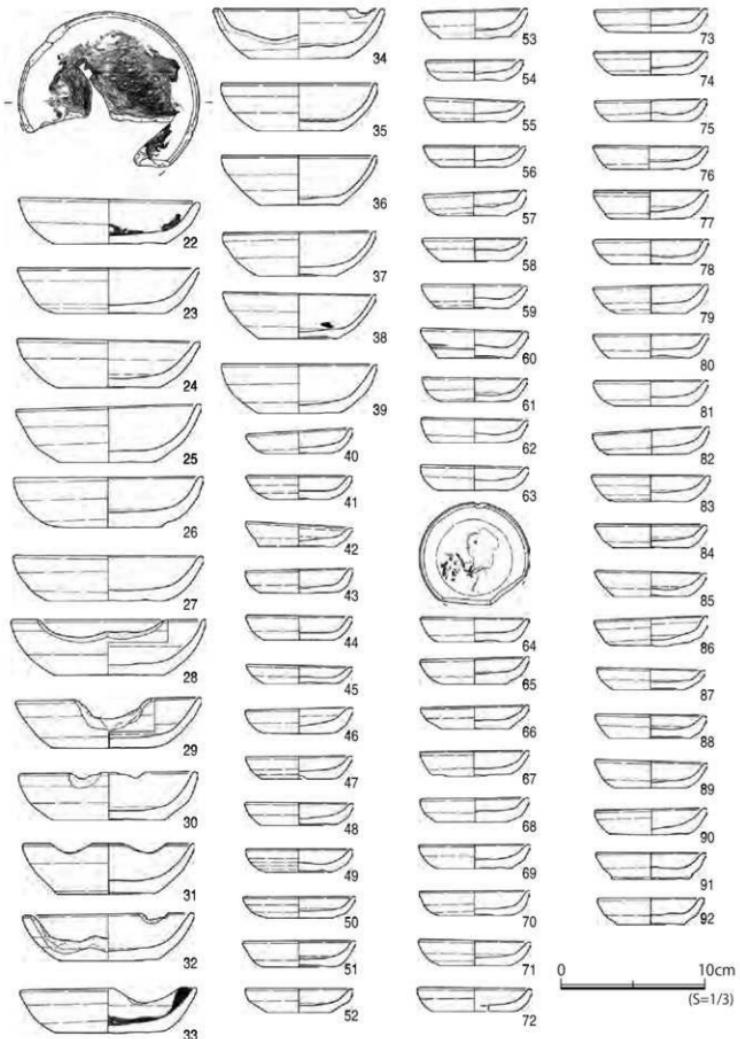


図 66 第 6 面構成土出土遺物 2

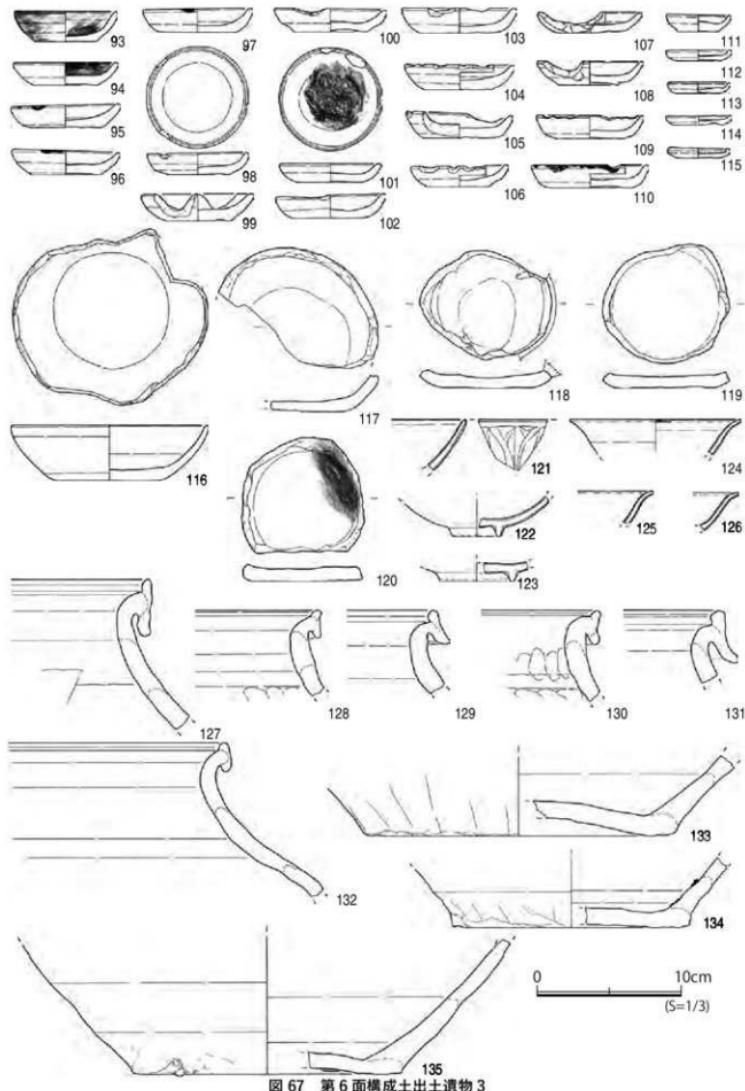


図 67 第 6 面構成土出土遺物 3

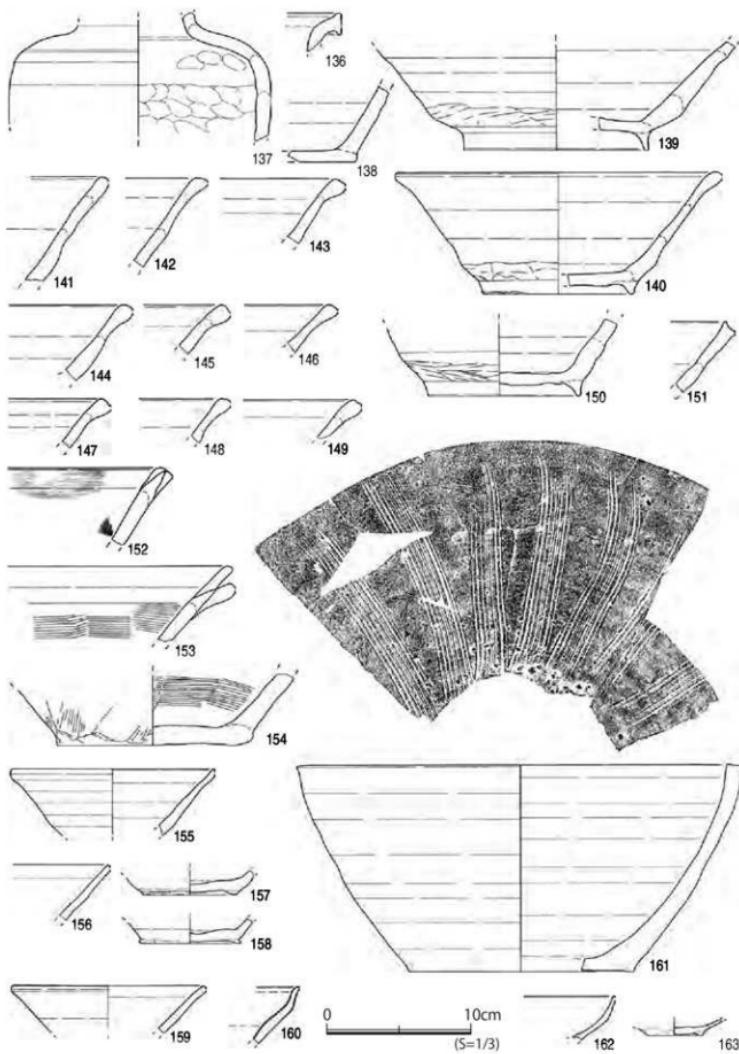


図 68 第 6 面構成土出土遺物 4

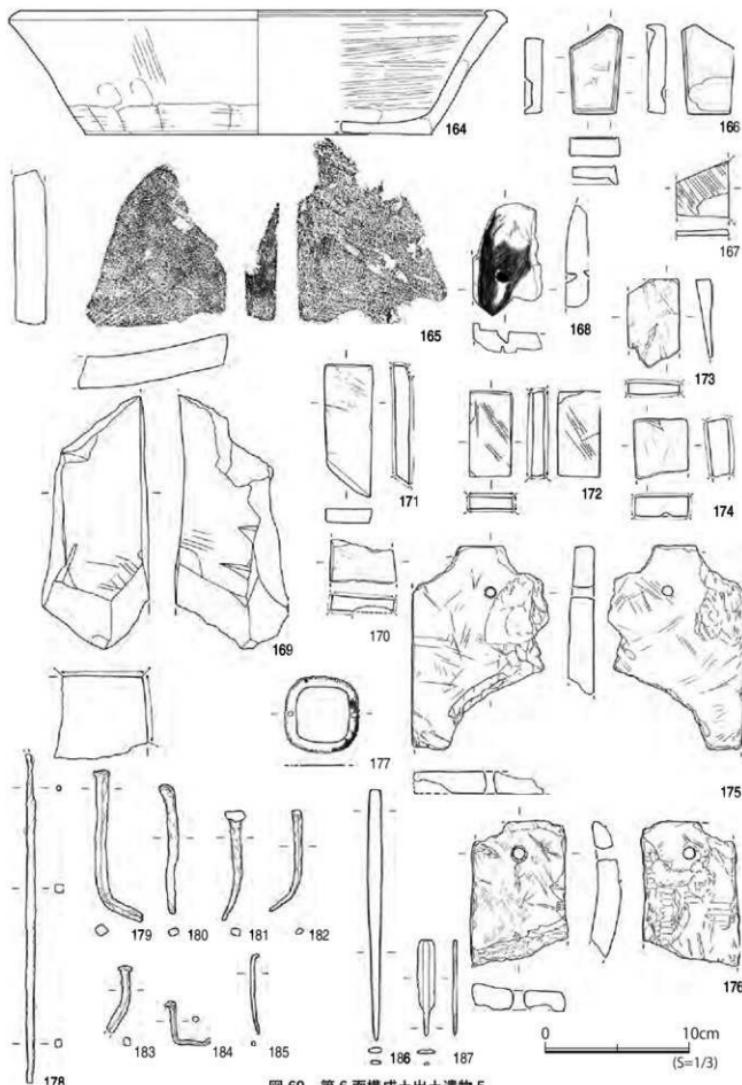


図 69 第6面構成土出土遺物 5

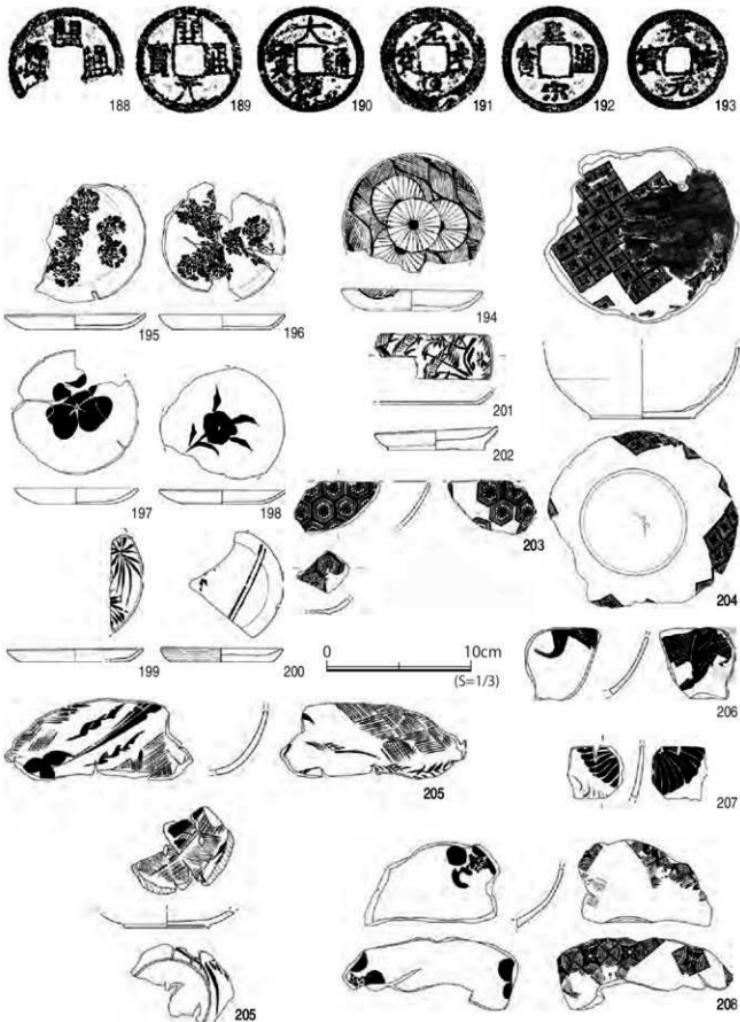


図 70 第6面構成土出土遺物 6

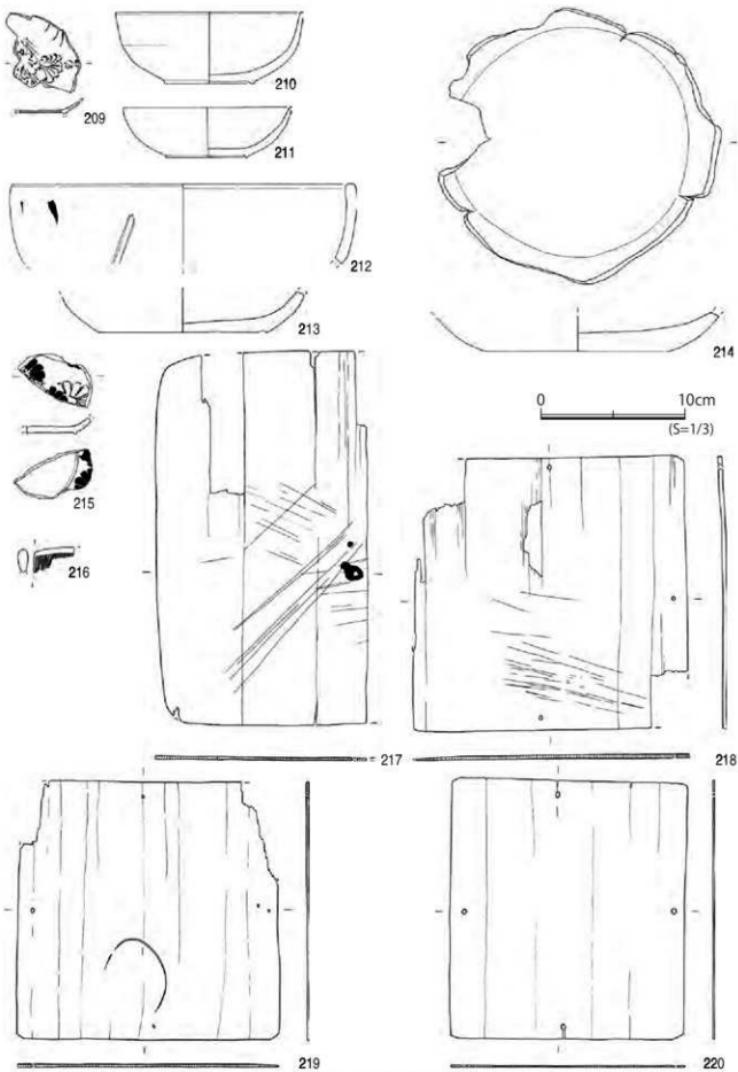


図 71 第6面構成土出土遺物 7

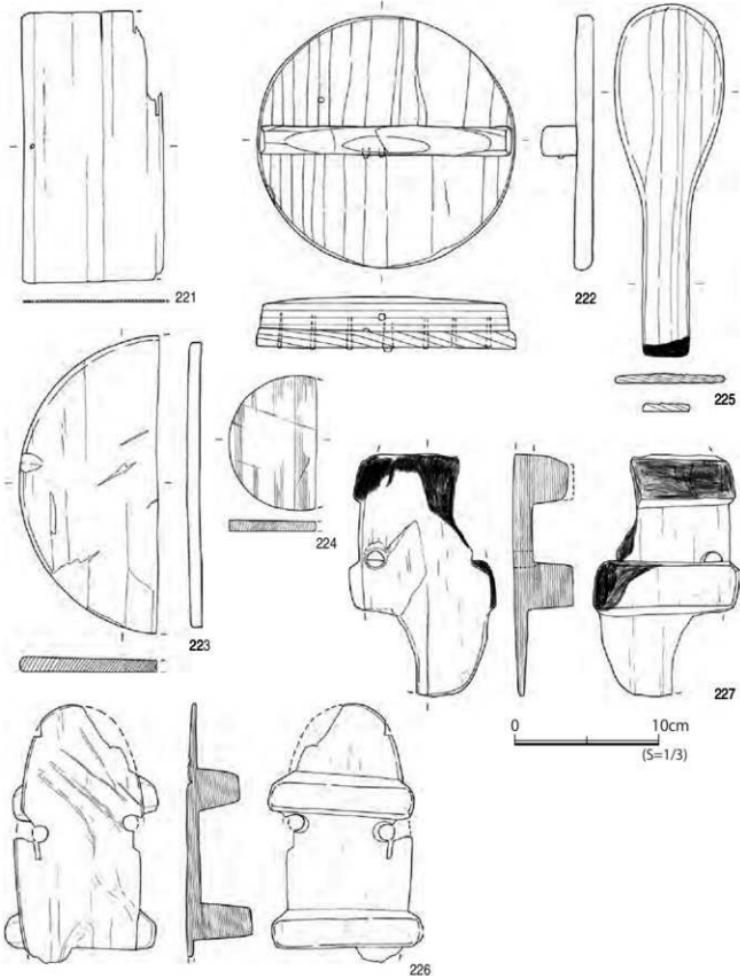


图 72 第 6 面構成土出土遺物 8

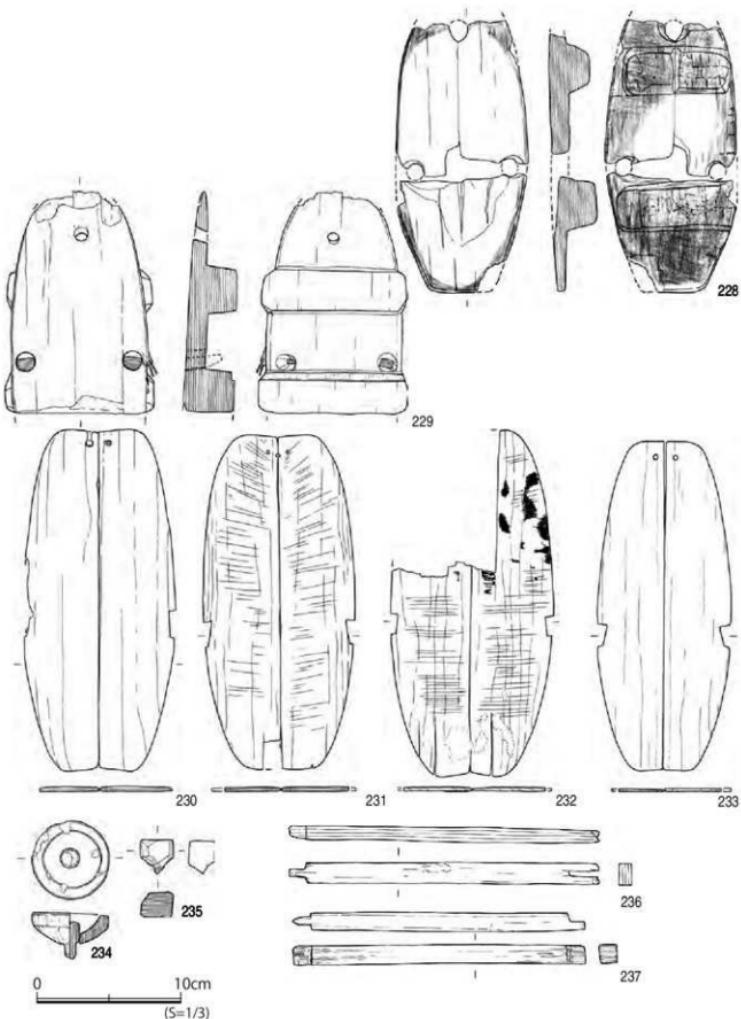


図 73 第 6 面構成土出土遺物 9

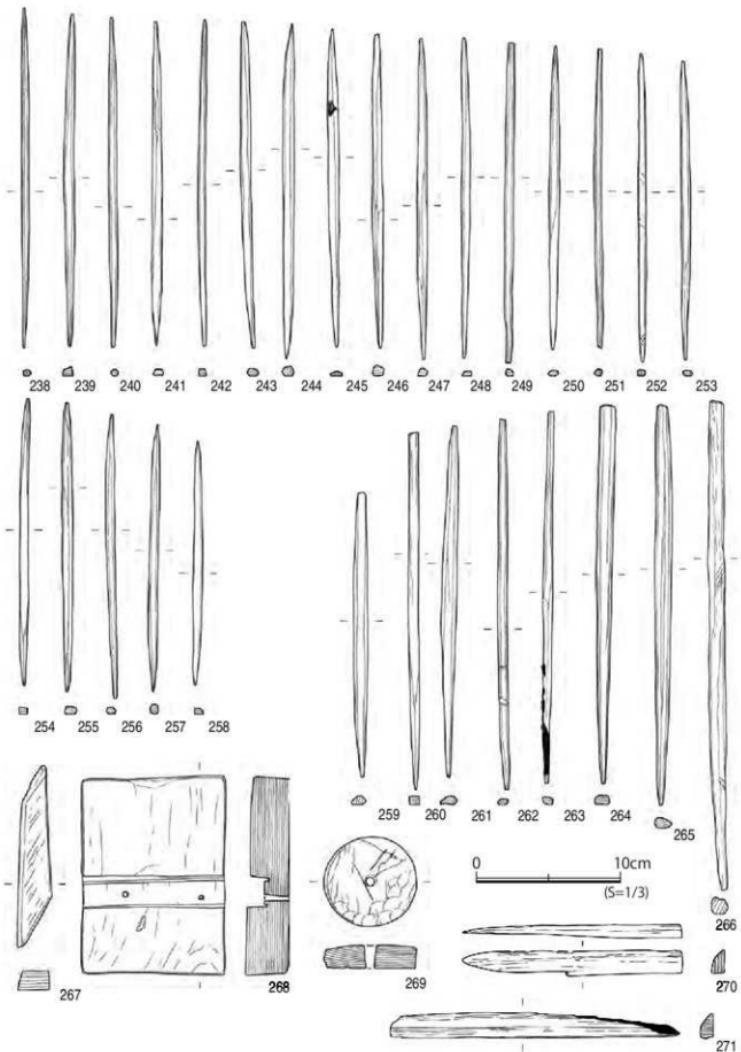


図 74 第 6 面構成土出土遺物 10

## 第 6a 面

6面より 5cm ほど下、海拔 8.81 ~ 8.9 m で検出された。西北部では破碎した泥岩による地業面、西南部に砂粒と泥岩による地業面がみられる。西北部の地業は厚さ 5cm 程度の薄いものである。東部で L 字状をなす板組が 1 基検出されたが、ごく一部のみであり全体の構造は不明である。そのすぐ脇では、ややプランが不明瞭だが、小型の魚骨を大量に検出したピット状の遺構が検出された。西南部の地業は区画のためと思われる板列が南側に構築されていた。他は明確な遺構は確認できていない（図 75）。

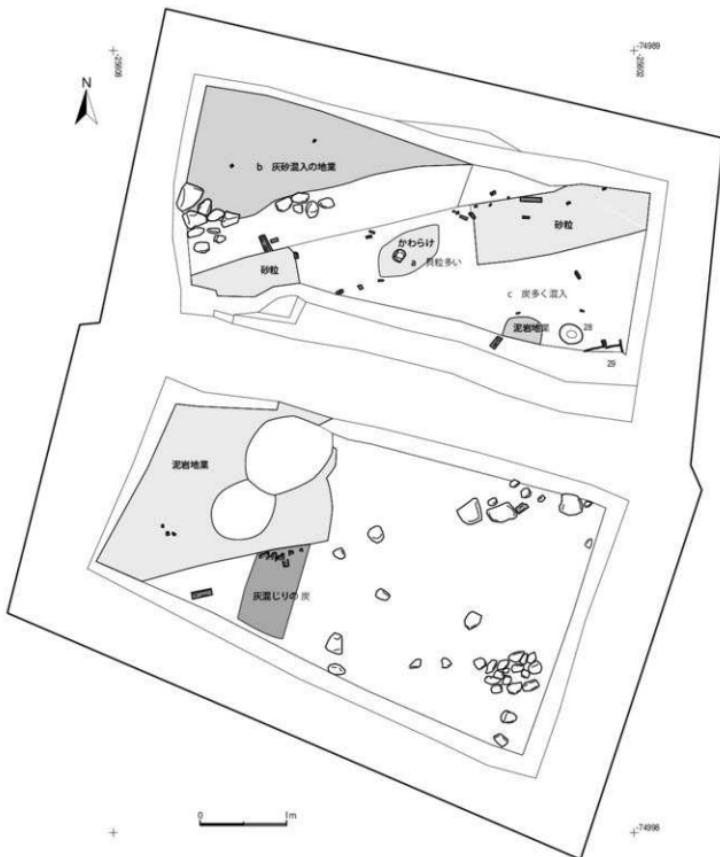


図 75 第 6a 面全測図 (S=1/50)

遺物はかわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・渥美・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物などが出土している。

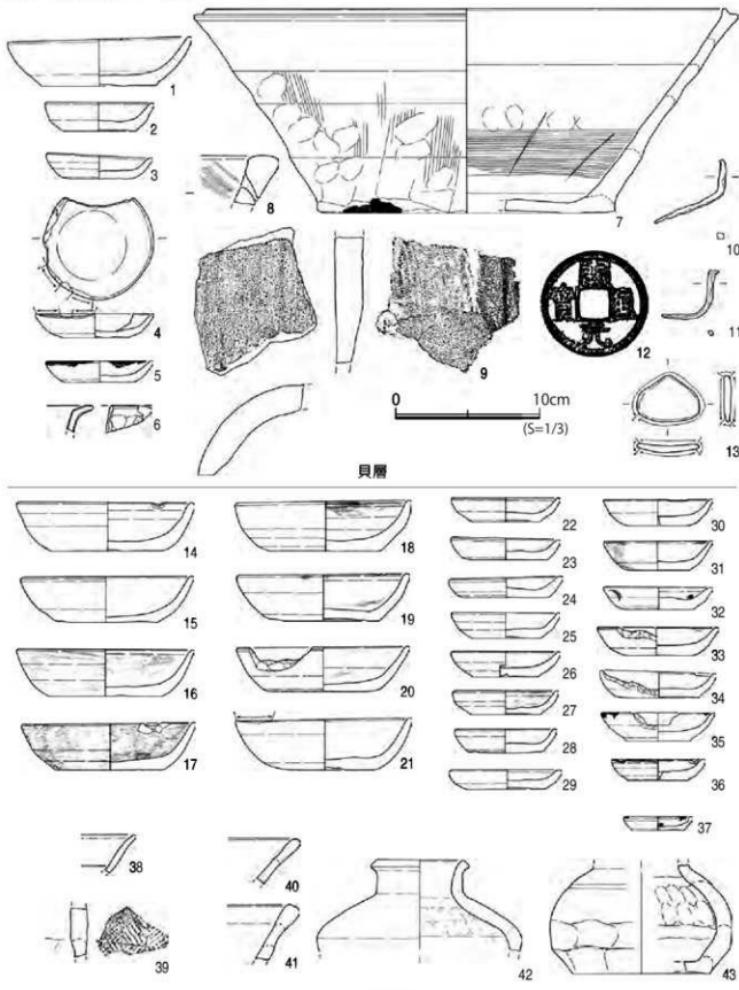


図 76 第 6a 面構成土出土遺物 1

遺構 28 (図 75)

プランはやや不明瞭であるが、小型の円形の落ち込み。内部からは大量の小魚の骨が出土した（写真）

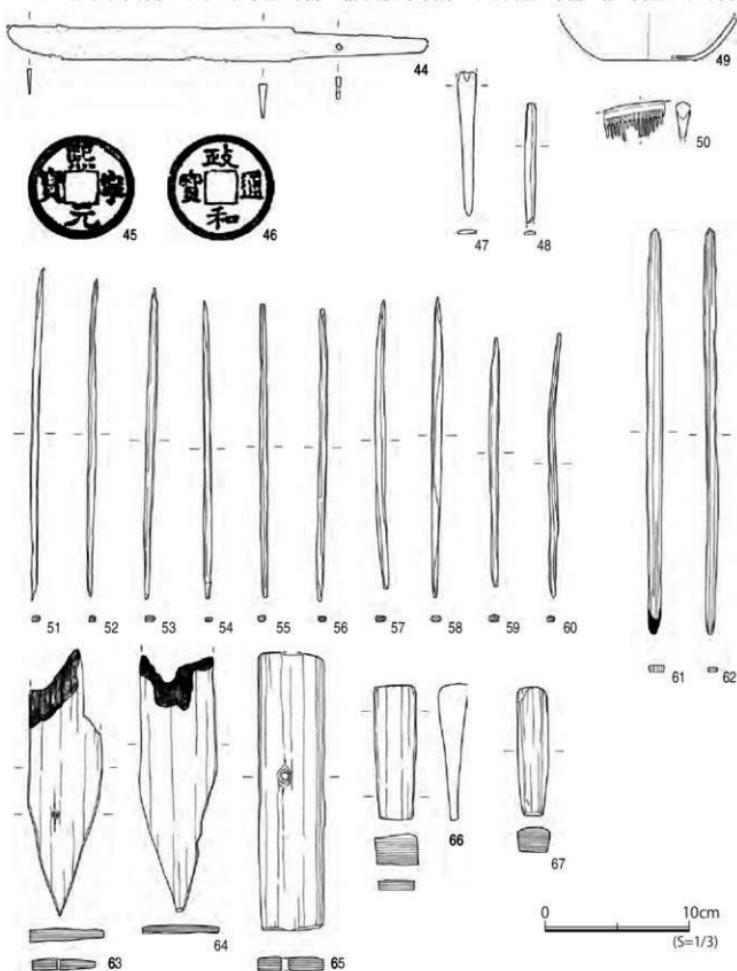


図 77 第 6a 面構成土出土遺物 2  
西北部

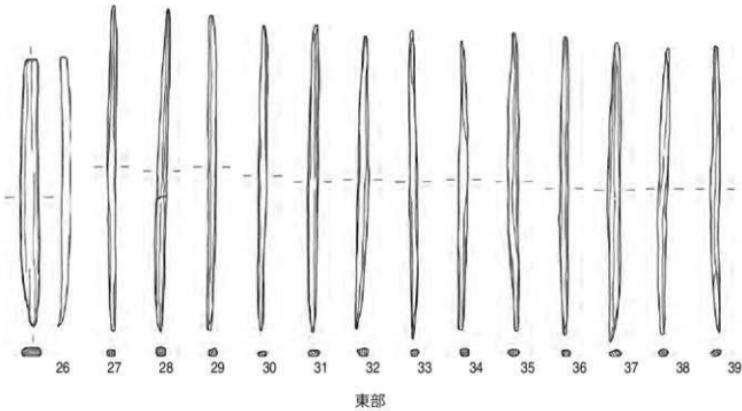
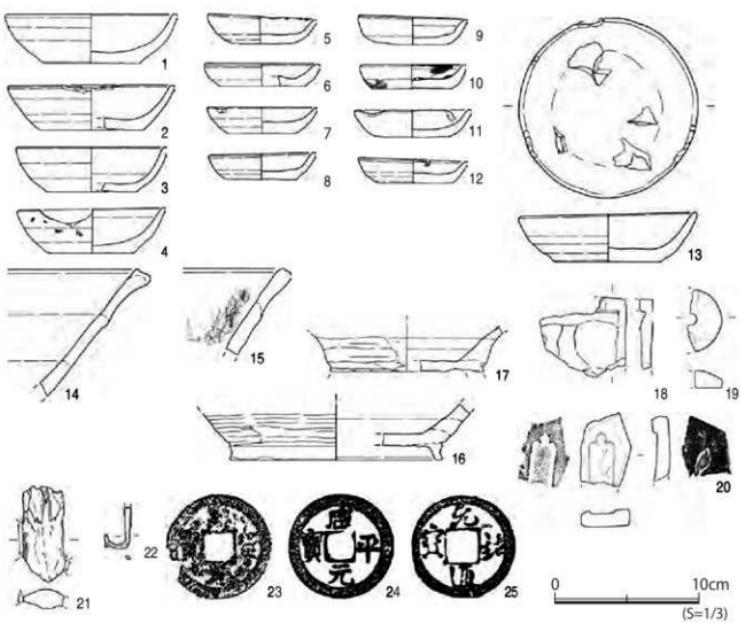


図 78 第 6a 面構成土出土遺物 3

図版 7:4、写真図版 48 参照)。

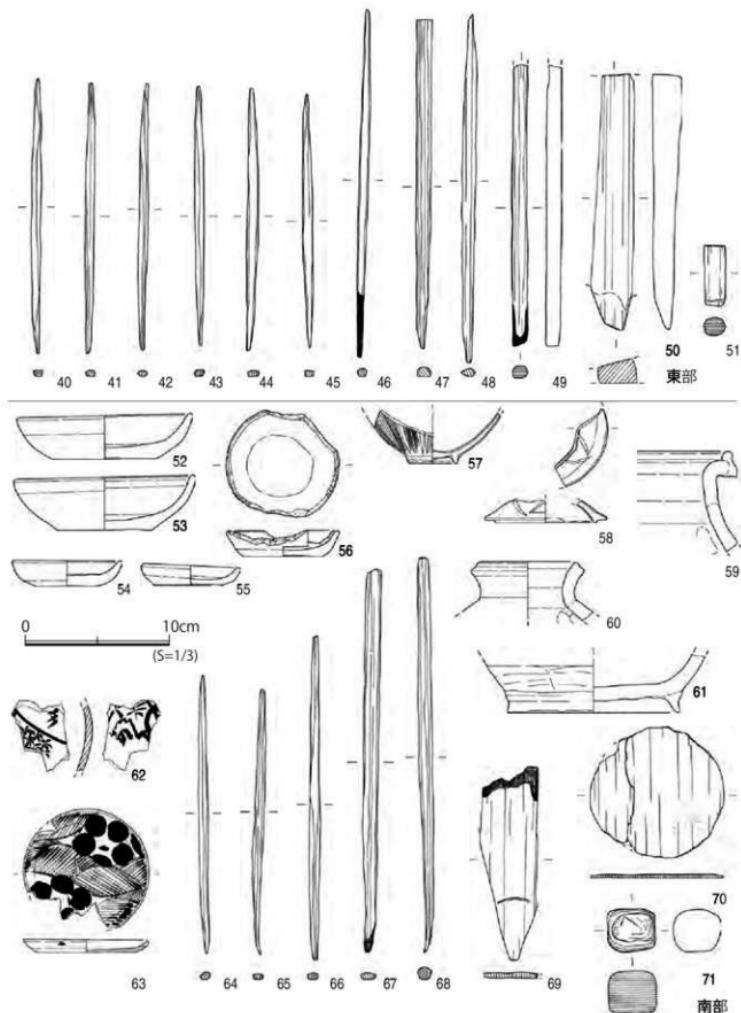


図 79 第 6a 面構成土出土遺物 4

#### 第 6a 面構成土出土遺物

6a 面の構成土についても区域を分けて掲載する。

##### a の範囲下から出土した遺物（図 76）

1 は大型かわらけ、2 ~ 5 は小型かわらけ、6 は青磁壺、7 は常滑片口鉢 II 類、8 は瓦質火鉢、9 は丸瓦、10 ~ 11 は鉄釘、12 は銅錢、13 は貝製品で用途不明。

##### b の範囲下から出土した遺物（図 76 ~ 77）

14 ~ 21 は大型かわらけ、22 ~ 36 は小型かわらけ、37 は極小かわらけ、38 は白磁口兀皿、39 は常滑甕、40 ~ 41 は常滑片口鉢 I 類、42 ~ 43 は常滑窓口壺、44 は刀子、45 ~ 46 は銅錢、47 ~ 48 は笄。

漆器：49 は椀、50 は櫛。

木製品：51 ~ 60 は箆状木製品、61 ~ 62 は串状木製品、63 ~ 64 は杭、65 ~ 67 は用途不明。

ほかに漆が付着したハマグリの貝殻が 2 枚検出。漆パレットに使用したと考えられる。

##### c の範囲下から出土した遺物（図 78 ~ 79）

1 ~ 2 は大型かわらけ、3 ~ 4 は中型かわらけ、5 ~ 12 は小型かわらけ、13 は大型かわらけで口縁部に打ち欠き多数。14 ~ 17 は常滑片口鉢 I 類、18 は硯、19 は滑石製筋錠、20 は滑石鍋転用品で印刻がある。21 は用途不明の加工骨、22 は掛金具、23 ~ 25 は銅錢。

木製品：26 は箆状木製品、27 ~ 45 は箆状木製品、46 ~ 48 は串状木製品、49 は棒状木製品、50 ~ 51 は用途不明。

#### 調査区南部の構成土より出土した遺物（図 79）

52 ~ 53 は大型かわらけ、54 ~ 56 は小型かわらけ、57 は青磁櫛搔文碗、58 は青磁蓮弁文壺の蓋、59 は常滑甕、60 は常滑窓口壺。61 は常滑片口鉢 I 類。

漆器：62 は椀、63 は皿。

木製品：64 ~ 65 は箆状木製品、66 ~ 68 は串状木製品、69 は杭、70 ~ 71 は用途不明。

#### 第 6b 面

南部では検出できず北部のみ検出。暗褐色粘質土を基調とする。海拔 8.71 ~ 8.80 m で検出。東部では横板および杭が検出されたが全体像は不明である。その他ビット 6 基、土坑 3 基が検出された（図 80）。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・船載陶器・常滑・瀬戸・土製品・瓦質製品・金属製品・石製品・木製品・自然遺物などが出土している。

##### ビット

##### 遺構 30（図 80）

円形を呈するビット。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

##### 遺構 31（図 80）

円形を呈するビット。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出

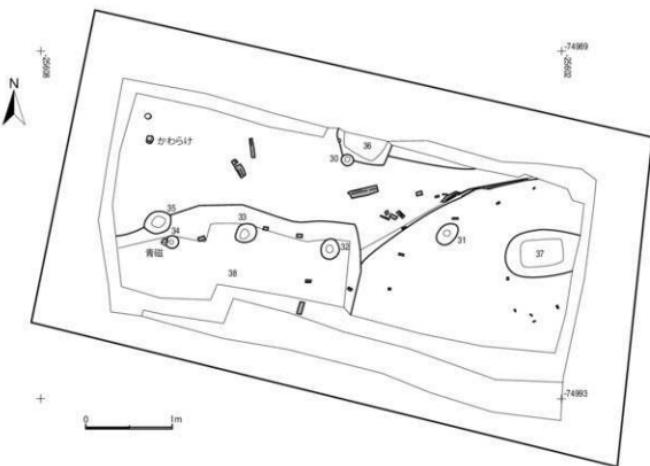


図 80 第 6b 面全測図 (S=1/50)

編	島	厚	レ	幅	長	基	高	底	底	編	島	厚	レ	幅	長	基	高	底	底
30	暗褐色	8.64	0.13	8.43	33	暗褐色	8.57	0.25	8.37	36	暗褐色	8.68	0.63	8.50					
31	暗褐色	8.71	0.28	8.64	34	暗褐色	8.61	0.15	8.49	37	暗褐色	8.76	0.86	8.68					
32	暗褐色	8.57	0.24	8.45	35	暗褐色	8.67	0.3	8.57	38	暗褐色	8.66	2.81	8.56					

土せず。

#### 遺構 32 (図 80)

円形を呈するピット。遺構 38 に伴うか。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 遺構 33 (図 80)

円形を呈するピット。遺構 38 に伴うか。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 遺構 34 (図 80)

円形を呈するピット。遺構 38 に伴うか。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 遺構 35 (図 82)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 土坑

#### 遺構 36 (図 80)

隅丸方形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は

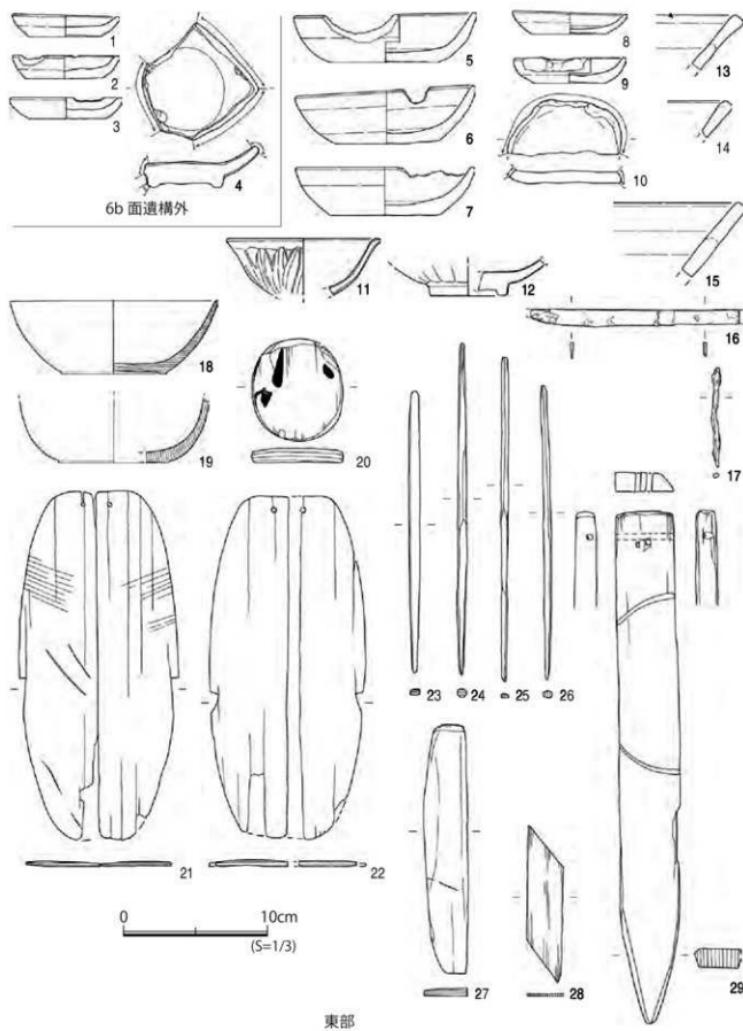


図 81 第 6b 面出土物 1

出土せず。

遺構 37 (図 80)

隅丸方形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

遺構 38 (図 80)

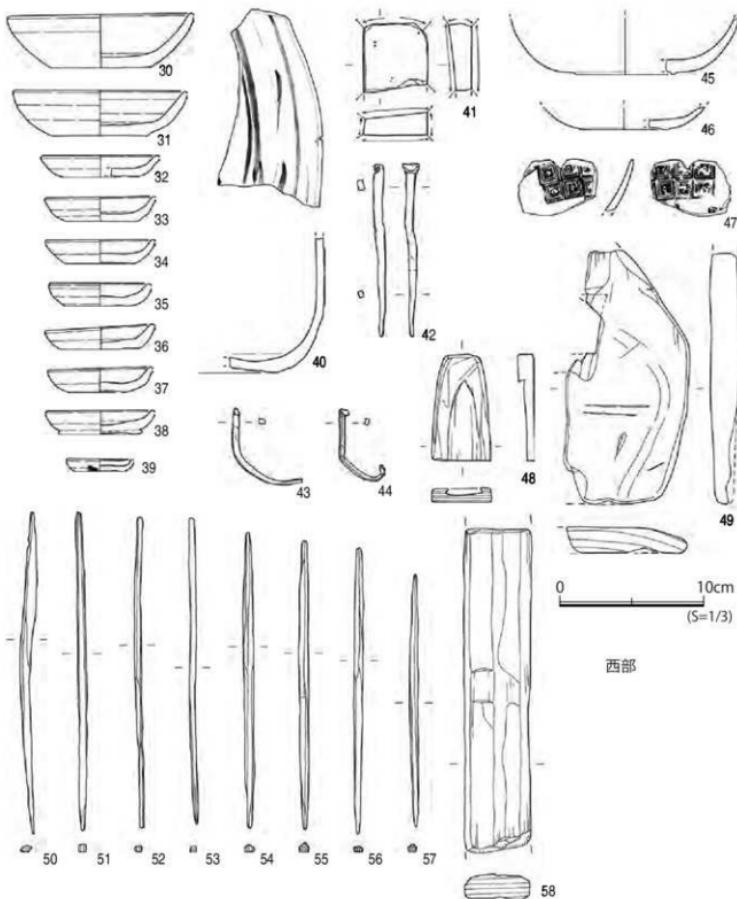


図 82 第 6b 面出土遺物 2

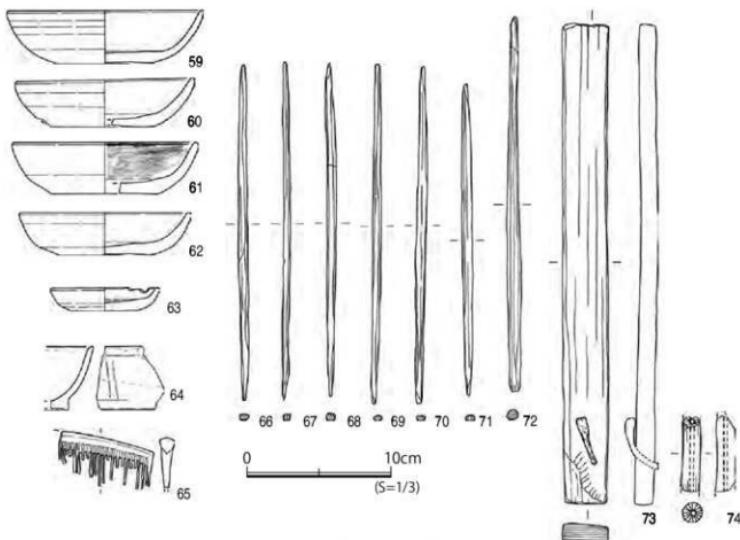


図 83 第 6b 面出土遺物

方形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で締まり弱く、木器片、貝粒を含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 第 6b 面遺構外出土遺物（図 81）

1～3 は小型かわらけ、4 は青磁蓮弁文碗の転用品。

#### 第 6b 面構成土出土遺物

##### 調査区東部の構成土出土遺物（図 81）

5～7 は大型かわらけ、8～9 は小型かわらけ、10 はかわらけ転用品、11 は青磁蓮弁文小碗、12 は青磁蓮弁文碗、13～14 は常滑片口鉢Ⅰ類、15 は常滑片口鉢Ⅱ類、16 は刀子、17 は鉄釘、18～19 は漆器椀、20 は曲物、21～22 は草履芯、23 は籠状木製品、24～26 は箸状木製品、27～29 は用途不明。

##### 調査区西部の構成土出土遺物（図 82）

30～31 は大型かわらけ、32～38 は小型かわらけ、39 は極小かわらけ、40 は黄釉盤、41 は砥石中砥、42～44 は鉄釘、45～47 は漆器椀、48 は槍鉋の鞘か。49 は鉢、50～57 は箸状木製品、58 は用途不明。

##### その他の構成土出土遺物（図 83）

59～61 は大型かわらけ、62 は中型かわらけ、63 は小型かわらけ、64 は白磁口兀小碗。

漆器：65 は櫛。木製品：66～71 は箸状木製品、72 は串状木製品、73 は建築材、74 は用途不明。その他ガラスの小片が出土。

## 第7節 第7面の遺構・遺物

第7面は地表下1.9mほど、およそ海拔8.46～8.70mで検出した。暗褐色粘質土を基調とする。東側は泥岩による地盤面が構築されていた。西北部の地面は暗褐色土であるがやや硬化している。南側には平行して長い板が地面上に置かれていたが、その性格は不明である。また一条横板を杭で補強した遺構が1基検出され、その南側には泥岩塊が敷き詰められていた状態であった。

その他の遺構はピット4穴・土坑1基である。建物址のプランなどは不明瞭である。遺構の切りあい

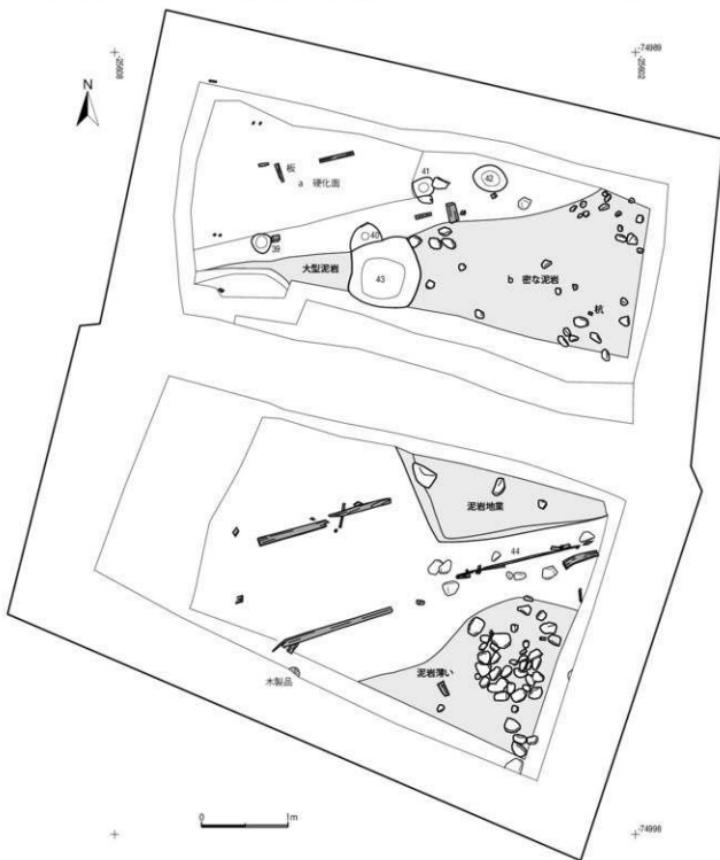


図84 第7面全測図 (S=1/50)

より第7面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・白磁・船載陶器・常滑・瀬戸・備前・土製品・瓦質製品・金属製品・木製品・自然遺物が出土している。

遺構	色 覆土	レ ト端 ベル	最 大 径	レ ベル	遺構	色 覆土	レ ト端 ベル	最 大 径	レ ベル	遺構	色 覆土	レ ト端 ベル	最 大 径	レ ベル
39	暗褐色	8.56	0.21	8.48	41	暗褐色	8.51	0.26	8.42	43	暗褐色	8.54	0.86	8.27
40	暗褐色	8.54	0.37	8.14	42	暗褐色	8.52	0.38	8.35					

## ピット

### 遺構39(図84、85)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土。締まり弱い。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構40(図84、85)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土。締まり弱い。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構41(図84、85)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土。締まり弱い。粘性高い土。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構42(図84、85)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土。締まり弱い。粘性高い土。図示可能な遺物は出土せず。

## 土坑

### 遺構43(図84、85)

隅丸方形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土。締まり弱い。泥岩塊、木器片、貝粒を含む。出土遺物(図86)：1～2は小型かわらけ、3は常滑片口鉢1類、4は砥石仕上砾、5は刀子鞘、6～8は箸状木製品、9は用途不明。

### 遺構44(図84)

調査区東部で検出。西南-東南方向へ75度で延び、薄い横板が斜めに地面に差し込まれたような状

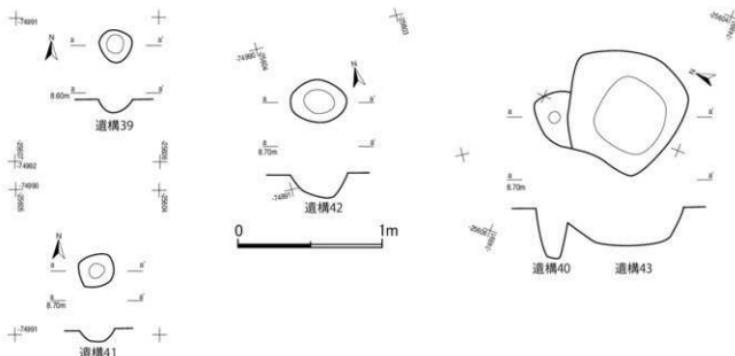


図85 第7面個別遺構 (S=1/30)

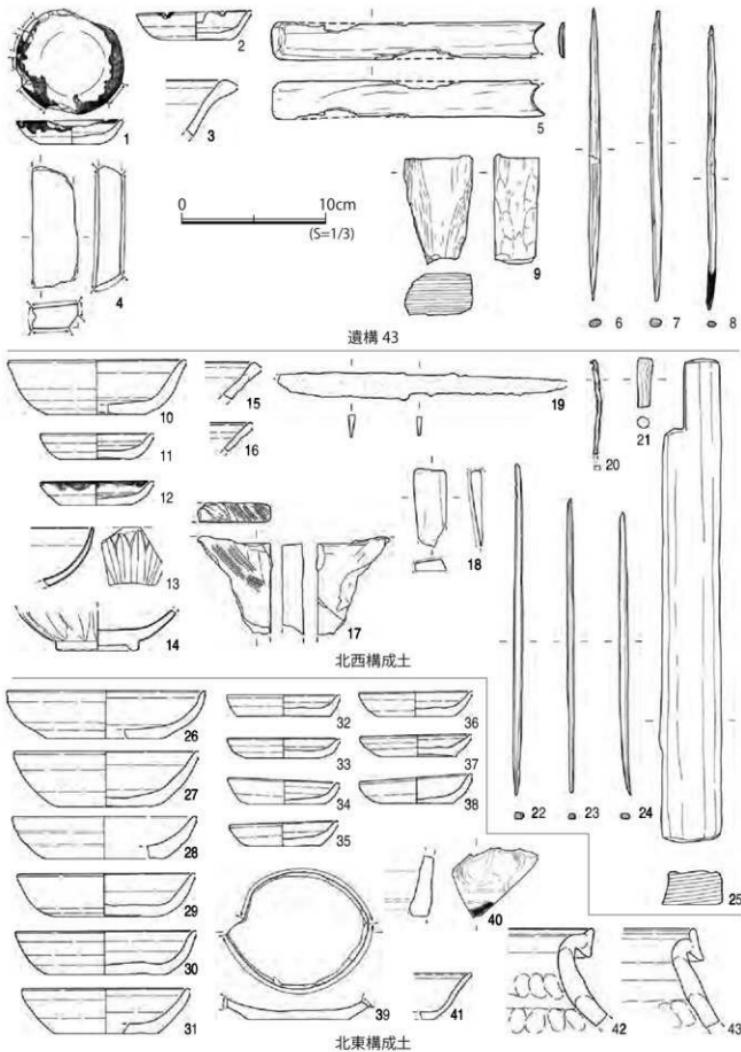


図 86 第 7 面遺構および構成土出土遺物

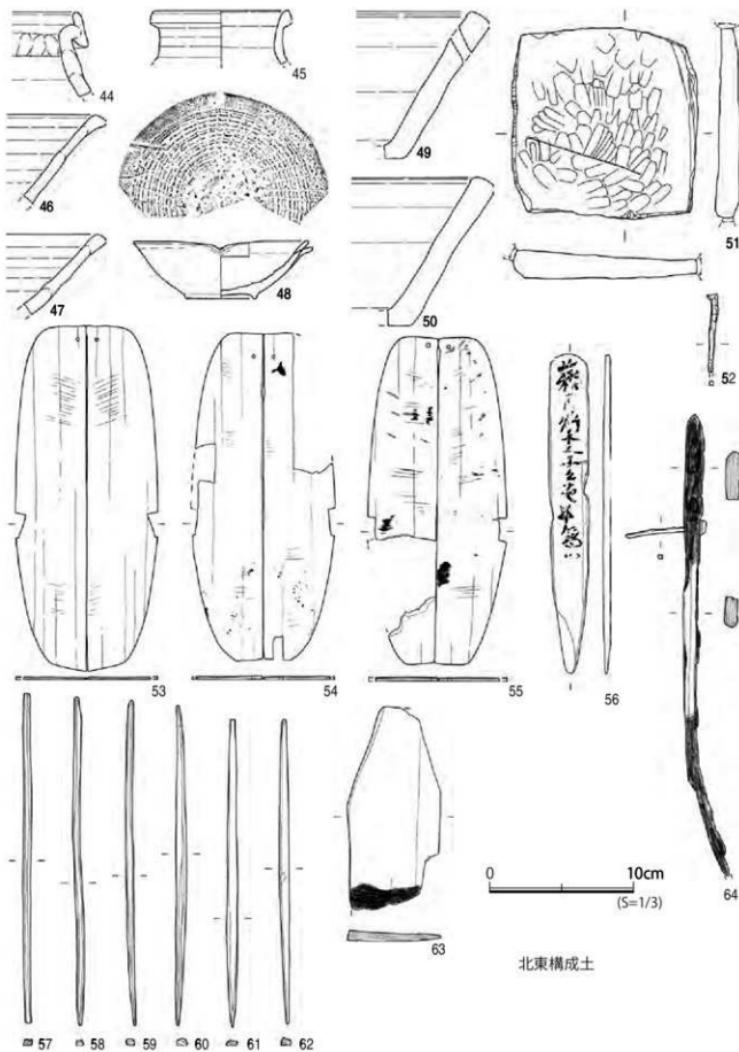


図 87 第 7 面構成土出土遺物 1

況で検出された。横板周辺に一部縦板や杭なども見られ、横板を補強するような構造かとも思われるが判然としない。西部では同じ方向で面上に長方形の板が置かれたような状態で検出した。北側は2枚で1枚は長さ86.3cm、幅9.5～10.2cm、厚さ1.8cm。もう1枚は長さ75.8cm、幅9.2cm、厚さ2.3cmである。南側の板は長さ151.6cm、幅9.0～10cm、厚さ1.5cmである。北側の板の周辺には杭や埋め込まれた縦板も検出されたが、どのような意図によるものかは不明瞭である。

#### 第7面構成土出土遺物

7面より8面検出までの間の堆積より出土した遺物。

#### 調査区北西、aの地業面以下より出土した遺物（図86）

10は大型かわらけ、11～12は小型かわらけ、13～14は青磁箇蓮弁文碗、15は常滑片口鉢1類、16は常滑山茶碗、17は滑石製温石か。18は砥石仕上砥、19は刀子、20は鉄釘、21は用途不明加工骨、木製品：22～24は箸状木製品、25は用途不明。

#### 調査区北東、bの泥岩地業面以下より出土した遺物（図86～87）

泥岩地業面の下は炭化物が層状にやや広く堆積しており、その中に含まれていた遺物。26～31は大型かわらけ、32～38は小型かわらけ、39はかわらけ転用品、40は青白磁梅瓶、41は白磁口兀皿、42～43は常滑甕、44は常滑甕、45は常滑甕、46～47は常滑片口鉢1類、48は卸碗で胎土や焼成などから東濃製と考えられるが、この碗のような卸目をほどこした例は管見では確認できおらず、検討の余地を残す。49～50は瓦質火鉢、51は滑石製温石、52は鉄釘。

木製品：53～55は草履芯、56は呪符。長方形で一端は先を尖らせるような形態で削っている。一面のみ墨書が見られ、「蔵民将来之子糸也女急[々カ]」と判読でき、蘇民将来札と考えられる。呪符はこの炭混じりの屑から倒れた状態で出土した（写真図版8:5参照）。57は棒状木製品、58～62は箸状木製品、63～64は用途不明。

#### その他構成土（図88）

65～67は大型かわらけ、68は中型かわらけ、69～76は小型かわらけ、77は青磁箇蓮弁文碗、78は黄釉盤、79～81は常滑甕、82は常滑広口壺、83は常滑片口鉢1類、84は瀬戸内系土器類。

漆器：85は膳の雲形、86は器種不明。

木製品：87は下駄、88は草履芯、89は用途不明、90～96は箸状木製品、97～99は用途不明。

また漆が付着したハマグリの貝殻が2枚検出。漆パレットに使用したと考えられる（写真図版48）。

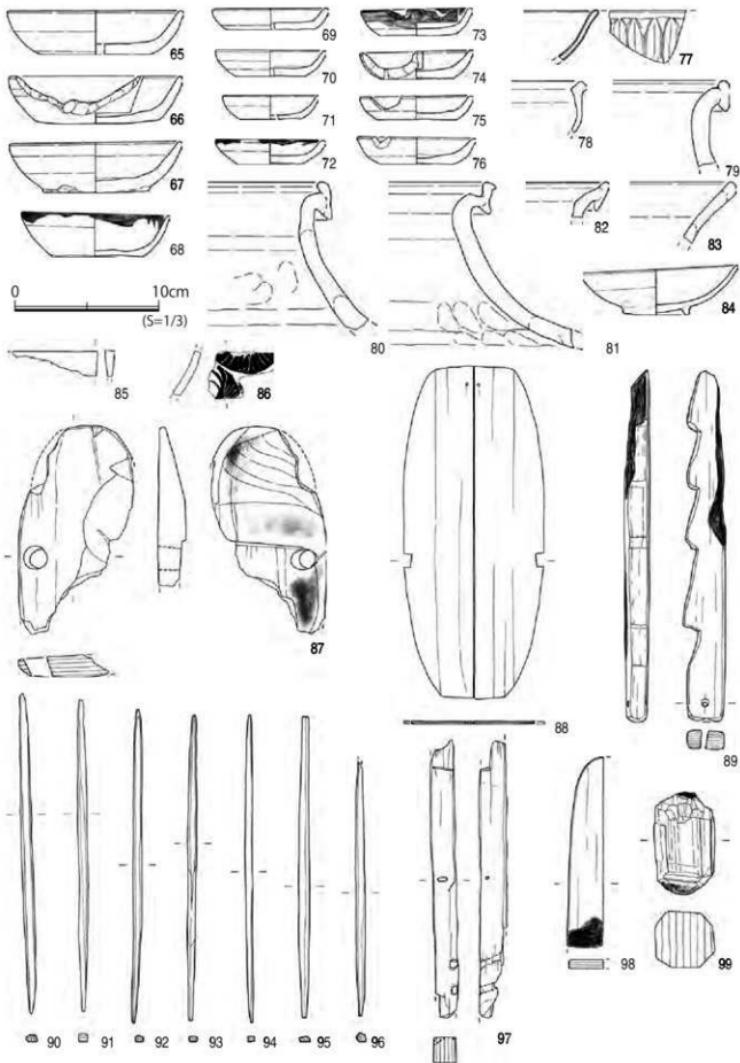


図 88 第7面構成土出土遺物 2

## 第8節 第8面の遺構・遺物

第8面は地表下2m、およそ海拔8.40～8.50mで検出した。南側（1区）は調査範囲を狭めたため、中央部のみ検出。北側（2区）では硬化した茶褐色粘質土が基調となるが、東南部では泥岩塊が多く含んだ地業面が見られる。南側（1区）では東北部に大型の泥岩を敷き詰めた地業面が検出された。それ以外では泥岩塊が多く含まれた暗褐色粘質土が基調となっている。遺構は西南部で縦板列が見られ平面方形に構築されていると考えられるが全体像は不明。西北部では横板が検出されたが、性格は不明である。

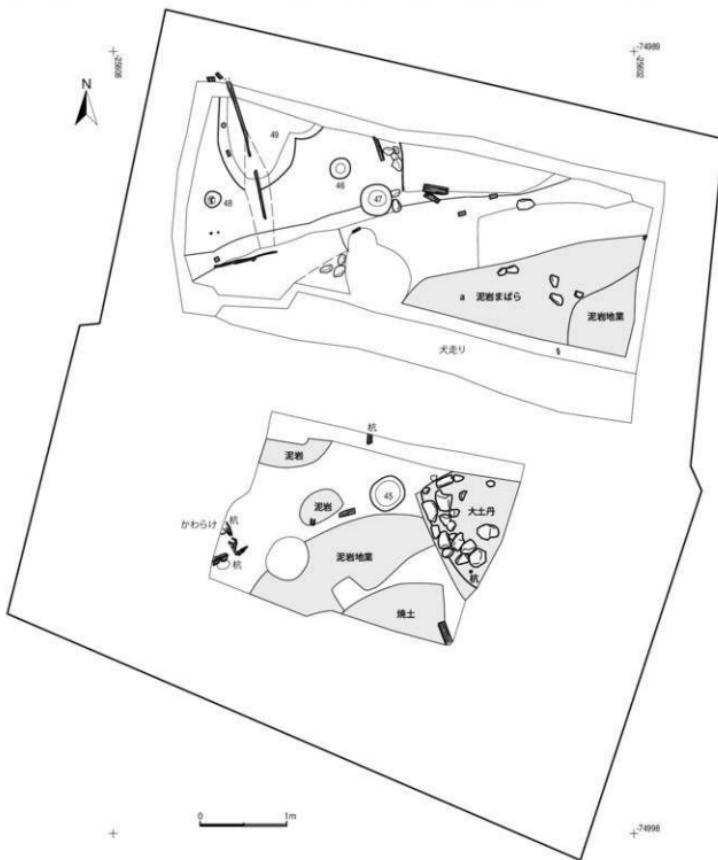


図89 第8面全測図 (S=1/50)

る。地割の仕切りか。その他にピット3穴・土坑3基を検出した。建物址のプランなどは不明瞭である。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・土器製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物などが出土している。

遺構	色調上 層土	レ ベル	上 端 大 径	レ 底 部	遺構	色調上 層土	レ ベル	上 端 大 径	レ 底 部	遺構	色調上 層土	レ ベル	上 端 大 径	レ 底 部
45	暗褐色	8.35	0.41	8.25	47	暗褐色	8.47	0.35	8.38	49	暗褐色	8.47	1.18	8.37
46	暗褐色	8.49	0.23	8.42	48	暗褐色	8.48	0.18	8.46					

#### ピット

##### 遺構45(図89)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で縮まりなし。木器多く含む。出土遺物(図90):1は小型かわらけ、2は常滑広口壺、3は常滑山茶碗、4は砥石仕上砥、5は滑石製温石、6は木製品で曲物。

##### 遺構46(図89)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で粘性高く縮まり弱い。図示可能な遺物は出土せず。

##### 遺構47(図89)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で粘性高く縮まり弱い。図示可能な遺物は出土せず。

##### 遺構48(図89)

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で粘性高く縮まり弱い。図示可能な遺物は出土せず。

#### 土坑

##### 遺構49(図89)

楕円形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土で縮まり弱い。炭化物少量、木器片、貝粒を含む。出土遺物(図90):7は常滑甌、8は硯、9~11は鉄釘、12は銅錢、13は漆器椀。

木製品:14は透明皿受けか、15は箸状木製品。

#### 第8面遺構外出土遺物(図90~91)

調査区東側、aの区域より出土。16は大型かわらけ、17~19は小型かわらけ、20は青磁壺、21は丸瓦、22は滑石鍋転用品。

漆器:23は皿。

木製品:24は箆状木製品、25~33は箸状木製品、34は串状木製品、35~41は用途不明。

#### 第8面構成土出土遺物(図91~92)

8面より8a面検出までの間の堆積より出土した遺物。42~43は大型かわらけ、44は中型かわらけ、45~47は小型かわらけ、48は青磁香炉か。49~52は常滑甌、53は常滑甌、54は土器質火鉢、55は瀬戸内系土師器碗、56~57は砥石中砥、58は鉄釘、59は漆器椀。

木製品:60は下駄、61~64は箸状木製品、65は建築材、66は杭、67~76は用途不明。

また漆が付着したハマグリの貝殻が3枚検出。漆パレットに使用したと考えられる。

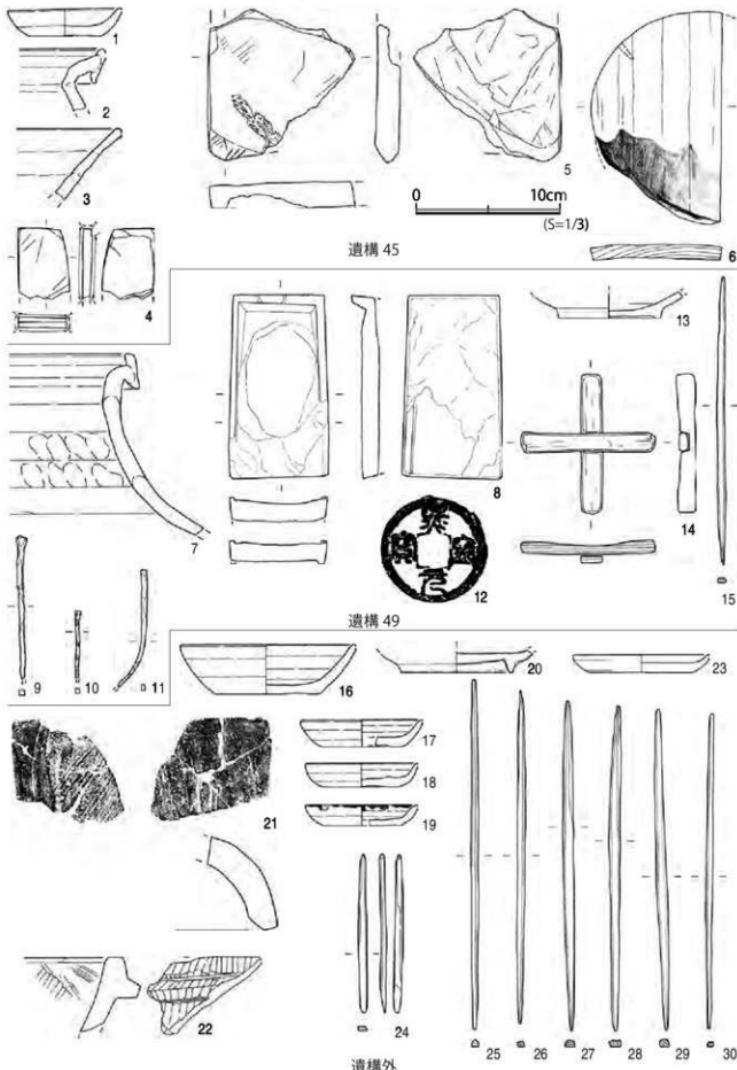


図90 第8面遺構および遺構外出土遺物

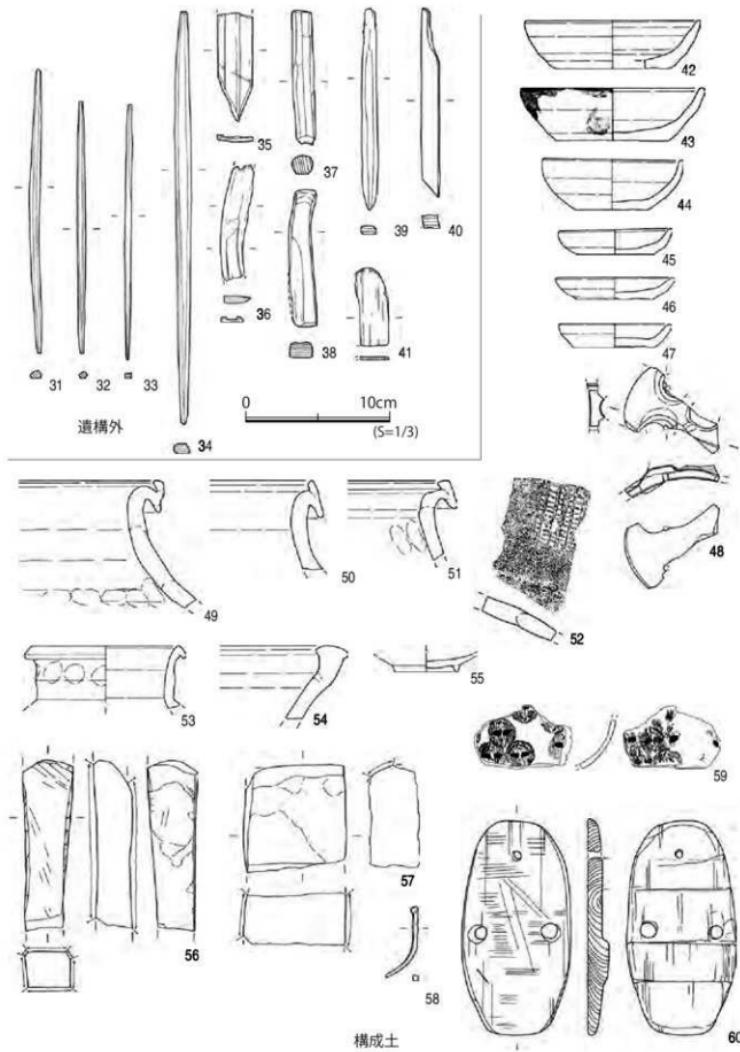


図 91 第8面造構外および構成土出土遺物

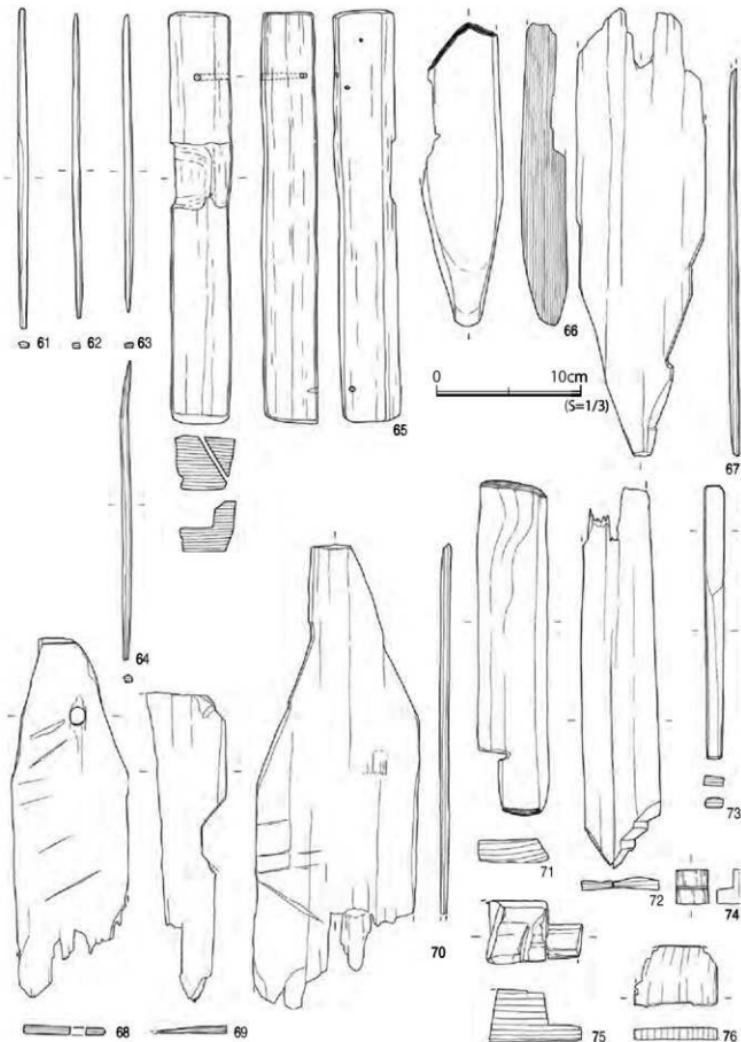


図 92 第8面構成土出土遺物

## 第8a面

8面を薄く一枚剥いた面。南北とも調査範囲を狭めたため検出範囲は調査範囲の一部に限られる。堆積は非常に薄く、短期間で貼りなおしたと考えられる。検出した高さはおよそ海拔8.36～8.39m。暗褐色粘質土を基調とし、泥岩や貝粒を多く含み、やや硬化している。北側(2区)の東南には炭層が広がっていた。遺構はピット3穴・土坑7基を検出した。建物址のプランなどは不明瞭である。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美など国産陶器・瓦質製品・銅錢・鉄釘・木製品・

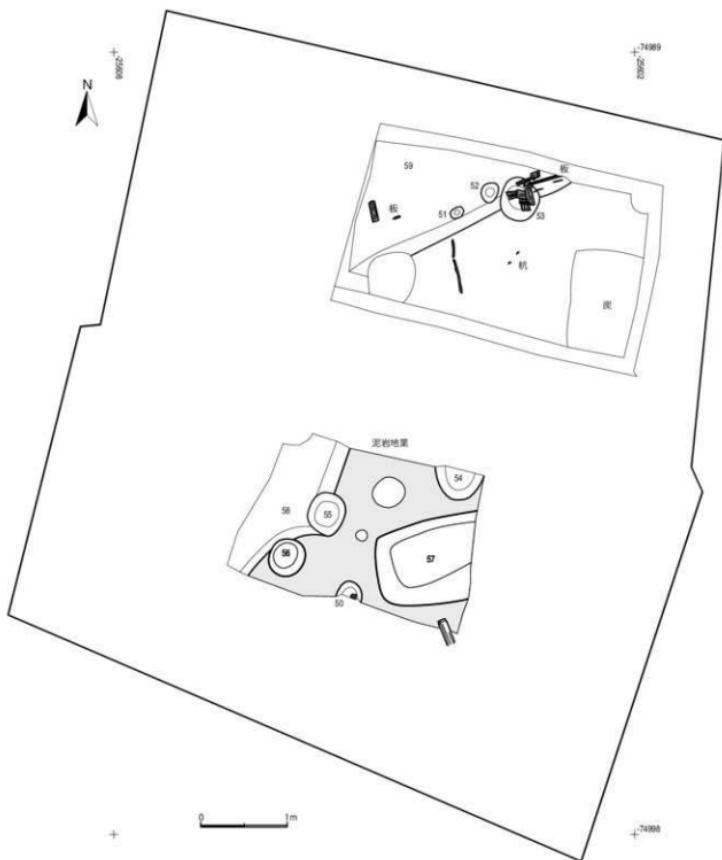


図93 第8a面全測図 (S=1/50)

自然遺物などが出土している。

遺構	色 覆土	レ ベル	上 端	最 上 端	レ ベル	底 部	遺構	色 覆土	レ ベル	上 端	最 上 端	レ ベル	遺構	色 覆土	レ ベル	上 端	最 上 端	レ ベル	
50	暗褐色	8.36	0.29	8.18			53	暗褐色	8.38	0.51	8.09			56	暗褐色	8.37	0.46	8.06	7.92
51	暗褐色	8.22	0.14	8.16			54	暗褐色	8.35	0.56	8.27			57	8.26	1.1	7.92	8.09	
52	暗褐色	8.2	0.22	8.02			55	暗青灰	8.37	0.46	8.12			58	8.33	-	8.13	8.13	

## ピット

### 遺構 50（図 93）

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりなし。木片含む。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構 51（図 93）

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりなし。木片含む。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構 52（図 93）

円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりなし。木片含む。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構 53（図 93）

隅丸方形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりなし。木片含む。ピット内に多数の方形の板材が重なって検出された。その東側には横板が検出されているが、どのような構造物かは不明。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構 54（図 93）

梢円形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりなし。木片含む。図示可能な遺物は出土せず。

### 遺構 55（図 93、94）

隅丸方形を呈するピット。覆土は暗褐色粘質土で締まりなし。木片含む。出土遺物（図 95）：1～2は大型かわらけ、3は杭。

### 遺構 56（図 93、94）

円形を呈するピット。覆土は暗青灰砂質土。粘性、締まりなし。図示可能な遺物は出土せず。

## 土坑

### 遺構 57（図 93）

隅丸方形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土。締まりなし。泥岩塊少、木器含む。出土遺物（図 95）：4～5は小型かわらけ、6は大型の手づくねかわらけ、7は青磁碗、8は常滑瓶、9は漆器蓋、10

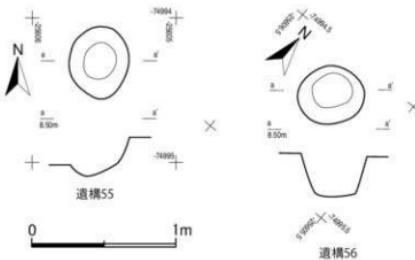


図 94 第 8a 面遺構図 (S=1/30)

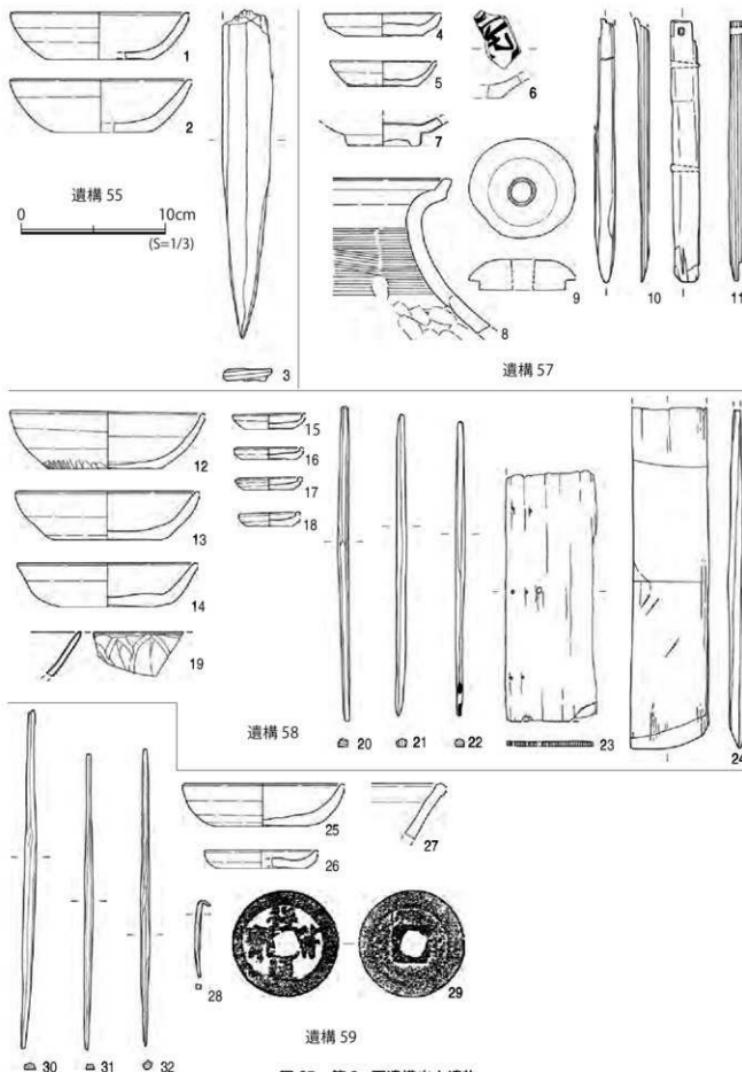


図 95 第 8a 面遺構出土遺物

は箆状木製品、11は用途不明。

#### 大型土坑

やや大きく西側に落ち込む。1区、2区ともに西側で検出。一連のものとなる可能性もある。

#### 遺構 58（図 93）

覆土は暗褐色粘質土。締まりなし。泥岩塊少、木器含む。出土遺物（図 95）：12～14は大型かわらけ、15～18は極小かわらけ、19は青磁蓮弁文碗、20～22は箆状木製品、23は部材、24は用途不明。

#### 遺構 59（図 93）

覆土は暗褐色粘質土。締まりなし。泥岩塊少、木器含む。出土遺物（図 95）：25は中型かわらけ、26は小型かわらけ、27は常滑片口鉢Ⅰ類、28は鉄釘、29は銅錢、30は串状木製品、31～32は箆状木製品。

#### 第 8a 面構成土出土遺物（図 96）

8a面より8b面検出までの間の堆積より出土した遺物。33は小型の手づくねかわらけ、34は小型かわらけ、35は極小かわらけ、36は青白磁小壺か、37～38は常滑甕、39は常滑片口鉢Ⅰ類、40は銅錢、

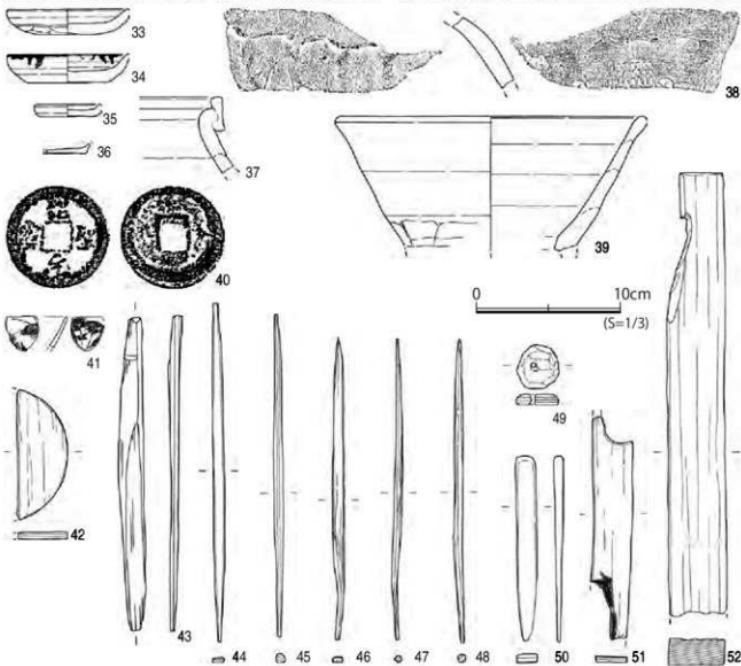


図 96 第 8a 面構成土出土遺物

41は漆製品で器種不明。木製品：42は曲物、43は笠状木製品、44～48は箸状木製品、49～52は用途不明。

### 第8b面

検出した高さは海拔8.27～8.31mである。北側（2区）は泥岩や木器片、遺物を含む暗褐色粘質土を基調とし、東側にやや大型の泥岩を敷き詰めた地業面が一部に見られる。中央付近では泥岩塊を列状に敷き詰めた地業面が検出された。その西側には横板が検出され、泥岩列をほどこすための仕切りのよ

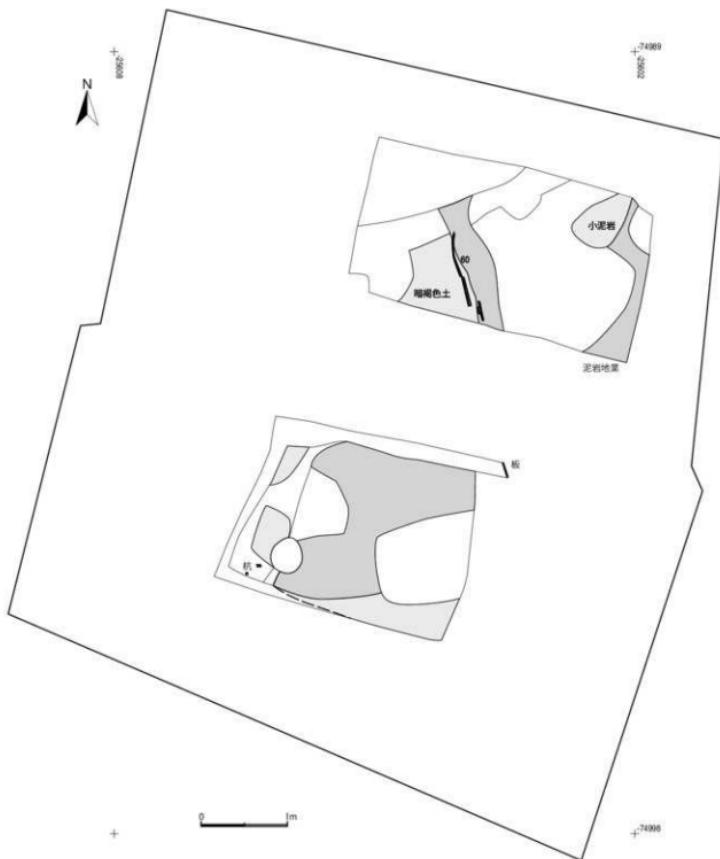


図97 第8b面全測図 (S=1/50)

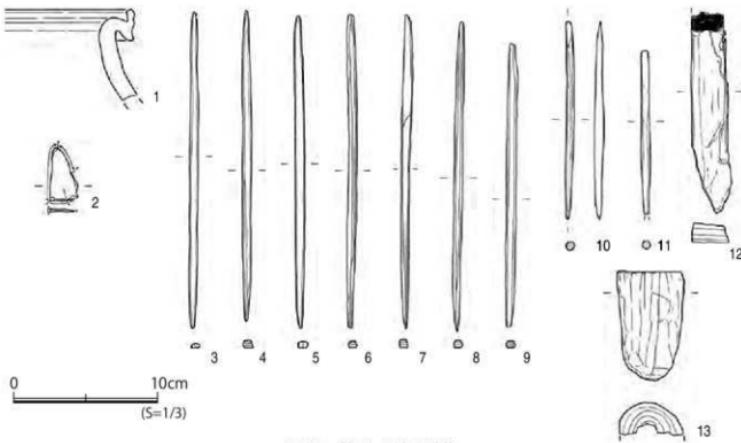


図 98 第 8b 面出土遺物

うな構造物と考えられる。南側（1 区）ではほぼ全域が破碎した泥岩を敷き詰めた薄い地業面となっている。南北では地業の様子が異なる。他には明瞭な遺構は確認できていない（図 97）。

遺物はかわらけ・常滑・瓦質製品・木製品・自然遺物などが出土している。

#### 板列

#### 遺構 60（図 97：写真図版 10:1）

北側中央付近で列状に泥岩塊が敷き詰められており、その西側で横板が列状に（方位 163 度）並べられていた。区画のための構造物かと思われるが詳細不明。

#### 第 8b 面構成土出土遺物（図 98）

1 は常滑甕、2 は用途不明の加工骨、3～9 は箸状木製品、10 は籠状木製品、11 は棒状木製品、12～13 は用途不明。

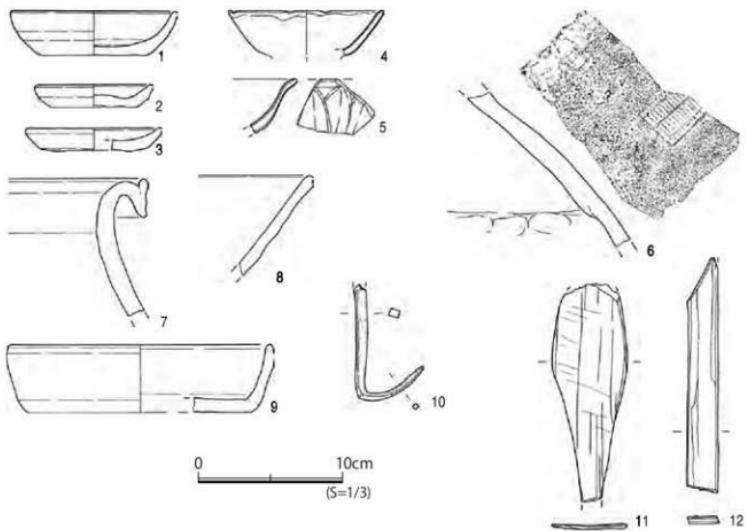
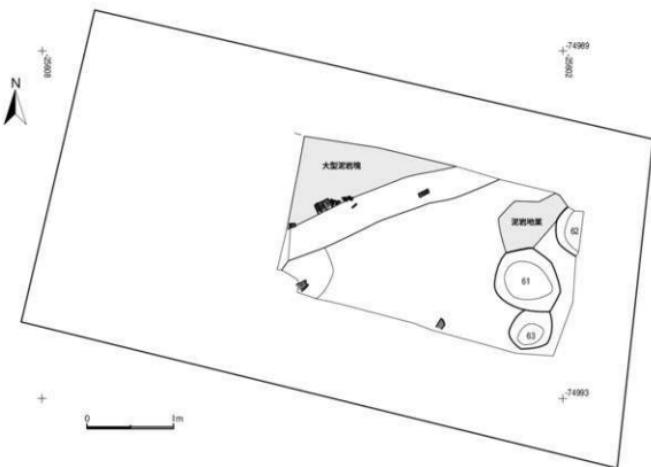


図 99 第8c面全測図 (S=1/50) および出土物

## 第8c面

北側（2区）のみ検出。検出した高さはおよそ海拔8.15～8.32mである。泥岩粒を含む暗褐色土を基調とする。東側は破碎した泥岩を敷き詰めた地業面が見られるが一部のみ。さらに東側に延びていると考えられる。また西北部は大型の泥岩塊が敷き詰められた状態である。

遺構は土坑3基を検出した。遺構の切りあいより第8c面で発見した遺構は少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺構	色 黒褐色	上 端 高 度	最 上 端 高 度	レ ベル 底 面	遺構	色 黒褐色	上 端 高 度	最 上 端 高 度	レ ベル 底 面	遺構	色 黒褐色	上 端 高 度	最 上 端 高 度	レ ベル 底 面	
61	黄褐色	8.29	0.8	8.12	62	黒褐色	8.31	0.5	8.13	63	暗褐色	8.29	0.5	8.11	

遺物はかわらけ・青磁・舶載陶器・金属製品・木製品・自然遺物などが出土している。

### 土坑

#### 遺構61（図99）

楕円形を呈する土坑か。検出は西南部のみ。覆土は黄褐色有機物腐植土で締まりなし。図示可能な遺物は出土せず。

#### 遺構62（図99）

円形を呈する土坑。覆土は黒褐色粘質土。締まりややあり。泥岩塊多く、炭化物少量含む。図示可能な遺物は出土せず。

#### 遺構63（図99）

円形を呈する土坑。覆土は暗褐色粘質土。締まりなし。泥岩塊を含む。図示可能な遺物は出土せず。

### 第8c面構成土出土遺物

8c面より9面検出までの間の堆積より出土した遺物（図99）：1は大型かわらけ、2は小型かわらけ、3は小型の手づくねかわらけ、4は青磁碗、5は青磁蓮弁文碗、6～7は常滑甕、8は常滑片口鉢1類、9は常滑盤、10は掛金具か。

木製品：11は板杓子、12は用途不明。

## 第9節 第9面の遺構・遺物

北側（2区）のみ検出。南側では泥岩粒、炭、砂利、貝粒などが混入したやや硬化した面が検出され、遺構面と判断した。その北は黄褐色の有機物腐植土の土が堆積していた。検出した高さはおよそ海拔7.9m～8.05mである。遺構は土坑1基を検出した。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・常滑・金属製品・木製品・自然遺物が出土している。

### 土坑

#### 遺構 64（図100）

ごく一部のため詳細は不明。緩やかに落ち込み楕円形を呈するか。上端のレベルは8.05m、底面レベルは7.92m、覆土は暗褐色粘質土で繰りなし。西側では横板と杭の組み合わせが検出されたが、全体の構造は不明。出土遺物（図101）：1は小型の手づくねかわらけ、2は小型かわらけ、3は常滑甌、4は常滑片口鉢1類、5は亀山甌。

#### 第9面遺構外出土遺物（図101）

9面の面上より検出した遺物。6は釣り針か。

#### 9面以下（図102）

2区において確認のための深堀を行った。わずかに泥岩を含む土が確認され、遺構とおぼしき落込みから板材や少數のかわらけを検出した。面としてはあまり明瞭ではない。海拔約7.68mで暗茶褐色で泥岩をやや多く含む層、海拔7.38mでは暗青灰色で砂粒を含みややきめ細かな硬化した層を検出した。

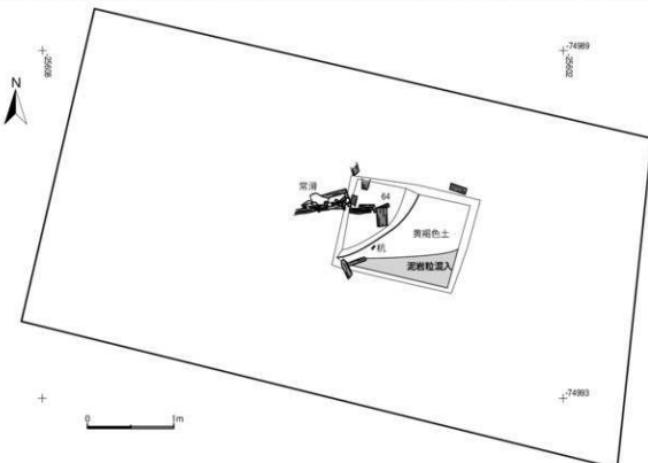


図100 第9面全測図 (S=1/50)

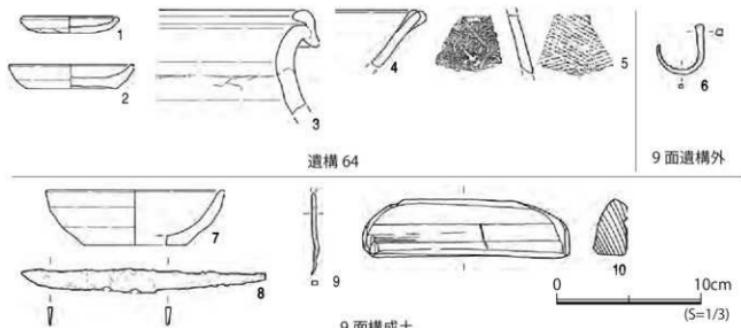


図 101 第 9 面出土遺物

いずれも遺構面となる可能性がある。中世基盤層と考えられる層は検出に至らなかった。

掘り下げ中に検出した遺物（図 101）：7 は大型かわらけ、8 は刀子、9 は鉄釘、10 は手押木。

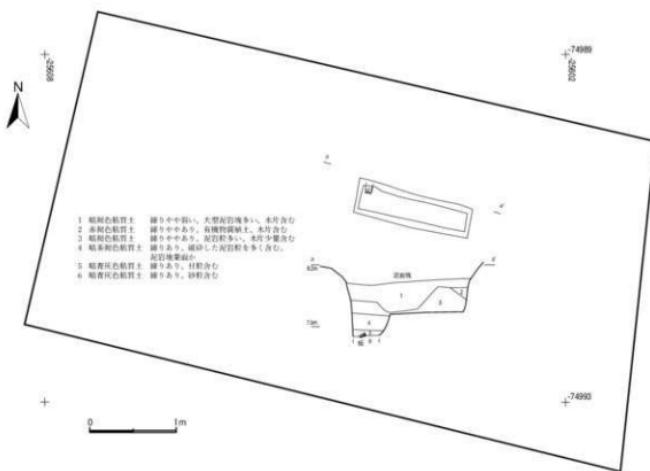


図 102 第 9 面以下全測図および土層図 (S=1/50)

## 第10節 その他出土遺物

試掘時、1面までの表土層、廃土から検出した残存状況のよい遺物を掲載しておく（図103～104）。

1～12は大型かわらけ、13～14は中型かわらけ、15～31は小型かわらけ、32はかわらけ転用品、33はかわらけ転用円盤状土製品、34は瀬戸内系瓦器質碗、35～37は常滑片口鉢I類、38～41は常滑片口鉢II類、42は常滑壺転用磨製品、43は瀬戸底鉢、44は瀬戸底鉢目皿、45は瀬戸柄付片口、46は瀬戸小坏もしくは入子か、47は瀬戸花瓶、48は備前摺鉢、49は針か。50～52は鉄釘。

53は漆器椀、54～57は箸状木製品。

近代の磁器：58は小环、59は土瓶の蓋。

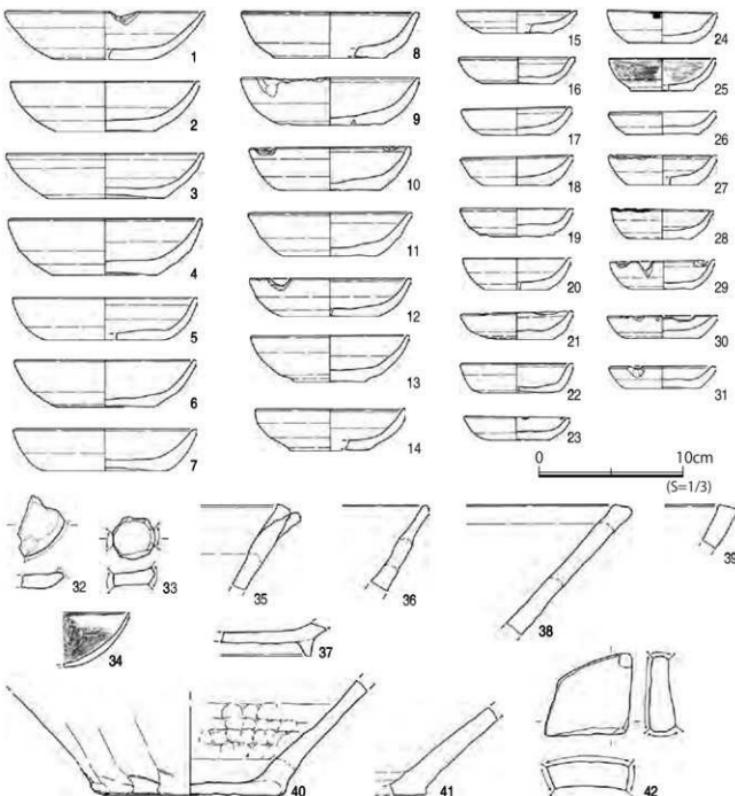


図103 その他出土遺物1

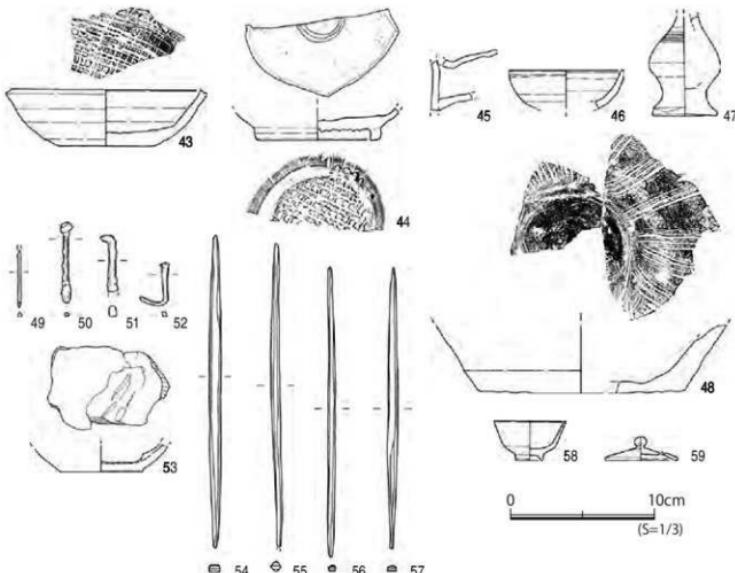
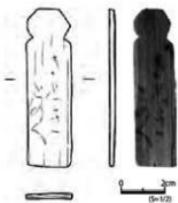


図 104 その他出土遺物 2

入稿後に図 40-12 の荷札と考えられる木製品に墨書が確認された。本文および観察表に反映できていないのでここに記載しておく。墨書は片面にのみ確認された。2 行にわたりそれぞれ 3 文字、計 6 文字の平仮名が書かれていると推定される。最初の 2 文字はやや不鮮明で、「□□きとのへ」と読める。



### 第三章 若宮大路周辺遺跡群の大型植物遺体

パンダリ スダルシャン (パレオ・ラボ)

#### 第1節 はじめに

神奈川県鎌倉市雪ノ下に所在する若宮大路周辺遺跡群では、発掘調査時に大型植物遺体が採取された。ここでは、若宮大路周辺遺跡群の13世紀中頃～14世紀の遺構から採取された大型植物遺体の同定結果を報告し、食用などとして利用された植物について検討する。

#### 第2節 試料と方法

試料は、1区と2区の各所から、肉眼で確認され、取り上げられた大型植物遺体49試料で、時期はいずれも13世紀中頃～14世紀と考えられている。試料は、1面から1試料、3面から6試料、4面から2試料、4a面から1試料、4a面下～5面から2試料、5面から13試料、板壁東から1試料、6面構成土から1試料、6a面構成土から1試料、6a面から1試料、6a面～6b面から6試料、6b面～7面から2試料、7面から1試料、7面構成土から1試料、8面から4試料、8面構成土から2試料、8c面から1試料、8c面構成土から1試料、9面から1試料、深堀から1試料である。試料は、鎌倉市教育委員会により採取された。

大型植物遺体の抽出および同定、計数は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。計数の方法は、完形または一部が破損していても1個体とみなせるものは完形として数え、1個体に満たないものは破片とした。モモとクリミ属は形態を観察し、完形、動物食痕のある個体、一部破損の個体、一部焦痕のある個体、半割の個体に分類した。計数が困難な分類群は、記号(+)で示した。試料は、鎌倉市教育委員会に保管されている。

#### 第3節 結果

同定した結果、木本植物では針葉樹のアカマツ球果の1分類群、広葉樹のモモ核、炭化核とウメ核、スモモ核、クリ果実、スダジイ果実、ヒメグルミ核、オニグルミ核、カキノキ種子、ツバキ属果実、種子の9分類群の、計10分類群が見いだされた(表1～4)。このほかに、同定の対象外とした木材・炭化材や不明動植物遺体、不明昆虫遺体も得られた。

以下に、同定された大型植物遺体の産出状況を面別に記載する。

1面遺構5泥岩内 泥岩地業内(1区)：オニグルミの破片が1点のみ得られた。

3面南側構成土(1区)：モモとクリが少量、オニグルミがわずかに得られた。

3面遺構外 b区域(2区)：モモがわずかに得られた。

3面遺構外 c区域(2区)：モモとオニグルミがわずかに得られた。

4面遺構外 b区域(2区)：クリの破片が1点のみ得られた。

4面構成土(2区)：モモが1点のみ得られた。

4a面遺構外(2区)：モモがわずかに得られた。

4a面構成土(2区)：モモがわずかに得られた。

5面遺構18(1区)：モモとクリがわずかに得られた。

表1 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体(1)(括弧内は破片数)

假No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
区												
1面遺構	3面南	3面南	3面南	3面南	4面	3面	3面	4面	4面	4面	4面	4面
出土地	5面泥岩層 間	構成土 上層	構成土 中層	構成土 下層	南構成土	遺構外	構成土c	遺構外	構成土	遺構外	構成土	構成土
分類群												
モモ	枝(完形)	5		1	2					2	1	1
	枝(一部焦痕)				(1)							
	枝(一部黒斑)											
	枝(不明)											
クリ	果実											
	果実											
オニグルミ	枝(半割)			(1)	(2)							
	枝(一部焦痕)											
	枝(打撲痕)	(1)			(1)	(1)	(1)					
不明	木材				(+)							
	動物遺体				(+)							
	+1:9											

表2 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体(2)(括弧内は破片数)

假No.	13	15	16	17	18	14	19	20	21	22	23	24
区												
5面	5面	5面	5面泥岩層	5面東南	5面	5面北板	5面	5面北板	5面北板	5面東板	5面構成	5面構成25 圓が裏 周辺
出土地	遺構18 構成土	構成土 地盤内	泥岩層	泥岩層	構成土	壁北側	遺構22	壁北側	壁北側	壁北側	壁中	
分類群												
モモ	枝(完形)	2				2						2
	枝(半割)					(1)						
ウメ	枝					1						2
クリ	果実	(2)	(2)	(3)	(1)	(17)			(1)	(8)	(1)	(50) (150)
スマジイ	枝(半割)					(1)	(1)	(1)				
	枝(一部焦痕)					(1)						
オニグルミ	枝(半割)											
	枝(一部焦痕)											
	果実											
カキノキ	枝											(2)
	枝(打撲痕)											
不明	炭化材										(+)	(+)
不明	動物遺体											
	+1:9											

5面構成土(1区)：クリがわずかに得られた。

5面構成土 泥岩地業(1区)：クリがわずかに得られた。

5面構成土 東南泥岩層(1区)：クリの破片が1点のみ得られた。

5面構成土(1区)：クリが少量、モモとウメ、オニグルミがわずかに得られた。

5面遺構 24 北側板壁北 下板のそば(2区)：オニグルミの破片が1点得られた。

5面遺構 22(2区)：クリとオニグルミがわずかに得られた。

5面遺構 24 北側板壁北(2区)：クリの破片が1点のみ得られた。

5面遺構 24 北側板壁北近辺(2区)：モモの破片が1点のみ得られた。

5面構成土砂中(2区)：モモがわずかに得られた。

5面附炉裏周辺(2区)：スマジイが多く、クリがやや多く、ウメとオニグルミがわずかに得られた。

5面遺構 24 北側板壁北(2区)：モモが1点のみ得られた。

5面構成土(2区)：モモとウメが1点ずつ得られた。

6面南構成土(1区)：モモとクリ、ヒメグルミ、オニグルミがわずかに得られた。

6a面構成土(2区)：モモとスマモ、クリ、オニグルミがわずかに得られた。

6a面遺構 28(2区)：クリが多く、ウメとカキノキがわずかに得られた。

6a面構成土東(2区)：クリが少量、モモとウメ、ヒメグルミ、オニグルミ、カキノキがわずかに得られた。

6a面貝層(2区)：モモの破片が1点のみ得られた。

6a面構成土東(2区)：モモとヒメグルミの破片が1点ずつ得られた。

6a面構成土東(2区)：アカマツとモモ、ヒメグルミがわずかに得られた。

表3 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体(3)(括弧内は破片数)

区分群	伐木マツ	仮No.		25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35
		区		2	1	6面	6a面	6b面						
モモ	モモ	出土地		5面北板 東北面	5面 構成土	構成土 構成土								
	モモ	種類	種子	(光形)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ウメ	ウメ	種子	種子	(一部焦痕)		1		(2)		(1)	(1)	(1)	(1)	
	ウメ	根	根	炭化核		1								
タリ	タリ	種子	種子					1		(1)				
	タリ	種子	種子					(1)	(1)	(130)	(10)			(3)
ヒメグルミ	ヒメグルミ	種子	種子					(1)						
	ヒメグルミ	根	根											
オニグルミ	オニグルミ	種子	種子					(4)						(1)
	オニグルミ	根	根					(1)						(1)
カキノキ	カキノキ	種子	種子					(2)	(2)	(3)				
	カキノキ	木村	木村					(*)	(*)	(*)				
不明	不明	炭化材	炭化材											
	不明													

表4 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体(4)(括弧内は破片数)

区分群	モモ	仮No.		36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
		区		2	1	6面	7面	7面	9面	8面	8面	8面	8面	8面	8面	9面以下
モモ	モモ	出土地		構成土西	道構43	構成土	道構外	道構49	構成土							
	モモ	種子	種子	種子	(一部)	1		(2)	(1)							1
クリ	クリ	種子	種子	種子	(一部)			(1)								
	クリ	根	根	根	(半割)			(1)								
ヒメグルミ	ヒメグルミ	種子	種子	種子	(半割)			(1)								
	ヒメグルミ	根	根	根	(一部)			(1)								
オニグルミ	オニグルミ	種子	種子	種子	(一部)			(1)								
	オニグルミ	根	根	根	(打撲痕)			(1)								
ツバキ属	ツバキ属	種子	種子	種子	(打撲痕)											
	ツバキ属	葉子	葉子	葉子												(++)
不明	不明	見出遺体	見出遺体	見出遺体												
	不明															

++:1~9, +++:10~49

6b面構成土東(2区)：モモが1点のみ得られた。

6b面構成土東(2区)：クリとオニグルミがわずかに得られた。

6b面構成土西(2区)：クリとオニグルミの破片が1点ずつ得られた。

7面道構43(2区)：モモとヒメグルミ、オニグルミの破片が1点ずつ得られた。

7面構成土(2区)：モモが1点のみ得られた。

8面道構外 東炭下泥岩上(2区)：モモとクリ、オニグルミがわずかに得られた。

8面道構49(2区)：モモとオニグルミの破片が1点ずつ得られた。

8面構成土(1区)：オニグルミの破片が1点のみ得られた。

8面構成土(2区)：ツバキ属がわずかに得られた。

8面構成土(2区)：モモが1点のみ得られた。

8a面道構59(2区)：モモとクリがわずかに得られた。

8c面道構62(2区)：オニグルミの破片が1点のみ得られた。

8c面構成土(2区)：モモの破片が1点のみ得られた。

9面道構64(2区)：モモの破片が1点のみ得られた。

深堀(1区)：クリが1点のみ得られた。

次に、得られた分類群の記載を行い、図版に写真を示して同定の根拠とする。なお、分類群の学名は米倉・梶田(2003-)に準拠し、APG IIIリストの順とした。

(1) アカマツ *Pinus densiflora* Siebold et Zucc. 球果 マツ科

茶褐色で、狹卵形。種鱗はくさび形で、木質化しており、硬い。露出部は菱形状。高さ41.2mm、幅

26.1mm。

(2) モモ *Amygdalus persica* L. 核・炭化核 バラ科

黄褐色～茶褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観は楕円形で先が尖る。下端に大きな着点がある。表面に不規則な深い皺がある。また、片側側面には縫合線に沿って深い溝が入る。完形個体は高さ 27.9mm、幅 20.8mm、厚さ 15.4mm、一部破損の個体は高さ 22.7mm、幅 17.7mm、残存厚 8.5mm、一部焦痕のある個体は高さ 22.1mm、幅 19.3mm、厚さ 14.8mm、半割の個体は高さ 24.8mm、幅 19.3mm、残存厚 8.1mm。炭化核は、高さ 22.2mm、幅 17.6mm、厚さ 12.4mm。

(3) ウメ *Armeniaca mume* (Siebold et Zucc.) de Vriese 核 バラ科

茶褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観は卵形。表面には、全体的に不規則で深い小さな孔がある。着点は凹む。縫合線に沿って深い溝が入る。高さ 14.5mm、幅 11.4mm、厚さ 9.1mm。

(4) スモモ *Prunus salicina* Lindl. 核 バラ科

赤褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観はいびつな楕円形。縫合線に沿ってやや深い溝が入る。表面は平滑だが、臍付近に縦方向の不規則な皺がある。高さ 12.9mm、幅 9.8mm、厚さ 7.5mm。

(5) クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. 果実 ブナ科

黒褐色で、完形ならば側面は広卵形。表面は平滑で、細い縦筋がみられる。底面にある殻斗着痕はざらつく。果皮内面にはいわゆる洪皮が厚く付着する。高さ 31.6mm、幅 36.0mm (図版 1-9)、高さ 25.1mm、残存幅 25.3mm (図版 1-10)。

(6) スダジイ *Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatus. ex T.Yamaz. et Mashiba 果実 ブナ科

暗褐色～暗赤褐色で、完形ならば卵形、上部は幅が徐々に狭くなる。縦の条線が目立つ。すべての破片は横方向または縦方向に割れている。高さ 14.3mm、幅 9.2mm (図版 1-11)、残存高 10.8mm、幅 9.0mm (図版 1-12)。

(7) ヒメグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. *cordiformis* (Makino) Kitam. 核 クルミ科

黄褐色で、上面観は楕円形、側面観は先端が尖る広卵形。外面中央にやや深い溝が走るが、それ以外は表面が平滑な点で、オニグルミとは異なる。明瞭な縫合線がある。半割の個体は高さ 29.0mm、幅 22.1mm、残存厚 8.8mm、一部焦痕のある個体は高さ 25.4mm、幅 26.1mm、残存厚 9.2mm、動物食痕の個体は高さ 28.3mm、残存幅 23.9mm、残存厚 10.6mm。

(8) オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Komatsu) Kitam. 核 クルミ科

黄褐色～茶褐色で、側面観は広卵形。木質で、壁は厚くて硬く、ときどき空隙がある。表面に浅い縦方向の縫合線があり、浅い溝と凹凸が不規則に入る。半割の個体は高さ 34.2mm、幅 27.6mm、残存厚 13.3mm、一部焦痕のある個体は高さ 31.0mm、幅 30.2mm、残存厚 13.4mm、打撲痕のある個体は残存高 28.4mm、幅 23.8mm、残存厚 10.1mm。

(9) カキノキ *Diospyros kaki* Thunb. 種子 カキノキ科

黒褐色で、上面観は両凸レンズ形、側面観は倒卵形で、基部がやや曲がり、突出する。表面にはちりめん状のしわが見られる。明らかに大型の果実であったと想定される種子をカキノキとした。高さ 14.7mm、幅 10.0mm。

(10) ツバキ属 *Camellia* spp. 果実・種子 ツバキ科

黒褐色で、上面観は卵形、側面観は半円形。果実の中に 3 個の種子を保持するための三つの仕切りが見られる。表面は粗く木質。長さ 27.6mm、残存幅 21.0mm。種子も黒褐色で、角のあるいびつな球形。表面は平滑。下端部中央に小さな臍がある。長さ 16.6mm、幅 11.6mm。

## 第4節 考察

表5 モモ核の大きさ（単位：mm）

出土地	高さ	幅	厚さ
3面南構成土上層	28.6	24.2	18.7
4面構成土	25.1	19.5	14.7
5面遺構18	32.9	22.7	15.4
5面構成土	22.7	20.0	14.3
6面構成土	29.9	20.3	13.2
6面構成土	26.2	21.6	17.0
6面構成土	27.9	20.8	15.4
4a面遺構外	27.0	19.6	14.9
4a面構成土	25.2	20.6	15.6
4a面構成土	25.8	21.0	16.7
5面構成土砂の中	27.1	19.1	14.5
5面板壁北側	23.7	20.4	15.7
6a面構成土東	27.2	23.7	16.6
6a面構成土	26.8	19.8	14.6
6a面構成土	29.4	22.3	17.7
最小	22.7	19.1	13.2
最大	32.9	24.2	18.7
平均	27.0	21.0	15.7
標準偏差	2.5	1.6	1.4

若宮大路周辺遺跡から取り上げられた13世紀中頃～14世紀の大型植物遺体を検討したところ、栽培植物ではモモとウメ、スマモ、カキノキ、食用可能な植物としてはクリとスダジイ、ヒメグルミ、オニグルミが得られた。

このうち、モモ15個体の大きさを計測した結果、高さが平均 $27.0 \pm 2.5$ mmで、最大でも高さ32.9mm、幅は平均 $21.0 \pm 1.6$ mm、厚さ平均 $15.7 \pm 1.4$ mmで、縦長の個体が多くあった（表5）。山梨県内の遺跡から出土したモモ核の事例を集めた新津（1999）によると、モモの核は時代ごとに大きさや形状が変化しており、弥生時代には比較的大きくかつ丸味が強い核が多いのに対し、平安時代から近世には縦長になる傾向があるという。さらに、奈良・平安時代のモモの核長は23.6～26.6mm、鎌倉時代では大きさの変異幅が大きく、戦国時代のモモの核長は23.0～25.5mm、江戸時代後期になると大型になり、平均核長26.9mm、最大で38.0mm程度の核がみられるとしている。山梨県から出土している奈良・平安時代や戦国時代のモモ核の平均値と比較すると、今回の若宮大路周辺遺跡のモモ核は奈良・平安時代や戦国自体の平均値をやや上回る大きさであった。

次に、検出された大型植物遺体を面ごとに記す。

1面遺構5の泥岩地業内から得られたオニグルミは打撃痕が見られ、人為的に割られて中の子葉を食用のために取り出した可能性がある。

3面の遺構や炭層から栽培植物で果樹のモモ、食用可能な植物のクリとオニグルミが得られた。モモ核は、果肉を食べた後に捨てられた可能性がある。モモは、食用のほか、祭祀に使用された可能性もある。一部焦痕のある核、打撃痕のある核が得られたモモやオニグルミは、食用となる子葉を利用したのち、廃棄された可能性がある。

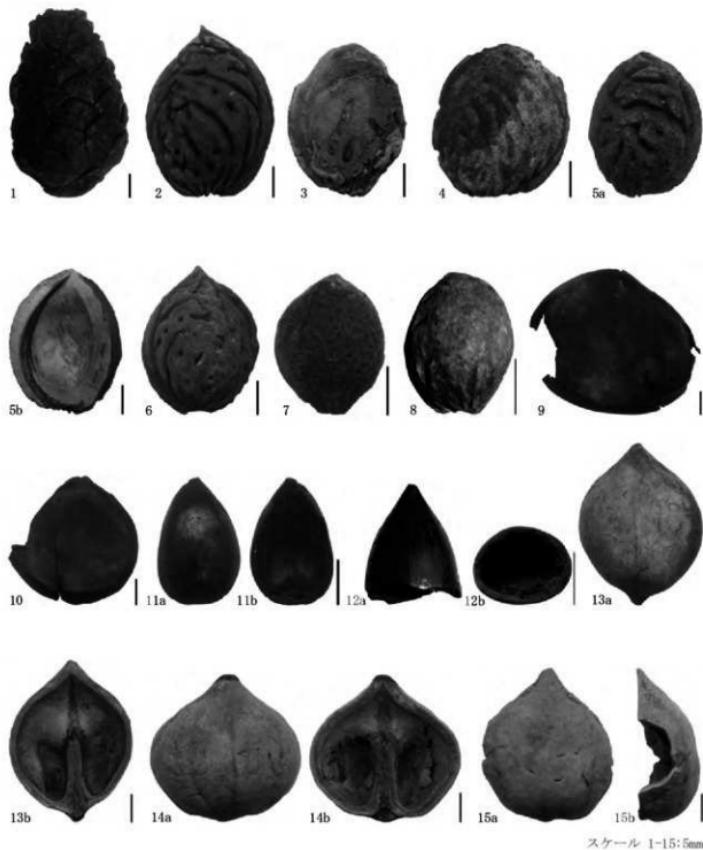
4面南構成土からは、クリの果実も得られた。4面構成土と4a面遺構外、4a面構成土からは、栽培植物で果樹のモモが産出した。

5面遺構と5面構成土などからは、栽培植物で果樹のモモとウメ、カキノキ、食用可能な植物のクリとスダジイ、オニグルミが得られた。囲炉裏の周辺からはクリやスダジイの破片が多く出土した。クリの子葉は食用となる部位であるが、クリの果実は食用ではないため、殻を剥いた後、不要な果実が捨てられた可能性がある。スダジイは、横方向または縦方向に割れており、人為的に割られた可能性がある。

6面構成土と6a面構成土、6b面構成土からは、栽培植物のモモとウメ、スマモ、カキノキ、食用可能な植物のクリ、ヒメグルミ、オニグルミが得られた。モモやヒメグルミ、オニグルミでは一部焦痕や打撃痕のある個体が見られ、人為的に割られて中の子葉を食用のために取り出した可能性がある。ヒメグルミでは、ネズミ類によるとみられる動物食害痕が残る個体があった。ネズミ類は、巣穴や岩陰などの狭い空間や、地中に堅果類を貯蔵する習性がある。6a面構成土からは、アカマツの球果もわずかに産出しており、周辺に針葉樹のアカマツが生育していたと推定される。

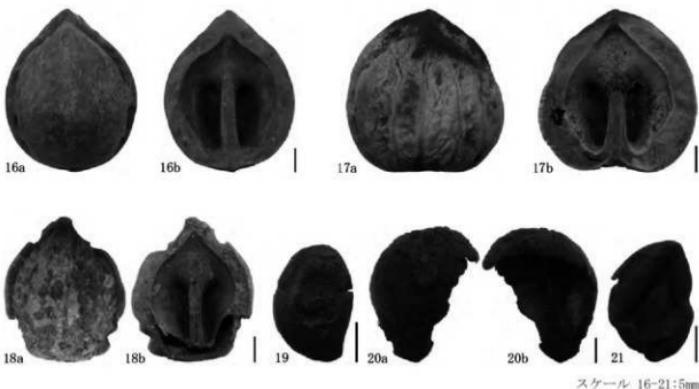
7面の遺構43と7面構成土からは、栽培植物のモモ、食用可能な植物のヒメグルミとオニグルミが産出した。半剖のモモやヒメグルミ、オニグルミの個体には打撃痕は見られず、自然に割れた可能性がある。

8面と8面～8b面、8c面、8c面～9面の遺構などからは、栽培植物のモモ、食用可能な植物のクリとオニグルミが産出した。8面構成土から出土したツバキ属は、周辺に生育していたツバキ属から、果実や種子



1. アカマツ球果（6a面構成土西北）、2. モモ核（完形）（6面構成土）、3. モモ核（一部破損）（4a面遺構外）、4. モモ核（一部焦痕）（7面構成土）、5. モモ核（半割）（5面構成土）、6. モモ炭化核（6面構成土）、7. ウメ核（5面構成土）、8. スモモ核（6a面構成土）、9. クリ果実（5面遺構25番炉裏周辺）、10. クリ果実（5面板壁北側）、11・12. スダジイ果実（5面遺構25番炉裏周辺）、13. ヒメグルミ核（半割）（6面構成土）、14. ヒメグルミ核（一部焦痕）（6a面構成土東）、15. ヒメグルミ核（動物食痕）（6a面構成土東）

図 105 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体（1）



16. オニグルミ核（半割）（6面構成土）、17. オニグルミ核（一部焦痕）（6a面構成土東）、18. オニグルミ核（打撃痕）（8面遺構49）、19. カキノキ種子（5面板壁北側）、20. ツバキ属果実（8面構成土）、21. ツバキ属種子（8面構成土）

図 106 若宮大路周辺遺跡群から出土した大型植物遺体（2）

が落下し堆積した可能性がある。ツバキ属種子からは油がとれるため、利用された可能性や、植栽された可能性もある。

9面遺構64からは、食用可能な植物のクリが得られた。また、深堀からは、栽培植物のモモが得られた。

今回は、肉眼で確認・回収された大型の種実のみを検討したが、今後、堆積物中の大型植物遺体も合わせて解析できれば、当時の利用植物や栽培状況がより明らかになると考えられる。

#### 引用文献

新津 健（1999）遺跡から出土するモモ核について—山梨県内の事例から—、山梨考古学論集、IV、361-374、山梨県考古学協会。

米倉浩司・梶田 忠（2003-）BG Plants 和名－学名インデックス（YList），<http://ylist.info>

## 第四章 考察とまとめ

本調査地点では中世の遺構面を9面検出し、それぞれに建造物が確認された。9面以下のトレンチによる掘り下げでも中世基盤層と判断される地層は確認できず、さらに深くまで遺構面が存在している可能性がある。

### 第1面

上部は削平されてしまっていると考えられる。泥岩による構築物などが確認された。地表下0.6～0.7m、海拔9.71～9.85mで検出。遺構は比較的大型の泥岩を密に敷き詰めた硬化した列状の遺構2条、ピット1穴、土坑2基。南側では、西南一東北方向のやや大型の泥岩塊を使用した列状の構造物が見られる。その南側では多量の泥岩塊が投げ込まれたような状態で検出された。北側でもほぼ平行して同様の列状泥岩面があるが、中央から南にかけては存在せず、消失した可能性がある。西北隅には泥岩塊で強く固めた地業が広がる。列状の泥岩は側溝を伴わず、土壘的な構造物かもしれないが不明である。

遺物はかわらけ・青磁・天目茶碗・常滑・瀬戸・備前・東播系須恵器・瓦質製品・鉄製品・石製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は14世紀後半～15世紀前半に属すると考えられる。

### 第2面

広範囲に広がる焼土層を基調とする面。泥岩を敷き詰めた構造物が存在しているが、その上に焼土の堆積が見られる。およそ海拔9.50～9.60mで検出。

調査区西北部以外で広範囲に焼土層が広がり、比較的平坦で5～6cmの厚さで堆積し、上面はある程度硬化していた。周囲の泥岩に被熱の影響が確認できず、この場での火災の結果というよりは焼土を意図的に敷き詰めたような状況と言える。第1面の列状遺構の下部はともにやや密に硬く敷き詰められた列状の構造物がみられるが、上層ほど直線的にはなっておらず、泥岩も敷き詰められていない箇所が多いなど差も大きい。

調査区東南隅は東南方向に向けてやや高くなっている。この傾向は3面でも見られる。

その他にピット4穴・土坑4基が検出されたが、掘立柱建物址の存在を推定できるほどではない。切りあいから第2面で発見した遺構は、少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・舶載陶器・瀬戸・備前・瓦質火鉢・石製品が出土しており、これらから当該面は14世紀後半に属すると考えられる。

### 第3面

第2面の焼土層堆積と列状遺構下の泥岩敷を除去した層。地表下0.9～1.0mで、高さ海拔9.41～9.54mで検出。ピットや土坑などの明確な遺構は未検出。西北隅は比較的強固な破碎泥岩による地業区画で、その東南側にはやや大型の泥岩を敷き詰めた区画が帶状にみられる。第1面遺構5の下部は依然として板状に加工された砂岩や泥岩などを列状に敷き詰めているが、1面ほど明確な列状ではない。主軸方向は約67度である。その西北にはやや広範囲で砂質土が広がる。

調査区南東隅はやや高くなり、破碎した泥岩を敷き詰めた硬化面である。およそこれらの地業は西南一東北方向で併行している。泥岩地業が見られない区画は、暗褐色粘質土と泥岩塊がまじりあった土で

構成され一部はやや硬化している。

以下6面までの構成土である大量の木製品を含む遺物が混入しており、意図的に廃棄物を混ぜ込んでいることが想定される。遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・備前・東播系須恵器などの国産陶器・瓦質製品・銅錢・鉄釘・石製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は14世紀中～後半に属すると考えられる。

#### 第4面

地表下1.2～1.3m、およそ海拔9.36～9.48mで検出した。調査区中央部には緻密な破碎泥岩による地業があり、その周囲に砂が敷き詰められている。その上面には大型の泥岩塊や砂岩塊が多数敷き詰められ、一部は硬化している。東南隅は緻密で硬化した泥岩による地業があり、西北部も細かな泥岩による硬化した地業が見られた。東南と西北部が他の区域と地業が異なるのは3面の状況と類似する。

東側の調査区壁際では列状に並んだ縦板が検出され、上面は炭化しており火災の影響が想定される。おそらく板壁建物の壁をなすと考えられるが他の壁は不明であり、調査区東側に存在していた可能性がある。その西側からは多数の炭化した木材が出土した。

南側では地業面に沿うようにいくつか縦板や杭が検出されたが部分的なものであり、建物の一部かと思われるが不明瞭で全体としてどのような構造をなすかは判然としない。杭などはやはり上端が炭化している。それ以外の遺構はピットが1穴検出されたのみである。

泥岩や砂層地業下の構成土をなす暗褐色土層内は第3面と同様多量の遺物が混入していた。遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・備前・東播系土師器などの国産陶器・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・木製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は14世紀前半～中葉に属すると考えられる。

#### 第4a面

第4面の西北部の泥岩地業の下約8cmで検出した厚さ数cmの薄い泥岩地業層。検出レベルはおよそ海拔9.32～9.41mである。遺構はピット1穴を検出したのみであり、その近辺に曲物の底板とその上に破碎したかわらけが検出された。

遺物は、かわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・土製品・瓦質製品・木製品・銅錢・金属製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は14世紀前半～中葉に属すると考えられる。

#### 第5面

地表下1.3～1.45m、およそ海拔9.0～9.2mで検出。中央部は大型の泥岩塊を敷き詰めており、その北側には杭と縦板による板列が南西～東南方向に調査区を横切って検出され、東側ではそれに直行する板列を後に検出した。また東側壁際からは板組による閉炉裏も検出されたため、板壁掘立柱建物と推定した。板壁列は東西列も南北列も調査範囲外にさらに伸びているようであり、全体の規模などは不明。板および杭は上端が被熱により炭化している。

南側（1区）では杭などがいくつか見られるものの明確な構造を示さず、大型泥岩塊も多いが散乱しており、ごく一部に破碎泥岩による地業面が見られる程度である。他の遺構はピット3穴、土坑3基、横板列1条である。

地業下の暗褐色土は木製品などの遺物を多く混入している。遺物は、かわらけ・白かわらけ・青磁・

白磁・青白磁・舶載陶器・常滑・瀬戸・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は14世紀前半に属すると考えられる。

#### 第6面

地表下1.6～1.7m、およそ海拔8.8～8.97mで検出された。第5面の板壁および大型泥岩塊を取り去った面で暗褐色粘質土が基調となる。西北部では破碎した泥岩粒による地業面が確認され、その東南は大型の泥岩塊が敷き詰められた細長い区画がある。東側では板組みの構造物が検出されたが詳細は不明。板の南側は泥岩塊、泥岩粒を混入した地業面となっている。南側は全面的に破碎した泥岩粒による地業面が広がるが、さほど強固ではなく部分的には見られない。西側ではわずかに貝粒と細泥岩粒を多く混入した土による地業も確認された。その地業の境に紙板列が検出され、地割の区画かと考えられる。南部の構成土は上面までと同様に木製品を含む遺物が多量に混入。遺物は、かわらけ・青磁・白磁・青白磁・舶載陶器・常滑・瀬戸・備前など国産陶器・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は14世紀前半に属すると考えられる。

#### 第6a面

6面より5cmほど下、海拔8.81～8.9mで検出。西北部では破碎した泥岩による地業面、西南部に砂粒と泥岩による地業面がみられる。西北部の地業は厚さ5cm程度の薄いものである。東部でL字状をなす板組が1基検出されたが、ごく一部のみであり全体の構造は不明。西南部の地業は区画のためと思われる板列が南側に構築されていた。他は明確な遺構は確認できていない。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・渥美・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物などが出土しており、これらから当該面は13世紀末～14世紀前半に属すると考えられる。

#### 第6b面

調査区北部のみ検出。暗褐色粘質土を基調とする。海拔8.71～8.80mで検出。東部では横板および杭が検出されたが全体像は不明である。その他ピット6基、土坑3基が検出。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・舶載陶器・常滑・瀬戸・土製品・瓦質製品・金属製品・石製品・木製品・自然遺物などが出土しており、これらから当該面は13世紀末～14世紀前半に属すると考えられる。

#### 第7面

地表下1.9mほど、およそ海拔8.46～8.70mで検出。暗褐色粘質土を基調とする。東側は泥岩による地業面が構築されていた。西北部の地面は暗褐色土であるがやや硬化している。南側には併行して長い板が地面状に置かれていたが機能は不明。また一条横板を杭で補強した遺構が1基検出され、その南側には泥岩塊が敷き詰められていた状態であった。その他はピット4穴・土坑1基が検出されたのみで、建物址のプランなどは不明瞭。遺構の切りあいから2時期の時間差があると考えられる。

遺物は、かわらけ・青磁・白磁・舶載陶器・常滑・瀬戸・備前・土製品・瓦質製品・金属製品・木製品・自然遺物が出土しており、これらから当該面は13世紀末～14世紀前半に属すると考えられる。

#### 第8面

南側(1区)は調査範囲を狭めたため、中央部のみ検出。地表下2m、およそ海拔8.40～8.50mで検出。

北側では硬化した茶褐色粘質土が基調となるが、東南部では泥岩塊を多く含んだ地業面が見られる。南側では東北部に大型の泥岩を敷き詰めた地業面が検出された。それ以外では泥岩塊が多く含まれた暗褐色粘質土が基調となっている。

遺構は西南部で縦板列が見られ平面方形に構築されていると考えられるが全体像は不明。西北部では横板が検出されたが性格は不明である。地割の仕切りかと思われる。その他にピット3穴・土坑3基を検出した。建物址のプランなどは不明瞭である。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・常滑・瀬戸・土製品・瓦質製品・銅錢・金属製品・石製品・木製品・自然遺物などが出土しており、これらから当該面は13世紀末～14世紀初頭に属すると考えられる。

#### 第8a面

南北とも調査範囲を狭めたため検出範囲は調査範囲の一部に限られる。8面より5cm程度下。堆積は非常に薄く、短期間で貼りなおしたと考えられる。検出した高さはおよそ海拔8.36～8.39m。暗褐色粘質土を基調とし、泥岩や貝粒を多く含み、やや硬化している。東部には炭層が広がる。遺構はピット3穴・土坑7基を検出した。建物址のプランなどは不明瞭である。

遺物はかわらけ・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬美などの国産陶器・瓦質製品・銅錢・鉄釘・木製品・自然遺物などが出土しており、これらから当該面は13世紀後半に属すると考えられる。

#### 第8b面

海拔8.27～8.31mで検出。北側は泥岩や木器片、遺物を含む暗褐色粘質土を基調とし、東側にやや大型の泥岩を敷き詰めた地業面が一部に見られる。中央付近では泥岩塊を列状に敷き詰めた地業面が検出された。その西側には横板が検出され、泥岩列をほどこすための仕切りのような構造物と考えられる。南側ではほぼ全域が破碎した泥岩を敷き詰めた薄い地業面であり、南北では地業が異なる。他に明瞭な遺構は確認できていない（図97）。

遺物はかわらけ・常滑・瓦質製品・木製品・自然遺物などが出土しており、これらから当該面は13世紀後半に属すると考えられる。

#### 第8c面

北側（2区）のみ検出。検出した高さは海拔8.15～8.32m。泥岩粒を含む暗褐色土を基調とする。東側は破碎した泥岩を敷き詰めた地業面が見られるが一部のみ。さらに東側に延びていると考えられる。また西北部は大型の泥岩塊が敷き詰められた状態である。遺構は土坑3基を検出した。遺構の切りあいより遺構は少なくとも2時期の時間差があると考えられる。

遺物はかわらけ・青磁・舶載陶器・金属製品・木製品・自然遺物などが出土しており、これらから当該面は13世紀後半に属すると考えられる。

#### 第9面

北側（2区）のみ検出。南側では泥岩粒、炭砂利、貝粒などが混入したやや硬化した面が検出され、遺構面と判断した。その北は黄褐色の有機物腐植土が堆積。検出した高さはおよそ海拔7.9～8.05mである。遺構は土坑1基のみ検出。

遺物は、かわらけ・白かわらけ・常滑・金属製品・木製品・自然遺物が出土しており、これらから当

該面は13世紀中頃に属すると考えられる。

#### 9面以下

2区で確認のためのトレチを設定して掘り下げを行った。わずかに泥岩を含む土が確認され、遺構とおぼしき落込みから板材や少數のかわらけも検出。海拔約7.68mで暗茶褐色で泥岩をやや多く含む層、海拔7.38mでは暗青灰色で砂粒を含みややきめ細かな硬化した層を検出した。いずれも遺構面となる可能性がある。最終的には中世基盤層と考えられる層は検出に至らなかった。出土遺物は13世紀中頃と考えられる。

これまでの周辺地点での調査結果から推定されているとおり、中世基盤層のレベルは地表下4~5mである可能性が高い。

本調査地点は扇川の近辺ではあるが、川の流路などに関する痕跡は検出されなかった。ただし、2面以下ではやや西に向かって下がっているようであり、本来は川に向かって落ち込んでいた地形だったのかもしれない。

時期的な変遷を見ると、第8面より泥岩を多く用いた整地層が見られるようになり1面まで継続しているが、広範囲で面的に広がることは稀である。特に1面以下は総じて泥岩や砂岩などを利用した整地が各所に施されているが、地業の範囲は狭いことが多く、またさほど強固でない場合が多い。薄い地業が堆積している場合もあり、頻繁に整地を行っているようである。

その中でも、7面より上層では西北部が特に薄い地業層の繰り返しが見られ、また非常に強固な整地を行っている。調査範囲ではごく一部しか確認できていないが、ここより北は土地利用が大きく異なる可能性がある。

また第3面以下第7面まではほ1m近く大量のかわらけ、木器、漆器などが地業の間、泥岩塊の間に見られる。保存環境の良好さがあるとは言え、木製品や部材がゴミのように一面に散乱するなかで、何度か散漫な地業を繰り返している印象である。こうした状況は近隣の調査でも類似し、意図的にこうした状況を作り出していると考えられる。

第4面と第5面はいわゆる板壁掘立柱建物が立ち並ぶ空間だったようである。調査区が限られており全体の様相を把握するのが不可能であるが、東側の板の状況から2度ほど火災があり、その都度同じ場所かあるいは隣接するように建てなおしていると考えられる。

第2面と第1面では見られなくなるため、そこで大きな土地利用の変化が起きたと思われる。

#### 火災などについて

第1章でも見たように、窟堂周囲を含んだ火災の記録は鎌倉時代に限っても複数見られるが、それらの記録と遺跡に見られる火災の痕跡を直接結び付けることは難しい。ただし複数回の火災の痕跡が見られることは、記録にのこるような火災が何度もあったことをよく反映していると考えられる。

1188年の記事では「佐野基綱の巖谷不動下の家火災。人屋数十類焼」、1220年の記事には「判官工藤右衛門尉等家」とあるが、12世紀末~13世紀前半では本調査地点では明確な土地利用の性格を示すような遺構は確認できなかった。9面以下は13世紀前半までさかのぼりうるが、遺構や遺物は十分に確認できていないため断定はできない。火災が明確であると考えられる第4面、5面は基本的には14世紀前半と想定される。延慶3年(1310)11月の火災との関わりが考えらえるが十分な根拠に欠ける。記録に残らない程度の規模の火災も頻繁に起きたと考えられ、そうした影響も十分にあるだろう。

## 周辺の地割

1、2面とそれ以下では土地利用が大きく変化していると考えられるが、調査区内で地業や板列などの軸線は基本的には変化していない。泥岩による列状遺構の軸線は板壁建物の軸線と同じである。また、その方向は窟堂前の現道路にはほぼ一致し、本調査地点に南隣する地点2（図1）の雪ノ下一丁目210番の調査で発見された建物の軸ともほぼ同じである。しかし、調査地点東側の道路を挟んで以東の調査地点3ではその軸線が異なり、さらに小町通りや今小路に近づくと若宮大路に並行する軸となる。本調査地点一体が、区割りの大きく変化する地点であり、若宮大路とは別の基準によるものであることは明白で、おそらく窟堂、窟小路、扇川の流路などと関連性があると思われる。

## 出土遺物について

遺物はかわらけが非常に多く、破損の少ない個体が多くみられた。常滑、古瀬戸などの国産陶器はやや少なく、備前、東播系などがわずかにみられる。舶載陶磁器も出土数は少ない。

墨書のみられる札が1点出土した（図87-56、写真図版42）。札は第7面から8面へ掘り下げる途中の炭化物などが混入した土層から出土した。長さ221×幅28×厚さ5mmの大きさの長方形の板で、下端の両側面を斜めに削りとつてある。墨書は片面のみでやや判別し難い所も多いが、蘇民将来札であると考えられる。形態からは地面などに刺すものと思われるが、出土状況は炭化物層中に混入して平らに置かれたような状態であり、調査区内では明確な建物が確認できていないため、使用後に廃棄された状態であったと考えられる。

自然遺物は獸骨はさほど多くないが、貝殻は小片含め5000点以上出土している。特にハマグリとキサゴ類で半数以上を占めている。また、クリなど堅果類の皮や、桃などの果核も多く出土している。木製品は箸が主体で、完形の箸は3500点ほど出土している。折敷、板金剛、下駄などもやや多く、僅かではあるがコマや扇なども出土している。

漆器も比較的多く、刷毛やパレットも出土しており、漆器製作が行われていたことをうかがわせる。これらのはほとんどは遺構というよりも面を構成する土の中に大量に入っているもので、それらが厚く堆積し、木器層とよべる状態になっていた。そうした中に板壁掘立柱建物が建てられており、廃棄物があふれているなかで普通に活動していたと考えざるを得ない。遺構や遺物からも、職人などの活動域である可能性が色濃い。

## 底部に2重の糸切り痕を残すかわらけ（図107～108）

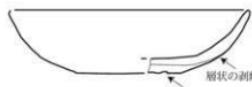
本調査地点で出土したかわらけの中には底面の段差、あるいは底面の剥離により二重に回転糸切り痕が確認できる個体が12点確認された。かわらけの製作技法を示す一例として特別に取り上げておく。12点は全てが同様でなく、痕跡がややあいまいなものもある。図は全体の粘土の接合を示すために外面を表記せず断面のみで示している。なお断面図は1/2スケールだが写真は不同である。

大型かわらけ8点、小型かわらけ4点となる。1～8は大型かわらけ。1は薄手のかわらけ。底部が一部剥離しており、剥離面や断面を観察すると底面の粘土は2重のようである。剥離した面には回転糸切り痕は確認できない。底部端面を調整している。

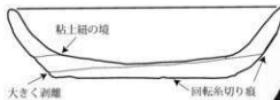
2は最も顕著に痕跡が確認できる例。胴部が大きく剥離し、剥離面にやや荒い回転糸切り痕が見える。底面には別の回転糸切り痕がある。剥離した面は斜めに傾斜しており、片側の端部はごく薄い。剥離した胴部をみても底面が2重になっていることが明瞭である。底部の上に胴部を粘土紐で接合したことは

明らかである。

3は底面に段差が見られ、段差部に底面とは異なる回転糸切り痕が見られる。やや不明瞭だが、底面

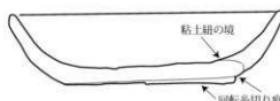


1 1面造構 5周辺 図 8-103

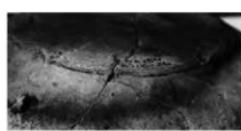
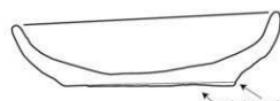


剥離した剝離部断面

2 4面造構外 図 24-1



3 4面造構成土 図 26-4



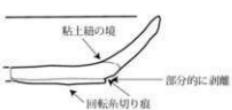
4 4面造構成土 図 26-7



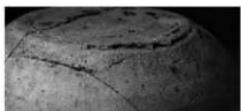
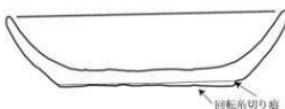
5 5面構成土 図 50-25



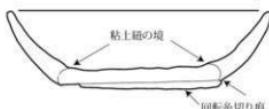
図 107 底部に2重の糸切り痕を残すかわらけ 1



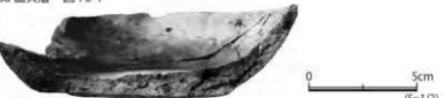
6 5面板壁北側 図 41-8



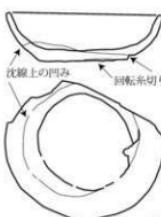
7 6a 面具層 図 76-1



8 7面構成土 図 88-67



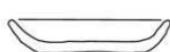
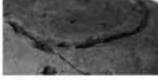
0 5cm  
(S=1/2)



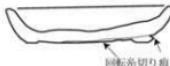
9 1面造構5周辺 図 8-110



10 5面構成土 図 61-19



11 6面構成土 図 67-108



12 6b 面構成土西 図 82-38



図 108 底部に2重の糸切り痕を残すかわらけ 2

に張り付けた胸部の粘土紐の境が確認できる。底部端面は不整形である。底面は平らではなく傾斜する。

4も底面に段差が見られ、段差部に底面とは異なる回転糸切り痕が見られる。底部端面は調整が見られる。底部には板状圧痕があり、底面は平らではなく傾斜する。

5は破片で一部のみであるが、底面に段差がやや明瞭であり、段差部に底面とは異なる回転糸切り痕が見られる。底面端部は不整形で一部ナデのような調整がなされている。

6は底面が大きく剥離しており、剥離面に底面とは異なる糸切り痕が明瞭である。やや不明瞭であるが、底面に張り付けた胸部の粘土紐の境が確認できる。底部端面は不整形である。

7は一部に段差ができるおり、その段差部に底面とは異なる糸切り痕が見られる。段差の端面は不整形であり、一部ナデのような調整が見られる。

8は底面に段差が見られる。段差は回転糸切り痕が不明瞭であり、棒状の工具で撫でつけたような痕跡がある。底面自体は回転糸切り痕を細かくナデており、ほとんど消えている。断面ではやや不明瞭だが脣部の粘土紐の接合痕が観察され、底面が2重になっていることが確認できる。

9～12は小型かわらけ。9は薄手のかわらけ。底面に一部段差が見られ、段差は底面とは異なる糸切り痕が明瞭である。この段差から脣部にかけて沈線上の凹みがほぼ1周しており、極端に斜めに傾斜した形で底面が2重になっているように見られる。底面は不整形で端面は一部撫でつけている。

10、11はいずれも底面に段差が見られ、段差には回転糸切り痕が見られる。底面には別の回転糸切り痕がある。底面は不整形。端面には調整が見られる。

12は底面に段差が見られ、段差には回転糸切り痕が見られる。底面には別の回転糸切り痕があり、板状圧痕がある。底面は不整形。

およそほとんど底面とは異なる回転糸切り痕が確認でき、底面の端部は整った円形を呈することなく不整形で、端面をナデ調整していることが多い。

出土層位は1つの面に集中するわけではなく、1面、4面～7面まで差があり、大型、小型ともに見られる。1面の例は双方ともいわゆる薄手のかわらけで精緻な胎土であり、他のかわらけとは異なる。4面以下の例はそれぞれやや差があるものの、構造としては比較的類似している。

ロクロかわらけの製作は底部の粘土塊に粘土紐を巻き上げ、ロクロ回転で整形したのちに台から切り離すと考えられている。これらの資料はそのことを明瞭に示していると言えるが、通常はこうした2重の回転糸切り痕が確認しがたい。

2重の回転糸切り痕については古代の須恵器についての検証がある。底部外面で両面に糸切り痕が見られる例は「底部円柱作り」の痕跡であると推定され、底部内面の糸切り痕は通常器面調整で消されるとする（服部・福田 1979）。

層状に剥離した底部の両面に糸切り痕が見られる例については、糸の一端が2重に巻き付いた状態で切られ、焼成時まで密着していたがその後剥離して両面に糸切りを行ったという復元（北野 2017）や、底部を2段に糸切りし、上下を糸切りした最下部の粘土円盤でロクロから製品を移動し、乾燥後2段に切り離した粘土円盤を取り除くという復元（木立 2017）がある。北野や木立は「底部円柱作り」で粘土塊から連続して作るのではなく、一個挽きを想定している。

本調査地点出土資料について3、4、7、10、11、12などは北野が想定するような状況も考えらえる。では完全に剥離が見られる2や6は木立の指摘するような2段切りを行ったが下部を取り除くことができなかつた個体なのか。6や8は底部が十分な厚さをもっているためそれで説明がつきそうだが、2は下を取り除いてしまうと底部が歪な薄さになるため、そのケースには当てはめにくいと考えらえる。

これらの製作技法について須恵器における想定例以外には残念ながら現状適当な解釈を提示できない。底部の不整形さからみれば底部円柱作りは想定しがたいが、全てのロクロかわらけに共通するかどうかはまた別である。より多くの事例を集めてさらに比較検討を行い、かわらけの製作技法を検証する必要があろう。

## 参考文献

- 服部敬史・福田健司 1979 「南多摩窯址群出土の須恵器とその編年」『神奈川考古6』神奈川考古同人会  
木立雅朗 2017 「回転運動を利用した成形」『モノと技術の古代史 陶芸編』吉川弘文館  
北野博司 2017 「須恵器の製作技術」『モノと技術の古代史 陶芸編』吉川弘文館

表 6 中世出土遺物観察表

図番号	出土 遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm/g)			調査項目	
					口径	高さ	器高		
6-1		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.2)	(7.0)	3.6	a: 成形、墊形 b: 土胎、素地、材質 c: 色調、底輪郭 d: 滾成 在彌考 e: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 f: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-2		土製品	ロクロ かわらけ(大)	11/3 ~底完	(13.4)	8.4	3.2	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 相上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-3		土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.0)	7.7	3.4	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 相上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-4		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(13.0)	(7.1)	3.4	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-5		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.3)	(7.0)	3.3	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-6		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.0)	(8.4)	3.1	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-7		土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(13.0)	7.7	3.6	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ 黒く変色 外底回転系 直底(底前部)	
6-8		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.7)	(8.5)	2.4	a: 内底不規則 外底回転系切 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部一部黒く変色	
6-9		土製品	ロクロ かわらけ(大) 注記定形	11/7		7.7	3.4	重 154	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部/2程に割れ
6-10		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(11.6)	(7.0)	3.0	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部/2程に割れ	
6-11		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(11.2)	(5.4)	3.2	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-12		土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(7.6)	4.4	2.3	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-13		土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(7.4)	6.0	2.3	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-14		土製品	ロクロ かわらけ(小)	11/3 ~底完	(7.3)	(4.3)	2.1	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-15		土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.5)	4.8	2.2	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-16		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.3)	(4.0)	2.0	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-17		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.7)	(4.4)	2.3	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-18		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.7)	(5.1)	2.2	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-19		土製品	ロクロ かわらけ(小) 注記定形	7/2		4.6	2.4	重 45.6	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ
6-20		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.6)	(4.8)	1.7	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-21		土製品	ロクロ かわらけ(小) 底3/4	1/2	(7.9)	(4.5)	2.3	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-22		土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	(7.3)	4.6	2.1	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-23		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	5.0	2.5	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-24		土製品	ロクロ かわらけ(小)	11/8 ~底完	(7.4)	4.4	2.2	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-25		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(4.7)	2.5	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 相上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-26		陶器	口片1/1型	口縁部	—	—	[2.8]	a: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 耐熱 二次焼成	
6-27		陶器	潮1/2 脚部	口縁部	—	—	[3.2]	a: ロクロ骨針 外底回転系切(右) 板状底盤 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 耐熱 二次焼成	
6-28		瓦類	瓦脚 火跡	脚部	—	—	[2.9]	a: 海綿骨針方法 b: 磁化窓 脚部貼付 ke: 稼働 c: 黄褐色 d: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-29		土製品	瓦 呑呑 呑呑	口縁~ 脚部	—	—	[3.2]	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 相上 ke: 磁化窓 b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-30		土製品	かわらけ転用 円盤状土製品	一部欠損	直径 2.8	厚3 0.8	—	a: かわらけ部を丸く成形し直面を磨ぐ b: 海綿骨針・泥岩粒 中心粗上 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-31		石製品	土手承 砾石	一部欠損	長3 [5.0]	幅3 0.6~1.0	厚3 0.6	a: 表裏2面使用で両側面生地加工直 ke: 磁化窓 c: 黄褐色 E口縁部打ち大きさ	
6-32	3	土製品	ロクロかわら け転用	最大幅 3.2	厚3 0.5	厚3 0.4	厚3 0.4	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状底盤 c: 黄褐色 e: 良好 E口縁部打ち大きさ	
6-33	4 南西面	陶器	口縁~ 底部	—	—	[10.8]	重 6.3	a: 海綿骨針方法 ke: 黄褐色 砂粒/石英 c: 黄褐色 E口縁部打ち大きさ	
6-34	4 南西面	陶器	口縁部	—	—	[5.8]	重 5.7	a: 海綿骨針方法 ke: 黄褐色 砂粒/石英 c: 黄褐色 E口縁部打ち大きさ	
6-35	4 南西面	陶器	口縁~ 底部	—	—	[3.1]	a: ロクロ骨針 形成脚部留め ke: 淡黄色白色 砂粒/白粉 b: 海綿骨針方法 ke: 黄褐色 砂粒/石英 c: 黄褐色 E口縁部打ち大きさ		

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法寸 (cm / g)			調査項目	他	
						口径	外径	高さ			
6-36			鉄製品	釘	完形	長さ 7.5	幅 0.4	厚さ 0.3	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針 泥岩粒	
6-37			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.5)	(7.7)	3.1	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針 泥岩粒	
6-38			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	13.6	7.7	3.3	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針 泥岩粒	
6-39			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.3	7.2	3.1	重さ 183	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨針 泥岩粒
6-40			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	13.3	8.3	3.1	重さ 177	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒
6-41			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	13.6	7.4	3.4	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
6-42			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.9	7.7	3.3	重さ 183	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒
6-43			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.7	7.1	3.3	重さ 142	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒
6-44			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	13.3	7.3	3.4	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
6-45			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.2)	(7.1)	3.0	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-46			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(13.6)	(7.0)	3.2	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-47			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.7	7.7	3.0	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-48			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.4	7.1	3.0	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-49			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.2	7.4	3.0	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-50			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.5	8.4	3.1	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-51			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(11.8)	(7.4)	3.5	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-52			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.0)	(7.1)	3.2	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-53			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	11.3	5.2	3.2	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-54			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	8.0	5.2	1.7	重さ 64	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒
7-55	5 表音聞		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.2)	(4.5)	1.6	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-56			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.3)	(3.4)	1.7	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-57			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.7)	(5.2)	1.8	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-58			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.7	5.2	1.9	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-59			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.3	4.0	1.9	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-60			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.0	4.2	2.0	重さ 39.9	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒
7-61			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.6	4.5	2.3	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-62			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(8.2)	(5.3)	2.3	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-63			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.2)	(4.6)	2.2	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-64			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.5	4.6	2.2	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-65			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.4)	(6.1)	1.9	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-66			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.4	4.1	2.0	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-67			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.1)	4.0	2.1	内底ナメ 外底回転止め切(右)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・泥岩粒 やや粗	
7-68			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.8	4.3	2.3	内底ナメ 外底回転止め切(左)	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・小石粒	
7-69			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(3.3)	(3.1)	0.8	内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-70			土製品	ロクロ かわらけ 化粧用品	長さ [8.6]	幅 [9.7]	厚さ [2.5]		内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨針・泥岩粒	
7-71			土製品	ロクロ かわらけ 化粧用品	長さ [7.5]	幅 [4.2]	厚さ [2.8]		内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-72			土製品	ロクロかわら け化粧用品	長さ [4.4]	幅 [3.6]	厚さ [0.8]		内底ナメ 外底回転止め切	板状压痕 微砂・雲母・赤色粒・海 綿骨針・泥岩粒	
7-73			石製品	鏡	1/2	鏡 10.0	幅 3.5	1.8	共方形鏡	画面形状を呈し面取り 圓形堅型の際の割り跡	
7-74			石製品	砥石 中砥	1/2 度程	長さ 8.2	幅 6.7	厚さ [4.5]	共裏側鏡 3面用 小口一部を鏡面として使用が (研ぎ出し痕跡) トモ 鏡面石 中砥	黑色 樹脂	

固番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目			
						口径	底径	高さ	材質	色調	説明	焼成
7-75			鉄製品	釘	完形	長さ 6.3	幅 0.7	厚さ 0.4	c	黒面	内底ナメ	外底面軸系切
7-76			鉄製品	釘	先端部 欠損	長さ (5.7)	幅 0.4	厚さ 0.6	c	黒面	内底ナメ	内底面軸系切
7-77	5 南側 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(大)	2/3	13.0	8.0	3.1	a	内底ナメ	外底面軸系切	
7-78		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/3	(12.3)	(7.4)	3.4	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
7-79		上製品	ロクロ	かわらけ(中)	1/3	(10.1)	(6.8)	2.6	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
7-80		上製品	ロクロ	かわらけ(小)	3/4	7.9	5.0	1.5	a	内底ナメ	外底面軸系切	
7-81		上製品	ロクロ	かわらけ(中)	直径 2.1	—	厚さ 0.6~0.8	a	内底ナメ	外底面軸系切		
7-82	4 南側	磁器	青磁	縦連付文瓶	口縫部片	—	—	[2.1]	a	ロクロ	青磁	
7-83		陶器	常滑	広口瓶	口縫部片	—	—	[5.3]	b	縦連付	外底面軸系切	
7-84		陶器	常滑	広口瓶	直径 [8.7]	—	厚さ 0.9~1.3	[1.8]	b	縦連付	外底面軸系切	
7-85		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/4	(13.0)	(7.8)	3.5	a	内底ナメ	外底面軸系切	
7-86	3 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/3	(13.4)	(8.6)	3.7	a	内底ナメ	外底面軸系切	
7-87		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	注記未定	12.8	7.5	3.4	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
7-88		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/3	(11.3)	(6.7)	3.0	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
7-89	2 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(小)	1/2	7.5	4.6	2.2	a	内底ナメ	外底面軸系切	
7-90		上製品	ロクロ	かわらけ(小)	9/10	7.4	4.7	2.4	a	内底ナメ	外底面軸系切	
7-91		上製品	ロクロ	かわらけ(中)	直径 5.4	—	厚さ 0.4~0.6	a	内底ナメ	外底面軸系切		
8-92	1 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(大)	2/3	12.5	7.3	3.4	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-93		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	9/10	13.4	7.7	3.8	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-94		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	4/5	12.8	7.6	3.6	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-95		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	注記未定	11.6	6.5	3.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-96		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/2	(13.8)	(7.8)	3.5	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-97	5 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(大)	2/3	(13.3)	(7.6)	3.5	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-98		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	3/4	(13.5)	(8.2)	3.5	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-99		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	3/4	13.6	7.7	3.6	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-100	4 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(大)	3/4	(13.0)	(7.1)	3.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-101		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	3/4	(12.8)	(7.4)	3.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-102		上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/2	(13.2)	(7.9)	3.7	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-103	3 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(中)	1/4	(11.0)	(4.8)	2.9	a	内底ナメ	外底面軸系切	
8-104		上製品	ロクロ	かわらけ(中)	5/6	10.3	6.1	2.7	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-105		上製品	ロクロ	かわらけ(中)	3/4	(9.2)	(5.9)	2.6	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-106	2 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(中)	完形	7.9	4.4	20.	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-107		上製品	ロクロ	かわらけ(中)	2/3	(7.6)	(4.5)	2.3	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-108		上製品	ロクロ	かわらけ(小)	9/10	7.6	4.7	2.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-109	1 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(小)	2/3	(7.7)	(4.7)	2.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-110		上製品	ロクロ	かわらけ(小)	4/5	7.8	4.9	2.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-111		上製品	ロクロ	かわらけ(小)	完形	7.3	4.2	2.0	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	
8-112	5 周辺	上製品	ロクロ	かわらけ(中)	3/4	(7.2)	4.2	2.1	a	内底ナメ	外底面軸系切(右)	
8-113		上製品	ロクロ	かわらけ(小)	完形	7.1	4.3	2.2	a	内底ナメ	外底面軸系切(左)	

国番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	調査項目		
B-114			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.9	5.4	1.8	a. 形成、整形 b. 脱土、素地、材質 c. 色調 d. 摘出 e. 燐成 f. 研考
B-115			土製品	ロクロ かわらけ(小)	5/6	7.4	5.1	2.1	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縁部透窓
B-116			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.8	4.9	1.9	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-117			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.7)	(4.0)	2.1	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-118			土製品	ロクロ かわらけ(小)	注記完形	7.5	4.3	2.3	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-119			土製品	ロクロ かわらけ(小)	5/6	7.1	4.1	2.3	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-120			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.0	4.6	1.8	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑・海綿骨針・泥岩粒 小石粒多 やや粗上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-121			土製品	ロクロかわらけ 化粧品	長さ 3.7	最大幅 5.5	厚さ 0.3		重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・良上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-122			土製品	かわらけ瓦用 内壁装飾品	直径 (4.65)	—	0.8		重さ a. かわらけ瓦部をもぐる形 断面が壊っている b. 間砂・雪母・赤色斑・良上 c. 灰黄色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-123	5 周辺		陶器	瓦踏實 皿	2/3	(8.6)	(5.7)	2.1	重さ a. ロクロ形 外周回転へう削り b. 帽状地 砂粒・白色斑 c. 灰白色 裏地 a. ロクロ形 b. 从白色 黒色地 精良透窓 c. 灰青色不透明 磨削厚 裏地透又網 a. ロクロ形 b. 从白色 黑色地 精良透窓 c. 灰青色不透明 磨削厚 裏地透又網 a. ロクロ形 b. 从白色 黑色地 精良透窓 c. 灰青色不透明 磨削厚
B-124			陶器	瓦	底盤片	—	(6.0)	[3.2]	重さ a. ロクロ形 b. 从白色 黑色地 精良透窓 c. 灰青色不透明 磨削厚 裏地透又網 a. ロクロ形 b. 从白色 黑色地 精良透窓 c. 灰青色不透明 磨削厚
B-125			陶器	瓦踏	口縫部片	—	—	[7.0]	重さ a. ロクロ形 b. 从白色 黑色地 精良透窓 c. 灰青色不透明 磨削厚
B-126			陶器	常滑口跡Ⅱ 型	口縫部片	—	—	[10.5]	重さ a. ロクロ形 両側底部少凹調節 砂粒・白色斑 c. 黑灰色 砂粒・白色斑/黑色斑 常滑口跡Ⅱ 型
B-127			陶器	常滑口跡Ⅱ 型	口縫部片	—	—	[6.6]	重さ a. ロクロ形 両側底部少凹調節 砂粒・白色斑/黑色斑/右美 c. 黑灰色 砂粒・白色斑/黑色斑 常滑口跡Ⅱ 型
B-128	1		陶器	常滑口跡Ⅱ 型	口縫部片	—	—	[4.3]	重さ a. ロクロ形 内面横十字 外側底部下板サ上げ 内面底厚減 b. 黑灰色 砂粒/白色斑 常滑口跡Ⅱ 型
B-129			陶器	常滑口跡Ⅱ 型	底盤片	—	(12.3)	[6.5]	重さ a. ロクロ形 b. 从白色 底縫オーバー~黒褐色の鉢脚 稲薄・施脂 常滑口跡Ⅱ 型
B-130			陶器	常滑口跡Ⅱ 型	口縫部片	—	—	[4.2]	重さ a. ロクロ形 b. 从白色 底縫オーバー~黒褐色の鉢脚 稲薄・施脂 常滑口跡Ⅱ 型
B-131			陶器	常滑口跡Ⅱ 型	胸部片	—	—	[7.4]	重さ a. ロクロ形 b. 从白色 底縫オーバー~黒褐色の鉢脚 稲薄・施脂 c. 良好 e. 菊花文 常滑口跡Ⅱ 型
B-132			陶器	海芋 入子	1/2	(6.7)	(3.9)	2.2	重さ a. ロクロ形 海芋面へ切り抜き調節 口縫オーバー b. 黑白色 砂粒/白色斑 c. 从白色 黑色地 砂粒・白色斑/右美 c. 黑灰色 砂粒/白色斑 海芋 入子
B-133			陶器	海膽 棘	口縫部小片	—	—	[3.4]	重さ a. ロクロ形 3.4mmもじはの粗筋あり 前期後半~中期
B-134			陶器	海膽系 口縫部	口縫部片	—	—	[5.2]	重さ a. ロクロ形 3.4mmもじはの粗筋あり 前期後半~中期
B-135			石製品	滑石 滑石温	礪	9.5	横 9.0	厚さ 1.5	重さ a. ロクロ形 海芋ノフ状工具による削痕や彫り状痕あり(摩滅により手削痕) 滑石 滑石温
B-136			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/4	(11.0)	(6.0)	3.3	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切 b. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 やや粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-137			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.7	5.4	1.8	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-138			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2弱	(7.1)	(5.7)	1.8	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑/海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
B-139			陶器	海藻 折筋器	1/6	—	—	[5.8]	重さ a. ロクロ形 陶器底部分~底へう削り b. 黑灰色 砂粒/白色斑/右美 c. 黑褐色 砂粒/右美 海藻 折筋器
B-140			石製品	砾石 中底	長さ [6.9]	幅 5.9	厚さ 1.5		重さ a. 表裏2面面 小口片面/側面に生産地加工痕 c. 黃褐色がかった 砾石 中底
B-141			木製品	滑石	18.2	0.6	0.6		重さ b. 不正確 E. 伊乎
10-1	6		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(4.7)	2.3	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切 b. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 やや粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-2	7		土製品	ロクロ かわらけ(中)	注記完形	10.8	6.1	3.1	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑/海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-3			土製品	ロクロ かわらけ(大)	注記完形	13.3	7.3	3.45	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-4			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.4	7.3	3.0	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-5			土製品	ロクロ かわらけ(大)	5/6	13.3	8.0	3.4	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑/海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-6			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.9)	(7.1)	3.45	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-7			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.1	7.6	3.3	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-8			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.0)	(8.4)	3.0	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-9			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	10.7	5.6	2.9	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・白色斑/海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-10			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	(7.9)	(5.4)	2.0	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・白色斑/海綿骨針・泥岩粒 中央粗上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓
10-11			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.7)	(5.5)	1.6	重さ a. 内底ナメ 外周回転赤切(右) b. 板状圧痕 c. 間砂・雪母・赤色斑・白色斑/海綿骨針・泥岩粒 中央良上 c. 灰褐色 e. 良好 f. 口縫部透窓

固番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	測量項目
10-12	10 糊成土	主製品	ロクロ かわらけ (小)	ほげ定形	6.8	4.6	1.6 a: 成形、整形 b: 土、素地、材質 c: 色調 d: 構造 e: 燐成土 砂考
10-13					2.9	3.0	2.75 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黃褐色 e: 良好
10-14		陶器 漆製品	糊合子	完形	1/2	(9.2)	2 a: ロクロ型 b: 色調 c: 内底無文/外面無文/赤系系謹手縫き d: 灰黑色 d: 灰釉 (紅緑色) フケ掛け e: 良好 f: 底面糊合
10-15					1/2	(7.6)	2.0 a: 赤系系謹手縫き b: 色調 c: 内底無文/外面無文/赤系系謹手縫き d: 灰黑色 d: 灰釉 (紅緑色) フケ掛け e: 良好 f: 底面糊合
10-16		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほげ定形	2/3	(7.4)	1.8 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黃褐色 e: 良好 f: 上口部黒く変色
10-17					1/2	(12.1)	3.2 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黃褐色 e: 良好 f: 上口部黒く変色
10-18		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほげ定形	1/3	(7.8)	1.8 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黃褐色 e: 良好 f: 上口部黒く変色
10-19					1/2	(7.0)	2.0 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黃褐色 e: 良好 f: 上口部黒く変色
10-20		上製品 加工品	ロクロ かわらけ 用具用品	糊合子	長さ 4.9	7.0	0.95 a: ロクロ型 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/海綿骨針 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上口部黒く変色
10-21					長 4.9	7.0	0.7 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黃褐色 e: 良好 f: 上口部黒く変色
10-22		磁器	百目皿	底部片	—	—	1.5 a: 白色 磁瓦堅膜 黒褐色 d: 漆黒色 e: 透明感 浅い 高台設置のみ露頭
10-23		陶器	急須	口縁部小片	—	[4.3]	— a: 縫合繕ひ段階 b: 黄褐色 砂粒/白粘土/小石粒 c: 噴褐色 c: 硬質 f: 上口部と外側の一部黒く変色 7~8式
10-24		石製品	鏡	陰の一帯	長さ [7.5]	[5.5]	2.1 a: 共形鏡 c: 条系色 在画面は逆面形状で丁寧な取り回し b: 鏡裏面
10-25		石製品	砾石 住土砾	—	長さ [3.9]	2.8	0.4 a: 表裏2面使用 斜面にて裏面に弧曲としたか b: 鏡灰岩 c: 緑味灰岩 在画面 (鏡裏面)
10-26		石製品	砾石 住土砾	—	長さ [7.6]	7.3	3.7 a: 表裏側4面使用 b: 緑灰岩 c: 黄白色 f: 手平
10-27		石製品	砾石 住土砾	ほげ穴頭	長さ [10.6]	3.4	1.7 a: 緑灰岩は曲線のみわずかに還存し 施欠損 小口3面側生産地加工品 b: 緑灰岩 c: 黄褐色 c: 玉ねぎ頭 (昌谷等) 二次焼成
12-1	北里四世土	上製品	ロクロ かわらけ (大)	ほげ定形	3/4	13.4	7.8 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好
12-2					4/5	13.0	7.2 a: ロクロ かわらけ (大)
12-3		上製品	ロクロ かわらけ (大)	ほげ定形	1/2	(8.4)	1.6 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/海綿骨針 b: 黄褐色 e: 良好 f: 上口部打ち込み
12-4					1/3	(7.2)	(4.6) a: ロクロ かわらけ (小)
12-5		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほげ定形	1/3	(7.2)	(4.4) a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/海綿骨針 b: 黄褐色 e: 良好 f: 上口部打ち込み
12-6					1/2	(7.2)	(4.4) a: ロクロ かわらけ (小)
12-7		磁器	白磁 印伝文頭	口縁部小片	—	—	[1.4] a: 縫合繕ひ段階 b: 黄褐色 砂粒/白粘土/小石粒 c: 噴褐色 c: 硬質 e: 白磁 f: 10式
12-8		陶器	急須	口縁部小片	—	—	[2.2] a: 縫合繕ひ段階 b: 黄褐色 砂粒/白粘土/小石粒 c: 噴褐色 c: 硬質 f: 10式
12-9		陶器	糊 糊合	底部一体 底部 部	—	[8.0]	[1.9] a: ロクロ型 素未施釉 b: 黄褐色 c: 黄褐色 e: 良好 f: 白磁
12-10		石製品	硯 糊	海部小片	長さ [3.9]	[4.9]	1.8 a: 共形鏡 斜面表面 c: 噴褐色 e: 赤開け
12-11	3 北里四世土	上製品	ロクロ かわらけ (大)	ほげ定形	1/3	(13.8)	8.4 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外底一部黒く変色
12-12					2/3	(13.8)	7.2 a: ロクロ かわらけ (大)
12-13		上製品	ロクロ かわらけ (大)	ほげ定形	5/6	12.4	7.2 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外底一部黒く変色
12-14					4/5	12.4	8.2 a: ロクロ かわらけ (大)
12-15		上製品	ロクロ かわらけ (大)	ほげ定形	3/4	12.2	7.2 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外面の一部黒く変色
12-16					3/4	11.4	7.6 a: ロクロ かわらけ (中)
12-17		上製品	ロクロ かわらけ (大)	ほげ定形	1/3	(12.4)	7.6 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/海綿骨針 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外底一部黒く変色
12-18					完形	11.6	7.4 a: ロクロ かわらけ (中)
12-19		上製品	ロクロ かわらけ (中)	ほげ定形	10.8	6.4	2.95 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 小石粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外底一部黒く変色
12-20					1/2	(12.4)	(8.0) a: ロクロ かわらけ (大)
12-21		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほげ定形	8.2	5.4	1.8 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 一部ナメ b: 麻糸雲母 c: 赤色系/白色 b: 海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外面

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	整理項目		
12-22			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.2 (7.4)	4.8 (4.8)	1.65 c:成形、整形 b:崩土、素地、材質 c:色調、成形調 d:焼成、土備考	
12-23			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	7.2 (7.2)	4.8 (5.2)	1.7 a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶弱一薄チテ d:微砂・雲母・白色粒・ 海綿骨針・良土 e:黄灰色 c:良好	
12-24			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	7.2 (7.2)	4.8 (5.2)	1.5 a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶弱一薄チテ d:微砂・雲母・泥岩粒・ 白色粒・ e:良好	
12-25			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.2 (7.3)	4.4 (6.6)	2.2 a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶弱一薄チテ d:微砂・雲母・ e:良好	
12-26			土製品	ロクロ かわらけ (小) 鉢	長さ [7.3]	幅 [6.6]	厚さ [0.8]	1.7 a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶弱一薄チテ d:微砂・雲母・赤色粒・白色 e:良好	
12-27			磁器	青白磁 若か	小片	—	[0.4]	a:透明強 b:施釉 c:良好	
12-28			陶器	口縁部片	口縁部片	—	[4.1]	a:輪縁部 b:外底体部端位へラグ c:黒灰土 d:砂粒・石粉 e:暗褐色 f:E7 ~ A型式	
12-29			陶器	口縁部片	口縁部片	—	[3.3]	a:輪縁部 b:外底体部端位へラグ c:黒灰土 d:砂粒・石粉 e:暗褐色 f:E7 ~ A型式	
12-30			陶器	口縁部片	(34.5)	(14.9)	11.7	a:輪縁部 b:口縁部内側端位ナメ c:体部外面 d:黒灰土 e:砂粒・石粉 f:E7 ~ A型式	
12-31			陶器	瓶	底部片	—	7.6 [2.9]	a:輪縁部 b:外底体部下端位へラグ c:黒灰土 d:砂粒・石粉 e:暗褐色 f:E7 ~ A型式	
12-32	北側壁 上層		石製品	鏡	底部小片	長さ [6.1]	幅 [3.3]	厚さ [1.1]	a:長方形鏡 c:灰褐色 f:赤開闊
12-33			石製品	磨石 住土上	小片	長さ [3.5]	幅 [2.9]	厚さ [0.9]	a:表裏2面使用 b:底面に手かき跡 c:灰褐色 d:白色 e:鷹嘴 (中型)
12-34			石製品	磨石 住土上	小片	長さ [6.8]	幅 [3.1]	厚さ [1.7]	a:表裏2面使用 b:小口1面側面加工 c:底面 d:灰褐色 e:玉紙の跡跡りか f:二次焼成
12-35			銅製品	錢	完形	直徑 2.3	内孔 0.7	厚度 0.1	1.9 a:鋸歯状 b:直徑 c:内孔 d:厚度 e:大觀寶 f:直徑 g:北朝 1107年
12-36			銅製品	錢	完形	直徑 2.3	内孔 0.8	厚度 0.1	3.1 a:鋸歯状 b:直徑 c:内孔 d:厚度 e:大觀寶 f:直徑 g:北朝 1107年
13-37	3		漆製品	櫃	1/2	(8.8)	(7)	1.5	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内外面漆塗 d:赤色系漆 e:手描き f:内面 g:文様不 明 h:表面 i:粗筋な筆使いで横位に2本の線を側面全体に描く j:輪台面 k:墨の痕あり
13-38			漆製品	櫃	1/3	(9.2)	(7.8)	1.4	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗 d:赤色系漆 e:手描き f:内面 g:見込みの点に施す h:無高凸
13-39			漆製品	漆桶小明	小片	—	—	—	a:赤色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗 d:赤色系漆 e:手描き f:止外面: g:墨の痕 h:配色不 明 i:不明 j:輪台面
13-40			漆製品	檜	1/2	—	(7.6)	[2.3]	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗 d:赤色系漆 e:手描き f:内面 g:輪台面 h:墨の痕あり i:輪台面部分 j:漆硝膜
13-41			木製品	曲物	—	17.8	17.6	0.9	f:先端に墨の痕 g:合わせ部分から最前端にかけて直線的 h:合わせ部分は最 前端より墨の痕 i:墨の痕あり j:輪台面
13-42			木製品	曲物	—	16.6	15.4	0.9	g:輪台面
13-43			木製品	草履芯	—	24.1	19	0.3	f:先端に墨の痕 g:合わせ部分から最前端にかけて直線的 h:合わせ部分は最 前端より墨の痕 i:墨の痕あり j:輪台面
13-44			木製品	形代	—	[5.7]	(3.5)	0.4	g:輪台面
13-45			木製品	形代	—	[32.0]	1.1	0.9	g:輪台面
13-46			木製品	著衣	—	22.6	0.9	0.5	g:輪台面
13-47			木製品	著衣	—	19.9	0.7	0.4	g:輪台面
13-48			木製品	著衣	—	20	0.7	0.4	g:輪台面
13-49			木製品	著衣	—	19.2	0.6	0.4	g:輪台面
13-50			木製品	著衣	—	37.3	4.7	1	g:輪台面
14-1	南側壁 成土上層		土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/3	(13.0)	(8.0)	3.4	a:内底ナメ b:外底回転粘合 c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・白色粒・ 海綿骨針・泥岩粒・ e:良好
14-2			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/3	(13.3)	(7.8)	3.6	a:内底ナメ b:外底回転粘合 c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・ e:良好
14-3			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/3	(12.8)	(7.1)	3.4	a:内底ナメ b:外底回転粘合 c:板状瓦瓶 d:泥岩粒・ e:良好
14-4			土製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	(12.7)	(7.8)	3.45	a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶 d:泥岩粒・ e:良好
14-5			土製品	ロクロ かわらけ (大)	2/3	(12.5)	(8.0)	3.3	a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶 d:泥岩粒・ e:良好
14-6			土製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	12.1	7.8	3.1	a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・赤色粒・ 海綿骨針・泥岩粒・ e:良好
14-7			土製品	ロクロ かわらけ (大)	完形	12.3	7.3	1.9	a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・ e:良好
14-8			土製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	11.7	7.3	3.1	a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・赤色粒・ 海綿骨針・泥岩粒・ e:良好
14-9			土製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	12.6	7.3	3.7	a:内底ナメ b:外底回転粘合 (右) c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・赤色粒・ 海綿骨針・泥岩粒・ e:良好
14-10			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/4	(12.0)	(6.9)	3.25	a:内底ナメ b:外底回転粘合 c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・赤色粒・ 海綿骨針・泥岩粒・ e:良好
14-11			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/4	(12.9)	(8.0)	2.9	a:内底ナメ b:外底回転粘合 c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・赤色粒・ 海綿骨針・泥岩粒・ e:良好
14-12			土製品	ロクロ かわらけ (中)	1/3	(10.7)	(6.0)	2.8	a:内底ナメ b:外底回転粘合 c:板状瓦瓶 d:微砂・雲母・赤色粒・ 海綿骨針・ e:良好

固番号	出上 面	規格 番号	材質	種別	道存度	法量 (cm / g)			製品項目
						口径	底径	高さ	
14-13			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	2/3	6.95	4.7	1.95	a: 成形、整形 b: 土、素地、材質 c: 色調 d: 摘調 e: 燃成 f: 烧考 g: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭弱 b: 微砂 / 雪母 / 海綿骨 / 泥鉄柱 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内底墨書き「上」か o: 特部油灰 組 内外黒色
14-14			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.7	5.8	1.8	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内底墨書き「上」か o: 特部油灰 組 内外黒色
14-15			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.4)	(5.4)	(1.95)	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内底墨書き「上」か o: 特部油灰 組 内外黒色
14-16			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.6	4.6	1.9	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内底墨書き「上」か o: 特部油灰 組 内外黒色
14-17			上製品 かわらけ (小)	元形	7.6	5.3	1.9	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内外黒色	
14-18			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.6)	(4.5)	1.9	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 白色母 / 泥鉄柱 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 外部口縁部黒変色
14-19			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.3)	(5.1)	1.8	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 白色母 / 泥鉄柱 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-20			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.3)	(4.8)	2.1	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内外黒色
14-21			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	注記未定	7.2	4.8	2.0	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-22			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.6)	(4.8)	1.7	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-23			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	2/3	6.8	4.2	2.0	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-24			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.2)	(4.8)	1.7	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 新型柱 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-25			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	注記未定	6.8	4.1	2.1	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-26			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	3/4	6.8	4.5	2.15	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-27			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(6.8)	(3.6)	2.2	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-28			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	5/6	6.8	3.9	2.3	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-29			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	注記未定	7.2	4.8	2.0	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-30			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	1/6	(5.0)	(3.8)	0.8	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 海綿骨 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-31			上製品 かわらけ (小)	ロクロ かわらけ (小)	長5 [3.5]	幅 6.3	厚3 0.7	1.8	a: カわらけ (小) 壁丸く成し、断面を削りている b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 白色母 / 海綿骨 / 良好 c: 黄灰色 e: 良好 f: 内底墨書き黒変色
14-32	南 面規格成上層		上製品 ロクロかわら け用	ロクロ かわら け用	長5 [5.6]	幅 5.2	厚3 0.55	1.7	a: 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状柱頭強 b: 微砂 / 雪母 / 赤色母 / 白色母 / 中空柱 : c: 黄灰色 e: 良好 f: 内底墨書き黒変色
14-33			磁器 青白磁 板	脚部片	—	—	[3.7]	—	b: 白灰色 砂粒 精良堅致 正淡青灰色 透明感 磨削薄い 気泡 不整 跡
14-34			磁器 青白磁 板	脚部片	—	—	[4.7]	—	b: 白灰色 砂粒 精良堅致 正淡青灰色 透明感 磨削薄い 気泡 不整 跡
14-35			磁器 青白磁 合子 (身)	11脚部片	(3.0)	—	[1.0]	—	b: 白灰色 砂粒 精良堅致 b: 水色母 手透明感 磨削や厚い 合わせ 目上/外側下部は漏脈 在輪型の可視性あり
14-36			土製品 瓦器類 片	口縁部 ~ 全体	(12.6)	—	[3.0]	—	a: 内外に緑部墨ナメ 外曲下部墨頭部 丁寧な手彫 b: 微砂 白色母 目上 c: 黄灰色 e: 良好 f: 上部口縁部黒変色
14-37			陶器 花口瓶	口縁部 小片	—	—	[5.8]	1.8	a: 線彫り入目 b: 黄灰色 砂粒 石英・白色母 手透明感 砂粒 / 白色母 / 黄灰色 e: 良好 f: 花口
14-38			陶器 墨	口縁部 小片	—	—	[6.6]	2.9	a: 線彫り入目 b: 黑灰色 砂粒 石英・白色母 手透明感 小石粒 c: 墨痕部 口外側墨部に黑色の墨跡斑 b: 砂質 砂粒 / 白色母 / 黑色母 / 白色母 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-39			陶器 墨	口縁部 小片	—	—	[4.9]	—	a: 線彫り入目 ナメ 外曲 ナメ 脚頭部 b: 黑灰色 砂粒 / 石英・白色母 / 黑色母 / 黑色母 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-40			陶器 片口跡	口縁部 小片	—	—	[4.5]	—	a: 線彫り入目 内曲に白色目隠し b: 良好 f: 線彫り入目
14-41			陶器 墨	口縁部 小片	1/5	(7.6)	(5.0)	2.4	a: ロクロ形態 内底底部切 (左) 口縁部~タ押し b: 淡黄灰色 砂粒 / 良好 f: 黑色墨痕
14-42			陶器 墨	口縁部 小片	2/3	(7.4)	(3.5)	1.7	a: ロクロ形態 内底底部切 (左) 口縁部~タ押し b: 黑灰色 砂質 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-43			陶器 墨	墨	1/6	(25.4)	(10.7)	8.3	a: 線彫り入目 b: 黄灰色 砂粒多 黑色母 手透明感 砂質上 c: 黑色母 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-44			瓦器類 火林	口縁部	—	—	[7.2]	—	a: 線彫り入目 外曲面部ナメ b: 黄灰色 砂粒 / 白色母 手透明感 小石粒 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-45			上製品 瓦器類 火林	口縁部	3/5	(31.0)	(26.8)	12.6	a: 線彫り入目 白色墨ナメ 延べ物のこがれ 内底 フレア 延べ物 + 切削 部+ミガキ 黑色墨痕 / 花文スクランプ 斜部 砂質 b: 黑灰色 黄灰色 砂粒 / 白色母 / 白色母 黑色母を含む灰質質物の間に斜部 c: 内底 黑色墨痕 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-46			上製品 瓦器類 火林	底部	—	—	[8.0]	—	a: 線彫り入目 外面黒色墨痕 ナメ 内底部 削げ手形 砂質 / 砂底 / 白色母 / 白色母 黑色母を含む灰質質物の間に斜部 c: 内底 黑色墨痕 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-47			上製品 瓦器類 火林	底部	—	—	[6.7]	—	a: 線彫り入目 外面墨痕ナメ b: 黑灰色 砂質 / 白色母 / 小石粒 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-48			石製品 火林	底部	長5 [6.7]	幅 0.7	厚3 1.2	—	a: 表面墨書き 内底墨書き 口縁部墨書き b: 黑灰色 砂質 / 白色母 / 黑色母 / 白色母 黑色墨痕
14-49			石製品 磨石磨 用具	磨石	長5 [6.2]	幅 1.7	厚3 1.8	重3 28	a: 磨石磨の口縁部墨書き部分に用具スタンプ ノック工具駆 c: 黑灰色 e: 良好 f: 黑色墨痕
14-50			石製品 磨石加工品 用途不明	火林	長5 [3.9]	幅 3.2	厚3 1.0	—	b: 表面墨書き

国番号	出土 場所	通鑑 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目	a: 成形, 形態 b: 船底, 材質 c: 色調 d: 錫調 e: 燐成	参考
						口径	底径	高さ			
15-51	南西縦 横上層	銅製品	鉢	完形	外径 内丸	2.4	0.7	厚さ 重さ	b: 天壇元寶 唐書 北宋 1023年	c	
15-52		銅製品	鉢	完形	外径 内丸	2.4	0.8	厚さ 重さ	b: 皇宋通寶 唐書 北宋 1038年	c	
15-53		銅製品	鉢	完形	外径 内丸	2.3	0.8	厚さ 重さ	b: 元豐通寶 唐書 北宋 1076年	c	
15-54		銅製品	鉢	完形	外径 内丸	2.4	0.8	厚さ 重さ	b: 建炎元寶か 唐書 北宋 1094年	c	
15-55		木製品	蓋状			19.1	[1.1]	0.3-0.7	b: 丁寧な形態	c	
15-56		木製品	蓋			[31.0]	[12.0]	1.1	b: 遺存状態悪い	c	
15-57		木製品	蓋状			22.2	0.8	0.5	b: 斜面方形	c	
15-58		木製品	蓋状			21.8	0.8	0.6	b: 斜面方形	c	
15-59		木製品	蓋状			21.1	0.8	0.5	b: 斜面方形	c	
15-60		木製品	蓋状			20.4	0.8	0.6	b: 斜面方形	c	
15-61		木製品	蓋状			18.9	0.8	0.5	b: 斜面方形 / 側面の曲取り	c	
15-62		木製品	蓋状			18.6	0.7	0.5	b: 斜面方形 / 端面の曲取り	c	
15-63		木製品	用具不明			7.6	9.2	4.8	b: 端材	c	
15-64		木製品	用具不明			17.6	3.0-6.0	1.7-3.0	b: 整理部柄 / 片端部柄を切っている。片端部斜めに切断	c	
15-65		木製品	用具不明			18	[5.1]	7.0	b: 中央部分裏面に穴開き [長さ1.8、幅0.5] [深さ0.6] あり。端部焼痕	c	
15-66		木製品	用具不明			26.4	4.4	3.5	b: 整理部柄 / 端部斜めに切断 / 一部焼痕	c	
15-67		木製品	用具不明			11.8	3.1	0.4	b: 片側焼痕 / 先端部に穴開きがある。孔か	c	
15-68		木製品	用具不明			[10.5]	[3.8]	[1.7]	b: 自然の部分と人工的 / 細長い形	c	
16-69	南西縦 横上層	土製品	ロクロ		1/3	(13.4)	(7.8)	3.1	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-70		土製品	ロクロ		3/4	13.2	8.0	3.6	a: 内底ナメ / 内底斜面後方部斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-71		土製品	ロクロ		5/6	13.3	8.0	3.2	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-72		土製品	ロクロ		5/6	12.5	7.2	3.35	a: 内底ナメ / 海綿骨片 小口粗目 c: 黄褐色 / 白色斑 / 赤色斑 / 黑褐色	c	
16-73		土製品	ロクロ		1/2	12.1	8.6	3.2	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-74		土製品	ロクロ		1/4	(12.7)	(7.8)	3.4	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-75		土製品	ロクロ		5/6	12.3	7.2	3.2	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-76		土製品	ロクロ		2/3	(12.1)	(7.7)	3.1	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-77		土製品	ロクロ		ほぼ完形	11.7	7.6	3.1	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-78		土製品	ロクロ		1/2	(11.7)	(7.0)	3.4	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-79	南西縦 横中層	土製品	ロクロ		完形	10.9	6.6	2.9	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-80		土製品	ロクロ		5/6	8.2	5.6	1.9	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-81		土製品	ロクロ		5/6	7.7	5.2	1.8	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-82		土製品	ロクロ		ほぼ完形	7.8	5.3	1.7	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-83		土製品	ロクロ		2/3	7.8	5.3	1.5	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-84		土製品	ロクロ		ほぼ完形	7.6	5.7	1.8	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-85		土製品	ロクロ		2/3	7.6	4.7	1.7	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-86		土製品	ロクロ		ほぼ完形	7.4	4.8	1.8	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-87		土製品	ロクロ		4/5	7.5	4.9	1.8	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-88		土製品	ロクロ		完形	7.4	4.5	2.0	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-89	南西縦 横中層	土製品	ロクロ		5/6	7.5	4.5	1.6	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-90		土製品	ロクロ		1/2	(7.4)	(5.2)	1.55	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-91		土製品	ロクロ		2/3	7.1	5.0	2.0	a: 内底ナメ / 外底斜面斜め / 右: 板状圧痕 b: 銀砂 / 雪母 / 赤色斑 / 白色斑 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	
16-92		陶器	口片跡	1型	口縁部片	(25.2)	—	[4.0]	a: 銀砂 / 錫調 / 銀砂 / 小石粒 / 白英 / 石英 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	E6a E6a-2型式
16-93		陶器	口片跡	1型	口縁部片	—	—	[4.2]	a: 銀砂 / 錫調 / 銀砂 / 黄褐色 / 小石粒 / 白英 / 石英 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	E6a E6a-2型式
16-94		陶器	口片跡	2型	2/3	(33.2)	(15.4)	12.7	a: 銀砂 / 錫調 / 銀砂 / 黄褐色 / 小石粒 / 白英 / 石英 c: 黄褐色 / 黑褐色	c	E6a E6a-2型式

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目 a:成形、整形 b:粘土、素地、材質 c:色調、a:輪郭 d:焼成、e:施加、f:施考
						口径	底径	器高	
16-95			陶器	常滑 口跡目付	口縁部片	—	—	[6.9]	a:輪縫み目付 口縁部・内面・縁ナメ 外面:ハケ目 板ナメ 傷痕有 b:灰褐色 砂粒・小石粒・長石・石英 c:暗褐色 外面:口縁部ナメ、体部ハケ目+指痕有 底部:ナメ無 b:灰褐色 砂粒・白色粒・赤色粒・小石粒 c:灰褐色 e:施加 白河野編年 I B類 内外曲部下位~底部は二次焼成で黒変色 貫通しない穿孔あり
16-96			上製品	瓦質 火跡	1/4	[35.8]	—	9.7	a:輪縫み目付 内面・横・縦ナメ 外面:ハケ目 板ナメ 傷痕有 b:灰褐色 砂粒・小石粒・長石・石英 c:暗褐色 外面:口縁部ナメ、体部ハケ目+指痕有 底部:ナメ無 b:灰褐色 砂粒・白色粒・赤色粒・小石粒 c:灰褐色 e:施加 白河野編年 I B類 内外曲部下位~底部は二次焼成で黒変色 貫通しない穿孔あり
16-97			骨製品	笄	上端欠損	長さ 14.0	幅 1.5	厚さ 0.3	b:丁寧に研磨 二次焼成
16-98			骨製品	笄	両端欠損	長さ [8.2]	幅 1.3	厚さ 0.3	b:丁寧に研磨 二次焼成
16-99			銅製品	錢	完形	外径 2.4	内孔 0.7	厚度 0.1	a:闕元通寶 真書 乾21年
16-100			銅製品	錢	完形	外径 2.4	内孔 0.8	厚度 0.1	a:闕元通寶 真書 北宋 1038年
16-101			銅製品	錢	完形	外径 2.3	内孔 0.7	厚度 0.1	a:闕元通寶 行書 北宋 1094年
16-102			銅製品	錢	完形	外径 2.4	内孔 0.7	厚度 0.1	a:政和通寶 葉書 北宋 1111年
17-103			漆製品	ほぼ完形	9.8	7.4	1.4	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き/外側無 d:内面 に込み小字に御印有。側面皮文。側面皮文 e:無白台	
17-104			漆製品	■	3/4	(9.2)	7.8	1	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き/外側無 d:内面 に込み小字に御印有。側面皮文。側面皮文 e:無白台
17-105			漆製品	■	完形	(9.6)	(8)	(1.3)	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き/外側無 d:内面 に込み小字に御印有。側面皮文。側面皮文 e:無白台
17-106			漆製品	■	1/3	(9.6)	(7.2)	1.1	a:赤色系漆 b:黒色漆 c:内面漆塗无 e:無高台 王外側縁に赤色系墨が無 散る d:墨のいっぽうりとした墨跡
17-107			漆製品	■	完形	8.9	7	1.3	a:赤色系漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き d:内面一見込み 中央と側面に施され配する外側一側面に箇所に相交する e:輪高台
17-108			漆製品	椀	ほぼ完形	13.9	7.6	4.9	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き d:内面一見込み 中央と側面に施され配する外側一側面に箇所に相交する e:輪高台
17-109			漆製品	椀	3/4	(11.6)	(6.8)	(3.1)	a:赤色系漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き d:外側無 輪高台に施された墨跡が残るが、外側の可視性ある
17-110			漆製品	椀	1/6	—	(6)	[1.1]	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系墨/手書き d:内面一見込み 中央に内文有り文様文様に沿って6小時半部分の割合有。側面は不明/不明 前後:墨状の墨が想定できていないが、同一側の瓶片から手写の墨に 花文等が配され文様を口縁部に配していった様子が覗える e:輪高台 王 輪高台部墨内には手写の墨用
17-111	3		漆製品	桶	1/2	[4.4]	-3.9	0.7	f:楕円桶 黒色漆を採用
17-112			木製品	舟物	舟18.6	—	0.8	f:杭取板分/全体に焼成	
17-113			木製品	下駄	[22.9]	9.3	1.3	f:造曲下駄/台脚・長門型/端縁部の内側に指圧痕あり/底部一焼成/高さ 4.5/厚さ 2.3	
17-114			木製品	下駄	23.6	9.9	1.9	f:造曲下駄/台脚・長門型/舟脚一部・高さ 3.2/厚さ 2.8	
18-115			木製品	草履芯	24.4	9.4	0.6	f:先端(後端) 舟:舟の部分から最先端にかけて直線の山型に切り込 み、舟の内側が少々斜め。繩縫合:舟脚部 切込み部:方形/製作途中(二 方の縫合)	
18-116			木製品	燎火台	7.2	6.9	1.8	f:中央に貫通し、舟及び舟脚部は八角形に整形	
18-117			木製品	燎火台	4.5	4.8	0.6	f:中央に貫通し舟及び舟脚部は八角形に整形 舟中央に施されている)/孔径 (舟2.0)	
18-118			木製品	手押木	15.2	5.5	2.8	f:丁寧に整形	
18-119			木製品	舟状	23.4	0.4 ~ 31.1	0.7 ~ 0.9	f:青甫か 丁寧な整形	
18-120			木製品	置物	26.2	0.9 ~ 1.6	0.2 ~ 1.3	f:丁寧に整形	
18-121			木製品	羽子板	31	10	0.9	f:使用板と明	
18-122			木製品	置物	21.5	0.8	0.6	f:断面方形	
18-123			木製品	置物	21.2	0.7	0.5	f:断面方形	
18-124			木製品	置物	19.7	0.7	0.6	f:やや扁平な整形	
18-125			木製品	置物	19.1	0.7	0.5	f:断面方形	
18-126			木製品	置物	18.9	0.6	0.5	f:断面方形	
18-127			木製品	置物	18.4	0.7	0.4	f:断面方形	
18-128			木製品	用途不明	24.1	[5.9]	0.3	f:調度用材か? 端部に二箇所本筋が残る/刃物類あり	
18-129			木製品	用途不明	26	[7.3]	0.6	f:建築部/底部・端縁焼成 片物筋が数本残る	
18-130			木製品	用途不明	23.9	1.0 ~ 1.5	0.5 ~ 1.3	f:建築部/底部・端縁に鉤切ってある	
18-131			木製品	用途不明	12	3.1 ~ 3.2	2.1 ~ 4.4	f:建築部/底部	
19-132			上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(13.0)	(9.2)	3.1	a:内底ナメ 外底回転止め(右) 板状压痕 b:微砂・雲母・赤色粒・白石粒・海綿骨粉・泥岩粒・粗土 c:褐色 e:良好 f:内底に整形時の粘土網が残る
19-133			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.7	7.2	3.8	a:内底ナメ 外底回転止め(右) 板状压痕 b:微砂・雲母・赤色粒・白石粒・海綿骨粉・やわらか・黄灰土 e:良好 f:口縁部一部く変色
19-134			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.3	7.6	3.4	a:内底ナメ 外底回転止め(右) 板状压痕 b:微砂・雲母・赤色粒・白石粒・海綿骨粉・自土 c:黄灰土 e:良好 f:口縁部打きまき
19-135			上製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.1	7.6	3.1	a:内底ナメ 外底回転止め(右) 板状压痕 b:微砂・雲母・赤色粒・白石粒・海綿骨粉・泥岩粒・やわらか c:黄灰土 e:良好 f:口縁部一部黒く変色
19-136			上製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	11.0	6.2	3.1	a:内底ナメ 外底回転止め(右) 板状压痕 c:黄灰土 e:良好 f:口縁部
19-137			上製品	ロクロ かわらけ(中)	完形	10.5	6.0	2.8	a:内底ナメ 外底回転止め(右) 板状压痕 b:微砂・雲母・赤色粒・白石粒・海綿骨粉・泥岩粒・やわらか c:黄灰土 e:良好 f:口縁部一部黒く変色

固番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	摘要項目	
19-138			土製品	ロクロ かわらけ (中)	1/4 (10.2)	6.0 2.8	a. 形成、整形 b. 船上。素地、材質 c. 色調 d. 摘出 e. 燐成 f. 烧土 g. 他 a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き c. 良好	
19-149			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形 底定~ 1/3	7.8 (7.6)	5.2 4.6	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 c. 良好
19-141			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	4.8	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 c. 良好
19-142			土製品	ロクロ かわらけ (中)	1/2 前 (7.4)	5.6	1.7	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 c. 良好
19-143			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	5.5	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 c. 良好
19-144			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.9	5.0	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 c. 良好
19-145			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.4	4.2	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 内外全体的に黒 c. 变色
19-146			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3 (7.6)	5.0	2.0	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 内外全体的に黒 c. 变色
19-147			土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	7.4	5.1	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部焼損 / 打欠 c. 良好
19-148			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.0	4.7	1.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き、内外全体的に 黒く変色 中央にビアリ (焼成時)
19-149			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.3	4.8	2.0 a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き、外面一 箇所黒く変色
19-150			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.8	5.9	1.8 a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き g. 口唇部焼損 / 打欠
19-151			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3 (7.0)	5.0	1.9	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き g. 口唇部焼損 / 打欠
19-152			土製品	ロクロ かわらけ (中)	2/3	6.8	4.2	2.1 a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部焼損 / 打欠
19-153			土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	7.2	5.6	1.7 a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き g. 口唇部焼損 / 打欠
19-154			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.1	4.5	1.7 a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口縁部打ち欠き g. 口唇部焼損 / 打欠
19-155	3		土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3 (6.9)	5.0	1.9	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部打ち欠き g. 口唇部焼損 / 打欠
19-156			土製品	ロクロ かわらけ (中)	完形 けい(手)	4.2	3.6	0.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 (右) 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部焼損 / 手内丸
19-157			土製品	ロクロ かわらけ (小) けい(手)	長さ [8.0]	幅 厚さ [0.4]~0.7	厚さ [0.8]	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部焼損 / 手内丸 g. 口唇部焼損 / 手内丸
19-158			土製品	ロクロ かわらけ けい(手)	長さ [3.3]	幅 厚さ [0.8]~1.0	厚さ [0.8]	重さ a. 内底ナメ 外底回転赤目 板状瓦瓶 b. 麦穗・雲母・赤色粒 / 白色 b. 海綿骨片 / 装岩粒 やや粗上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部焼損 / 手内丸 g. 口唇部焼損 / 手内丸
19-159			磁器	白磁 跡	口縁部片	—	[4.3]	ロクロ口縁 外曲邊進文 e. 二次焼成に由り器底剥離
19-160			磁器	白磁 跡	口縁部片	—	[2.2]	ロクロ口縁 内曲邊進文の際留 e. 二次焼成に由り器底剥離
19-161			陶器	高瀬 片口付 1脚	—	[4.2]	輪轉模様 e. 朝灰褐色 砂質・灰石・白英・朝灰褐色 硬質 在内曲邊進文 f. 二次焼成に由り器底剥離	
19-162			陶器	瀬戸 型	3/4 (14.0)	7.8	3.9	ロクロ口縁 外底回転赤目 (右) 口1月1周輪 (指揮押え) 内底格子 e. 朝灰褐色 砂質・灰石・白英・朝灰褐色 硬質 在内曲邊進文 f. 二次焼成に由り器底剥離
19-163			土製品	瓦器質 火鉢	3/4	25.0	15.9	6.4 a. 瓦器・雲母・赤色粒 / 黑色粒・海綿骨片 良上 c. 黄灰色 e. 良好 f. 口唇部焼損 / 黑色粒・部分的に灰白色物質着 g. 口唇部焼損 / 黑色粒
19-164			土製品	瓦器質 火鉢	底部片	—	[13.6]	a. 瓦器模様 ハラマキ等で輪状に成形 黑色地表面に内外共に 輪縁ミガキ / 花文スラスト押印 板状磨擦底片 b. 黑白色・黑色粒 / 白色 c. 黑色粒 (黑色地理) e. 良好 f. 口唇部焼損
19-165			土製品	瓦器質 火鉢	底部片	—	[4.7]	a. 瓦器模様 ハラマキ等で輪状に成形 黑色地表面に内外共に 輪縁ミガキ / 花文スラスト押印 板状磨擦底片 b. 黑白色・黑色粒 / 白色 c. 黑色粒 (黑色地理) e. 良好 f. 口唇部焼損
20-166			石製品	鏡	跡部片 [13.2]	幅 厚さ [10.4]	厚さ [2.2]	重さ a. 長方形輪 表面台形 b. 鏡面 c. 口唇部焼損 / 黑色粒 / 黑色地理 d. 長方形輪 表面台形
20-167			石製品	滑石 板用品	長さ 2.4	幅 厚さ 1.4	厚さ [2.8]	重さ a. 長方形輪 表面台形 c. 口唇部焼損 / 黑色粒 / 黑色地理 d. 長方形輪 表面台形
20-168			骨製品	一部欠損	長さ 15.0	幅 0.1~0.3	厚さ [4]	重さ a. 骨盤 E 上半分欠損後の断面を丁寧に削磨し二次加工か 上端部に刻みあ f. 表面に切削痕 検測面 - 部加工
20-169			骨製品	用途不明 加工骨	長さ [7.3]	幅 1.7	厚さ 0.7	重さ a. 骨盤 E 上半分欠損後の断面を丁寧に削磨し二次加工か 上端部に刻みあ f. 表面に切削痕 検測面 - 部加工
20-170			銅製品	錢	一部欠損 2.5	幅 0.6	厚さ 0.1	重さ a. 地道元寶 行書 北宋 995年
20-171			銅製品	錢	完形 2.4	幅 0.6	厚さ 0.1	重さ a. 地道元寶 行書 北宋 1004年
20-172			銅製品	錢	完形 2.5	幅 0.6	厚さ 0.1	重さ a. 乾寧元寶 草書 北宋 1068年

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			製作項目	成形・整形 b:成形 c:内面 d:外側 e:底面 f:内面 g:底面 h:土 i:地 j:材質 k:色調 l:横調 m:焼成 n:備考	
						口径	底径	高さ			
20-173			銅製品	錢	完形	直径 内孔	0.7 0.1	厚さ 重さ	b:無寧元寶 c:書道	n:北朝 1068 年	
20-174			銅製品	錢	完形	直径 内孔	2.4 0.6	厚さ 重さ	b:無寧元寶 c:書道	n:北朝 1068 年	
20-175			銅製品	錢	完形	直径 内孔	2.5 0.6	厚さ 重さ	b:元祐通寶 c:行財	n:北朝 1068 年	
20-176			漆製品	皿	完形	8.1	6.7	1	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系漆/手書き/外側無文	n:内面: 只底に中央に有る小孔あり 外側:手書き	
20-177			漆製品	皿	5.6	(9.4)	(7)	(1.2)	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面無文/外側漆塗/手書き	n:内面: 外側:手書き	
20-178			漆製品	器物不明	1/5	—	(6.4)	(0.9)	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面無文/外側漆塗/手書き	n:外側: 外側配色不明 e:輪高台	
20-179			漆製品	椀	脚部少片	—	—	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系漆/手書き	n:外側: 外側配色不明 e:輪高台	
20-180	南側 壁下 附		漆製品	椀	底部	—	(7.4)	[2.1]	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆塗/赤色系漆/手書き	n:内面: 外側: 外側配色不明 e:輪高台	
20-181			木製品	經本折敷		16	[12.3]	0.2	d:残存する三辺中央に小孔あり		
20-182			木製品	經本折敷		16.8	[12.2]	0.2	d:残存する三辺中央に小孔あり		
20-183			木製品	刀子鞘		12.7	2.1	0.7	d:小型		
20-184			木製品	著状		24.4	0.5	0.5	d:直面方形		
20-185			木製品	著状		23.5	0.8	0.4	d:直面方形		
20-186			木製品	著状		22.1	0.7	0.5	d:整な整形		
20-187			木製品	著状		21.4	0.9	0.4	d:直面扇形		
20-188			木製品	著状		20.3	0.7	0.6	d:直面方形		
20-189			木製品	著状		18.9	0.6	0.6	d:直面不規形		
20-190			木製品	著状		18.4	0.6	0.5	d:直面不規形		
20-191			木製品	車軸		[12.6]	1.1	1	d:直面不規形/丁寧な整形		
21-192			木製品	建築材		[45.7]	[5.6]	1	d:脚部/輪高台に直面状の取りあり		
21-193			木製品	建築材		22.4	[2.6 ~ 3.3]	[0.4 ~ 0.6]	d:西端部/直面状/中央添設を意図的に厚みをやや薄くしている/調度 部の脚部		
21-194			木製品	建築材		[16.0]	4	[0.9 ~ 1.2]	d:端部側面/直面状があり/孔径 0.8		
21-195			木製品	用途不明		径 3.8	—	1.5	d:円盤状/中央に孔(径 0.2)がある		
21-196			木製品	用途不明		径 6.5	—	0.5	d:円盤状/直面状板か/圓盤等/單な整形		
21-197			木製品	用途不明		3.5	1.0 ~ 1.2	1.1 ~ 1.4	d:直面状/端部等に粗粒があり/加工途中か		
21-198			上製品	かわらけ(大)	1/2弱	(12.5)	(8.2)	3.1	a:内底ナメ/外底回転斜面/板状底/板状斜面/板状斜面/板状斜面/板状斜面 b:内底骨格/配岩鉄/やや粗面/灰褐色		
21-199			上製品	かわらけ(大)	2/3	11.8	8.0	3.2	a:内底ナメ/外底回転斜面(右)/回転斜面(左)/板状底/板状斜面 b:内底ナメ/白褐色/白粉/海綿骨格/配岩鉄/やや粗面/灰褐色		
21-200			上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/4	(11.9)	6.6	3.7	a:内底ナメ/外底回転斜面(右)/板状底/板状斜面/板状斜面/板状斜面 b:内底ナメ/白褐色/白粉/海綿骨格/配岩鉄/良土/青褐色/e:良好 c:有潤滑口の粗粒/切込みを入れられたような加工あり	
21-201			上製品	ロクロ	かわらけ(大)	完形	7.5	4.8	1.7	d:内底ナメ/外底回転斜面(右)/板状底/板状斜面/板状斜面/板状斜面 e:良好	
21-202			陶器	湯舟 入子	底完成	—	4.0	[1.6]	a:ロクロ形状/外底回転斜面/板状底/板状斜面 b:やや粗面/灰褐色/良好		
21-203			漆製品	皿	1/2	(10.4)	(7.2)	2	a:直面状/内底ナメ/外底回転斜面/板状底/板状斜面 b:内底骨格/内底斜面/内底斜面/内底斜面 c:灰褐色/良好		
21-204			木製品	手すみ		12	3.5	3.8	d:丁寧な整形/端板あり		
21-205			木製品	質杖		[20.3]	0.8	0.6	d:整な體		
21-206			木製品	用途不明		[23.2]	1.6	1	d:黒色の持物なり		
23-1			上製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/5	(12.8)	(8.2)	a:内底ナメ/外底回転斜面/板状底/板状斜面/板状斜面/板状斜面 b:内底骨格/やや粗面/灰褐色/良好		
23-2			上製品	ロクロ	かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(4.6)	a:内底ナメ/外底回転斜面/板状底/板状斜面/板状斜面/板状斜面 b:内底骨格/良好		
23-3			鉄製品	釘	完形	長さ 径	6.1 2.52	幅 内孔	厚さ 重さ	d:直面状/角形状に鍛造/精付着	
23-4			銅製品	錢	完形	径 内孔	0.71	0.12	4	d:天聖元寶 e:良土	
23-5			漆製品	皿	1/3	(8.2)	(6.8)	(1.6)	a:直面状/内底ナメ/外底回転斜面/板状底/板状斜面 b:内底骨格/内底斜面/内底斜面/内底斜面 c:灰褐色/良好		
23-6	4 泥質 塗瓦 裏		漆製品	椀	1/5	—	—	[1.8]	a:直面状/内底ナメ/外底回転斜面/板状底/板状斜面 b:内底骨格/内底斜面/内底斜面/内底斜面 c:灰褐色/良好		
23-7			木製品	刀子鞘		21.3	2.5	0.5	d:角は鋭く加工		
23-8			木製品	質杖		21.5	0.7	0.5	d:直面状/丁寧な面取り		
23-9			木製品	質杖		20.1	0.8	0.4	d:直面状		
23-10			木製品	質杖		20	0.6	0.4	d:直面状/角形状/整な面取り		
23-11			木製品	中棒		[21.6]	1	0.6	d:直面状		
23-12			木製品	用途不明		25.2	6	2.3	d:端板一曲に 8 角形の凹穴があく/調度具漆付		
23-13			木製品	用途不明		22.4	6.9	0.9	d:端板四隅の切り出しあし		
23-14			木製品	用途不明		12.7	3.2	1.3	d:工具の跡か/直面 3 面間に縦位の割りが入る/直面/直面凹形で縦位の 目字を入れている/孔の深さ 0.5 cm		
23-15			木製品	用途不明		[11.8]	1.6	0.9	d:直面状/端部鋸刃に整形		
23-16			木製品	用途不明		15.1	1.8	0.5	d:端材か		
23-17			木製品	用途不明		12.4	5.6	1.2	d:端材か		

国番号	出土面	番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	整理項目			
23-18			木製品	用途不明		1口径 7.5	a: 成形、整形 b: 土、素地、材質 c: 色調、寸幅調 d: 燐成、土備考 e: 篦幅か、縫合あり			
24-1			上製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.4 8.3	3.9 3.2	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨片 やや良土 c: 黒灰色 e: 良好 f: 重底二重底		
24-2			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.8)	7.2	3.6	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨片・泥岩粉 やや粗土 c: 黑灰色 e: 良好 f: 内外面に変色	
24-3			上製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	10.4	5.8	2.95	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨片 小石粒 上土 c: 黑灰色 e: 良好 f: 内外面に一部変色	
24-4			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.8)	(5.4)	2.3	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒 c: 黑灰色 e: 良好 f: 外面の一部と内底部分を変色	
24-5			上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.4	4.4	2.25	重さ 48	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・白色粒・海 綿骨片・泥岩粉 やや粗土 c: 黑灰・黄土 e: 良好 f: 重底に油膜感、全 部黒土変色
24-6			上製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形	7.3	4.6	2.0	重さ 44	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨片・泥岩粉 やや粗土 c: 黑灰土 e: 良好 f: 外底に外 面部黒土変色
24-7			上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(6.8)	4.2	2.2	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨片・泥岩粉 やや粗土 c: 黑灰土 e: 良好 f: 外底に外 面部黒土変色	
24-8			上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.2	4.2	2.15	重さ 42	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・白 色粒・海綿骨片・泥岩粉 やや粗土 c: 黑灰土 e: 良好 f: 外底に外 面部黒土変色
24-9			陶器	青磁 新緑釉	口縁部小 片	—	—	[1.9]	a: ロクロ形 内面運び井戸 b: 黑灰色 粘土色・黑色粉 粘膜堅厚 c: 黑灰色半透明 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-10			陶器	青磁 墨	肩部片	—	—	[4.4]	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-11			陶器	青磁 広口壺	口縁部片	—	—	[5.1]	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-12			陶器	青磁 片口鉢	口縁部片	—	—	10.9	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-13			陶器	青磁 片口鉢	3/4	28.7	14.8	10.4	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-14			陶器	青磁 片口鉢	口縁部片	—	—	[4.4]	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-15			陶器	青磁 転用器物	—	長さ [2.9]	幅 [4.8]	厚さ [1.3]	重さ 17.8	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類
24-16			陶器	湖水 湖面	口縁部小片	—	—	4.1	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-17	4		陶器	湖水 湖面	1/3	(14.6)	(8.8)	4.0	a: ロクロ形 井戸内面運び b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-18			土器類	火鉢	3/4	34.4	25.8	9.3	a: 内面は黒・斜径のナメ 外面は青磁系横ナメ/縦ナメは指痕跡+ハケ目 隔壁は横径のナメ/縦ナメは指痕跡+ハケ目 b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
24-19			土製品	丸瓦	小片	長さ [10.2]	幅 [0.8]	厚さ [0.8]	重さ 1.7	a: 黒面開き隙間 両面に目引目、隔壁へ引けり 2面 灰色 微砂・雲母 /白色粉・小石粒 c: 黑褐色 e: 良好 f: 木手縫合
24-20			石質品	滑石 温石	小片	長さ [8.8]	幅 [5.1]	厚さ [1.7]	c: 黑灰色 E 表面に貴金属着	
25-21			漆器製品	皿	1/4	—	(6.1)	[1.5]	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内面無文 外面漆済/赤色系漆/手描き d: 外面 漆墨は横径のナメ/縦ナメは指痕跡+ハケ目 b: 黑灰色 粘土色・白色粉 小石粒 c: 黑褐色 d: 指紋やや多い e: 型輪 磁気量系青磁田口一類	
25-22			漆器製品	椀	4/5	—	(6.6)	[3.7]	a: 黒色漆 b: 黑色漆 c: 内外面漆済/赤色系漆/手描き d: 内面: 花文(稱 日向)見込み中央と側面に配する/外側: 花文/厄智配済不明 e: 楠 高台 l: 外底紙台内面に「一」の文字あり	
25-23			木製品	曲物	径 [20.5]	—	—	0.8	f: 楠板部分 l: 表面内面に黑色漆を保護する跡残る	
25-24			木製品	曲物	径 [18.0]	—	0.9	f: 楠板部分 / 大底が焼失してしまっている / 横幅から約 1.3 cm 中央に入った ところで黒線に沿った折れ柱あり / 頭縫に一枚所付被伏		
25-25			木製品	曲物	径 [11.7]	—	—	f: 楠板部分 / 横幅より約 2.5 cm 中央に寄った部分に横筋の縫合あり		
25-26			木製品	中粧	25.9	0.9	0.7	f: 無面直彫形		
25-27			木製品	用途不明	径 [7.1]	—	1.4	f: 円盤状木製品 / 横筋に粗く整形跡が残る		
26-1			上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(13.0)	(7.4)	3.2	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒 c: 白色粉 d: 良好 e: 内底底に変色	
26-2			上製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	13.7	7.7	3.5	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿 骨片・小石粒 やや粗土 c: 黑灰色 e: 良好	
26-3			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.2	8.0	3.3	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・金雲母・赤 色粒・白色粉 c: 黑灰色 e: 良好 f: 重底上部黒土変色	
26-4			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.4	7.8	3.2	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・海綿骨片 c: 白色粉 上土 c: 良好 f: 重底上部黒土変色	
26-5			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.5	7.6	3.5	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨 片・泥岩粉 上土 c: 黑灰色 e: 良好	
26-6			上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.2)	(7.2)	3.1	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨 片・泥岩粉 上土 c: 黑灰色 e: 良好	
26-7			上製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.1	7.8	3.1	重さ 171 a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨 片・泥岩粉 上土 c: 黑灰色 e: 良好 f: 外底部二重構造 底部→側 壁部に中間部黒土変色	
26-8			上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	6.1	1.6	重さ 40 a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母・海綿骨片・泥 岩粉 やや粗土 c: 黑灰色 e: 良好	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			調査項目
						口径	底径	高さ	
26-9			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	5.4	1.7	a: 成形、整形 b: 船形、素地、材質 c: 色調、寸幅調 d: 焼成、土着考 他
26-10			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	(7.4)	(4.7)	1.6	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) + ナメ 砂岩粒 すなこす c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-11			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.7	4.8	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-12			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.2	5.0	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-13			土製品	ロクロ かわらけ (中)	ほぼ完形	7.4	4.4	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-14			土製品	ロクロ かわらけ (中)	4/5	7.7	5.2	1.8	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-15			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.3	5.1	1.6	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-16			土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	7.0	4.4	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-17			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.0)	(4.0)	2.2	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-18			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.5)	(4.7)	1.9	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-19			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.2)	(5.2)	1.6	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-20			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.4)	(5.3)	1.3	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-21			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.4	5.3	1.9	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-22			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.1)	(5.7)	1.9	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-23			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.2	5.3	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-24			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.1	5.3	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-25			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.4	4.6	1.6	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-26			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.1	4.7	1.8	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-27	4 南側壁土		土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.6)	(4.7)	1.7	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-28			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.3)	(4.3)	1.5	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-29			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	6.9	4.3	1.9	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-30			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(6.2)	(3.9)	1.9	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-31			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.8	5.8	1.8	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-32			土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	7.8	5.0	1.6	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-33			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/2	(6.8)	(5.1)	1.6	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-34			土製品	ロクロ かわらけ (大)	4/5	4.7	3.8	1.3	a: 内底ナメ 外周斜板有り (右) c: 黄色 良好 E10-1 部黒く変色
26-35			土製品	かわらけ粘土 門型柱・柱頭型	完形	2.9	—	厚3 0.5	a: かわらけ (大) の底丸く削して、断面をせりている b: 黄色、薄黄色 c: 黄色、白色
26-36			磁器	青磁 折筋型	1/5	10.9	—	[335]	b: 黄色、薄黄色 c: 黄色、白色
26-37			磁器	青磁 折筋型	1/5	(12.0)	—	[2.9]	b: 黄色、薄黄色 c: 黄色、白色
26-38			陶器	青磁 口縁部付	—	—	[4.9]	a: 製成輪郭 b: 黄色、白色 c: 黄色、白色	
26-39			石製品	鏡	隆部のみ	長3 [5.9]	幅3 7.5	1.3	a: 長方形 b: 黑色磨盤台形
26-40			石製品	砥石 小中	長3 [5.4]	幅3 4.1	厚3 3.0	a: 表裏側3面使用 b: 黑色磨石 c: 白棕色~白のマーブル状(表面は灰色 に変色) 天平章	
26-41			石製品	砥石 中硬	長3 [11.3]	幅3 3.5	厚3 3.0	a: 表裏側4面使用 b: 黑色磨石 c: 白褐色	
26-42			石製品	砥石 中硬	長3 [9.8]	幅3 5.0	厚3 4.3	a: 表裏側4面使用 (部分的に化石化物付着。全体的に剥離) b: 黑色磨石 c: 白色	
26-43			石製品	砥石 仕上砥	長3 [12.6]	幅3 3.2	厚3 0.9	a: 表裏1面使用 両側面生産地加工痕 b: 黑色磨石 c: 白色	
26-44			石	加工石	長3 [7.2]	幅3 5.0	厚3 2.6~4.5	b: 花崗岩質灰岩 c: 灰白色に暗灰色のマーブル状?	
26-45			鉄製品	刀子	先端彫 欠損	長3 [21.6]	幅3 1.8~2.75	0.5	E刃長の残存 [17.9] cm a: 部分先端欠損 全体的に縫合着激しい
26-46			鉄製品	釘	完形	長3 [5.4]	幅3 4.2	E: 斜面四角形状に鍛造 縫合着	
26-47			鉄製品	釘	完形	長3 [9.2]	幅3 0.6	E: 斜面四角形状に鍛造 縫合着	

固番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目	
						口径	底径	高さ	a: 成形、整形 b: 土、素地、材質 c: 色調 d: 錫調 e: 燐成 f: 鏡面	他
26-48			鉄製品	釘	完形	長さ 10.5	幅 0.6	厚さ 0.5	e: 鏡面 内角形状に鍛造 結付着	
26-49			鉄製品	釘	完形	長さ 3.9	幅 0.4	厚さ 0.3	e: 鏡面 内角形状に鍛造 結付着	
26-50			鉄製品	釘	先端彎欠 鉗	長さ (6.0)	幅 0.5	厚さ 0.3	e: 鏡面 内角形状に鍛造 結付着	
26-51			鉄製品	釘	完形	長さ 4.9	幅 0.4	厚さ 0.4	e: 鏡面 内角形状に鍛造 結付着	
26-52			鉄製品	釘	完形	長さ 4.2	幅 0.4	厚さ 0.3	e: 鏡面 四角形状に鍛造 結付着	
26-53			銅製品	鉢	完形	径 2.18	内径 0.61	厚さ 0.11 3.5	e: 開元寶 葉書 唐 621年 重さ 0.56	
26-54			銅製品	鉢	完形	径 2.54	内径 0.65	厚さ 0.09 3.3	e: 昭武元寶 葉書 北宋 1034年	
26-55			銅製品	鉢	完形	径 2.45	内径 0.68	厚さ 0.09 2.8	e: 皇宋通寶 行書 北宋 1038年	
26-56			銅製品	鉢	完形	径 2.46	内径 0.63	厚さ 0.10 3.2	e: 皇宋通寶 葉書 北宋 1038年	
26-57			銅製品	鉢	完形	径 2.38	内径 0.63	厚さ 0.12 4.1	e: 至和元寶 行書 北宋 1054年	
26-58			銅製品	鉢	完形	径 2.45	内径 0.67	厚さ 0.10 4.4	e: 治平通寶 葉書 北宋 1064年	
27-59			銅製品	鉢	完形	径 2.37	内径 0.64	厚さ 0.09 3.8	e: 元祐通寶 葉書 北宋 1078年	
27-60			銅製品	鉢	完形	径 2.37	内径 0.62	厚さ 0.05 11.1 2.2	e: 元祐通寶 葉書 北宋 1086年 表面擦り剝	
27-61			銅製品	鉢	完形	径 2.35	内径 0.62	厚さ 0.14 4.1	e: 熙寧元寶 行書 北宋 1094年	
27-62			銅製品	鉢	完形	径 2.41	内径 0.63	厚さ 0.13 3.7	e: 熙寧元寶 葉書 北宋 1094年	
27-63			銅製品	鉢	完形	径 2.43	内径 0.61	厚さ 0.13 3.7	e: 大觀通寶 葉書 北宋 1107年	
27-64			漆製品	皿	完形	9.8	7.8	1.5	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 菊花文/内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体に難な手扱い	
27-65			漆製品	皿	1/2	(8.8)	(7)	1.1	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 菊花文/内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体に難な手扱い	
27-66			漆製品	皿	1/2	(9.2)	(7.2)	(1.5)	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 菊花文/内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体に難な手扱い	
27-67	4 南朝構成土		漆製品	皿	4/5	(8.8)	(6.8)	1	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 外面無文 手内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体が難手	
27-68			漆製品	皿	1/3	(8.6)	(6.8)	(1)	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 外面無文 手内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台	
27-69			漆製品	皿	1/3	(9)	(7)	(1)	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 外面無文 手内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体に難な手扱い	
27-70			漆製品	皿	1/5	(8.4)	(7.2)	(0.6)	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 外面無文 手内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体に難な手扱い	
27-71			漆製品	皿	底部小片	—	—	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 外面無文 手内面: 足見み中央と側面に6か所文様 (又様同) 画面1周所に5寸 e: 無高台 杣全体が難手	
27-72			漆製品	楕	1/5	—	(7.6)	[1.7]	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 松文/外内曲 筋に面詰みに難手	
27-73			漆製品	楕	1/2	—	(8)	[5.7]	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 松文/外内曲 筋に面詰みに難手	
27-74			漆製品	楕	1/4	—	(8.2)	[1.7]	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 亀甲文/松文 外内曲筋に難手	
27-75			漆製品	片	11絆合小片	—	—	[3.9]	a: 赤色系漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 止鉤 外内曲筋に難手	
27-76			漆製品	漆拂不明	脚部小片	—	—	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 止鉤 脚部小片 黒色漆塗程筋(脚部に附) 脚部に難手	
27-77			漆製品	網	9.4	3	2.9	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 止鉤 外内曲筋に難手	
27-78			漆製品	網	[8.8]	(4)	(0.9)	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面漆塗/赤色系漆 手描き d: 止鉤 外内曲筋に難手	
27-79			木製品	板円子	—	21.6	6.2	0.7	—	b: 端部削減
27-80			木製品	商物	[23.6]	—	0.5	—	—	b: 端部削減
28-51			木製品	届	33.5	1.9	0.1~0.2	—	—	b: 先端(後端) 扇合せの部分から側縁部にかけて曲線的(合わせの部分 は最後端より切り込む) 側縁部は通常一か所にあくが、本草履芯は1角 のみの側縁部
28-82			木製品	下駄	[16.5]	8.3	1.1	—	—	b: 先端(後端) 扇合せの部分から側縁部にかけて曲線的(合わせの部分 は最後端より切り込む) 平洋式迎刃
28-83			木製品	草履芯	23.5	10.4	0.4	—	—	b: 先端(後端) 扇合せの部分から側縁部にかけて曲線的(合わせの部分 は最後端より切り込む) 方形
28-84			木製品	草履芯	24.3	10	0.2	—	—	b: 先端(後端) 扇合せの部分から側縁部にかけて曲線的(合わせの部分 は最後端より切り込む) 方形
28-85			木製品	草履芯	23.4	10.2	0.3	—	—	b: 先端(後端) 扇合せの部分から側縁部にかけて直線的(合わせの部分 は最後端より切り込む) 方形
28-86			木製品	千坪木	15.8	4.6	2.6	—	—	b: 実半圓整形
28-87			鉄製品	鍔	25.2	16.19	—	—	—	b: 鏡面(鏡面)/丁寧な整形 / 金屬部分 (長さ 4.3 / 径 0.3)
28-88			木製品	形代	20.1	16.17	—	—	—	b: 箱型 / 中心部(1.1) / 丁寧な整形

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	調査項目
28-89			木製品	骨状	11枚	22.3	a: 成形, 積形 b: 土, 茎, 材質 c: 色調 d: 摘調 e: 燃成 f: 焼考
28-90			木製品	骨状	21.6	0.8	0.4
28-91			木製品	骨状	21.8	0.7	0.3
28-92			木製品	串状	19.7	0.7	0.5
28-93			木製品	骨状	18.8	0.7	0.5
28-94			木製品	骨状	19.1	0.7	0.4
28-95			木製品	骨状	17.9	0.7	0.5
29-06			木製品	串状	25.2	1.1	0.5
29-07			木製品	串状	20.8	0.9	0.6
29-08			木製品	用途不明	8.9	—	0.8~0.9
29-09			木製品	用途不明	8.4	—	0.7
29-10			木製品	用途不明	5.7	—	0.5
29-101			木製品	用途不明	6.1	—	0.3
29-102			木製品	用途不明	[17.0]	[3.3]	0.6~0.8
29-103			木製品	用途不明	6.2	5.5	3.4
29-104			木製品	用途不明	4	2.4	1.3
29-105			木製品	用途不明	10.2	1.6	1.8
30-1	南側底 底土	上製品	ロクロ かわらけ(大)	元形	12.5	7.6	3.8
30-2		上製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.9	6.8	3.4
30-3	上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.1)	(7.1)	3.1	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) b: 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色系/白色 c: 海綿骨片/泥岩粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好
30-4		上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(11.5)	(7.5)	2.9
30-5	上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.4	7.2	3.3	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色系/白色 b: 海綿骨片/泥岩粒 小石粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好 玉口縫部 に欠け
30-6		上製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	11.2	5.8	335
30-7	上製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	11.3	7.6	2.9	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/金雲母/赤色 b: 海綿骨片/泥岩粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 表面上に黒面付状の透明で反射する 凹凸付岩片(雲母か)
30-8		上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.0	5.4	1.8
30-9	上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.2	4.9	195	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/海 綿骨片/泥岩粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好
30-10		上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.7	4.8	1.85
30-11	上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.3	5.2	1.55	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/海 綿骨片/泥岩粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好
30-12		上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.5	4.9	1.9
30-13	上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.4	4.8	1.85	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好
30-14		上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.2	4.6	1.7
30-15	上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.6	5.1	1.8	重3.5 a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好
30-16		上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.3	4.5	1.8
30-17	上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.5)	(5.1)	1.8	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好
30-18		上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.5	4.7	1.8
30-19	上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.9	5.2	1.7	重3.6 a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 表面上に黒面付状の透明で反射する 凹凸付岩片(雲母か) 硬合面断面に機械付着
30-20		上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.5)	(6.0)	2.1
30-21	上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.1)	(4.6)	2.2	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好
30-22		上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.3)	(5.1)	1.6
30-23	上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	6.7	4.6	1.9	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好
30-24		上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(6.8)	(4.6)	2.1
30-25	上製品	ロクロ かわらけ(小)	注記定形	7.1	4.3	1.8	重3.6 a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 玉口縫部打ち欠き 正み縫 目
30-26		上製品	ロクロ かわらけ(小)	3/5	7.4	5.0	1.8
30-27	上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.6	5.0	2.0	a: 内底ナメ 外底回転串切(右) 板状圧痕 b: 微砂・雲母/赤色/白 色/海綿骨片/泥岩粒 やや粗粒 c: 黄褐色 e: 良好 f: 玉口縫部打ち欠き
30-28		上製品	かわらけ用 木盤下製品	完形	3.9	—	0.5

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			調査項目	
						口径	底径	高さ		
30-29			磁器	青磁 折腰瓶	口縁部片	—	—	[4.7]	a: 形成、整形 b: 脱土、素地、材質 c: 色調 d: 摘取 e: 燃成 f: 研磨 g: 考古 h: 白色 磁性質: 止火リーフ色~灰綠色 半透明 脆弱性: 貫入良好 e: 良好 f: 青磁窓系青磁環保 3a類	
30-30			陶器	青磁 片口鉢	口縁部片	—	—	[6.5]	a: 脱釉粉粒法 b: 脱釉粉粒法	
30-31			陶器	片口鉢	口縁部片	—	—	[4.5]	c: 脱釉粉粒法 d: 外面全体下部板ナゲ 内面摩滅 b: 塗灰色 砂粒/白色粉	
30-32			陶器	青磁 片口鉢	口縁部片	—	—	[4.1]	e: 白色 砂粒/白色粉	
30-33			陶器	青磁 片口鉢	口縁部片	—	—	[2.7]	a: 脱釉粉粒法 b: 脱釉粉粒法	
30-34			陶器	青磁 片口鉢	口縁部片	—	—	[1.9]	c: 脱釉粉粒法 d: 脱釉粉粒法	
30-35			陶器	青磁 入子	底部片	—	3.0	[0.7]	e: ロクロ形 f: 脱釉粉粒法	
30-36			土製品	土器 火鉢	底部片	—	—	[4.7]	a: 脱釉粉粒法 b: 脱釉粉粒法	
30-37			石製品	砾石 土上紙	長さ [7.3]	幅 4.0	厚さ 1.6	—	a: 表裏2面使用 小口両側面生産地加工痕 b: 涂灰岩: c: 灰白色 砂粒/白色粉	
30-38			石製品	砾石 土上紙	長さ [8.0]	幅 3.0	厚さ 0.6	—	a: 表裏2面使用 小口両側面生産地加工痕 c: 瓦礫層カケ道存 b: 涂灰岩: c: 灰白色 砂粒/白色粉	
30-39			石製品	砾石 土上紙	長さ [4.8]	幅 —	厚さ [0.6]	—	a: 表裏1面使用 小口両側面及び小口生産地加工痕 c: 涂灰岩: b: 涂灰岩: 灰白色	
30-40			骨製品	骨 加工品	長さ [5.5]	幅 5.5	厚さ 3.0	—	f: 切断・削切痕多数あり	
30-41			銅製品	用途不明品 飾り金具	元形	直径 2.8	厚さ 3.4	重さ 1.0	b: 窪状で周縁に花弁状の細かい裂みあり	
30-42	4 遺構 上	塗装品	皿	2/3	9.2	8.1	1	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内面漆粒/赤色系漆/手描き/外面無文	
30-43		塗装品	皿	1/3	(9.3)	7.7	1	—	d: 突起込中央に墨文(種不明) e: 無高台 f: 30-44の下に重なって出土	
30-44		塗装品	皿	4/5	9.9	7.6	1.6	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内面漆粒/赤色系漆/手描き/外面無文	
30-45		塗装品	皿	は(F)定形	9.1	7	1.4	—	d: 突起/外側無文	
30-46	4a 遺構 下	塗装品	皿	—	10.9	2.7	2.3	—	f: 漆の剥離/黒色漆程跡/端部に円柱に加工した差し込みが残る	
30-47		木製品	曲物	—	66 (17.0)	—	0.9	—	f: 斷板部分/側板部近くに板皮の継ぎ接合/漆刷毛か/裏面両面に刃物痕	
30-48		木製品	曲物	—	[17.5]	6.0	0.6	—	f: 曲物軸板/片面に漆剥落	
30-49		木製品	曲物	—	8.5	—	0.6	—	f: 断板部分	
30-50	5 遺構 上	木製品	曲物	—	[23.5]	8.3	0.9	—	f: 断板部分	
31-31		木製品	下駄	—	[22.8]	7.8	1.4	—	f: 通南北/正面/背面/長円型/端部折の両脇に押舟あり	
31-32		木製品	草履芯	—	23.8	5.1	0.3	—	f: 先端/後端/縫合: 右の部分から先端部にかけ曲線的/合わせの部分は最端より切りこむ/端部に小孔	
31-33		木製品	砾石台	—	[21.2]	3.4	0.4~1.0	—	f: 破石台をせる部分が斜り抜いてある	
31-34	5 遺構 中	木製品	著衣	—	22.1	0.8	0.4	—	f: 異面方取/單な面取り	
31-35		木製品	著衣	—	21.4	0.6	0.4	—	f: 異面方取/單な面取り	
31-36		木製品	著衣	—	20.4	0.7	0.5	—	f: 異面方取/單な面取り	
31-37		木製品	著衣	—	20	0.6	0.4	—	f: 異面不規形/丁寧な面取り	
31-38	5 遺構 下	木製品	著衣	—	19.2	0.7	0.4	—	f: 異面方取形	
31-39		木製品	用途不明	—	18.1	—	5.5	1	f: 異面/形状模様/建村少	
31-40		木製品	用途不明	—	[16.0]	[3.5]	[0.6]	—	f: 木製品/漆程跡/加工痕が残る	
31-41		木製品	用途不明	—	14.3	13.2	0.8	—	f: 裏面両面に複数の刃物痕/側面に刃物痕に沿って刃物痕が認められる	
31-42	5 遺構 下	木製品	用途不明	—	[18.9]	5	5	—	f: 片端部断面	
32-1	6 遺構 上	木製品	ロクロ	かわらけ(大)	注釈定形	12.4	7.2	3.5	重さ 5kg	a: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-2		木製品	ロクロ	かわらけ(大)	3/4	12.5	7.6	3.3	—	b: 外底回転切(左) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/泥岩骨/泥岩骨/泥岩骨
32-3		木製品	ロクロ	かわらけ(大)	2/3	12.2	5.9	3.35	—	c: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-4		木製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/2	(12.2)	(7.4)	3.3	—	d: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-5	6 遺構 中	木製品	ロクロ	かわらけ(中)	3/5	(10.3)	(6.6)	3.1	—	e: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/良土/青粘土
32-6		木製品	ロクロ	かわらけ(中)	注釈定形	7.7	5.3	1.7	重さ 5kg	f: 良土/青粘土: c: 良好
32-7		木製品	ロクロ	かわらけ(小)	1/3	(7.4)	(4.6)	2.2	—	g: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-8		木製品	ロクロ	かわらけ(小)	4/5	7.0	4.8	1.7	—	h: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-9	6 遺構 下	木製品	ロクロ	かわらけ(小)	2/3	6.8	5.0	1.6	—	i: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-10		木製品	ロクロ	かわらけ(小)	3/4	(7.2)	(5.2)	1.7	—	j: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-11		木製品	ロクロ	かわらけ(小)	4/5	7.4	4.4	1.7	—	k: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-12		木製品	ロクロ	かわらけ(小)	注釈定形	7.6	4.8	1.8	重さ 5kg	l: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨
32-13	6 遺構 下	木製品	ロクロ	かわらけ(小)	注釈定形	7.4	5.0	1.6	重さ 4.8kg	m: 内底ナメ 外底回転切(右) 板状圧痕 b: 微妙/雪母/赤色/海綿骨/泥岩骨/泥岩骨

国番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	整理項目	
32-14	遺構外	主製品	ロクロ かわらけ (小)	口径 3/4	7.2	4.7	1.7 e:成形・整形 b:崩土・素地・材質 c:褐色 d:鉛錆 e:焼成 玉器考	
32-15			ロクロ かわらけ (小)	1/2	7.2	5.0	1.7 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
32-16		陶器	常滑 口18cm 頂部	口縁部分	—	—	[3.2] a:外底回転粘着 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好 f:口縁部打ち欠き	
32-17		陶器	瀬戸 御用	底部小片	—	—	[1.3] a:ロクロ成形 b:淡灰青色 砂粒/黑色粒/石英 c:灰色 e:良好 f:砂型式	
32-18		石製品	砥石 住土砾	海面部	長3 幅1.4	範 7.6	厚2 幅1.7	a:ロクロ成形 b:淡灰青色 砂粒/黑色粒 c:灰色 d:灰斑 (切断)後に再加工・利刃化
32-19		石製品	砥石 住土砾	海面部	長5 幅3.3	範 3.2	厚5 幅0.5	a:裏2面使用 両側面生産地加工組 b:凝灰岩 c:灰黄色 E明造 破損 (切断)後に再加工・利刃化
32-20		木製品	箒状	—	30	28.9	0.8	b:被覆分/道状樹型?
32-21		木製品	箒状	—	22.7	0.6	5 a:微曲不円形 板状圧痕 d:弓型曲取り	
32-22		木製品	箒状	—	19.8	0.7	5 a:微曲不円形 / 勘な曲取り	
32-23		木製品	箒状	—	18.9	0.5	4 a:微曲不円形 板状圧痕 d:弓型曲取り	
32-24		木製品	箒状	—	18.2	0.5	5 a:微曲不円形 / 勘な曲取り	
32-25		木製品	箒状	—	19.1	0.5	3 a:微曲不円形 / 勘な曲取り	
32-26		木製品	箒状	—	18.8	0.6	5 a:微曲不円形 板状圧痕 d:弓型曲取り	
32-27		木製品	串状	—	21	11.5	0.6	a:微曲不円形 板状圧痕 d:弓型曲取り
33-1	4a	上製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	(13.4)	(7.3)	3.8 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/白色粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-2		上製品	ロクロ かわらけ (大)	4/5	13.3	7.6	3.5 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/白色粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好 f:内底に付着物あり	
33-3		上製品	ロクロ かわらけ (大)	2/3	(12.2)	(8.0)	3.4 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/海綿骨針/泥岩粒 小石粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-4		上製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	(12.4)	(6.9)	3.1 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-5		上製品	ロクロ かわらけ (大)	3/5	(12.0)	(7.4)	3.0 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 小石粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-6		上製品	ロクロ かわらけ (中)	完形	11.7	6.7	3.6 重さ 133 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 小石粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-7		上製品	ロクロ かわらけ (中)	3/5	11.8	8.1	3.3 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-8		上製品	ロクロ かわらけ (中)	3/5	(11.4)	(7.4)	3.2 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-9		上製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.8)	(5.2)	1.7 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好 f:内底に角頭部を呈す	
33-10		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほE完形	8.2	4.3	1.9 重さ 59 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-11	構成土	上製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	8.2	4.7	2.1 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-12		上製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(8.0)	(4.6)	1.65 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-13		上製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.8	5.5	1.9 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-14		上製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.8	5.5	1.6 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-15		上製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	4.8	1.7 重さ 43 a:内底ナメ 外底回転粘着 全体に有機物附着 c:黒黄色 d:口縁部は煤烟	
33-16		上製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.3	4.7	1.75 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 小石粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-17		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほE完形	7.3	5.0	1.8 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-18		上製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.4	5.4	1.6 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-19		上製品	ロクロ かわらけ (小)	5/6	7.1	4.8	1.8 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-20		上製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.2	5.3	1.7 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-21		上製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	6.8	5.5	1.7 a:内底ナメ 外底回転粘着 板状圧痕 b:微砂・雲母/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好	
33-22		上製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.0)	(4.3)	1.5 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒 より良上 c:褐色 e:良好	
33-23		上製品	ロクロ かわらけ (小)	ほE完形	8.0	5.7	2.0 重さ 65.3 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好 f:口縁部打ち欠き 外面部の有りに変形	
33-24		上製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.3	4.5	1.9 a:内底ナメ 外底回転粘着 (右) 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや良上 c:黄褐色 e:良好 f:口縁部打ち欠き 正反壓型 透明	
33-25		土製品	手づくね	1/5	(6.3)	(6.9)	1.4 a:内底ナメ 外底剥離後ナメ消し 板状圧痕 b:微砂・雲母/赤色粒/白色粒 より良上 c:褐色 e:良好 f:内底折れかず	
33-26		土製品	かわらけ転用	完形	—	厚5 0.4	a:かわらけ (手づくね) の底を丸く成形し 斜面を削っている b:微砂・泥岩粒 より良上 c:褐色 e:良好 f:内底折れかず	
33-27		磁器	折縁罐	口縁部分	—	—	[2.0] b:灰白色 精良壓型 正反縁罐 透明 被削薄い f:白龍泉窯系青磁田-3a	
33-28		磁器	青磁	口縁部分	—	—	[2.7] b:灰褐色 精良壓型 d:灰青色 透明 被削薄い f:白龍泉窯系青磁田-3a	
33-29		磁器	白磁	口縁部分	—	—	[2.4] b:灰白色 精良壓型 d:灰白色 透明 被削薄い e:気孔 f:白磁DX類	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
33-30			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	—	[6.8]	g:輪筋みれ法 b:内面指頭痕 c:暗灰色 砂粒/白色粒/黒色粒 d:暗灰 色 e:硬質 f:ebh 5型式
33-31			陶器	常滑 窯	底部片	—	16.2	[9.2]	g:輪筋みれ法 外面下拉線位のラ形状ナデ 内面指頭痕 b:暗灰色 砂粒/白色粒/黒色粒 d:内面体部にオーリーブ色の自然跡 灰 e:硬質
33-32			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	—	[4.2]	g:輪筋みれ法 b:暗灰 砂粒/白色粒/長石/石英 c:暗灰色 e:硬質
33-33			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	—	[3.0]	g:輪筋みれ法 b:暗灰 砂粒/白色粒/長石/石英 c:暗灰色 d:内面体部にオーリーブ色の自然跡 灰 e:硬質
33-34			陶器	常滑 窯	(14.0)	(13.4)	7.9	—	g:輪筋みれ法 b:暗灰 砂粒/白色粒/長石/石英 c:暗灰色 e:硬質
33-35			上質品 鷺花型火持	口縁部片	—	—	[10.8]	g:輪筋みれ法 外面面深凹痕有りミカキ ナデ 口縫 砂粒/白色粒/黒色粒 c:暗灰 砂粒/白色粒/長石/石英 e:良好 f:花茎文2種類ノリ附	
33-36			上質品 平瓦	鐵	[9.0]	横	厚さ [6.6]	1.6	g:面系帯有り ナデ 口縫 砂粒/白色粒/黒色粒 c:暗灰 砂粒/白色粒/長石/石英 e:良好 f:花茎文2種類ノリ附
33-37			鉄製品	斧	先端一部欠損 16.0	3.2 ~ 4.5	1.3 ~ 3.5	[5.0]	f:質地最大 3.3 × 幅 2.0 × 3.5) に柄ある本質部分の鉄筋が僅かに遺 る 鋼の接着性悪い
33-38			銅製品	鉈	径 2.4	内丸 0.54	厚さ 0.07	2	g:柄貫貫形 行き 北京 1094年
33-39			銅製品	鉈	径 2.35	内丸 0.65	厚さ 0.06	2	g:□・匁・廣(太平通寶か?) 貞觀
34-40			漆製品	皿	1/4 (8.6)	(7)	(1.2)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台
34-41			漆製品	皿	1/3 (8.6)	(5.6)	(1.3)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台 d:赤み有り
34-42			漆製品	皿	1/3 (8.6)	(7)	(1.1)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台 d:赤み有り
34-43			漆製品	漆皮定形	(7)	(5)	(1)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台
34-44			漆製品	皿	3/5	—	[0.8]	—	a:黒色漆 b:内面漆画有り e:無高台 d:赤み有り
34-45			漆製品	器蓋不明	1/4	—	[0.7]	—	a:黒色漆 b:内面漆画有り e:無高台 d:赤み有り
34-46	4a 櫛成土		漆製品	椀	4/5 (13.8)	(7.2)	(5.7)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:外表面漆画有り e:無高台 d:内面漆画有り
34-47			漆製品	浅注定形	(13.6)	(7.6)	(5)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台 d:内面漆画有り
34-48			漆製品	椀	1/4	—	(7.4)	[2.1]	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台 d:内面漆画有り
34-49			漆製品	刷	(9)	(3)	(2.2)	—	f:刷の跡有り
34-50			木製品	板折枝	27	[4.8]	0.3	—	f:片面に墨書きによる花(種不明)文あり 黃表面に刀物痕残る
34-51			木製品	齒物	径 [21.0]	—	0.7	—	f:底板部分 / 燐痕あり 黃表面に刀物痕残る
34-52			木製品	齒物	径 9.0	—	0.7	—	f:底板部分
34-53			木製品	箱	23	4.1	0.7	—	f:箱側面部分 / 底板部分に三箇所の本釘跡 / 梱板それぞれ一箇所の本釘痕
34-54			木製品	形代	[12.0]	2	0.4	—	f:刀形か 丁寧な整形
35-55			木製品	著状	24	0.6	0.6	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り
35-56			木製品	著状	22.8	0.6	0.4	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り
35-57			木製品	著状	21.6	0.5	0.5	—	f:黒面引目
35-58			木製品	著状	[21.6]	0.8	0.7	—	f:黒面引目 / 奎な整形
35-59			木製品	著状	20.1	0.5	0.5	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り
35-60			木製品	著状	19	0.6	0.6	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り
35-61			木製品	著状	18.5	0.6	0.6	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り
35-62			木製品	著状	19.5	0.7	0.6	—	f:黒面引目 / 奎な整形
35-63			木製品	著状	19.2	0.6	0.7	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り
35-64			木製品	著状	17.8	0.6	0.5	—	f:黒面引目 / 奎な曲取り / 端部焼焦
35-65			木製品	著状	15.7	0.7	0.5	—	f:黒面引目
35-66			木製品	著状	35.7	1	0.9	—	f:片端部焼焦 / 火きり棒として使用か / 錆な整形
35-67			木製品	著状	25.3	1.1	0.8	—	f:片端部焼焦 / 火きり棒として使用か / 黑面引目形 / 奎な整形
35-68			木製品	用途不明	37	[4.6]	1.2	—	f:建物材 / 隆起部に切り出し
35-69			木製品	用途不明	30.3	[12.3]	1.1	—	f:箱部材 / 黄表面に数条の刀物痕 / 植継落近くに桜皮の継残 在
35-70			木製品	用途不明	15.2	3.2	0.6	—	f:舟か 丁寧な整形
35-71			木製品	用途不明	[14.9]	[3.0]	[0.6]	—	f:一部刀物を呈した段差が残る / 盖か
35-72			木製品	用途不明	[6.4]	2.5	0.4	—	f:加工痕あり
38-1	5 18		陶器	常滑 窯口跡	口縁部小 片	—	—	[3.0]	g:輪筋みれ法 b:暗灰色 砂粒/小石粒/長石/石英 c:茶褐色 e:硬質
38-2			銅製品	鉈	完形	外径 2.5	内丸 2.0	—	重 8 元覺造 葉書 北京 1078年
38-3			漆製品	皿	1/2 (8.6)	(7.6)	(0.8)	—	a:黒色漆 b:黒色漆 c:内面漆画有り e:無高台 d:内面一部に白色の 付着物あり

固番号	出土面番号	遺構番号	材質	種別	道有度	法量(cm/g)			観察項目		
						口径	底径	器高	厚さ		
38-4	18	木製品	蝶状木製品			長さ 15.1	幅 2.2	厚さ 0.5		a:成形・整形 b:土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:備考	
38-5						[23.3]	[10.3]	1.4		b:片面の下端部を斜めに加工 f:下端4面墨付着・板目材	
38-6						19.4	0.8	0.6		f:透彫下駄/台部一長円型・端部縁に削痕頗り/底部一高さ[5.5]/厚さ3.3/裏面焼痕	
38-7						19.8	0.7	0.6		f:透彫下駄	
38-8	19	木製品	著状			21.4	0.8	0.6		f:透彫不正円形・丁寧な面取り	
38-9						ロクロ かわらけ(中)	1/2 (10.6)	(5.8)	3.0	a:内底ナメ 外底凹輪切(右) 白色粒 白色粒 白色粒	
38-10						ロクロ かわらけ(小)	1/3 (7.7)	(5.0)	1.3	a:内底ナメ 外底凹輪切(右) 白色粒 白色粒 白色粒	
38-11						ロクロ かわらけ(小)	1/4 (8.0)	(4.7)	1.9	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
38-12	20	陶器 常滑 片口林皿類		口縁部片		—	—	[2.7]		a:輪積み技法 b:暗灰色 砂粒/白色粒・長石 c:灰褐色 c:良好 f:盤型式	
38-13						草靚芯	14.1	3.6	0.2	f:先端・端部/薄化:合わせの部分から側縁部にかけて直線的・端部小孔あり 側縁部:曲線的 切り込み部:前方に深く切り込む平行四辺形 孔用	
38-14						著状	21.2	0.7	0.5	f:透彫下駄/丁寧な面取り	
38-15						用途不明	26.5	7.3	3.6	f:建釜材・端部焼痕	
38-16	22	木製品	蝶状			ロクロ かわらけ(小)	2/3 (8.0)	(5.5)	1.7	a:内底ナメ 外底凹輪切(右) 白色粒 白色粒 白色粒	
38-17						ロクロ かわらけ(小)	完形	7.4	5.2	重さ 48	a:内底ナメ 外底凹輪切(右) 白色粒 白色粒 白色粒
38-18						ロクロ かわらけ(小)	1/5	7.9	6.0	1.9	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒
40-1	5	土製品	蝶状			ロクロ かわらけ(大)	1/3 (12.2)	(8.3)	3.3	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-2						ロクロ かわらけ(大)	1/2 (12.0)	(7.8)	3.2	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-3						ロクロ かわらけ(大)	3/4 (7.7)	(5.4)	1.9	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-4						ロクロ かわらけ(中)	3/4 (11.0)	(6.6)	3.1	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-5	東側板壁脚附近	土製品	蝶状			ロクロ かわらけ(小)	1/4 (7.7)	(5.6)	1.6	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-6						ロクロ かわらけ(小)	1/2 (7.4)	(4.8)	2.0	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-7						ロクロ かわらけ(小)	4/5 (8.1)	(5.8)	1.8	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-8						ロクロ かわらけ(小)	3/4 (7.7)	(5.4)	1.9	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-9	土製品	器形不明				露嘴不明	1/6 (13.0)	—	[7.0]	a:ロクロ成形 周縁部 砂粒/白色粒/海綿骨針/小石粒 c:荷色 e:良好 f:成形/調査は片口跡に類似するが時代/产地とも不明	
40-10						砥石 往上紙	長さ [6.3]	幅 4.0	0.6	a:表面2翼用 両側面生産地加工痕 b:凝灰岩 c:淡灰色 d:明庵(奥歴) b:微細	
40-11						刷毛	14.4	2.6	0.5	f:漆刷毛/板材を覆き、刷毛を挟んで使用/端部墨付着	
40-12						何札	7.2	2	0.3	f:丁寧な整形	
40-13	北側板壁脚	木製品	著状			著状	20.3	0.6	0.4	f:透彫下駄/丁寧な面取り	
40-14						著状	[20.0]	0.7	0.6	f:透彫下駄	
40-15						用途不明	[18.0]	4.0	0.5	f:転用跡	
40-16						用途不明	5.8	5.4	0.3	f:一形を呈する/端材か	
40-17						用途不明	29	1.3 ~ 4.4	0.5 ~ 0.7	f:端部不規則に削り込まれる	
40-18	土製品	蝶状				かわらけ(大)	1/2 (13.3)	(8.1)	3.8	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-19						かわらけ(小)	完形	7.7	5.3	1.9	重さ 59
40-20						ロクロ かわらけ(小)	4/5 (7.5)	5.1	1.7	a:内底ナメ ロクロ(崩壊) 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	
40-21						かわらけ(小)	完形	7.3	5.0	1.85	重さ 53
40-22	北側板壁脚	土製品	蝶状			ロクロ かわらけ(小)	完形	6.8	5.0	1.55	重さ 35
40-23						常滑 片口林皿類	口縁部片	—	—	a:輪積み技法 b:灰褐色 砂粒/白色粒/海綿骨針/石英 c:灰色 d:白石英 e:良好 f:盤型式	
40-24						銘文	内孔 2.41	内孔 0.70	厚さ 0.13	2.8	f:無字ノ貝銘文 葉書 北宋 1068年
40-25						本製品 曲物	径10.5	厚さ 0.3	高さ 4.2	f:底板一枚 9.5/厚さ 0.5/側板の縦じ目痕当たらず/製作途中か	
40-26	41-1	木製品	著状			著状	23.8	1	0.5	f:透彫下駄	
40-27						著状	22.5	0.7	0.4	f:透彫下駄	
40-28						著状	20.5	0.8	0.6	f:透彫下駄	
40-29						著状	20.6	0.7	0.5	f:透彫下駄	
40-30	北側板壁脚	木製品	著状			著状	19	0.8	0.3	f:輪積み技法 b:灰褐色 砂粒/白色粒/海綿骨針/石英 c:灰色 d:白石英 e:良好 f:盤型式	
40-31						著状	16.4	0.6	0.5	f:端部焼痕	
40-32						板狀	[24.0]	10	0.7	f:建釜材か/端部焼痕	
40-33						用途不明	[22.5]	1.3	0.7	f:端材か	
41-1						ロクロ かわらけ(大)	1/3 (12.7)	(8.2)	3.3	a:内底ナメ 外底凹輪切系 白色粒 白色粒 白色粒	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
41-2			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	12.5	8.3	3.4	a: 形成、整形 b: 船形、素地、材質 c: 色調 d: 構造 e: 燐成 f: 砂考
41-3			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.6)	(7.6)	3.2	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-4			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.3	7.6	3.2	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-5			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(11.8)	(8.0)	3.3	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-6			土製品	ロクロ(大)	2/3	(12.8)	(7.1)	3.3	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-7			土製品	ロクロ かわらけ(大) 部附	1/3	(13.3)	(8.5)	2.8	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-8			土製品	ロクロ かわらけ(小)	—	—	[3.2]	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好	
41-9			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/5	(7.8)	(5.0)	1.6	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-10			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	8.1	5.3	1.7	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-11			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	7.4	5.6	1.6	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-12			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.6	5.1	1.6	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/赤色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-13			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/5	(7.1)	(5.0)	1.6	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/白色斑/白色斑/黑色斑 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-14			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.7	5.8	1.5	重宝 a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-15			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.7	5.3	2.0	重宝 a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-16			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(7.2)	(4.5)	1.7	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/白色斑/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-17			土製品	ロクロ かわらけ(小)	7/8	6.9	4.8	1.45	a: 内底ナメ 外底回転赤帯(右) b: 微砂・雲母/白色斑/海綿骨片/泥岩 e: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-18			陶器	甕	口縁部片	—	—	[5.5]	a: 磨輪目 b: 細縫目 c: 黑色斑/白色斑/白色斑/白色斑/白色斑 d: 11型
41-19			陶器	甕	片口縁 1期	口縁部片	—	[6.0]	a: 磨輪目 b: 細縫目 c: 黑色斑/白色斑/白色斑/白色斑/白色斑 d: 10a ~ 10b 型
41-20			陶器	甕	片口縁 1期	口縁部小片	—	[10.3]	a: 磨輪目 b: 細縫目 c: 黑色斑/白色斑/白色斑/白色斑/白色斑 d: 10c 型
41-21	5		陶器	當滌 片口縁 1期	底部片	—	—	[6.3]	a: 磨輪目 b: 細縫目 c: 黑色斑/白色斑/白色斑/白色斑/白色斑 d: 10c 型
41-22			土製品	平瓦	—	縦(6.0)	縦(7.5)	1.6	a: 平面 b: 縦縫のテラ 麗縫付着 凹凸縫のテラ 横縫付着 e: 黑色斑/白色斑/黑色斑/灰白色 f: 砂考 c: 帽絞切 e: 良好
41-23			石製品	礎石 小磚	長さ [6.6]	幅 3.9	厚さ 3.5	—	a: 表裏面削除4面使用 b: 磨鍛岩 c: 黄褐色がかった白色 石合掌寺
41-24			石製品	礎石 土仕上	—	長さ [6.1]	幅 3.5	厚さ 0.8	a: 表裏面削除2面 b: 磨鍛岩 c: 黒色斑/白色斑/白色斑/白色斑/白色斑 d: 11型
41-25			石製品	須弥壇 不規則形状	長さ 4.0	幅 2.2	厚さ 0.6	b: 磨鍛岩 c: 黑色斑/白色斑/白色斑/白色斑/白色斑 d: 11型	
41-26			石製品	積板 用途不明品	長さ [8.0]	幅 [2.9]	厚さ 0.5	b: 磨鍛岩 c: 塗装無	
41-27			銅製品	釘頭部分	一部欠損	直径 1.4	—	重さ 0.4	b: 金円形部分
41-28			鉄製品	釘	長さ 7.0	幅 0.5	厚さ 0.4	b: 無面の四角形部分に鍛造 絡付着	
41-29			鉄製品	釘	長さ 9.0	幅 0.8	厚さ 0.5	b: 無面の四角形部分に鍛造 絡付着	
41-30			鉄製品	釘か	完形	長さ [7.3]	幅 0.5	厚さ 0.7	b: 上部は四角形形状、下部は扁平四角形に無頭鑓造 絡付着
41-31			漆製品	漆	ほび定形	(9.6)	(5.8)	(1)	a: 黒色漆 b: 黑色漆 c: 白面漆松/赤色漆/墨/手描き / 外面: 黄み中濃に墨と白面と同一の濃度を描く c: 無面白 d: 外側 墨と内側白 e: 口縁部は墨で塗り分け
41-32			漆製品	漆	1/4	(9.2)	(8.0)	1	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 白面漆松/赤色漆/墨/手描き / 外面: 黄み中濃に墨と白面と同一の濃度を描く c: 無面白
41-33			木製品	用途不明	—	[4.6]	[3.0]	0.1	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 白面漆松/赤色漆/墨/手描き / 外面: 黄み中濃に墨と白面と同一の濃度を描く c: 無面白
41-34			木製品	曲物	—	[4.5]	[3.0]	0.8	a: 曲物漆 b: 小舟あり
41-35			木製品	曲物	—	[16.5]	[3.6]	0.6	a: 砥板漆 b: 一塊継ぎ
41-36			木製品	曲物	—	[19.6]	[13.1]	1.1	a: 曲物漆 b: 端縫接縫
41-37			木製品	曲物	—	15.7	[13.9]	0.7	a: 曲物漆
41-38			木製品	曲物	—	11.5	—	0.6	a: 曲物漆部分
42-29			木製品	栓	—	3.4	[2.7]	[1.9]	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 黑色漆 d: 網目
42-40			木製品	草履芯	—	18.4	4.2	0.5	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 黑色漆 d: 網目
42-41			木製品	草履芯	—	17.7	4.2	0.4	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 黑色漆 d: 網目
42-42			木製品	木縄	—	13.4	5.1	4.2	a: 黑色縄
42-43			木製品	滑状	—	24.1	0.8	0.5	a: 黑色滑状
42-44			木製品	滑状	—	23.6	0.7	0.6	a: 黑色滑状 b: 緑面取面
42-45			木製品	滑状	—	23	0.8	0.6	a: 黑色滑状 / 緑面取面

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm <sup>3</sup> / g)	観察項目			
							11枚	8枚	20枚	他
32-46			木製品	骨状		22.1	0.9	0.5		f. 断面丸形 / 薄な面取り
32-47			木製品	骨状		[21.5]	0.8	0.5		f. 断面丸形
32-48			木製品	骨状		20.6	0.8	0.6		f. 断面丸形 / 丁寧な面取り
32-49			木製品	骨状		21.4	0.8	0.5		f. 断面丸形 / 丁寧な面取り
32-50			木製品	骨状		21.2	0.7	0.5		f. 断面丸形
32-51			木製品	骨状		20.8	0.6	0.5		f. 断面不規形 / 丁寧な整形
32-52			木製品	骨状		19.2	0.8	0.4		f. 断面方形
32-53			木製品	骨状		20.8	0.7	0.3		f. 断面方形
32-54			木製品	骨状		20.6	0.8	0.5		f. 断面方形 / 薄な面取り
32-55			木製品	骨状		18.3	0.8	0.6		f. 断面方形
32-56			木製品	骨状		18.4	0.7	0.4		f. 断面方形 / 薄な面取り
32-57			木製品	串状		31.5	1.0	0.8		f. 断面不規形 / 丁寧な整形
32-58			木製品	串状		[19.1]	0.8	0.5		f. 断面方形
32-59			木製品	串状		14.3	1.3	0.3		f. 断面方形
32-60			木製品	串状		25.7	0.8	0.8		f. 断面方形 / 片端部焼痕 / 火切り棒として使用か
32-61			木製品	建築材		[40.4]	[12.5]	1.5		f. 一部焼痕
33-62			木製品	建築材		30	3.3	1.7		f. 建築部材か / 四隅の木打痕が残る
33-63			木製品	用途不明		23.7	7.3 ~ 8.8	1.2 ~ 1.6		f. 建築部材か / 片端のみ腐朽
33-64			木製品	用途不明		17.3	2.9	1.5		f. 断面かごぼこ / 木孔の残る小孔が貫通している / 調度部材か
33-65			木製品	用途不明		18.2	13.6	1		f. 調度部材か / 断面二箇所づつ / 调内側所の木打痕残る / 修理歴か / 一部焼痕
33-66			木製品	用途不明		[30.0]	[13.5]	1		f. 建築部材か
33-67			木製品	用途不明		[16.7]	[2.7]	0.7		f. 断面端角に整形
33-68			木製品	用途不明		12.6	1.2	0.5 ~ 0.7		f. 横型か
33-69			木製品	用途不明		14.6	12.2	1.9		
33-70			木製品	用途不明		[22.9]	9.6	1.4		f. 空孔あり / 工具による彫痕が見えるが用途は不明
34-71			木製品	建築材		[22.5]	10.5	1.5		f. 断面焼痕 / 断面を手に削り抜く
34-72			木製品	建築材		[34.2]	[9.8]	0.9		f. 板厚材 / 屋根部板 / 駒脚中央辺に半円の抉りが入る
34-73			木製品	建築材		[36.0]	10.8	0.9		f. 板厚材 / 屋根部板 / 駒脚中央辺に半円の抉りが入る
34-74			木製品	建築材		[30.5]	[9.5]	0.5		f. 板厚材 / 屋根部板 / 駒脚中央辺に半円の抉りが入る
34-75			木製品	建築材		[27.1]	9.7	1		f. 断面焼痕 / 断面を台形に削り落す
34-76			木製品	建築材		[31.0]	[6.7]	0.4		f. 板厚材 / 屋根部板 / 駒脚中央辺に半円の抉りが入る
34-77			木製品	建築材		[26.5]	5.5	0.7		f. 断面焼痕 / 断面を台形に削り落す
34-78			木製品	建築材		27.4	10.9	0.6		f. 断面焼痕 / 台形の入り込みが側面にある
34-79			木製品	建築材		[25.6]	7.6	0.6		f. 断面焼痕 / 断面を手に削り抜く
34-80			木製品	用途不明		[25.1]	13.6	0.6		f. 断面と作業跡か / 切り込み部の様な整形板あり / 縫位に三分割を試みた跡ある
35-81	北側 壁 周辺		木製品	柱材		[30.4]	7.2	5		f. 断面の柄が切ってある / 片端部焼痕
45-82			土製品	クロロカ	3/5	(13.9)	(7.7)	3.5	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 断面焼痕 / 白色砂 / 黑色砂 / 赤色砂 / 白色砂 や中粗上 c. 黄褐色 e. 良好	
45-83			土製品	クロロカ	1/3	(13.8)	(8.0)	3.8	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 黑土 c. 黄褐色 e. 良好 f. 中粗上	
45-84			土製品	クロロカ	1/3	(11.4)	6.0	3.1	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 黑土 c. 黄褐色 e. 良好 f. 中粗上	
45-85			土製品	クロロカ	1/3	(7.8)	(5.4)	1.8	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 断面焼痕 / 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 黑土 c. 黄褐色 e. 良好 f. 中粗上	
45-86			土製品	かわらけ(大)	完形	7.8	5.6	1.7	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 断面焼痕 / 白色砂 / 海綿骨質 / 黑土上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 高所より落して擦りかけ焼痕あり	
45-87			土製品	かわらけ(大)	3/5	(8.3)	(5.8)	1.75	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 上縁端部削り重ね	
45-88			土製品	かわらけ(大)	3/5	(7.6)	5.4	1.7	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 板縁端部ちぎれ	
45-89			土製品	かわらけ(大)	3/5	(7.6)	4.8	1.6	重合 a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 断面焼痕 / 白色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 高所より落して擦りかけ焼痕あり	
45-90			土製品	かわらけ(大)	3/5	(7.2)	4.8	1.4	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 板縁端部打ち欠き	
45-91	圓柱 周辺		土製品	かわらけ(小)	4/5	(8.0)	(5.6)	1.9	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 板縁端部打ち欠き	
45-92			土製品	かわらけ(小)	4/5	7.8	5.2	1.6	重合 a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 板縁端部打ち欠き	
45-93			土製品	かわらけ(小)	4/5	7.5	5.2	1.9	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 板縁端部打ち欠き	
45-94			土製品	かわらけ(小)	5/6	7.4	6.0	1.7	a. 内底ナメ 外底外回転丸形(右) f. 板状焼痕 f. 白色砂 / 黑色砂 / 海綿骨質 / 小粒上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 上縁部打ち欠き	
45-95			土製品	かわらけ(大)	口縁部片	—	—	[3.2]	a. 体部に溝3条温湯 b. 白色砂 / 黑色砂 / 白色砂 / 海綿骨質 / 泥岩粒 や中粗上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 小口の為焼き不明	
45-96			土製品	かわらけ(大)	口縁部片	—	—	[1.5]	a. 体部に溝3条温湯 b. 白色砂 / 黑色砂 / 白色砂 / 海綿骨質 / 泥岩粒 や中粗上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 小月の為焼き不明	
45-97			磁器	青磁 窓か	体部小片	—	—	[2.7]	b. 白灰白色 精良堅緻體 d. 青灰白色 手透明緻 磁制厚い e. 良好 f. 窓縁の窓弁	
45-98			陶器	常滑 窓口付	口縁部片	—	—	[5.1]	a. 磁輪筋付法 b. 灰白色 開砂 / 白色砂 / 黑色砂 / 石英石 c. 灰白色 / 灰色砂 / 海綿骨質 / 泥岩粒 や中粗上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 窓 - 9型式	
45-99			陶器	常滑 窓口付	口縁部小片	—	—	[4.8]	a. 磁輪筋付法 b. 黑灰色 開砂 / 小石粒 / 長石 c. 灰白色 開砂 / 灰色砂 / 海綿骨質 / 泥岩粒 や中粗上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 窓 - 9型式	
45-100			陶器	常滑 窓口付	縦大幅	縦大幅	6.1	1.0	前又は11月の窓の粘土用印痕 b. 窓3辺に櫛り痕 h. 灰色 砂粒 / 長石 c. 灰白色 / 灰色砂 / 海綿骨質 / 泥岩粒 や中粗上 c. 黄褐色 e. 良好 f. 窓 - 9型式	
45-101			骨製品	転用骨製品 加工骨	長5 幅2	長5 幅2	1.8	1.6	骨角 先端尖らせる為削り加工 + 磨研、反対部分0.8 cmの穴あり	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			調査項目 a: 成形・整形 b: 船底、素地、材質 c: 色調 d: 摘取 e: 燃成 f: 研磨
						口径	底径	高さ	
45-102			鉄製品	環状鋸金具	完形	長さ 3.5	幅 0.2	厚さ 0.2	f: 端部部分は扁平状、先端部を側面四角形状に鍛造し、先端折れ曲がる e: 斷面部分の付着激しい
45-103			鉄製品	釘		長さ [4.5]	幅 0.4	厚さ 0.4	f: 断面内角形狀に鍛造 結合部着
45-104			鉄製品	釘		長さ [3.9]	幅 0.5	厚さ 0.4	f: 断面内角形狀に鍛造 結合部着
45-105			銅製品	鉗	完形	径 2.31	内孔 0.6	高さ 1.6	b: 直治元年實 真北 1065 年
45-106			銅製品	鉗	完形	径 2.38	内孔 0.9	高さ 1.5	b: 経元實 桜井 北宋 1094 年
45-107			漆製品	椀	剥離部	—	—	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外曲漆塗/赤色系漆/手刷き d: 内外面一様、表面配色不明
45-108			漆製品	箱		[6.6]	[1.5]	0.6	f: 箱の全体に黒色漆塗/表面に木目調
45-109			漆製品	箱		[18.2]	[9.5]	1	f: 組板漆塗/表面が残りが、特に背面が著しい
46-110			木製品	草履芯		23.6	5.1	0.3	f: 先端(後端)部: 合わせた部分から先端部にかけて直線的/合わせた部分は先端部より端部にかけて直線的/木口部に木目調
46-111			木製品	手押木		16	4.5	3	f: 端部焼焦 / 製作途中
46-112			木製品	月字軸		19.1	2.5	0.4	f: 裏面に不規則なあわぎ目調の様な刻みあり
46-113			木製品	箱		17.5	4.5	0.4	f: 端部部の側板、表面に無数の木目調
46-114			木製品	舟形		[5.0]	[1.9]	[1.8]	f: 人型 / 舟形を施す / 日 / 略等の造形が見当たらず。成形も粗雑なため假想途中的機能性あり
46-115			木製品	透葉輪か		21	1.0 ~ 2.5	0.5 ~ 0.7	f: 形成の可能性あり / 丁寧な整形
46-116			木製品	舟形		25.6	0.7	0.4	f: 断面方形
46-117			木製品	舟形		24.2	0.6	0.6	f: 断面方形
46-118			木製品	舟形		23.5	0.6	0.5	f: 丁寧な整形
46-119			木製品	舟形		23	0.7	0.6	f: 断面方形 / 丁寧な曲取り
46-120			木製品	舟形		22.6	1.0	0.5	f: 断面方形
46-121			木製品	舟形		21.9	0.6	0.4	f: 断面方形 / 端部焼焦
46-122			木製品	舟形		21.4	0.7	0.4	f: 整な整形
46-123			木製品	舟形		21.2	0.8	0.6	f: 断面方形
46-124			木製品	舟形		21	0.7	0.7	f: 断面不規形 / 丁寧な曲取り
46-125			木製品	舟形		21	0.9	0.5	f: 断面水平な方形
46-126			木製品	舟形		21	0.5	0.5	f: 断面不規形 / 丁寧な曲取り
46-127			木製品	舟形		20	0.7	0.5	f: 断面方形
46-128			木製品	舟形		19.9	0.7	0.5	f: 断面扁平な方形
46-129			木製品	舟形		19.3	0.5	0.5	f: 断面方形
46-130			木製品	舟形		19.8	0.7	0.5	f: 断面方形
46-131			木製品	舟形		19.2	0.6	0.5	f: 断面不規形 / 丁寧な曲取り
46-132			木製品	舟形		18.9	0.5	0.3	f: 断面方形
46-133			木製品	舟形		19	0.8	0.6	f: 断面方形
46-134			木製品	舟形		18.1	0.7	0.5	f: 整な整形
46-135			木製品	舟形		17.5	0.6	0.5	f: 断面不規形 / 丁寧な曲取り / 端部焼焦
46-136			木製品	舟形		[17.1]	0.8	0.5	f: 断面円滑 / 整な整形 / 端部焼焦
46-137			木製品	串状		25.6	1.2	0.7	f: 端部焼焦 / 火通りとして使用か
46-138			木製品	建築材		52.1	3.7	4.4	f: 端部焼焦 / 中央辺に斜めに削り切れた二小所残る
46-139			木製品	建築材		43.4	4.1	5	f: 裏面に横 / 斜めに三つの枘穴 / 三箇所に削りあり / 糸穴計測値 6.7 × 1.1 2.17.0 × 1.2 ~ 2.6 × 7.1 × 1.1
46-140			木製品	建築材		31.6	3.2	3.1	f: 端部焼焦 / 鉄針が打たれている / 断面方形
46-141			木製品	漆桶		9.1	2.2	0.4	f: 新の部分か
47-142			木製品	圓筒裏材		[29.7]	5.9 ~ 6.3	0.9 ~ 1.0	f: 片端部焼焦 / 中央辺に鉄分付着 / 剥離
47-143			木製品	圓筒裏材		[28.8]	5.9 ~ 6.1	0.5 ~ 1.0	f: 片端部焼焦 / 中央辺に鉄分付着 / 剥離
47-144			木製品	圓筒裏材		26.0	6.7	0.9	f: 剥離
47-145			木製品	圓筒裏材		[33.3]	[2.4]	0.7 ~ 0.9	f: 片端部焼焦 / 整形 / 片端部剥離 / 剥離
47-146			木製品	圓筒裏材		[11.0]	1.0 ~ 5.8	0.5 ~ 0.6	f: 片端部焼焦 / 整形 / 片端部剥離 / 剥離
47-147			木製品	圓筒裏材		[13.5]	8.1	0.8 ~ 1.0	f: 片端部焼焦 / 整形 / 片端部剥離 / 剥離
47-148			木製品	用途不明		[28.3]	1.9	1.1	f: 状な整形 / 下部辺に木目調あり / 断面方形
47-149			木製品	用途不明		[11.5]	11.8	0.8	f: 端部焼焦 / 剥離あり / 建築材か
47-150			漆製品	用途不明		[19.2]	1.7	1.1	f: 調査用漆桶か / 全体に黒色油性漆
47-151			木製品	用途不明		[17.6]	[5.1]	0.3	f: 剥離と工具
47-152			木製品	用途不明		15.8	1.4	0.9	f: 断面円滑 / 全体に化粧 / 斷面所牙物
47-153			木製品	用途不明		13.6	3.2	0.2	f: 端部焼焦 / 小孔あり / 片端部焼焦に削り出している / 軸用材か
47-154			木製品	用途不明		[4.2]	3.2	2.8	f: 丁寧な整形 / 盖の摘みか
47-155			木製品	用途不明		—	—	0.2 ~ 0.4	f: 端材か / ほぼ△三角形を呈する
47-156			木製品	用途不明		[9.4]	[1.5]	0.5	f: 調度具材か
48-1			26	木製品	小船脚か	長さ 5.2	幅 3.6	厚さ 0.9	f: 削りのある面を合わせて上に、ほぼ同一規格 / 端部に 2 箇所の小孔 / 片面は平面 / 片面は梢位に削り入る
49-1				木製品	草履芯	15.3	7.4	0.4	f: 薄な整形
49-2				木製品	舟形	23	0.8	0.6	f: 薄な整形
49-3				木製品	舟形	21.3	0.9	0.6	f: 薄な整形
49-4				木製品	舟形	21	0.6	0.5	f: 薄な整形
49-5				木製品	用途不明	7.5	1.8	1.8	f: 端部焼焦に深さ約 0.2 cm の削りが施る / 端などで縛って使用か
49-6			上製品	クロコ	かわらけ(太)	2/3	12.8	8.2	f: 内底ナメ 外周部あ凸(右) 板状仕組 b: 鮫革 / 青母 / 白色皮 / 海綿骨片 / 配裂片、や粗粒化 e: 良好

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	調査事項	
49-7			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.1	8.7 3.7	a. 形成、整形 b. 船底、素地、材質：c. 色調 d. 摺出 e. 燐成、船底
49-8			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(4.5) 2.0	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 b. 間砂・雲母・白色粒 海綿骨針 c. 黄褐色
49-9			磁器	青磁 瓦器類	口経部小 片	—	— [3.5]	b. 灰色 c. 硬質堅物 d. 灰褐色 e. 不透明釉 f. 粗面 g. 穴多孔 h. 良好
49-10	東南西北内 外		土製品	瓦器類 黒縞罐	1/4	(7.4)	— 2.0	a. 手づくろい b. 灰褐色 c. 口縞罐ナメ d. 外面に指痕痕+無調整 e. 内底無氣味 f. 間砂・良土 g. c灰褐色 h. 良好
49-11			骨製品	用途不明 加工品	長3 9.4	2.8 0.9	幅3 厚3 [12.0] [14.5]	a. 手づくろい b. 灰褐色 c. 口縞罐ナメ d. 外面に指痕痕+無調整 e. 内底無氣味 f. 間砂・良土 g. c灰褐色 h. 良好
49-12			木製品	下駄				a. 略茶下駄 b. 陶器の久留行 c. 跡跡が打たれた。跡跡部分 d. 先端(後端)部：直線的、先端部小かない。側縫部：曲線的 e. 切り込み f. 先端(後端)部：直線的、先端部小かない。側縫部：直線的 g. 切り込み h. 先端(後端)部：直線的、先端部小かない。側縫部：直線的 i. 切り込み
49-13			木製品	草履芯		10.9	[2.2] 0.2	a. 略茶下駄 b. 陶器の久留行 c. 跡跡が打たれた。跡跡部分 d. 先端(後端)部：直線的、先端部小かない。側縫部：曲線的 e. 切り込み f. 先端(後端)部：直線的、先端部小かない。側縫部：直線的 g. 切り込み h. 先端(後端)部：直線的、先端部小かない。側縫部：直線的 i. 切り込み
49-14			木製品	草履芯		24.6	10.2 0.3	a. 先端(後端)部：直線的 b. 切り込み c. 番縫部 d. 番縫部
49-15			木製品	渦状		21.5	0.7 0.4	a. 番縫部 b. 渦状
49-16			木製品	渦状		18.8	1.1 0.8	a. 渦状
49-17			木製品	串状		[31.1]	0.6 0.5	a. 番縫部 b. 番縫部
49-18			木製品	用途不明		[9.2]	1.4 0.2	a. 番縫部 b. 半円に切り抜かれる
50-1			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	14.0	8.2 335 193	a. 重3 b. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 小石粒 e. やや粗土 f. c灰褐色 g. 良好
50-2			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(13.4)	7.8 3.9	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-3			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	13.2	7.8 3.4	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-4			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(13.2)	(8.4) 3.5	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-5			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.9)	(8.8) 3.5	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-6			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.8	8.0 3.65	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-7			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.8	8.0 3.0	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好 i. 内外表面の一部黒 j. 变色
50-8			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.8	7.2 3.45	a. 重5 b. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. 小石粒 g. やや粗土 h. c灰褐色 i. 良好 j. 略口縞罐埋理
50-9	横 構 造		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.5)	(7.9) 3.2	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c灰褐色 h. 良好 i. 略口縞罐埋理
50-10			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.6)	(7.6) 3.1	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-11			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.5	7.5 3.0	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-12			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.6	7.2 2	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-13			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.6	8.8 3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-14			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.2)	(8.2) 3.4	a. 内底ナメ 外底回転舟切 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. 小石粒 g. 顆粒 h. c黄褐色 i. 良好
50-15			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.3	7.4 3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好 i. 内底に引きつき傷有
50-16			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.2)	7.2 3.1	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. 小石粒 g. 顆粒 h. c黄褐色 i. 良好 j. 略口縞罐埋理
50-17			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.2)	(7.0) 3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好 i. 略口縞罐埋理
50-18			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.0	8.0 3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-19			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.0	8.0 3.25	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. 小石粒 g. やや粗土 h. c黄褐色 i. 良好
50-20			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.0	7.2 3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. 小石粒 g. やや粗土 h. c黄褐色 i. 良好
50-21			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.0)	(7.4) 3.7	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好 i. 略口縞罐埋理
50-22			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(11.9)	(7.1) 3.0	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-23			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(11.8)	(6.2) 3.1	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好
50-24			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(11.6)	(7.4) 3.4	a. 内底ナメ 外底回転舟切 b. 外底回転舟切(右) 板状圧痕 c. 間砂・雲母・白色粒 d. 海綿骨針 e. 岩石粒 f. やや粗土 g. c黄褐色 h. 良好 i. 全体的に黒・褐色 外底部の作りが粗雑
50-25			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/5	(13.7)	(8.8) 3.5	a. 内底ナメ 外底回転舟切 b. 間砂・雲母・白色粒 c. 海綿骨針 d. 岩石粒 e. やや粗土 f. c黄褐色 g. 良好 h. 略口縞罐埋理
50-26			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.8)	8.2 3.5	a. 内底ナメ 外底回転舟切 b. 間砂・雲母・白色粒 c. 海綿骨針 d. 岩石粒 e. やや粗土 f. c黄褐色 g. 良好 h. 略口縞罐埋理
50-27			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.8)	(7.6) 3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切 b. 間砂・雲母・白色粒 c. 海綿骨針 d. 岩石粒 e. やや粗土 f. c黄褐色 g. 良好 h. 略口縞罐埋理

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
30-28			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2 (12.6)	(7.8)	3.2		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/小石粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-29			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5 (12.6)	12.5	8.2	3.6	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/小石粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-30			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形 3/4 (12.6)	12.6	8.6	3.1 210.1	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 口縁部打ち欠き 破着
30-31			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4 (12.6)	12.3	7.1	3.4	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 口縁部打ち欠き 破着
30-32			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3 (12.0)	(8.6)	3.3		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 口縁部打ち欠き 破着
30-33			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3 (12.0)	(8.2)	3.2		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 口縁部打ち欠き
30-34			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3 (12.2)	(8.6)	3.3		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 口縁部打ち欠き
30-35			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2 (10.4)	(6.4)	3.2		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好 E 口縁部の一部黒変
30-36			土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5 (10.5)	10.5	6.2	2.9	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好 E 口縁部の一部黒変
30-37			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3 (10.4)	6.2	3.5		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 口縁部打ち欠き
30-38			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3 (8.1)	(6.0)	1.8		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-39			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (8.0)	(5.1)	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-40			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5 (8.0)	5.2	1.65		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好 E 内底の一部部分付着
30-41			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (7.9)	5.7	1.9		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好 E 口縁部黒変
30-42			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4 (7.8)	5.4	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好 E 内底の一部部分付着
30-43			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/5 (7.8)	(5.6)	1.5		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好
30-44			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3 (8.0)	(5.5)	1.6		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好
30-45	5 焼成土		土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2 (8.0)	5.0	2.0		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 橙色 e. 良好 E 内底の一部鉢分筋付着
30-46			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3 (7.7)	(5.0)	1.6		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-47			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (7.9)	5.8	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-48			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2 (7.8)	(5.6)	1.8		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-49			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (7.8)	4.6	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-50			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (7.8)	(5.2)	1.8		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-51			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形 7.7 (7.6)	5.8	1.35 49.4		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 外面部体部に2ヶ所工具孔のもので引っ張った跡がある
30-52			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3 (7.6)	(5.0)	1.8		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 内底の一部鉢分筋付着
30-53			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (7.6)	(4.4)	1.9		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-54			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形 7.7	5.4	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 外面部体部に2ヶ所工具孔のもので引っ張った跡がある
30-55			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4 (7.6)	7.6	4.6	1.85	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 外面部の一部黒変
30-56			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3 (7.6)	(4.6)	1.5		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 全体部に2ヶ所工具孔のもので引っ張った跡がある
30-57			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4 (7.6)	(5.0)	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
30-58			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4 (7.5)	7.5	5.4	1.6	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 表面に状状の明瞭物付着
31-59			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3 (7.6)	7.6	4.6	1.65	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
31-60			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5 (7.6)	7.6	4.6	1.65	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
31-61			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形 7.5	3.8	2.5	重さ 46.6	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
31-62			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4 (7.5)	7.5	5.3	1.5	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好
31-63			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/5 (7.4)	(5.0)	1.7		a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 不明 E 全体的に2ヶ所焼成・黒化。黄・青灰色の有機物付着
31-64			土製品	ロクロ かわらけ(小)	ほぼ完形 7.5	5.6	1.6	重さ 56.7	a. 内底ナメ 外底回転舟形(右) 板状底 b. 海綿骨針/泥岩粒 やや粗土 c. 黄灰色 e. 良好 E 内外面の一部鉢分筋付着

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
31-65			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	(7.4)	(4.6)	1.7	a. 形成、整形 b. 船底、素地、材質 c. 色調 d. 構造 e. 燐成・土勘考
31-66			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.0)	(5.0)	1.5	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-67			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.6)	(5.0)	1.8	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-68			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.5	5.2	1.85	a. 内底ナメ パテ 壁面回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-69			土製品	ロクロ (中)	3/4	7.4	5.4	1.6	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-70			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.0)	(4.8)	1.7	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-71			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.4)	(5.0)	1.3	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-72			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.4)	(4.8)	2.0	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-73			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.2)	(4.8)	2.0	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-74			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.1)	(5.0)	1.7	a. 内底ナメ パテ 外底回転部切 (右) b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-75			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.2)	(5.6)	1.4	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-76			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.2	4.6	1.5	重5 a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-77			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	(7.0)	(5.2)	1.5	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-78			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	6.7	4.2	1.9	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-79			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	8.0	5.0	1.9	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-80			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.7	5.0	1.6	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-81			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.4	5.4	2.0	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/黑色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-82			土製品	ロクロかわら け転用器	4/5	7.4	5.2	1.6	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-83	5 焼成土		土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.6)	(4.8)	1.7	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-84			土製品	ロクロ かわらけ (小)	注記定形	7.5	4.6	1.7	重5 a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-85			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.0)	(4.8)	2.0	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/海綿骨片/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-86			土製品	ロクロ かわらけ (大)	2/3	(12.4)	7.6	3.5	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-87			土製品	ロクロかわら け転用器	4/5	11.9	7.0	3.5	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-88			土製品	ロクロ かわらけ (大)	2/3	(12.2)	7.0	3.2	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/白色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-89			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/3	(12.6)	(7.6)	3.5	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-90			土製品	ロクロ かわらけ (中)	1/3	(10.0)	(5.2)	3.0	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-91			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2弱	(7.5)	5.0	1.9	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-92			土製品	かわら け転用器	一部欠損	長さ [5.3]	幅 [5.4]	厚さ [0.7]	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-93			土製品	ロクロ かわらけ 転用器	一部欠損	[6.1]	[5.9]	[0.9]	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-94			土製品	ロクロ かわらけ 転用器	1/2	(7.4)	(4.8)	1.6	a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) 板状圧痕 b. 微砂・雪母/赤色粒/白色粒/泥岩粒 中や粗目 c. 黄色 e. 良好
31-95			陶器	口縁部小 片	—	—	[17.5]	3.8	縫合部破損箇所 陶器表面に白い粉状物付着
31-96			陶器	口縁部小 片	—	—	[9.5]	3.5	縫合部破損箇所 陶器表面に白い粉状物付着
31-97			陶器	片口跡 1期		(30.5)	(15.4)	11.5	縫合部破損箇所 陶器表面に白い粉状物付着
31-98			陶器	片口跡 1期	口縁部片	(30.0)	—	[4.7]	縫合部破損箇所 内外面に白い粉状物付着
31-99			陶器	片口跡 1期	口縁部小 片	—	—	[4.0]	縫合部破損箇所 内外面に白い粉状物付着
31-100			陶器	片口跡 1期	口縁部小 片	—	—	[2.6]	縫合部破損箇所 白い粉状物付着

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			調査項目
						口径	底径	高さ	
52-101			陶器	常滑	口縁部片	—	—	[4.0]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 口縁 - 内面に灰斑で自然灰 c. 硬質
52-102			陶器	常滑	口縁部片	—	—	[4.4]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 硬質
52-103			陶器	常滑	口縁部片	—	—	[5.0]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 口縁 - 内面に灰斑で自然灰 c. 硬質
52-104			陶器	常滑	底部片	—	(4.0)	[1.3]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 口縁 - 内面に灰斑で自然灰 c. 硬質
52-105			陶器	常滑	口縁部小片	—	—	[3.0]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 口縁 - 内面に灰斑で自然灰 c. 硬質
52-106			陶器	常滑	口縁 - 底部片	—	—	[3.4]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 口縁 - 内面に灰斑で自然灰 c. 硬質
52-107			陶器	常滑	注口部小片	—	—	[4.3]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 小石粒 良上 c. 帽状灰 d. 口縁 - 内面に灰斑で自然灰 c. 硬質
52-108			陶器	常滑	須部 - 体部 小片	—	—	[14.5]	a. 輪轂み法 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 白色粒 / 黑色粒 c. 帽状灰 d. 硬質 良上 前期か
52-109			土製品	瓦	縦 (10.2) 横 (9.3)	厚さ 3.8	—	—	a. 四面 輪轂み法 占面 明き口付 (ナデリフ) 離れ付着 b. 帽状灰 c. 砂粒 / 小石粒 気泡 良上 c. 帽状灰 d. 輪轂み法 (ハケ付) 抽出薄い c. 硬質 良上 前期か
52-110			石製品	砾石 住土砾	長さ 5.3 [4.4]	幅 0.9 [0.5]	厚さ 1.4	—	a. 表裏 3 面用 小口 / 圓筒生産地加工品 b. 帽状灰 c. 深黄色 E 喚魂 (中型)
52-111			石製品	砾石 住土砾	長さ 5.3 [5.8]	幅 0.9 [0.5]	厚さ 1.4	—	a. 表裏 2 面用 小口 / 圓筒生産地加工品 b. 帽状灰 c. 灰色 E 喚魂 (中型)
52-112			石製品	砾石 中砾	長さ 5.3 [9.2]	幅 0.9 [2.9]	厚さ 1.4	—	a. 表裏 / 圓筒 3 面用 b. 帽状灰 c. 灰色 E 喚魂 (中型)
52-113			石製品	砾石 中砾	長さ 5.3 [5.8]	幅 0.9 [2.3]	厚さ 1.4	—	a. 表裏 / 圓筒 3 面用 b. 帽状灰 c. 深黄色 E 伊予
52-114			石製品	滑石 転用未加工品	長さ 3.4 [3.0]	幅 0.9 [2.5]	厚さ 1.4	—	a. 滑石の口縁 - 脊部転用 ノミ工具痕 貫通孔 2ヶ所 b. 帽状灰 c. 灰色 E 伊予
52-115			石	輝緑凝灰岩	径 8.2	—	—	—	E 自然石 条件が揃って丸くなつたか
52-116			骨製品	鰐の骨	先端	径 5.1 [2.2]	孔径 1.1 [0.4]	重さ 22.3 [1.4]	E 外面半分に刻文有り: 区画割各々に御文 下端面に漆付着 頭角 手挫
52-117			骨製品	双(ハ)の頭	先端	径 7.5 [7.6]	幅 0.9 [0.4]	重さ 0.9 [0.3]	E 全体に口縫に円錐形に成形し、磨かれている
52-118			骨製品	用途不明 加工骨	長さ 5.5 [4.4]	幅 0.9 [0.3]	厚さ 0.2	—	E 四角形状状に削り形成し、表面裏も丁寧に削り加工
52-119			骨製品	用途不明 加工骨	長さ 5.5 [2.3]	幅 0.9 [0.2]	厚さ 0.1	—	E 四角状に削り形成し、表面のみ丁寧に削り加工
52-120			骨製品	用途不明 加工骨	長さ 5.5 [9.7]	幅 0.9 [2.6]	厚さ 0.1 [0.4 - 1.0]	—	E 表面に万物による切削痕多数あり
52-121			骨製品	用途不明 加工骨	長さ 5.5 [8.2]	幅 0.9 [3.0]	厚さ 0.1 [0.4 - 1.0]	—	E 片面に万物による切削痕多数あり
52-122			骨製品	用途不明 加工骨	長さ 5.5 [10.1]	幅 0.9 [3.6 - 8.3]	厚さ 0.5 - 1.5	—	E 表面に切削痕 倒曲深い・切削痕 3ヶ所あり
52-123			貝製品	用途不明	長さ 5.5 [3.7]	幅 0.9 [0.4]	厚さ 0.5 [0.5]	—	E 圆筒水甌又は摩耗
52-124			貝製品	用途不明	長さ 5.5 [4.0]	幅 0.9 [1.1]	厚さ 0.5 [0.5]	—	E 圆筒水甌又は摩耗
52-125			鉄製品	釘	—	長さ [53.0] [3.7]	幅 0.9 [0.8]	重さ 1.6 [1.6]	E 圆筒内角形状に鍛造 爪付着
52-126			鉄製品	器機不明	—	長さ [18.0] [0.7]	幅 0.9 [0.6]	重さ 25.1 [25.1]	E 圆筒内角形状に鍛造 爪付着
52-127			鉄製品	鍔	—	径 21.1 [1.6]	厚さ 0.8 [0.5]	—	E 金属部 - 長さ 5.5 / 径 0.5 / 鍔部分 - 火を受け炭化している / 圆筒内形 / 容器
52-128			鉄製品	刀子	両端欠損 [18.2]	幅 0.9 [1.6]	厚さ 0.5 [0.5]	重さ 29.0 [29.0]	E 刃長の残存 [10.4] cm 葉は研減り
52-129			銅製品	錢	完形	外径 2.4	内径 2.1	重さ 3.4 [3.4]	E 圆融實 貞書 庫 621 年
52-130			銅製品	錢	完形	直径 2.5	内孔 0.7	重さ 3.6 [2.6]	E 圆融實 貞書 背文あり 庫 621 年
52-131			銅製品	錢	完形	外径 2.4	内孔 2.0	重さ 3.6 [2.8]	E 豊徳元寶 貞書 北宋 1004 年
52-132			銅製品	錢	完形	直径 2.4	内孔 0.7	重さ 3.5 [3.5]	E 皇宋通寶 葵葉 北宋 1038 年
52-133			銅製品	錢	完形	直径 2.5	内孔 0.6	重さ 3.6 [3.6]	E 皇宋通寶 行書 北宋 1078 年
52-134			銅製品	錢	完形	直径 2.4	内孔 0.7	重さ 3.7 [3.7]	E 皇宋通寶 行書 北宋 1078 年
53-135			漆製品	皿	4/5	(9.8) [9.8]	(6.4) [6.4]	(0.9) [0.9]	a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内外漆塗 / 赤色墨 / スタッブ / 外面無文 d. 内面: 見込み中央に菊花文と菊枝文のスタンプを押印。側面にも菊枝文のスタンプが見える。配置は右回り。e. 無高台 e. 無高台 f. 内面に輪轂が残る。ガムのため側面内凹がある。
53-136			漆製品	皿	1/5	—	(7.2)	[0.4]	a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内外漆塗 / 赤色墨 / 手描き d. 内面: 輪轂文見込み中央に側面に配置。外面: 漆塗に輪轂文を配置。e. 無高台 f. 内面に輪轂が残る。ガムのため側面内凹がある。
53-137			漆製品	椀	1/5	—	(8)	[0.6]	a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内外漆塗 / 赤色墨 / 手描き d. 内面: 輪轂文見込み中央に側面に配置。外面: 漆塗に輪轂文を配置。e. 無高台 f. 内面に輪轂が残る。ガムのため側面内凹がある。
53-138			漆製品	椀	1/4	—	-6.4	[2.5]	a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内外漆塗 / 赤色墨 / 手描き d. 内面: 輪轂文見込み中央に側面に配置。外面: 漆塗に輪轂文を配置。e. 無高台

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
53-139			漆製品	椀	小片	—	—	—	a:成形・整形 b:軽土・素地・材質 c:色調・直描調 d:焼成・上彫
									b:黒色漆 c:内外面漆繪/赤色系漆 d:全体に施していく墨文を押印
53-140			漆製品	椀	1/4	—	(8)	[3.6]	e:輪高台 f:内面と外面ではスタンプの意匠は同じだが、規格が異なる
									a:黒色漆 b:黒色漆 c:内外面漆繪/赤色系漆 d:手描き e:内面に見込み中央に施していく墨文と鉛文、外面に施していく墨文と鉛文を側面に分けて記入 f:輪高台 g:外軌部にも字の粗略あり/判読不明/[二]か
53-141			漆製品	用途不明		2	2	1.1	h:内面に墨があり
53-142			木製品	研木舟敷	17.8	18.2	0.1	i:四辺に小孔があり/角は隅方に施していく墨文/刃物痕あり	
53-143			木製品	研木舟敷	18.1	[14.2]	0.2	j:底台する二辺に小孔あり/角は隅方に施していく墨文	
53-144			木製品	研木舟敷	22.8	[8.5]	0.2	k:底台する二辺に小孔あり/角は隅方に施していく墨文	
53-145			木製品	研木舟敷	18.8	[14.4]	0.2	l:底台する三辺に小孔あり/角は隅方に施していく墨文	
53-146			木製品	曲物	7.7	5.3	4.7	m:神人頭部像3.7丁掌なる形	
53-147			木製品	曲物	25.8	3.1	2.7	n:丁掌なる形	
54-148			木製品	曲物	12.3	12.6	1	o:底板部分/刃物痕あり	
54-149			木製品	曲物	[9.4]	10.5	1.9	p:道行状態が悪く	
54-150			木製品	曲物	9.6	9.3	[2.0]	q:底板部分/長さ9.1幅9.1厚さ0.8/底板と側板は三箇所、木釘によって止めている/側板の組じねは残っていなかった	
54-151			木製品	曲物	8.7	9	0.7	r:—	
54-152			木製品	曲物	10.3	[5.0]	0.6	s:—	
54-153			木製品	曲物	13.5	—	0.7~1.0	t:側縁近くに小孔があり、横模(組じ縫)道存する/裏表曲面に刃物痕が施されている	
54-154			木製品	曲物	[19.2]	[7.4]	0.9	u:底板部分/側面に木打削凹所道存	
54-155			木製品	曲物	16	[20.0]	—	v:底板部分	
54-156			木製品	曲物	[24.8]	—	1.1	w:底板部分/側縫部=三箇所に木釘痕あり	
54-157			木製品	曲物	[26.9]	[10.8]	1	x:一部壊損/刃物痕あり	
54-158			木製品	曲物	2.2	2.2	1.8	y:底板部分/長さ2.0幅2.1厚さ0.5/小型の曲げ物/形代か	
54-159			木製品	扁	[16.5]	1.6	0.5	z:辯の脇/要部に小孔あり/直背骨	
55-160			木製品	下駄	23.9	10	1.3	aa:進曲下駄/台部:小判型/端部繩の内側に指住痕あり/曲部:高さ3.9mm/3.2	
55-161			木製品	下駄	[22.2]	9.4	1.4	ab:進曲下駄/台部:長門型/端部繩に修磨痕あり/また損害部に木釘によつて直角を施定した直脚跡ある/曲部:高さ3.0幅3.3厚さ0.8/直脚修磨のために2枚の木板を重ねて接着してある	
55-162			木製品	下駄	18.1	8	1.4	ac:進曲下駄/台部:長門型/端部繩の内側に指住痕あり/曲部:高さ3.3幅3.0厚さ0.8/直脚修磨のため2枚の直脚が打ちこまれている	
56-163	5		木製品	下駄	23.5	[9.8]	1.3	ad:進曲下駄/台部:小判型/端部繩の内側に直脚あり/曲部:高さ3.0幅3.0厚さ0.8/直脚修磨のため2枚の直脚が打ちこまれている	
56-164			木製品	下駄	[19.5]	[9.5]	1.4	ae:進曲下駄/台部:小判型/端部繩の内側に直脚あり/曲部:高さ2.0幅2.3	
56-165			木製品	下駄	[15.9]	8.7	2	af:進曲下駄/台部:小判型/端部繩の内側に直脚あり/曲部:欠脚	
56-166			木製品	草履芯	24.7	11	3.1	ag:先端/後端:底:山中に切り込み直線的/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:底脚部/直脚あり	
56-167			木製品	草履芯	24.6	9.8	4	ah:先端/後端:底:山中に切り込み直線的/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:底脚部/直脚あり	
56-168			木製品	草履芯	23.8	10.4	3.7	ai:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
56-169			木製品	草履芯	23.9	10	3.5	aj:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
56-170			木製品	草履芯	24.1	10.9	4.5	ak:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:平行四邊形/前方に深く切り込みる/直脚あり	
56-171			木製品	草履芯	24.1	10.5	3.7	al:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:切り取り部が直角となるように山型を呈する/切り込み部:平行四邊形前方に深く切り込みる	
57-172			木製品	草履芯	24	10.6	0.4	am:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
57-173			木製品	草履芯	24.3	9.2	0.3	an:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
57-174			木製品	草履芯	24.1	10.2	0.3	ao:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
57-175			木製品	草履芯	24.3	10.4	0.3	ap:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端より切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
57-176			木製品	草履芯	24.2	9	0.4	aq:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて直線的/合わせの部分は先端よりも切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
57-177			木製品	草履芯	24	9.7	0.3	ar:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端よりも切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	
57-178			木製品	草履芯	24.2	10	0.4	as:先端/後端:底:合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる/合わせの部分は先端よりも切り込む/先端部小孔あり/側縫部:直線的/切り込み部:直脚あり	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
57-179			木製品	草履芯		20.7	9.4	0.4	c: 色調 e: 形成、整形 h: 船底、素地、材質 i: 横調 l: 燐成 n: 烧成
58-180			木製品	草履芯		19.5	8.9	0.3	f: 先端部(後端部)：薄：合わせの部分から側縫部にかけてや直前の/合わせ部分は：先端部よりも切り込み／先端部小孔あり 側縫部：直線的/合わせ部分は：後端より切り込み／先端部小孔あり 側縫部：直線的/平行四辺形に深く切り込み／端部：直線的
58-181			木製品	草履芯		15.6	[6.2]	3.1	f: 先端部(後端部)：薄：合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる／合わせ部分は：後端より切り込み／先端部小孔あり 側縫部：直線的/合わせ部分は：平行四辺形で前方に深く切り込み／端部：直線的
58-182			木製品	草履芯		14.4	7.5	0.3	f: 先端部(後端部)：薄：合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる／合わせ部分は：先端より切り込み／先端部小孔あり 側縫部：直線的/合わせ部分は：平行四辺形で前方に深く切り込み／端部：直線的
58-183			木製品	草履芯		24.2	5.4	2.6	f: 先端部(後端部)：薄：合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる／合わせ部分は：先端より切り込み／先端部小孔あり 側縫部：直線的/合わせ部分は：平行四辺形で前方に深く切り込み／端部：直線的
58-184			木製品	草履芯		24.2	4.6	2.5	f: 先端部(後端部)：薄：合わせの部分から側縫部にかけて丸みを帯びる／合わせ部分は：先端より切り込み／先端部小孔あり 側縫部：直線的/合わせ部分は：平行四辺形で前方に深く切り込み／端部：直線的
58-185			木製品	草履芯		22.8	5	6.6	f: 先端部(後端部)：薄：合わせ部分が最先端となり直前の/先端部小孔なし／側縫部：直線的/切り込み部：直形／製作途中か(二分割する前)
58-186			木製品	手押木		13.8	3.5	2.8	f: 形形／丁寧な整形
58-187			木製品	手押木		14.5	2.3	2.1	f: 丁寧な整形／筋部分は鉄棒(釘か)
58-188			木製品	手押木		4.6	1.6	2.9	f: 丁寧な整形／筋部分は鉄棒(釘か)
58-189			木製品	手押木		2.9	3.2	3.2	f: 丁寧な整形
58-190			木製品	手押木		27	0.6	0.6	f: 直面方彌
58-191			木製品	手押木		22.5	0.8	0.6	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-192			木製品	手押木		24.4	0.8	0.2	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-193			木製品	手押木		21.2	1	0.6	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-194			木製品	手押木		23	0.7	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-195			木製品	手押木		23	0.8	0.5	f: 直面方彌
58-196			木製品	手押木		22.4	0.9	0.5	f: 直面方彌
58-197			木製品	手押木		22.8	0.8	0.6	f: 直面方彌／難な整形
58-198			木製品	手押木		22.2	0.6	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-199			木製品	手押木		22	0.8	0.8	f: 直面方彌／難な整形
58-200			木製品	手押木		21.8	0.2	0.4	f: 直面方彌
58-201			木製品	手押木		21.6	0.2	0.5	f: 直面方彌
58-202			木製品	手押木		21.5	1	0.5	f: 直面方彌
58-203			木製品	手押木		21.6	0.6	0.3	f: 直面方彌
58-204			木製品	手押木		21.2	0.6	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-205	5	櫛成土	木製品	手押木		21.1	0.2	0.4	f: 直面方彌
58-206			木製品	手押木		21.1	0.5	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-207			木製品	手押木		20.3	0.6	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-208			木製品	手押木		20	0.7	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-209			木製品	手押木		19.8	0.7	0.4	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-210			木製品	手押木		19.8	0.6	0.6	f: 直面方彌
58-211			木製品	手押木		19.4	0.7	0.5	f: 難な整形
58-212			木製品	手押木		19.2	0.8	0.6	f: 直面方彌
58-213			木製品	手押木		19.3	0.7	0.6	f: 直面方彌
58-214			木製品	手押木		18.8	0.7	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-215			木製品	手押木		18.7	0.6	0.4	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-216			木製品	手押木		18.2	0.6	0.4	f: 難な整形
58-217			木製品	手押木		18.0	0.7	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-218			木製品	手押木		17.6	0.6	0.5	f: 直面方彌／丁寧な曲取り
58-219			木製品	手押木		36.8	1.0	0.8	f: 直面方彌
58-220			木製品	手押木		33.7	1.0	0.9	f: 直面方彌／片端溝部に切断
58-221			木製品	手押木		27.5	0.8	0.7	f: 直面方彌／丁寧な整形
58-222			木製品	手押木		25.5	1.0	0.7	f: 直面方彌／丁寧な整形
58-223			木製品	手押木		24.1	0.9	0.4	f: 直面方彌
58-224			木製品	手押木		24.0	0.8	0.5	f: 直面方彌
58-225			木製品	杭		27.0	2.5	1.3	f: 端縫痕
58-226			木製品	建築材	[41.8]	[3.9-5]	[0.7-1.5]		f: 片面側面／一枚所鉄釘痕／端部辺に小孔／片端部側縫に抉りが入る
58-227			木製品	用途不明	9.3	6.4	0.8		f: 中央に小孔があく／鉗門の横幅状品
58-228			木製品	用途不明	8.6	2.8	0.8		f: 中央・所孔があく／自在き小品品
58-229			木製品	用途不明	[11.1]	[4.4]	[2.2]		f: 所鉄釘跡が通じし、側縫に長方形の孔が厚／鉗六孔
58-230			木製品	用途不明	7.2	15.5	2.6		f: 調度の鉄釘跡か／細孔型
58-231			木製品	用途不明	4.0	4.0	0.2		f: 円盤状木製品／中央に孔があく／ほほ正円形
58-232			木製品	用途不明	3.3	3.3	0.2		f: 円盤状木製品／中央に孔があく／ほほ正円形
58-233			木製品	用途不明	2.4	2.4	0.8		f: 円盤状木製品／丁寧な整形
58-234			木製品	用途不明	6.1	—	0.5		f: 中央に小孔1箇所／著に小孔2箇所あり／一端縫痕
58-235			木製品	用途不明	[6.9]	[3.7]	0.6		f: 円盤状木製品／中央に孔があく
58-236			木製品	用途不明	9.6	9.6	0.5		f: 円盤状木製品／端部近く二か所の小孔があり、斜めに木釘痕が入る
58-237			木製品	用途不明	9.0	[5.1]	0.5		f: 円盤状木製品／中央に孔があく
58-238			木製品	用途不明	[18.8]	2.2	1.8		f: 建材
58-239			木製品	用途不明	16.3	1.0	0.4		f: 両端に整形に整形／端部近くに加工痕あり
58-240			木製品	用途不明	[20.5]	[5.6]	—		f: 丁寧な整形／調度品などの装飾具か
58-241			木製品	用途不明	[21.5]	8.5	0.8		f: 片端部側縫
58-242			木製品	用途不明	3.0	2.0	1.6		f: 半円状品／把手か

国番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm/g)	調査項目		
60-243			木製品	用途不明	11時	8.6	a: 成形、整形 b: 土、素地、材質 c: 色調 d: 鋼錠 e: 燐成 在発掘		
60-244			木製品	用途不明	6.7	2.5 ~ 3.2	f: 斷面方形 / 内面部堅物の剥離		
60-245			木製品	用途不明	[11.0]	1.3 ~ 2.3	g: 桂木? 犀革部を削り出していいる / 断面長円形		
60-246			木製品	用途不明	13.3	2.5	h: 片端部削利に削り出している		
60-247			木製品	用途不明	14.7	6.4	i: 片端部削利		
60-248			木製品	用途不明	15.8	1.4	j: 片端部削利に削り出している		
61-1			土製品	ロクロかわらけ (特大)	3/5	(17.1) (9.6)	5.0	k: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: 黄褐色 c: 良好	
61-2			土製品	ロクロかわらけ (大)	完形	12.5	8.4	重さ: 3.6	m: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-3			土製品	ロクロかわらけ (大)	3/4	12.2	7.7	186g	n: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-4			土製品	ロクロかわらけ (大)	5/6	12.4	8.7	3.3	o: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-5			土製品	ロクロかわらけ (大)	1/2	11.8	8.0	3.8	p: 内底ナメ 外底回転系切 (右) b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-6			土製品	ロクロかわらけ (小)	2/3	(7.8)	4.8	2.0	q: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: 黄褐色 c: 良好
61-7			土製品	ロクロかわらけ (小)	2/3	(7.8)	5.4	1.65	r: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: 黄褐色 e: 良好
61-8			土製品	ロクロかわらけ (小)	1/2	7.7	4.7	1.7	s: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: 黄褐色 e: 良好
61-9			土製品	ロクロかわらけ (小)	1/3	(7.3)	(5.1)	1.7	t: 内底ナメ 外底回転系切 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-10			土製品	ロクロかわらけ (小)	1/2	(7.4)	(5.5)	1.4	u: 内底ナメ 外底回転系切 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-11			土製品	ロクロかわらけ (小)	完形	7.4	5.2	1.7	v: 重さ: 31.8g
61-12			土製品	ロクロかわらけ (小)	8.2	5.1	1.7	w: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好	
61-13			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.8	5.9	1.8	x: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-14			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.6	5.2	2.0	y: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-15			土製品	ロクロかわらけ (小)	完形	7.8	5.0	1.8	z: 重さ: 52.5g
61-16	5		土製品	ロクロかわらけ (小)	完形	7.8	6.1	1.9	a: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-17			土製品	ロクロかわらけ (小)	2/3	(7.0)	5.4	1.6	b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-18			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.8	5.2	1.8	c: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-19			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.6	5.0	2.0	d: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-20			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.8	6.1	1.6	e: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-21			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.8	6.1	1.6	f: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-22			土製品	ロクロかわらけ (小)	2/3	(7.0)	5.4	1.6	g: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-23			土製品	ロクロかわらけ (小)	4/5	7.8	5.2	1.8	h: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: やや粗目 c: 黄褐色 e: 良好
61-24			陶器	口縁付小鉢	—	[2.4]	—	i: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 内面: 見込み中央に文と文様 (神代明) / 壁面に文様 / 花文 / 紋文を施する / 外面: C文と花文を配する e: 黑高台	
61-25			石製品	磨石	仕上磨	長3 [6.0]	幅3 4.7	1.0	j: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 黒高台
61-26			銅製品	鉢	完形	外径2.3	内径1.9	—	k: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 黒高台
61-27			漆製品	楕	4/5	—	[8]	—	l: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 黒高台
61-28			木製品	箸状	23.7	0.7	0.6	m: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 黒高台	
61-29			木製品	箸状	20.7	0.7	0.4	n: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-30			木製品	箸状	20.9	0.5	0.4	o: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-31			木製品	箸状	20.6	0.7	0.5	p: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-32			木製品	箸状	19.3	0.6	0.5	q: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-33			木製品	箸状	23.9	1.1	0.6	r: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-34			木製品	箸状	23.8	1	0.5	s: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-35			木製品	箸状	20.1	0.6	0.4	t: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装	
61-36			木製品	箸状	16.4	2.1	1.1	u: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 黒高台	
61-37			木製品	簪	長3 [5.5]	最大径1.1	孔径0.7	v: 黒色漆 / 黑色漆 / 内外面塗装 / 赤色系漆 / スタッペ d: 黒高台	
61-38			木製品	用途不明	7	直径1.6	—	w: 簪型か / 中央付近に抉り入る / 断面円形 / 丁寧な整形	
61-39			木製品	用途不明	5.5	1.9	1.8	x: 工具の柄か / 犀面円筒 / 中央に円筒の孔があく / 斧形でない	
64-1	6	遺構外	土製品	ロクロかわらけ (大)	4/5	14.0	8.5	3.5	y: 内底ナメ 外底回転系切 (右) 板状压痕 b: 磨砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨針 a: 黄褐色 c: 良好

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			調査項目
						口径	底径	高さ	
64-2			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	12.8	7.8	3.2	他 a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黒褐色 e. 良好
64-3			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.5	8.0	3.4	重き a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好
64-4			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	12.0	6.8	3.6	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好
64-5			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	7.7	5.6	2.0	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好
64-6			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.3	5.1	1.4	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好
64-7			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.5	5.2	1.7	重き a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/泥岩 50.1
64-8			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.2	5.3	1.6	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/泥岩 b. 海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好 f. 口縁部破損
64-9			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	(8.3)	(6.0)	1.8	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好 f. 口縁部破損/推損
64-10			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.4	4.8	1.7	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好 f. 口縫部打ちちぎれ
64-11			土製品	ロクロ かわらけ(小)	はづ定形	7.6	5.6	49.9	重き a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好 f. 口縁部破損/打孔
64-12			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.7)	(5.3)	1.8	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好 f. 口縫部打ちちぎれ
64-13			土製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	(7.4)	(5.1)	1.7	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/海綿骨針 やし粗上 c. 黑褐色 e. 良好 f. 口縫部打ちちぎれ
64-14			土製品	手づくみかづく なげ(小)	1/4	(5.6)	(4.8)	0.8	a. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/良土 c. 黑褐色 e. 打孔 f. 内折れ
64-15			陶器	口沿部	14mm幅小 片	—	—	[6.2]	縦縫 縦縫ひも形 b. 黒灰色 砂粒/白色粒/長石/石英 c. 黑褐色 e. 硬質 6cm型式
64-16			陶器	口沿部	14mm幅小 片	—	—	[2.5]	縦縫ひも形 b. 黒灰色 砂粒/白色粒/長石/石英 c. 噴褐色 d. 口縫ひも形 c. 黑褐色 d. 硬質
64-17	6		陶器	口沿部	14mm幅小 片	1/2	(7.6)	(4.6)	2.4
64-18			鉄製品	釘	長3 6.2	幅	0.7	0.5	a. ロクロ形 b. 腹部回転赤切後ラ・調整部分 b. 黑色 灰色 良土 c. 黑色 d. 口縫ひも形 c. 黑褐色 e. 良好 f. 前期後半~中期前半
64-19			鉄製品	釘	長3 2.8	幅	0.6	0.2	b. 斜面四角形状に鍛造 精付着
64-20			漆製品	蓋	径 1/3	[2.3]	[2.3]	[2.3]	a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 表裏面漆塗/赤色系漆/手書き d. 表面: 漆文/ 漆文/筆記/花文(桜木文)
64-21			木製品	箸状	—	28.2	0.7	0.4	b. 斜面四角形 竫な形
64-22			木製品	箸状	—	23.5	0.7	0.4	c. 斜面四角形
64-23			木製品	箸状	—	22.5	0.7	0.4	d. 斜面四角形
64-24			木製品	箸状	—	22	0.6	0.4	e. 斜面四角形/丁寧な曲面取り
64-25			木製品	箸状	—	19	0.6	0.5	f. 斜面四角形
64-26			木製品	箸状	—	19.6	0.6	0.5	g. 斜面不正四角形/丁寧な曲面取り
64-27			木製品	箸状	—	16.4	0.6	0.4	h. 斜面不正四角形/丁寧な曲面取り
64-28			木製品	箸状	—	12.8	[4.8]	[2.5]	i. 後段失ひ部分をい
64-29			木製品	建婆持	—	19.5	8.6	6	j. 中央より端部ほどにくに穴があく/捷板として転用か
64-30			木製品	用具(不明)	—	3.6	3.3	2.5	k. 八角形に加えて表面斜面取付物
64-31			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.6)	(5.6)	1.5	l. 斜面四角形 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/白色粒/小石 m. 磨擦痕 竪直表面に横筋な凹凸 全面磨削後に底部剥離 b. 白色 白色粒 砂粒 直立表面 由乳白色 手彫り面 磨削痕 1.白福X. b. 砂粒
64-32			磁器	白磁 口縫部分	—	—	[1.7]	[1.7]	n. 磨擦痕 竪直表面に横筋な凹凸 全面磨削後に底部剥離 b. 白色 白色粒 砂粒 直立表面 由乳白色 手彫り面 磨削痕 1.白福X. b. 砂粒
64-33			陶器	口沿部	底部小片	—	(11.2)	[5.2]	o. 磨擦痕 2. 磨擦痕 3. 外底全体不規則へらぼり b. 黑色 砂粒/白色粒/黑色粒/長石/石英 c. 黑褐色 砂粒 3.點付由乳灰丸 内面厚底直
64-34			石製品	磨石類 転用部	底部小片	—	—	[3.4]	p. ノミ状工具による削除跡 c. 刷毛灰 3.加土途中から
64-35			漆製品	椀	4/5	[7.6]	[3.9]	[3.9]	q. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内外面漆塗/赤色漆/手書き d. 内面: 漆面全体 に墨文 e. 外面: 漆面に墨文を配する e. 柄高台 爪立み/大手内面底
64-36			木製品	草履底	—	[22.5]	5.4	0.3	f. 先端(後端) 頂合: 合せた部分から先端部にかけて直線的 端部に小孔 開け跡曲線的 切縫の切り込み部: 台形/草履底あり
64-37			木製品	箸状	—	23.6	0.6	0.7	g. 鮫な形
64-38			木製品	箸状	—	23	0.6	0.5	h. 斜面方形
64-39			木製品	箸状	—	22.2	0.6	0.6	i. 斜面方形
64-40			木製品	箸状	—	21.3	0.7	0.6	j. 斜面方形
64-41			木製品	箸状	—	17.1	0.7	0.4	k. 斜面方形/丁寧な曲面取り
64-42			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(13.0)	(6.8)	3.5	l. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/赤色粒/泥岩 m. 磨擦痕 竪直表面 由乳白色 手彫り面
64-43			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(12.5)	(6.8)	3.7	n. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 黑色 砂粒/白色粒/白色 粒/海綿骨針/泥岩粒 竪直表面 由乳白色 手彫り面
64-44			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.9)	(7.5)	3.5	o. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/赤色粒/泥岩 粒/海綿骨針/泥岩粒 竪直表面 由乳白色 手彫り面
64-45			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.4)	(8.0)	3.4	p. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/赤色粒/泥岩 粒/海綿骨針/泥岩粒 竪直表面 由乳白色 手彫り面
64-46			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(12.3)	(7.8)	3.2	q. 内底ナメ 外底回転赤切(右) 板状圧痕 b. 微砂/雲母/赤色粒/泥岩 粒/海綿骨針/泥岩粒 竪直表面 由乳白色 手彫り面
64-47			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.0)	(7.6)	3.4	r. 内底ナメ 外底回転赤切 b. 微砂/雲母/赤色粒/泥岩粒 竪直表面 由乳白色 手彫り面

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
65-8			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(11.9)	(7.4)	3.4	a. 成形・整形 b. 船底・素地・材質 c. 色調 d. 構造 e. 燐成・土器考 a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・赤色系/白色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-9			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(11.0)	(7.4)	2.9	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-10			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	(11.5)	(7.2)	3.4	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-11			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(11.4)	(7.2)	3.3	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-12			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.3	8.4	2.7	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-13			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	11.8	6.6	3.0	重さ 150g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 外面下部黒く変色 内底面有機物付着
65-14			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.1	7.3	3.6	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-15			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.2	7.3	3.2	重さ 184g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-16			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.2	7.4	3.4	重さ 150g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-17			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.2	7.3	3.6	重さ 158g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 黄褐色 e. 良好 a. 全周的に有機物付着
65-18			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.3	7.0	3.6	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-19			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.3	7.1	3.4	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
65-20			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.5	8.3	3.4	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 小石粒・やや粗い・茶褐色 e. 良好
65-21			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.5	8.8	3.2	重さ 210g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 小石粒・やや粗い・茶褐色 e. 良好 a. 全周的に有機物付着
66-22			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.4	7.8	3.2	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-23			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.6	7.5	3.2	重さ 166g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-24			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.6	7.2	3.4	重さ 160g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 小石粒・やや粗い・茶褐色 e. 良好
66-25			土製品	ロクロ かわらけ(大)	ほぼ完形	12.8	6.8	4.0	重さ 174.5g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/海綿骨片/泥岩粒 c. 黄褐色 e. 良好
66-26			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.1	7.7	3.6	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-27	南面 煙草 成土		土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	13.2	8.0	3.2	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-28			土製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	(13.5)	(7.5)	3.9	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-29			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.8	7.8	3.5	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-30			土製品	ロクロ かわらけ(大)	完形	12.3	7.9	3.4	重さ 172g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-31			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.8	7.0	3.6	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-32			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	11.8	7.0	3.4	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-33			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.1	7.5	3.1	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-34			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.9	7.0	3.5	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-35			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	(10.7)	(6.0)	3.4	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-36			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	(10.7)	(6.0)	3.5	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/良質
66-37			土製品	ロクロ かわらけ(中)	2/3	10.6	5.5	3.2	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/良質
66-38			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	10.6	5.7	3.2	重さ 87g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-39			土製品	ロクロ かわらけ(中)	4/5	10.8	5.8	3.5	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/泥岩粒 良土 c. 黄褐色 e. 良好
66-40			土製品	ロクロ かわらけ(中)	3/4	7.3	4.5	1.6	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-41			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	4.2	1.7	重さ 45g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-42			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	5.4	1.6	a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/良質
66-43			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	5.6	1.7	重さ 43g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/良好 a. 口縁部分が欠け
66-44			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	4.4	1.7	重さ 41g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-45			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	5.1	1.3	重さ 40g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/白色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好
66-46			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	5.6	1.8	重さ 40g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/海綿骨片/泥岩粒 c. 黄褐色 e. 良好 a. 口縁部分が欠け
66-47			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	5.2	1.6	重さ 44g a. 内底ナラ外底回転舟形(右) 板状压痕 b. 磨砂・芸母/赤色系/海綿骨片/泥岩粒 c. 棕色 e. 良好

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理要項
						口径	底径	高さ	
66-48			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.4	5.4	1.65	a. 成形、整形 b. 船底、素地、材質 c. 色調 d. 摘調 e. 煙成 f. 烟燻
66-49			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.4	4.5	1.6	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-50			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	(7.7)	(4.4)	1.5	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-51			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	(7.7)	(5.4)	1.9	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-52			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.4)	(4.3)	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-53			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	(7.2)	(4.9)	2.0	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-54			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	6.7	4.5	1.5	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-55			土製品	ロクロ かわらけ (小)	重宝	6.9	4.4	1.6	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-56			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.0	4.3	1.5	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-57			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.1	4.3	1.6	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好 f. 表面に無数の状跡の透明で反射する凹凸付着 (雲母)
66-58			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	7.2	4.8	1.65	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-59			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.2	5.0	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-60			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.2	5.2	2.0	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好 f. 外面下部に条筋入
66-61			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.2	4.9	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-62			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.4	6.0	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-63			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.4	4.9	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-64			土製品	墨書き かわらけ	3/4	7.4	5.3	1.6	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好 f. 表面に墨書きの跡有り
66-65			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.5	4.5	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-66			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.5	4.7	1.6	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-67			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.5	5.5	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-68			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.5	5.2	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-69			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.7	5.3	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-70			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.7	5.1	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-71			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.7	5.0	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-72			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	7.8	5.9	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-73			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.8	5.7	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-74			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.8	5.2	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-75			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.8	5.6	1.3	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-76			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.9	5.4	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-77			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.9	5.6	2.0	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-78			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.9	5.7	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-79			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.9	4.6	2.0	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好 f. 全体的に有機物付着
66-80			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.9	5.6	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-81			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.9	5.7	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-82			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	8.0	5.9	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-83			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	8.2	5.1	1.9	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-84			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.7	5.3	1.7	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好
66-85			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	5.1	1.8	a. 内底ナメ 外底回転粘合 (右) b. 板状圧痕 c. 黄褐色 d. 茶褐色 e. 良好

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	調査項目	
66-86			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.7	5.6	1.9 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
66-87			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.5	4.9	1.5 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
66-88			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	5.6	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
66-89			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.7	5.1	1.9 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
66-90			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.7	5.7	1.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
66-91			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.5	5.3	1.9 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
66-92			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/4	(7.3)	(4.9)	1.9 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
67-93			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.0	4.4	2.1 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 黒色砂 / 海綿骨片
67-94			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.1)	(4.2)	1.6 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 小石粒 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 内底内黒く變色
67-95			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	5.0	1.6 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 小石粒 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 内底内黒く變色
67-96			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.5	5.0	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 小石粒 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 内底内黒く變色
67-97			土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	7.5	5.5	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
67-98			土製品	ロクロ かわらけ (小)	ほぼ完形	7.2	4.3	1.6 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 泥岩粒
67-99			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.7	4.6	1.9 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き一部小範囲だが強 き有機物付着
67-100			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.7	5.2	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 露砂 c. 白色砂 / 海綿骨片 / 白色砂 / 海綿骨片
67-101			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/5	(7.7)	(5.3)	1.3 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好
67-102			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.5	5.3	1.6 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-103			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.8	5.5	1.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-104	6 南側壁土		土製品	ロクロ かわらけ (小)	5/6	7.5	4.8	1.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-105			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.4	4.9	1.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-106			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	6.7	4.4	1.5 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-107			土製品	ロクロ かわらけ (小)	3/4	7.1	4.7	1.5 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-108			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.3	4.3	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き b. 外底 厚納 e. 有機物付着
67-109			土製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	(7.3)	(4.8)	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き b. 外底 厚納 e. 有機物付着
67-110			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	8.0	5.8	1.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-111			土製品	ロクロかわら け (極小)	3/4	4.4	3.0	0.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-112			土製品	ロクロかわら け (極小)	1/2	(4.3)	(3.2)	0.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-113			土製品	ロクロかわら け (極小)	1/3	(4.2)	(2.9)	0.8 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-114			土製品	ロクロかわら け (極小)	1/2	4.4	3.2	0.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-115			土製品	ロクロかわら け (極小)	ほぼ完形	4.1	3.0	0.7 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-116			土製品	ロクロかわら け (極小)	3/4	13.7	7.4	3.9 重さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き
67-117			土製品	ロクロかわら け (極小用品)	長さ 幅	(18.0)	[7.6]	1.0 厚さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き b. 乾用巾品か 全体的に黒く變色
67-118			土製品	ロクロかわら け (極小用品)	長さ 幅	[7.7]	[9.3]	1.0 厚さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き b. 乾用巾品か 全体的に黒く變色
67-119			土製品	ロクロかわら け (極小用品)	長さ 幅	[8.0]	[8.0]	0.8 厚さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き b. 乾用巾品か 全体的に黒く變色
67-120			土製品	ロクロかわら け (極小用品)	長さ 幅	[8.0]	[8.4]	1.0 厚さ a. 内底ナメ 外底回転部切 (右) b. 袋状圧痕 b. 中空組立 c. 黄褐色 e. 良好 b. 口縁部打ち欠き b. 乾用巾品か 全体的に黒く變色
67-121			磁器	青磁 青磁弁輪	口縁部片	—	—	[3.5] a. ロクロ口形 b. 灰白色 黑色砂 精良型盤 灰青色 灰白色 b. 透明 磨擦や むれで 漆入 磁器弁輪系青磁盤
67-122			磁器	青磁 無文磁	底部片	—	(3.3)	[2.8] a. ロクロ口形 b. 灰白色 黑色砂 精良型盤 灰青色 灰白色 b. 透明 磨擦や むれで 漆入 磁器底部系青磁盤 II-A類

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)		調査項目	
						口径	底径		
67-123			磁器	青磁 蓬古文碗	底部片	—	5.2	[1.4]	a) ロクロ口成形 b) 从白色 黑色粒 精良型盤 c) 从青色 二次焼成で失透気孔 d) 精良やや薄め 気泡 e) 雪堂窯系青磁盤-IA類
67-124			磁器	白磁 口九頭	口縁部片	(11.9)	—	[2.5]	a) ロクロ口成形 b) 从白色 精良型盤 c) 从白色 透明 細刷薄め 気泡 d) 口縁部有機物付着 b) 白磁口成形
67-125			磁器	白磁 口九頭	口縁部片	—	—	[2.3]	a) ロクロ口成形 b) 从白色 精良型盤 c) 从白色 透明 細刷薄め 気泡 d) 口縁部有機物付着 b) 白磁口成形
67-126			磁器	白磁 口九頭	口縁部片	—	—	[2.6]	a) ロクロ口成形 b) 从白色 精良型盤 c) 从白色 透明 細刷薄め 気泡 d) 口縁部有機物付着 b) 白磁口成形
67-127			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[10.5]	綴合 内外面接合部 内外面接合部ナメ+指痕 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 外面自然降灰 d) 口縁+外周表面に灰褐色自然降灰 e) 硬質 f) 7~8型式
67-128			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[6.0]	綴合 内外面接合部 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 外面自然降灰 d) 口縁+外周表面に灰褐色自然降灰 e) 硬質 f) 6型式
67-129			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[5.4]	綴合 内外面接合部 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 石英 c) 暗褐色~灰褐色 d) 口縁+外周表面に灰褐色自然降灰 e) 硬質 f) 6型式
67-130			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[6.4]	綴合 内外面接合部 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 外面自然降灰 d) 口縁+外周表面に灰褐色自然降灰 e) 硬質 f) 6型式
67-131			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[5.1]	綴合 内外面接合部 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 石英 c) 暗褐色~灰褐色 d) 口縁+外周表面に灰褐色自然降灰 e) 硬質 f) 6型式
67-132			陶器	常滑 甕	口縁部片	—	—	[10.9]	綴合 内外面接合部 a) 内外面接合ナメ b) 内外面接合ナメ+指痕 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 石英 f) 6型式
67-133			陶器	常滑 甕	底部片	—	(21.8)	[5.5]	綴合 内外面接合部 a) 内外面接合ナメ b) 内外面接合ナメ+指痕 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 石英 f) 6型式
67-134			陶器	常滑 甕	底部片	—	(16.7)	[5.0]	綴合 内外面接合部 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 外面自然降灰 d) 从白色 外面自然降灰
67-135			陶器	常滑 甕	底部片	—	(19.0)	[8.5]	綴合 内外面接合部 a) 砂粒 b) 砂粒 c) 从白色 外面自然降灰 d) 从白色 外面自然降灰 e) 硬質 f) 6型式
68-136			陶器	常滑 甕口壺	口縁部片	—	—	[2.8]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 砂粒 f) 6型式
68-137			陶器	常滑 甕	肩部~胴 部	(18.4)	—	[8.9]	綴合 内外面接合部 a) 内外面接合ナメ b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 从白色 砂粒 f) 6型式
68-138			陶器	常滑 甕	底部小片	—	—	[5.4]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 从白色 砂粒 f) 6型式
68-139			陶器	常滑 片口跡 1期	底部片	—	(12.9)	[7.7]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 从白色 砂粒 f) 6型式
68-140	南 側 構 成 土		陶器	常滑 片口跡 1期	底部片	(22.1)	(10.4)	8.6	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 从白色 砂粒 f) 6型式
68-141			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[7.3]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 从白色 砂粒 f) 6型式
68-142			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[6.3]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-143			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[4.5]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-144			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[3.3]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-145			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[3.5]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-146			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[3.4]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-147			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[3.5]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-148			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[3.1]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-149			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[2.6]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-150			陶器	常滑 片口跡 1期	底部片	—	10.5	[5.5]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-151			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[5.0]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-152			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[5.4]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-153			陶器	常滑 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[5.2]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-154			陶器	常滑 片口跡 1期	底部片	—	13.5	[5.5]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-155			陶器	常滑 山茶碗	口縁部片	(14.3)	—	[4.4]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-156			陶器	常滑 山茶碗	口縁部片	—	—	[4.0]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式
68-157			陶器	常滑 山茶碗	底部3/4 片	—	(6.6)	[1.7]	綴合 内外面接合部 a) 从白色 砂粒 b) 从白色 砂粒 c) 从白色 砂粒 d) 从白色 砂粒 e) 良好 f) 6型式

固番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目	
						口径	底径	高さ		
68-158			陶器	常滑 山茶碗	底部1/3 片	—	(6.9)	[1.8]	a: 形成、整形 b: 脱土、素地、材質 c: 色調 d: 構造 e: 燃成 f: 砂考 g: 製輪み抜法 内外面製輪ナダ 内底部ナダ 外底部ナダ 付け高白(7mm板) g: 明灰色 砂粒/白色粒 黒色粒 c: 明灰色 e: 良好 f: o	
68-159			陶器	尾張型 山茶碗	口縁部片	(13.4)	—	[3.4]	a: ロクロ形 b: 黄味がかった灰色 砂粒/黒色粒 白色粒 良土 c: 黑色 d: 良好 e: 鹿児宮型式か	
68-160			陶器	瀬戸 <sup>4</sup> 天目茶碗	口縁部片	—	—	[4.0]	a: ロクロ形 b: 白色 瓷白粒/黒色粒 良土 c: 黄灰色 d: 口縁部に鉄 黒色粒 e: 金剛目付か g: 黄灰 c: 良好 f: 中明手半	
68-161			陶器	備前 楕球	2/5	(29.8)	(15.8)	14.7	a: 廃盤 b: 丸棒状の内側に斜めに付いた凹部 b: 黄褐色 砂粒/白色粒 やは良土 c: 内側に凹部と斜めに付いた凹部 d: 黄褐色 砂粒/白色粒 やは良土 e: 内側に凹部と斜めに付いた凹部 f: 黄褐色 砂粒/白色粒 c: 燃成 7.7cmの鉄削 黒色粒 e: 金剛目付(1.5cm付2.2cm付)	
68-162			陶器	瀬戸内系 瓦器	口縁部片	—	—	[3.1]	a: 内外両面ナダ 外面下部指頭部調整か b: 黑灰色 砂粒/雲母 c: 黑色 e: 良好 f: 燃成 g: 素面着色(黑色処理か)	
68-163			陶器	瀬戸内系 上傳源窯	底部片	—	3.9	[1.0]	a: 手づくこか b: 外底部脚部板 高台脚付(廻此通三角形) b: 黄色 砂 e: 黑色 瓷白粒 c: 良好	
69-164			土製品	瓦質 火葬	1/5	(33.5)	(24.4)	8.7	a: 内面横一斜位のナダ 外面口縁下脚ナダ全体部へ斜付と直脚筋(壊せて 不明) b: 瓦脚横位のラブ付 b: 黄褐色 砂粒/白色粒/黒色粒 c: 黑灰 e: 燃成 f: 五稜野編笠 IC類	
69-165			土製品	平瓦	長さ [13.0]	幅 [10.5]	厚さ 2.2	8.7	a: 口面横一斜位のナダ 外面口縁下脚ナダ全体部へ斜付と直脚筋(壊せて 不明) b: 瓦脚横位のラブ付 b: 黄褐色 砂粒/白色粒/黒色粒 c: 黑灰 e: 燃成 f: 五稜野編笠 IC類	
69-166			石製品	台形鏡 転用品	完形	長さ 6.3	幅 3.6	厚さ 1.0 52.6	b: 黑色粘板岩 c: 黑色 瓦喰丸鏡の倒壊片(再加工か) e: 黑色粘板岩 c: 黑色 瓦喰丸鏡の倒壊片(再加工か)	
69-167			石製品	鏡	長さ [3.9]	幅 3.7	厚さ 0.4	8.7	b: 黑色粘板岩 c: 黑色 瓦喰丸鏡の倒壊片(再加工か)	
69-168			石製品	鏡	残部片	長さ [7.6]	幅 [4.9]	厚さ [2.1]	c: 番灰赤 砂岩 残内面黒く変色 e: 赤同 瓦と異ニ所穴があく 貫通せず 底部に黒残在	
69-169			石製品	砾石 瓦器	長さ [17.8]	幅 [7.6]	厚さ [5.9]	8.7	a: 表裏2面使用 b: 瓦砾岩 c: 赤壁マーブル状 有天草(14世紀後半以降 か)	
69-170			石製品	砾石 小石	長さ [3.0]	幅 4.7	厚さ 1.0	8.7	a: 表裏両側面4面使用か b: 瓦砾岩 c: 番灰赤 砂岩灰色 石天草 二 次焼成を示せる	
69-171			石製品	瓦器	長さ [9.2]	幅 3.3	厚さ 1.0	8.7	a: 表裏2面使用 小口1箇所側面生産地加工痕 下端溶接部による切面部 b: 瓦砾岩 c: 瓦砾岩(鉄付着により焼けたものあり) e: 瓦喰丸(向田)	
69-172			石製品	砾石 住土砾	長さ 6.0	幅 3.0	厚さ 0.9	8.7	a: 瓦砾2面使用 小口1箇所側面生産地加工痕 b: 瓦砾岩 c: 灰褐色 瓦喰丸	
69-173			石製品	砾石 住土砾	長さ [6.2]	幅 3.7	厚さ 0.8	8.7	a: 表裏2面使用 小口1箇所側面生産地加工痕 b: 瓦砾岩 c: 灰褐色 瓦砾岩	
69-174			石製品	砾石 住土砾	長さ 4.3	幅 3.8	厚さ 1.5	8.7	a: 表裏2面使用 小口1箇所側面生産地加工痕 b: 瓦砾岩 c: 灰褐色 瓦砾岩	
69-175	6		石製品	砾石 砾石刷用 温石	長さ 14.4	幅 9.5	厚さ 1.8	8.7	c: 番灰赤 上面キズ多数、側面ノミ状工具による削痕 瓦砾断面に万物 柄があり、温石更に加工か	
69-176			石製品	砾石 砾石刷用 温石	長さ 9.7	幅 6.4	厚さ 1.6	8.7	c: 番灰赤→黒灰色 石面の側面ノミ状工具による削痕 瓦砾断面に万物 柄があり	
69-177			銅製品	用途不明品	完形	長さ 5.5	幅 5.2	厚さ 0.5~0.9	8.7	b: 圆錐形で瓦舟状の細かい割れがあり 穴2ヶ所あり(留める為の穴だ け)部分的に金・黒漆付着か、縁の引きびきの金具の可能性あり
69-178			鉄製品	火薙	一部欠損	長さ [7.3]	幅 6.0	厚さ 0.4	23.8	a: 瓦舟くねん部錐状か b: 圆錐形
69-179			鉄製品	釘	完形	長さ 19.9	幅 0.7	厚さ 0.7	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-180			鉄製品	釘	完形	長さ 9.1	幅 0.6	厚さ 0.5	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-181			鉄製品	釘	完形	長さ 7.9	幅 0.7	厚さ 0.5	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-182			鉄製品	釘	完形	長さ 7.6	幅 0.5	厚さ 0.35	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-183			鉄製品	釘	端部欠損	長さ [4.9]	幅 0.5	厚さ 0.6	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-184			鉄製品	釘	完形	長さ 5.6	幅 0.3	厚さ 0.3	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-185			鉄製品	釘	完形	長さ 5.2	幅 0.2	厚さ 0.2	8.7	E: 瓦面内角形状に鍛造 組付着
69-186			骨製品	笄	完形	長さ 17.7	幅 0.9	厚さ 0.7	8.7	E: 骨管(四肢骨)を板状に、片先端は刃物で細く削り出し、全表面を丁寧に研 磨
69-187			骨製品	笄	完形	長さ 6.7	幅 1.3	厚さ 0.3	8.7	b: 骨管 上部の両側面を加工。先端部を削りだし棒状に尖らせる 丁 字状研磨
70-188			銅製品	錢	一部欠損	径 2.65	内孔 0.8	重さ 0.12	[2.0]	E: 四面通貫 真書 戸 621年
70-189			銅製品	錢	完形	径 2.49	内孔 0.6	重さ 0.11	2.7	E: 四面通貫 真書 戸 621年
70-190			銅製品	錢	完形	径 2.48	内孔 0.60	重さ 0.15	3.8	E: 大觀通寶 真書 北宋 1107年
70-191			銅製品	錢	完形	径 2.45	内孔 0.62	重さ 0.13	3.2	E: 元祐通寶 行書 北宋 1086年
70-192			銅製品	錢	完形	径 2.35	内孔 0.69	重さ 0.12	3.6	E: 皇宋通寶 真書 北宋 1038年
70-193			銅製品	錢	完形	径 2.34	内孔 0.56	重さ 0.12	2.9	E: 乾祐元宝 真書 北宋 1034年
70-194			漆製品	皿	4/5	(10)	(7)	(1.5)	E: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 内外面漆塗/赤色漆/手書き d: 内面:見込み中 央に御所文、器物の間隔を埋めるように波文 外面:三周所に波文を配 する e: 無底台	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm/g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
70-195			漆製品	皿	2/3	(10)	(6.8)	(1.1)	a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/スタンプ/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 外面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-196			漆製品	皿	4/5	(8.8)	(7)	(1.1)	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/スタンプ/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 外面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-197			漆製品	皿	4/5	(8.6)	(5)	(1.1)	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-198			漆製品	皿	4/5	(8.8)	(5.8)	(1)	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-199			漆製品	皿	1/5	(9.4)	(7.6)	(0.9)	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-200			漆製品	皿	1/3	(8.4)	(7.2)	(0.9)	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-201			漆製品	底部片	—	—	[0.9]	—	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-202			漆製品	元形	8.4	6.8	1.4	—	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文 e. 高台右 E 正み大
70-203			漆製品	椀	底部片、側 面部小片	—	—	—	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/スタンプ d. 内外面: 三重の巻甲(内)の中心に12枚の菊瓣文/内面配置不明 e. 不明
70-204			漆製品	椀	3/5	—	[7.2]	[4.8]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-205			漆製品	椀	小片	—	[6]	[1.0]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-206			漆製品	椀	側面部小片	—	—	—	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
70-207			漆製品	椀	側面部小片	—	—	—	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 不明
70-208			漆製品	椀	側面部片	—	—	—	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置は不規則 e. 無高台 E 正み大
71-209			漆製品	椀	底部小片	—	—	[0.8]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面漆塗/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置不明 e. 無高台 E 正み大
71-210			漆製品	椀	3/4	[13]	[6.4]	[5.1]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文 e. 高台右 E 正み大
71-211			漆製品	椀	4/5	11.8	5.8	3.5	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文 e. 梵高台 E 正み大
71-212	6 南端壁底 土		漆製品	鉢	口縁部 1/4	[24]	—	[5.7]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置不明 e. 無高台 E 正み大
71-213			漆製品	鉢	底部1/3	—	[11.6]	[2.5]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文 e. 梵高台 E 正み大
71-214			漆製品	鉢	4/5	—	[12.6]	[2.4]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文 e. 梵高台 E 全部が炭化しており器表の様子不明
71-215			漆製品	器種不明	底部小片	—	—	—	a. 内面無文 e. 全部が炭化しており器表の様子不明
71-216			漆製品	椀	—	[1.5]	[2.8]	[0.7]	a. 黑色漆 b. 黑色漆 c. 内面無文/赤色系漆/手描き/外面無文 d. 内面: 黒色漆 e. 内面配置不明 e. 無高台 E 正み大
71-217			木製品	板折枝	26.4	[14.9]	0.2	—	a. 角を鋸に丁寧に整え、表面に刀物跡 / 犬歯あり
71-218			木製品	板折枝	19.2	[19.3]	0.3	—	a. 存在する「三刃」小孔あり / 刀物痕が数箇所残る / 角は丸く整形
71-219			木製品	板折枝	18.1	18.5	0.3	—	a. 四辺中央に小孔あり / 刀物痕残る / 角を擴丸に整形
71-220			木製品	板折枝	18.5	16.5	0.1	—	a. 四辺中央に小孔あり
72-221			木製品	板折枝	19.1	[9.5]	0.1	—	a. 両端に小穴あり / 角を擴丸に整形
72-222			木製品	蓋	17.7	18.1	2.5	—	a. 蓋裏から刃跡によって網部を接合している
72-223			木製品	箱物	21	[9.2]	1.1	—	a. 箱物内部
72-224			木製品	箱物	9.5	[6.1]	0.8	—	a. 箱物内部
72-225			木製品	円筒	24.7	3.3	—	7.7	—
72-226			木製品	下駄	[18.2]	8.6	1	—	木舟下駄 / 台座: 烧焰 / 底部: 高さ1.6cm / 幅3.0cm
72-227			木製品	下駄	[17.0]	9	1.3	—	木舟下駄 / 台座: 烧焰 / 底部: 高さ1.2cm / 幅3.5cm
73-228			木製品	下駄	19.2	9.3	1.4	—	木舟下駄 / 台座: 烧焰 / 底部: 高さ3.2cm / 幅3.2cm / 表面は激しく焼ける
73-229			木製品	下駄	[15.6]	9.6	1.4	—	木舟下駄 / 台座: 長円形 / 穴の孔に木釘が遺存 / 表面: 高さ3.4cm / 幅3.4cm
73-230			木製品	草履芯	24	10.6	0.4	—	a. 先端(後端) / 脚: 合わせの部分から脚踝部にかけて全体が丸みを帯びる / 合わせの部分は最も先端よりも切り込む / 先端部小孔あり / 脚踝部: 曲線的切り取られ / 千字四切目 / 痕跡あり
73-231			木製品	草履芯	23.6	10.7	0.3	—	a. 先端(後端) / 脚: 合わせの部分から脚踝部にかけて脚踝部丸みを帯びる / 合わせの部分は最も先端よりも切り込む / 先端部小孔あり / 脚踝部: 曲線的切り取られ / 千字四切目 / 痕跡あり
73-232			木製品	草履芯	24.5	11.5	0.3	—	a. 先端(後端) / 脚: 合わせの部分から脚踝部にかけて脚踝部丸みを帯びる / 合わせの部分は最も先端よりも切り込む / 表面は激しく焼ける
73-233			木製品	草履芯	23.2	9.4	0.3	—	a. 先端(後端) / 脚: 合わせの部分から脚踝部にかけて脚踝部丸みを帯びる / 合わせの部分は最も先端よりも切り込む / 先端部小孔あり / 脚踝部: 曲線的 / 切り込み足 / 丁寧な整形
73-234			木製品	坐柶	5.4	—	高さ3.3	—	a. 脚部差込孔 / 丁寧な整形
73-235			木製品	坐柶	2.4	1.8	高さ3.2	—	a. 作付歩き
73-236			木製品	健具	21.9	1.5	1.1	—	a. 両端に孔があり / 健具の内部は網状で切込み有り / 平洋式逆刃後方に開けた切り込み / 表面に網目 / 健具の底の黒色の接着剤有り
73-237			木製品	健具	20.6	1.3	1.3	—	a. 両端に孔があり / 健具の内部は網状で切込み有り / 健具の底の黒色の接着剤有り
74-238			木製品	背状	23.9	0.5	0.4	—	a. 無面不正方形 / 丁寧な曲取り
74-239			木製品	背状	23.5	0.8	0.7	—	a. 無面不正方形 / 亂な曲取り

番号	出上 面	図 面 番 号	材質	種別	道存度	法量 (cm <sup>3</sup> /g)	規範項目			
74-240			木製品	被状	11枚	23.2	a:成形、整形 b:船底、底地、材質 c:色調 d:補調 e:焼成 f:面彫り			
74-241			木製品	被状	22.8	0.6	f:面彫り不正確、丁寧な面取り			
74-242			木製品	被状	23	0.5	f:面彫り			
74-243			木製品	被状	23	0.7	f:面彫り			
74-244			木製品	被状	23.9	0.8	f:面彫り			
74-245			木製品	被状	22.4	0.8	f:面彫り			
74-246			木製品	被状	22.2	0.8	f:面彫り			
74-247			木製品	被状	22.7	0.7	f:面彫り			
74-248			木製品	被状	22.6	0.6	f:面彫り			
74-249			木製品	被状	22.5	0.7	f:面彫り			
74-250			木製品	被状	21.3	0.7	f:面彫り			
74-251			木製品	被状	21.1	0.5	f:面彫り			
74-252			木製品	被状	21.7	0.6	f:面彫り			
74-253			木製品	被状	21	0.7	f:面彫り			
74-254			木製品	被状	20.3	0.6	f:面彫り			
74-255			木製品	被状	20.5	0.8	f:面彫り			
74-256			木製品	被状	20	0.6	f:面彫り			
74-257			木製品	被状	18.8	0.7	f:面彫り			
74-258			木製品	被状	17.2	0.6	f:面彫り			
74-259			木製品	被状	20	1	f:面彫り			
74-260			木製品	被状	25.2	0.7	f:面彫り			
74-261			木製品	被状	24.8	1.1	f:面彫り			
74-262			木製品	被状	26.1	0.6	f:面彫り			
74-263			木製品	被状	26.2	0.7	f:面彫り			
74-264			木製品	被状	26.7	1.3	f:面彫り			
74-265			木製品	被状	28.2	1.2	f:面彫り			
74-266			木製品	被状	34.4	1.1	f:面彫り			
74-267			木製品	端材	12.8	2.5	f:端材			
74-268			木製品	用法不明	13.8	10	3	f:ほばほばを幅2.1cm、深さ約1cm削りこみ、その端をさらに約0.4cm深く削りこみ。また凹凸を削りているが貫通しているのは一穴のみ		
74-269			木製品	用法不明	6.3	6.5	1.6	f:円錐形木製品「小」に孔が貫通／孔径上部0.8cm、下部0.6cm／下部に向かって狭まる／表面に整型形		
74-270			木製品	用法不明	20.3	1.7	0.9	f:面彫り不正確／端材		
74-271			木製品	用法不明	15.5	1.7	0.9	f:端材		
76-1			土製品	クロカ	かわらけ(大)	4/5	13.0	8.0	3.3	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:微砂／雲母／赤色粒／海綿骨片／泥質 b:やや粗粒 c:橙色 c:良好
76-2			土製品	クロカ	かわらけ(小)	完形	7.3	5.0	2.0	重さ 5.47 a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:複状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒／白色 b:やや粗粒 c:橙色 c:良好
76-3			土製品	クロカ	かわらけ(小)	完形	7.3	4.8	1.7	重さ 4.53 a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒／白色 b:やや粗粒 c:橙色 c:良好
76-4			土製品	クロカ	かわらけ(小)	1/4 1/4 ~ 底底	(8.2)	4.7	1.7	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:複状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒／白色 b:底底骨片／泥質骨片 相当 c:灰黄色 c:良好 c:良好
76-5			土製品	クロカ	かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(4.8)	1.5	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒／白色 b:底底骨片／泥質骨片 相当 c:灰黄色 c:良好 c:良好
76-6			磁器	青磁 灰	口縁部	—	—	—	1.8	a:クロカ骨片 b:白色 黑色粒 精良壓痕 c:水溶性半透明地 やや 凹く c:型崩れ d:龍泉青釉青花墨絵 4枚
76-7			陶器	口沿 當口跡目型	口縁~底 部	(36.5)	(21.0)	14.5	—	a:輪筋み詰め 内面口縁部壓痕ナメ 体外底部壓痕シルク調滑り指滑痕 / 内 側底部横筋ハケ調滑り指滑痕 底部離れ砂付着 b:褐色 黑色粒 砂粒/ 白色粒 黑色粒 長石粒 / 石英粒 / 小石粒 c:灰褐色 c:硬質 E:底部一部 黒く変色 EB ~9個
76-8			土製品	瓦質 火沫	口縁部	—	—	[3.5]	—	a:輪筋み詰め 口縁ナメ 内面窓位ナメ 口縁下に孔(根 底) b:灰褐色 黑色粒 c:灰褐色 c:良好 E:次第焼成(器底が爆ぜ て凹む) B:白粉
76-9			土製品	丸瓦	筒部	—	1.2/2.0	[6.4]	—	b:白粉地に引きのナメと糊し 口縁部目板 窓位側脚ケヌリ b:灰色 鐵 黑色粒 c:灰黑色 c:良好 E:明瓦 A類 (赤経土 I~日経)
76-10			鉄製品	釘	一部欠割	長さ [7.3]	幅 0.4	厚さ 0.3	3.5	f:面彫り
76-11			鉄製品	釘	一部欠割	長さ [6.2]	幅 0.3	厚さ 0.3	3.5	f:面彫り
76-12			銅製品	錢	完形	直徑 2.5	内孔 0.7	重さ 1.0	9.7	f:圓元透貫 真舟 肝 621年
76-13			貝製品	用法不明	—	長さ 3.2	幅 4.4	厚さ 0.4~0.5	—	f:面彫り水摩又は摩耗
76-14			土製品	ロクロ	かわらけ(大)	3/4	12.1	7.8	3.5	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒 b:海綿骨片／泥質骨片 やや粗粒 c:黄褐色 c:良好 E:内外面に黒く 變色する
76-15			土製品	ロクロ	かわらけ(大)	2/3	11.8	7.4	3.2	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒 b:海綿骨片／泥質骨片 やや粗粒 c:黄褐色 c:良好
76-16			土製品	ロクロ	かわらけ(大)	1/3	(12.3)	(7.9)	3.3	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒 b:海綿骨片／泥質骨片 やや粗粒 c:黄褐色 c:良好 E:内外面黒く變色
76-17			土製品	ロクロ	かわらけ(大)	注記完形	12.0	7.8	3.3	重さ 16.2 a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒 b:海綿骨片／泥質骨片 やや粗粒 c:黄褐色 c:良好 E:口縁部打ひ欠き 内外面黒く變色
76-18			土製品	ロクロ	かわらけ(大)	注記完形	12.1	7.9	3.5	重さ 18.3 a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒 b:海綿骨片／泥質骨片 やや粗粒 c:黄褐色 c:良好 E:内面一部黒く變色
76-19			土製品	ロクロ	かわらけ(大)	2/3	11.8	7.8	3.3	a:内底ナメ 外底回転串切(右) b:板状压痕 c:微砂／雲母／赤色粒 b:海綿骨片／泥質骨片 やや粗粒 c:黄褐色 c:良好 E:口縁部打ひ欠き 内外面黒く變色

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)				整理項目
						口径	底径	高さ	他	
76-20			上製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.0	7.8	3.1		a. 成形、整形 b. 船底、素地、材質 c. 色調 d. 構造 e. 燐成、土瘤考 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 内底骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打ち欠き
76-21			上製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	12.3	7.0	3.6		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 内底骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部一部打
76-22			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.5)	(4.7)	1.7		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 内底骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-23			上製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.4	5.6	1.5	重さ 43.3	a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-24			上製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.8	6.2	1.4		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-25			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(4.8)	1.8		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 名古屋上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-26			上製品	ロクロ かわらけ(小)	底部完形 1/8部	(7.3)	4.6	1.9		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E外底部貫通し ない穿孔あり
76-27			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.3)	(5.0)	1.7		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E外底部黒変色
76-28			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.0)	(5.0)	1.7		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E外底部打
76-29			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2強	7.5	5.5	1.4		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-30			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.6)	(4.4)	1.9		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-31			上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.4	4.8	1.8		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E外底部黒く 変色
76-32			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/2	7.4	4.8	1.6		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E内底部打
76-33			上製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	8.3	4.8	2.0		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-34			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	7.9	5.6	1.9		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E内底部打
76-35			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.9)	(4.4)	2.0		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-36			上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(6.4)	(4.4)	1.5		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E内底部打
76-37	6a		上製品	ロクロかわら け(小)	1/6	(4.7)	(3.7)	0.9		a. 内底ナメ 外底回転底部(右) 板状圧痕 b. 露砂・雲母/赤色斑 E口 骨背計/泥岩粒 中や良上 c. 黄褐色 e. 良好 E口縁部打
76-38			磁器	白磁 丸九瓶	口縁部分	—	—	[2.7]		a. ロクロ形 b. 白灰色 黒色斑 精良模倣 c. 黑色 透明釉 浅い口 縁部打
76-39			陶器	清酒 甕	体部	—	—			a. 輪筋模倣法 b. 白黄色 砂粒・長石/石英 c. 黑褐色 e. 硬質 E外底 輪筋模倣法 文人文字柄(「」)付
76-40			陶器	清酒 甕	月日付 1期	口縁部分	—	[3.2]		a. 輪筋模倣法 b. 灰色 砂粒・長石/石英 c. 黑色 E内底部自然崩壊
76-41			陶器	合口片	口縁部分	—	[3.8]			a. 輪筋模倣法 b. 黑色 砂粒・長石/石英 c. 單色 E硬質 Eabs型式
76-42			陶器	清酒 甕口透	口縁部分	(6.0)	[6.5]			a. 輪筋模倣法 b. 黑色 砂粒・長石/石英 c. 單色 E口縁部外側 に灰白色の自然崩壊
76-43			陶器	清酒 甕口透	底部1/4 ~胸部分	—	[9.6]	[7.6]		a. 輪筋模倣法 b. 内底指痕部 E外底部側面打
77-44			鉄製品	刀子	先切火鉗	長8 [29.5]	幅2.4	0.1~0.6	101.6	刃長約20.1cm 実に口打穴あり 月部は所々欠損
77-45			銅製品	錢	完形	直径 内孔	厚さ	重さ	E無元寶(直書) 北宋 1068年	
77-46			銅製品	錢	完形	直徑 内孔	厚さ	重さ	E政和通寶 諸書 北宋 1111年	
77-47			骨製品	笄	上端欠損	長径 [19.1]	幅2.5	0.3		b. 髪簪 E丁寧に研磨
77-48			骨製品	笄	先端欠損	長径 [8.4]	幅2.5	0.3		b. 髪簪 E丁寧に研磨
77-49			漆製品	椀	3/4	6.5	[3.0]		a. 黒色漆 b. 黒色漆 c. 内外面無文 E輪高台	
77-50			漆製品	椀	[4.3]	[2.5]	1		a. 解き繩	
77-51			木製品	櫛状	22.3	0.5	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-52			木製品	櫛状	22.3	0.4	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-53			木製品	櫛状	21.8	0.7	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-54			木製品	櫛状	21	0.5	0.3		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-55			木製品	櫛状	20.6	0.5	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-56			木製品	櫛状	20.6	0.5	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-57			木製品	櫛状	20.3	0.7	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-58			木製品	櫛状	21	0.7	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な曲取り	
77-59			木製品	櫛状	17.5	0.6	0.5		E曲ね木彫形	
77-60			木製品	櫛状	18.6	0.5	0.4		E曲ね木彫形 E複数の面取り	
77-61			木製品	中筋	28.4	1.1	0.5		E大きめ棒	
77-62			木製品	中筋	28.4	0.7	0.4		E曲ね木彫形 E丁寧な形状	
77-63			木製品	枝状	[18.8]	0.3~5.2	0.5~0.9		E曲ね木彫形 E丁寧な形状	
77-64			木製品	枝状	[18.0]	0.3~5.3	0.4~0.6		E曲ね木彫形 E丁寧な形状	
77-65			木製品	用法不明	19.5	4.6	1		E中央に鋸歯状に思しき孔あり	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目	他
						口径	底径	高さ		
77-66			木製品	用途不明		9.5	2.5 ~ 3.0	0.7 ~ 2.1	c 形成、整形	b 土、素地、材質 c 色調 d 銅錫 e 燐成 h 砂考
77-67			木製品	用途不明		9	2.2	1.8	f 棚板	g 離部を削り出している / 棚板
78-1			土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.8	6.8	3.4	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-2			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(11.6)	(7.2)	3.2	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-3			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/2弱	(10.3)	(6.4)	3.2	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-4			土製品	ロクロ かわらけ(中)	5/6	10.2	5.9	3.1	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-5			土製品	ロクロ かわらけ(中)	ほぼ完形	7.5	4.4	1.9	重さ 31.3	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色
78-6			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(6.0)	1.6	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-7			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.6)	(4.7)	1.9	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-8			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.3	4.9	1.8	重さ 45.5	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色
78-9			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	7.5	5.0	2.0	重さ 50.2	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色
78-10			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.4	5.6	1.7	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-11			土製品	ロクロ かわらけ(小)	完形	8.0	5.4	2.0	重さ 61.6	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色
78-12			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.5	5.0	1.7	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-13			土製品	ロクロ かわらけ(大)	4/5	12.2	7.4	3.3	a 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状底座 b 微砂 / 雪母 / 白色粉 / 白色	b 海綿骨付 / 泥岩粒 粗上 c 黄灰色 e 良好
78-14			陶器	片口跡 1型	口縁部	—	—	[8.6]	a 縫合跡 1型	b 体部外側に位回転へラ側り b 黄色 砂粒 / 長石 / 石英 c 黄色 d 上口部間に灰緑色の自然隣灰 e 硬質 f 内面摩滅
78-15			陶器	片口跡 1型	口縁部	—	—	[6.0]	a 縫合跡 1型	b 黒色
78-16	6a		陶器	片口跡 1型	底部	—	(12.6)	[4.0]	a 縫合跡 1型	b 体部外側に位回転へラ側り b 黄色 砂粒 / 長石 / 石英 c 黄色 d 上口部間に灰緑色の自然隣灰 e 硬質 f 内面摩滅 sb 型式 76-7
78-17			陶器	片口跡 1型	底部	—	(10.6)	[3.1]	a 縫合跡 1型	b 体部外側に位回転へラ側り b 黄色 砂粒 / 長石 / 石英 c 黄色 d 上口部間に灰緑色の自然隣灰 e 硬質 f 内面摩滅 sb 型式 76-7
78-18			石製品	鋸	海部小片	長さ [32.1]	幅 [0.6]	厚さ [0.9]	c 灰暗色	d 灰暗色
78-19			石製品	鋸	4/2	直径 4.4	内丸 0.8	1.2	15.3	a 褐色 b 7/2 手工切割 c キズ観者 d 丁寧な成形
78-20			石製品	滑石 滑石用工具	長さ [52.2]	幅 3.6	厚さ 0.9 ~ 1.1	重さ 33.1	a 滑石の口縁部使用か ノミ状工具 b 黑灰色 c 褐色	d 表面に 0.5cm / 0.5cm の花文 / 斜面に花文の跡目 e 西洋滑石
78-21			骨製品	用途不明 加工者	残存長 [6.7]	幅 2.8	厚さ 1.4	—	a 斜面切跡 b 槌部分に加工	c 黄色 d 上口部間に灰緑色の自然隣灰 e 硬質 f 内面摩滅
78-22			鉄製品	鉗金具	一部欠損	長さ [4.1]	幅 0.4	厚さ 0.3	—	a 斜面切跡角形に鍛造 b 先端斜角に曲がる
78-23			銅製品	鉗	一部欠損	内丸 2.5	幅 0.8	厚さ 0.3	—	a 黒無元貫頭 b 北宋 1068年
78-24			銅製品	鉗	完形	内丸 2.5	幅 0.8	厚さ 0.3	—	a 黒無元貫頭 b 成化元年實 真物 c 北宋 998年
78-25			銅製品	鉗	完形	直径 2.4	幅 0.7	厚さ 0.3	重さ 3.3	a 黒無元貫頭 b 北宋 1068年
78-26			木製品	段状	18.8	1.3	0.6	—	—	a 斜面切跡
78-27			木製品	段状	22.8	0.5	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-28			木製品	段状	22.6	0.6	0.7	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な面取り
78-29			木製品	段状	22.1	0.6	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-30			木製品	段状	21.4	0.6	0.4	—	—	a 斜面切跡 b 丁寧な面取り
78-31			木製品	段状	21.6	0.8	0.5	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な整形
78-32			木製品	段状	20.5	0.8	0.6	—	—	a 斜面切跡
78-33			木製品	段状	21.6	0.5	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-34			木製品	段状	20.3	0.6	0.5	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な面取り
78-35			木製品	段状	20.9	0.8	0.5	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な整形
78-36			木製品	段状	21	0.6	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-37			木製品	段状	21	0.8	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-38			木製品	段状	20	0.6	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-39			木製品	段状	20.2	0.6	0.4	—	—	a 斜面切跡
78-40			木製品	段状	19.3	0.6	0.5	—	—	a 斜面切跡
78-41			木製品	段状	19	0.7	0.5	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な整形
78-42			木製品	段状	18.7	0.7	0.4	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な整形
78-43			木製品	段状	18.2	0.7	0.5	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な面取り
78-44			木製品	段状	18.3	0.8	0.4	—	—	a 斜面切跡 / 丁寧な面取り

番号	出上 面	番號 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	観察項目		
29-45			木製品	彫刻		11.8	a: 形成、整形 b: 施工。漆地、材質 c: 色調 d: 摘調 e: 燐成 f: 番考		
29-46			木製品	串状		24.6	f: 異面方形		
29-47			木製品	串状		23.1	1	0.7	f: 端部修理 / 斷面不正方形
29-48			木製品	串状		24.4	0.9	0.5	f: 異面扁平
29-49			木製品	串状		19.7	1.1	0.9	f: 無面部 / 異面端板 / 灰引き棒
29-50			木製品	用途不明		18	1.4 ~ 2.5	0.5 ~ 1.7	f: 柄丸 / 端部焼付に削り出し
29-51			木製品	用途不明		4.3	往 1.4	—	f: 端部削り出し / 異面焼付 / 丁寧な整形
29-52			上製品	ロクロ かわらけ (大)	完形	12.1	7.2	3.1	重き a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 全体的に黒い変色
29-53			上製品	ロクロ かわらけ (大)	4/5	12.6	6.8	3.8	a: 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央粗上 c: 黄褐色 e: 良好
29-54			上製品	ロクロ かわらけ (小)	往復定形	7.6	4.4	1.8	重さ 3 a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央粗上 c: 黄褐色 e: 良好
29-55			上製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	6.7	4.9	1.3	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 黑色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上縁部削り丸め
29-56			上製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.8	5.5	1.9	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 黑色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上縁部削り丸め
29-57	6a		磁器 青磁 透青文柄	底部片	—	(3.4)	[3.6]	動物部外側に刷毛の跡目と刷毛文 端台幅小さく 全面施釉後高台部周囲凹部を削り取り 端台焼付 條壓模様 e: 美品 施釉やねじれ 七宝空塗装部の端部に沿う	
29-58			磁器 透青文柄、蓋	1/5	95.8 (8.6)	11.8	1.6	b: 黄色、黒色系 勝負壓模 端台焼付 手透明 施釉やねじれ 施釉 / 空気あり	
29-59			陶器 窓沿 裏	口縁部片	—	[7.0]	2.0	f: 異面 a: 磨耗み技術 外面黑色 / 黑色系 / 黑色系 / 石英 c: 黄褐色 d: 口縁にモリモリ一色の自然降露 e: 破損 f: 6~6.5型	
29-60			陶器 窓沿 蓋	口縁部片	(6.8)	—	[4.1]	a: 磨耗み技術 外面黑色 / 黑色系 / 砂粒 / 白色系 / 石英 c: 黄褐色 d: 口縁部内側に周囲の自然降露 e: 破損 f: 6.5型	
29-61			陶器 窓沿 片口跡 1期	底部片	—	(11.9)	[4.2]	a: 磨耗み技術 外面全体下端にくざす調子 貼合高台 b: 黄色 砂粒 / 白色系 / 黑色系 / 石英 c: 黄褐色 e: 良好 上口縁部渦	
29-62			漆製品 漆	脚部片	—	—	—	a: 黑色系 b: 黑色系 c: 内面漆付 漆色系 / 手描き d: 番付文 (花文 / 織紋) e: 磨耗み技術 f: 7.5型	
29-63			漆製品	皿	往復定形	8.6	6.8	0.9	a: 黑色系 b: 黑色系 c: 内面漆付 漆色系 / 手描き d: 番付文 (赤色系 / 黑色系) d: 磨耗み技術 e: 磨耗み技術 f: 無高台
29-64			木製品	彫刻		19.5	0.7	0.5	f: 異面直角形 / 丁寧な整形
29-65			木製品	彫刻		18.7	0.7	0.4	f: 異面直角形
29-66			木製品	串状		22.7	0.7	0.5	f: 異面直角形 / 丁寧な彫り
29-67			木製品	串状		27	1	0.5	f: 大きい棒 / 棒状直角形
29-68			木製品	串状		27.7	0.9	0.9	f: 異面直角形
29-69			木製品	栓		(12.7)	0.3 ~ 2.9	0.3 ~ 0.4	f: 片側斜角に彫刻 / 異面端部彫刻
29-70			木製品	用途不明		9.3	9.1	0.2	f: 端部斜角を呈する / 異面が薄く用途不明
29-71			木製品	用途不明		3	3.3	3	f: 端材か
81-1	道機外		上製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.4	5.2	1.6	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央良上 c: 黄褐色 e: 良好
81-2			上製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.2	5.5	1.7	a: 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 海綿骨質 / 配筋柱 / 小石粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 口縁部打ひき
81-3			上製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.8	5.3	1.5	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 / 小石粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上口縁部打ひき
81-4			磁器 青磁透青文柄 転用品	底部片	—	(4.8)	[2.9]	b: 黄白色 真直壓模 端部斜角 b: 黄褐色 施釉やねじれ 七宝空塗装系青磁頭型	
81-5			上製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	12.6	7.6	3.4	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 口縁部打ひき
81-6			上製品	ロクロ かわらけ (大)	往復定形	12.4	7.3	3.7	重さ 3 a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 黑色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 / 小石粒 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上口縁部一部押出
81-7	6b		上製品	ロクロ かわらけ (大)	2/5	(12.3)	(7.7)	3.4	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 中央良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上口縁部打ひき
81-8			上製品	ロクロ かわらけ (小)	2/3	7.9	5.2	1.6	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 上口縁部打ひき
81-9			上製品	ロクロ かわらけ (小)	往復定形	7.7	5.1	1.8	重さ 3 a: 内底ナメ 外底回転止め切 (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 f: 口縁部打ひき
81-10			上製品	ロクロ かわらけ 化粧用品	長 3 [3.7]	幅 [7.9]	厚 3 0.9	—	a: 内底ナメ 外底回転止め (右) 板状压痕 b: 異面 / 雪母 / 赤色系 / 海綿骨質 / 配筋柱 やや良上 c: 黄褐色 e: 良好 f: はす口押出
81-11			磁器 綿透青文小枝	口縁部片	(10.5)	—	[4.0]	a: ロクロ底模 b: 黄色 真直壓模 端部斜角 b: 黄褐色 施釉やねじれ 七宝空塗装系青磁頭型	
81-12			磁器 透青文柄	底部片	—	(5.4)	[2.0]	a: ロクロ底模 b: 黄色 真直壓模 端部斜角 b: 黄褐色 施釉やねじれ 七宝空塗装系青磁頭型	
81-13			陶器 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[3.9]	a: 磨耗み技術 b: 黄褐色 砂粒 / 白色系 / 黑色系 c: 黄褐色 e: 磨質 f: 6.1型式	
81-14			陶器 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[2.7]	a: 磨耗み技術 b: 黄褐色 砂粒 / 白色系 / 黑色系 / 石英 c: 黄褐色 e: 良好 f: 6.7型式	
81-15			陶器 片口跡 1期	口縁部片	—	—	[5.3]	a: 磨耗み技術 b: 黄褐色 砂粒 / 白色系 / 黑色系 / 石英 c: 黄褐色 e: 良好 f: 6.7型式	
81-16		金属性 製品	刀子		長 8 [14.7]	幅 0.7 ~ 1.2	厚 0.05 ~ 0.2	0.1m長×9cm幅 0.7 ~ 1.2 × 厚 0.05 ~ 0.2 cm 奈 5.7 × 幅 1.0 × 厚 0.15 ~ 0.2 cm 刃先光沢	
81-17		金属性 製品	釘	完形	長 8 7.0	幅 0.3	厚 0.3	f: 異面四角形に縫合で縫合着	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
81-18	東 側 構成 土	漆製品	楕	はざ形	14.5	7.4	5.2		a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面無文 e: 梵高台
81-19		漆製品	楕	1/5	—	(7.8)	(4.5)		a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面無文 e: 梵高台
81-20		木製品	筒物	—	7.2	6.4	1		f: 施板付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となりやや曲線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 不明 滑感あり
81-21		木製品	草履芯	—	24.5	11.2	0.4		f: 施板付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となりやや曲線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 不明 滑感あり
81-22		木製品	草履芯	—	24	[11.0]	0.4		f: 施面付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となり直線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 前方に深く切り込む平行凹凸形
81-23		木製品	筒状	—	20	0.8	0.5		f: 施面付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となり直線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 不明 滑感あり
81-24		木製品	筒状	—	23.5	0.7	0.7		f: 施面付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となり直線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 不明 滑感あり
81-25		木製品	筒状	—	22.9	0.5	0.4		f: 施面付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となり直線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 不明 滑感あり
81-26		木製品	筒状	—	20.8	0.6	0.5		f: 施面付(後端) 漆: 合わせの部分が最前端となり直線的/端部に小孔開け部/曲線的 切り込み部: 不明 滑感あり
81-27		木製品	用具不明	—	17.5	3	0.5		f: 建築材か 施用材軸用品
81-28		木製品	用具不明	—	11	2.5	0.2		f: 端造か 施用材軸用品
81-29		木製品	用具不明	—	36	4.3	1.5		f: 端部付小孔二所 表面に刃物によって円形の跡みが見える 狹状を呈するが用具は不明
82-30	西 側 構成 土	上製品	ロクロ	—	3/4	(12.7)	7.1	3.8	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-31		上製品	ロクロ	—	3/4	12.0	6.8	3.2	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-32		上製品	ロクロ	—	1/2	(8.0)	(5.0)	1.55	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-33		上製品	ロクロ	完形	7.6	5.0	1.7	重さ	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-34		上製品	ロクロ	完形	7.6	5.0	1.6	重さ	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-35		上製品	ロクロ	完形	7.0	5.1	1.6	重さ	a: 内底ナメ 外底回転系切 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-36		上製品	ロクロ	完形	7.5	5.7	1.6	重さ	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂 海綿骨片/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-37		上製品	ロクロ	完形	7.4	7.2	4.5	1.7	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付
82-38		上製品	ロクロ	完形	2/3	(7.4)	(5.9)	1.7	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥付/白色粒/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-39		上製品	ロクロ	完形	3/4	4.6	3.4	0.9	a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂 海綿骨片/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好
82-40		陶器	青釉 盤	底部片	—	—	[9.5]		a: 脱脂な盤 b: 底へ青釉付 青砂 白色粒/黒色粒 サラザラした粗面 c: 間隔で灰陶色 d: 内底へ外底上部に青釉 内面に泥粒・滑感で脂付り e: 良好 f: 穴立付
82-41	ob	石製品	砾石 中盤	長辺	4.8	4.6	1.2~1.6	厚さ	a: 表裏側4面使用 b: 脱灰岩 c: 赤橙色~白のマーブル状(表面は灰色) b: 1/2
82-42		鉄製品	釘	完形	12.5	0.4	0.7	厚さ	a: 無凹内形状に鍛造 通路を平らに叩きのばし、折り曲げる 鍛付着4寸釘
82-43		鉄製品	釘	完形	8.5	0.4	0.3	厚さ	a: 無凹内形状に鍛造 通路を平らに叩きのばし、折り曲げる 鍛付着4寸釘
82-44		鉄製品	釘	完形	8.5	0.5	0.3	厚さ	a: 無凹内形状に鍛造 通路を平らに叩きのばし、折り曲げる 鍛付着4寸釘
82-45		漆製品	楕	底部片	—	(6.80)	(4)		a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面無文 e: 梵高台
82-46		漆製品	楕	底部片	—	(6.22)	(1.6)		a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面無文 e: 梵高台
82-47		漆製品	口縁部小 片	—	—	—	—		a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面無文/赤色系漆/スタンプ 正: 内外面: 四方の枠の中に入花・忍冬・配置不明 e: 不明
82-48		漆刷の跡か	—	—	7.4	4.4	1		f: 施跡付(側面) 施面付等な整形
82-49		漆刷	—	—	[17.9]	[8.0]	[2.0]		f: 遺存状態が悪い
82-50		木製品	筒状	—	22.7	0.8	0.4		f: 整たる形
82-51		木製品	筒状	—	22.5	0.6	0.6		f: 施面方形
82-52		木製品	筒状	—	21.8	0.5	0.4		f: 施面不正円形 丁寧な面取り
82-53		木製品	筒状	—	21.5	0.4	0.4		f: 施面方形
82-54		木製品	筒状	—	20.8	0.2	0.5		f: 施面方形
82-55		木製品	筒状	—	20.5	0.7	0.6		f: 整たる形
82-56		木製品	筒状	—	20.2	0.6	0.4		f: 施面方形
82-57		木製品	筒状	—	17.7	0.6	0.6		f: 施面不正円形 丁寧な面取り
82-58		木製品	用具不明	—	[22.8]	4.7	1.8		f: 建築材か
83-59	構 成 土	上製品	ロクロ	3/4	(13.7)	(7.1)	3.7		a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好
83-60		上製品	ロクロ	1/2	12.4	7.3	3.3		a: 内底ナメ 外底回転系切 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好
83-61		上製品	ロクロ	1/2	(12.8)	(7.7)	3.6		a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好 f: 内底黒く變色
83-62		上製品	ロクロ	2/3	(11.3)	(6.5)	3.8		a: 内底ナメ 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/黒色粒/赤色粒/海綿骨片/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好 f: 内底黒く變色
83-63		土製品	ロクロ	3/4	(7.4)	(4.4)	1.6		a: 内底ナメ (ロクロ)内側) 外底回転系切(右) 板状压痕 b: 滑砂/雲母/赤色粒/泥粒付/小孔付 c: 滑感 e: 良好 f: 内底黒く變色
83-64		漆刷	白磁 11.5丸碗	—	—	—	[4.5]		f: ロクロ形容 両縁巻の2条縫と縁下に朱模ぐる 平高台 b: 灰白 灰色 黑色地汚い d: 青味灰白色 不透明感 軸剥離付 体部下位 -底部墨跡 b: 元のものか?
83-65		漆製品	楕	—	[3.5]	[6.7]	1		f: 解き鶴
83-66		木製品	筒状	—	23.5	0.6	0.5		f: 施面方形
83-67		木製品	筒状	—	23.7	0.5	0.5		f: 施面方形

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm/g)			整理項目		
						11枚	8枚	温高	他		
83-68	焼成 土の 施	木製品	焼粧			21.5	0.6	0.5	b) 海綿方形	a) 成形、整型 b) 砂土、素地、材質 c) 色調 d) 錆調 e) 燃成 在備考	
83-69		木製品	焼粧			21.8	0.6	0.4	b) 海綿方形		
83-70		木製品	焼粧			21.7	0.6	0.4	b) 海綿方形		
83-71		木製品	焼粧			21.8	0.6	0.4	b) 海綿方形		
83-72		木製品	中抜			26.3	0.8	0.7	b) 海綿不正四角形、丁寧な面取り		
83-73		木製品	建築材			33.8	3.2	1.3	b) 錆跡が残る。縫(長さ4.5cm/幅0.4cm/厚さ0.4cm)		
83-74		木製品	用途不明		[5.2]	移1.4	直径0.3		c) 中央を貫通する孔あり / 工具のか		
		ガラス片	小片		長3 幅3 厚3	2.0	0.2		c) パラト色		
86-1	43	上製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.2	4.6	[1.65]		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 微砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好 e) 口沿部油煙 半圓形に加工		
86-2		上製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.9	5.0	2.0		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好 e) 口沿部一方に強明 な凹溝があり、反対側に打ち欠き2ヶ所		
86-3		陶器	青磁 片口持手	口縁部小 片	—	—	[4.0]		b) 磁柱みだれ法 b) 灰色 稀に 黒紋 白色粒 小石粒 c) 灰色 e) 硬質 fusa 性質		
86-4		石製品	磨石 住土砾	小片	長3 [8.6]	幅3 3.2	厚3 1.7		a) 表裏2面使用 滑側面は产地加工版片側面に刀物による抉り痕か b) 海綿岩 c) 淡黄色灰 黑褐色		
86-5		木製品	月刀鞘		19.1	2.5	0.4		b) 月片の有無		
86-6		木製品	焼粧		20.1	0.8	0.5		b) 海綿方形 / 席な面取り		
86-7		木製品	焼粧		20.4	0.8	0.6		b) 海綿方形 / 席な面取り		
86-8		木製品	焼粧		19.9	0.6	0.4		b) 海綿不正四角形 片端部焼板		
86-9		木製品	用途不明		7.5	4.8	2.9		e) 端材か		
86-10	北 西 西 鍋 成 土	上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	[12.4]	(7.2)	3.8		a) 内底ナラテ 外底回転余切 板状圧痕 b) 微砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好		
86-11		上製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.8	5.2	1.8		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/海綿 骨針 やや粗上 c) 雲母色 e) 良好		
86-12		上製品	ロクロ かわらけ(小)	4/5	7.9	5.0	1.7		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好		
86-13		磁器	青磁 湯過ぎ支文網	口縁部小 片	—	—	[4.1]		a) ロクロ法 b) 黑褐色 稀に良質灰 在底部透明感 稀 黒い c) 嵌頭 e) 龍泉窯系青磁頭理型		
86-14		磁器	青磁 底部一部 湯過ぎ支文網	—	—	5.8	[2.85]	a) ロクロ法 b) 棕褐色 黑褐色 稀良質灰 在底部灰半透明感 稀 黒い c) 嵌頭 e) 龍泉窯系青磁頭理型			
86-15		陶器	青磁 片口持手	口縁部小 片	—	—	[2.6]		a) 磁柱みだれ法 b) 明灰灰 砂粒/白色粒/灰/白灰/白石粒 c) 明灰灰 e) fusa 式型		
86-16		陶器	青磁 山茶柄	口縁部小 片	—	—	[2.0]		a) ロクロ法 b) 棕灰色 砂粒/白色粒/灰/白灰/白石粒 c) 棕褐色 e) fusa 式型 硬質 磁化が劣る後段により口縁が褐色を呈す		
86-17		石製品	滑石製 温石台	小片	長3 [6.9]	幅3 5.2	厚3 1.4		c) 灰褐色 b) 内底面 / 口縁片面にノミ工具による削りや彫り 滑状模様あり 裏 面に灰褐色付着物		
86-18		石製品	滑石 住土砾	小片	長3 [5.1]	幅3 2.2	厚3 0.8		c) 表裏1面(裏剥離) 小口 / 口縁面生産地加工前 b) 海綿岩 c) 灰色 不 透明か		
86-19	7	鐵製品	刀子	切先大斜	長3 [20.4]	幅3 1.8	厚3 0.1~0.5	37.5	d) 斧刃の残存 [9.3] cm 斧刃は基より短い		
86-20		鐵製品	釘		長3 [6.7]	幅3 0.6	厚3 0.6	2.9	e) 海綿四角形に鍛造 結付着		
86-21		骨製品	用途不明 加工工具	完形	直径 0.8~1.1	—	—	3.1	f) 丁寧な削りと巻きが施される		
86-22		木製品	焼粧		23.4	0.6	0.5		b) 海綿方形		
86-23		木製品	焼粧		29.5	0.5	0.4		b) 海綿方形		
86-24		木製品	焼粧		20	0.6	0.4		b) 海綿方形		
86-25		木製品	用途不明		34	4.4	2.4		b) 海綿方形		
86-26		上製品	かわらけ(大)	1/3	[13.8]	8.4	3.4		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針 上白 c) 棕褐色 e) 良好		
86-27		上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	[12.8]	(7.0)	3.9		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針 上白 c) 棕褐色 e) 良好		
86-28		上製品	ロクロ かわらけ(大)	口縁~底 部分	[13.0]	(8.0)	3.0		a) 内底ナラテ 外底回転余切 体部に2条の溝みぐる b) 間砂/雲母/赤色 粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好		
86-29		上製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.4	7.2	3.05		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 小石粒 相上 c) 棕褐色 e) 良好		
86-30		上製品	ロクロ かわらけ(大)	2/3	12.6	8.2	3.1		a) 内底ナラテ 外底回転余切 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 相上 c) 棕褐色 e) 良好 b) 内外面の一部 黒く変色		
86-31		上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	[11.6]	(7.4)	3.2		a) 内底ナラテ 外底回転余切 b) 間砂/雲母/赤色粒/白色 粒/海綿骨針/泥岩粒 相上 c) 棕褐色 e) 良好		
86-32		上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(6.6)	1.5		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好		
86-33		上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.8)	(5.4)	1.4		a) 内底ナラテ 外底回転余切 強い板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好 b) 内外面のく一部 黒く変色		
86-34		上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	7.7	5.8	1.7		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好 b) 内外面のく一部 黒く変色		
86-35	北 東 鍋 成 土	上製品	ロクロ かわらけ(小)	ほり定形	7.5	5.2	1.65	50.5		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好 b) 内外面のく一部 黒く変色	
86-36		上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.8	5.2	1.75		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 やや粗上 c) 棕褐色 e) 良好 b) 内外面のく一部 黒く変色		
86-37		上製品	ロクロ かわらけ(小)	2/3	7.7	5.4	1.5		a) 内底ナラテ 外底回転余切(右) 板状圧痕 b) 間砂/雲母/赤色粒/白 色粒/海綿骨針/泥岩粒 相上 c) 棕褐色 e) 良好		

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
86-38			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/2	7.8	5.0	1.8	a: 形成、整形 b: 船底、素地、材質 c: 色調 d: 摘調 e: 燃成 f: 烧土 g: 砂考
86-39			土製品	ロクロかわら け 転用品	一部欠損 [10.1]	直径	—	厚さ 0.6~0.8	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/海綿骨粉/泥質骨粉/金剛石 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: E 内外面の一部黒く変色
86-40			磁器	青白磁 樹脂	刷部片	—	—	[4.3]	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/白色 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: E 内外面の一部黒く変色
86-41			磁器	白磁 口縁	口縁部小 片	—	—	[3.3]	a: 白磁 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 不透明感 気泡 気泡 d: 口縁部刷毛形 e: 基盤白色 精良堅密 f: 表白色+透明感 抹削層 g: 破片 h: 口縁部X-型
86-42			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[6.9]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 不透明感 気泡 気泡 d: 口縁部刷毛形 e: 基盤白色 精良堅密 f: 表白色+透明感 抹削層 g: 破片 h: 口縁部X-型
86-43			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[2.1]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-44			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[5.9]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-45			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[2.3]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-46			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[2.6]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-47			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[6.3]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-48			陶器	常滑 黒	口縁部片	—	—	[5.7]	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-49	北東 壁 成土 層		瓦質 火鉢	口縁~底 部片	1/2	12.2	5.0	4.1	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-50			瓦質 火鉢	口縁~底 部片	—	—	—	10.4	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-51			石製品	滑石 温玉	長さ [13.5] [13.1]	幅 厚さ [2.0]	—	—	a: 線目 b: 砂粒 精良堅密 c: 滴状灰斑 fia 型式
87-52			鉄製品	釘	長さ [5.5]	幅 厚さ [0.5]	重さ [0.6]	4.2	a: 純曲面四角形に鍛造 結付着
87-53			木製品	草履芯	24.3	10	2		a: 先端 (後脚) 深: 直線的/内凹せき部分が最も端となる/先端に小丸あり b: 後端 (前脚) 曲線的/切り落し部/平行四辺形の下方に深く切り落し/基部あり
87-54			木製品	草履芯	23	10	2		a: 先端 (後脚) 深: 直線的/内凹せき部分が最も端となる/先端に小丸あり b: 後端 (前脚) 曲線的/切り落し部/平行四辺形の下方に深く切り落し/基部あり
87-55			木製品	草履芯	23.1	9.8	0.4		a: 先端 (後脚) 深: 合せたて部の分から側縫部のかけたみをむびる/合わせ部は最末端より切りこむ/先端部小丸 縫縫部: 曲線的 切り取り部: 平台/扇形あり
87-56			木製品	呪符	22.1	2.8	0.2~0.5		b: 平面一面に切り込みが残る 片面の身に墨書き/麻糸糸束子様之也の急忙
87-57			木製品	棒状	23.1	0.6	0.5		c: 平面
87-58			木製品	箸状	23.1	0.5	0.4		d: 平面方形
87-59			木製品	箸状	22.8	0.6	0.5		e: 平面方形
87-60			木製品	箸状	21.6	0.8	0.5		f: 平面方形
87-61			木製品	箸状	21.7	0.8	0.4		g: 平面方形
87-62			木製品	箸状	21.5	0.7	0.5		h: 平面方形
87-63			木製品	用途不明	[14.3]	[6.6]	0.7		i: 機械/端部焼焦
87-64			木製品	用途不明	[32.5]	[3.5]	[3.3]		j: 全体が火で受けて炭化/一部鉄釘が木材に刺された状態で遺存/鉄釘: 長さ 3.5cm 幅さ 0.3mm 厚さ 0.3
88-65	南 壁 成土 層		土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/2	12.2	7.5	3.1	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/海綿骨粉/泥質骨粉/金剛石 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好
88-66			土製品	ロクロ かわらけ (大)	3/4	12.0	8.6	3.4	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/黑色 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-67			土製品	ロクロ かわらけ (大)	1/2	11.9	7.5	3.6	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (左) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/海綿骨粉/泥質骨粉/金剛石 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-68			土製品	ロクロ かわらけ (中)	2/3	10.3	6.3	3.0	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/海綿骨粉/泥質骨粉/金剛石 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-69			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.9)	(6.0)	1.5	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (左) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/海綿骨粉/泥質骨粉/金剛石 c: 黄褐色 e: 良好
88-70			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(7.6)	(5.0)	1.9	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/赤色 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-71			土製品	ロクロ かわらけ (小)	1/3	(6.6)	(4.4)	1.7	a: 内底ナメ 外底回転赤切 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/海綿骨粉 c: 黄褐色 e: 良好
88-72			土製品	ロクロ かわらけ (小)	完形	7.6	4.6	1.8	重合 a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/本色粉/海綿骨粉 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-73			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.6	5.3	1.9	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/海綿骨粉/泥質骨粉 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-74			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	7.7	5.1	1.9	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/海綿骨粉 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-75			土製品	ロクロ かわらけ (小)	5/6	7.8	5.5	1.6	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/赤色 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-76			土製品	ロクロ かわらけ (小)	4/5	8.1	5.0	1.9	a: 内底ナメ 外底回転赤切 (右) 板状圧痕 b: 微砂/雲母/白色粉/海綿骨粉 c: 黄褐色 d: 中央粗重 e: 良好 f: 砂粒
88-77			磁器	青磁 高麗文瓶	11縁部小 片	—	—	[3.5]	a: ロクロ 形成 b: 黄褐色 黑色粉被 融合部破壊 d: 青磁色 不透明感 破壊や 剥離と付着

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目	
						口径	底径	高さ		
88-78			陶器	荷物 盤	口縁部片	—	—	[3.5]	a: 成形、整形 b: 脱土、素地、材質 c: 色調 d: 摺調 e: 煙成 f: 烧成 g: 烧土 h: 脱脂 i: 黄褐色	
88-79			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	—	[6.1]	a: 脱脂み抜法 b: 明灰色 c: 白色粒 / 黑色粒 d: 相土 e: 黄褐色 f: 地内 ~ 外面 g: 上層に黄褐色 g: 口部の他は施釉部に試す取りで薄く残る h: 良好 i: 五瓣型	
88-80			陶器	常滑 窯	口縁部片 (27.8)	—	[10.4]	2.8	a: 脱脂み抜法 b: 黄褐色 c: 白色粒 / 黑色粒 d: 相土 e: 黄褐色 f: 地内 ~ 外面 g: 口縁 ~ 外縁部に灰褐色 h: 灰色 c: 白色粒 / 黑色粒 / 黑色粒 / 相土 i: 良好 j: 五瓣型	
88-81			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	—	[11.6]	a: 脱脂み抜法 b: 黄褐色 c: 白色粒 / 黑色粒 d: 相土 e: 黄褐色 f: 地内 ~ 外面 g: 口縁 ~ 外縁部に灰褐色 h: 灰色 c: 白色粒 / 黑色粒 / 黑色粒 / 黑色粒 / 相土 i: 良好 j: 五瓣型	
88-82			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	[2.5]	2.2	a: 脱脂み抜法 b: 黄褐色 c: 白色粒 / 黑色粒 d: 相土 e: 黄褐色 f: 地内 ~ 外面 g: 口縁 ~ 外縁部に灰褐色 h: 灰色 c: 白色粒 / 黑色粒 / 黑色粒 / 黑色粒 / 相土 i: 良好 j: 五瓣型	
88-83			陶器	常滑 窯	口縁部片	—	—	[4.3]	a: 脱脂み抜法 b: 黄褐色 c: 白色粒 / 黑色粒 / 石英 c: 黄褐色 d: 口縁部に自然障壁 e: 良好 f: 硬質 g: 素型	
88-84			上製品	瀬戸内系 上屋瀬窯	口縁部片	2/3	11.0	4.7	3.25	a: 内面 ~ 口縁外縁部に施ナメラ b: 体部外縁下位に頭頂部 g: 斜面切り (腰面) 遊走形 (足見相手) c: 黄褐色 d: 黑色 e: 硬質 f: 小石粒 g: 施釉部に変色 (淡褐色)
88-85	7 構造 十三その他		漆器製品	漆	(6)	(1.8)	[0.3 ~ 0.7]	—	f: 雲形 / 脈の側面に付ける飾り / 黒色漆塗	
88-86			漆器製品	漆	胸部小片	—	—	—	a: 赤色漆塗 b: 黑色漆 c: 内面無文 / 外面漆塗 / 銀葉 (銀くず面で描いたと見える) / 手書き d: 外面 ~ 銀葉 e: 施配が不明 f: 不明 g: 松か / 梶 (皿) の様な施色 h: 純正	
88-87			木製品	下駄	[14.7]	[7.5]	[2.0]	—	f: 連環形 / 駄の状態感動する全形の形状 (足見) g: 部分は丸丸	
88-88			木製品	草履足		23.4	9.8	0.3	a: 先端丸 / 後端丸 / 腹: 右側部分が最先端となり直線的 b: 先端丸小孔あり c: 前後方向に開けた穴 d: 端より込み落 g: 前方に深く切り込む平行四辺形	
88-89			木製品	用具不明		24.8	2.9	1.6	f: 片端部丸あり / 片端部瓶	
88-90			木製品	蓋状		22.5	0.7	0.5	f: 片端部丸あり / 面取り	
88-91			木製品	蓋状		22	0.7	0.6	f: 片端部丸あり / 面取り	
88-92	45 遺構 十三その他		木製品	蓋状		22.1	0.6	0.5	f: 片端部丸あり / 丁寧な面取り	
88-93			木製品	蓋状		21.6	0.6	0.4	f: 片端部丸あり / 面取り	
88-94			木製品	蓋状		21.6	0.5	0.4	f: 片端部丸あり / 面取り	
88-95			木製品	蓋状		21.2	0.6	0.4	f: 片端部丸あり / 面取り	
88-96			木製品	蓋状		[18.0]	0.7	0.6	f: 片端部丸あり / 面取り	
88-97			木製品	用具不明		[19.5]	1.5	1.7	f: 片端部丸あり / 本釘孔が貫通した丸三脚所残る	
88-98			木製品	用具不明		[13.4]	[2.5]	0.6	f: 端部間に丸孔あり / 丸孔あり	
88-99			木製品	蓋状		[7.2]	4.2	4	f: 片端部丸あり / 丸孔あり	
90-1	8 遺構 十三その他	上製品	ロクロ	元形	7.9	4.8	2.0	—	a: 外周輪郭丸出し右 / 板状压痕 b: 粗砂 / 雪雲 / 白色粒 / 海綿状 c: 中心粗砂	
90-2		陶器	常滑 窯	口縁部小 片	—	—	[4.4]	—	a: 脱脂み抜法 b: 黄褐色 c: 白色粒 / 相土 d: 脱脂部付着 e: 良好 f: 硬質 g: 7型式	
90-3		陶器	常滑 窯	口縁部小 片	—	—	[5.1]	—	a: ロクロ法 b: 黄褐色 c: 白色粒 / 粗砂 / 小石粒 / 白色粒 / 長石 / 石英 c: 黄褐色 d: 口縁部に自然障壁 e: 良好 f: 硬質 g: 7型式	
90-4		石製品	砥石 住土砥	長さ [5.0]	幅 3.6	厚さ 0.8	—	—	a: 表裏2面削用 小口内側面生産地加工前 b: 砥状岩 c: 黄褐色 d: 磨溝	
90-5		石製品	滑石 温石	長さ [10.6]	幅 [10.3]	厚さ 1.8	—	—	a: 側面ノゾク工具による削除 b: 黄褐色 c: 磨擦物付着	
90-6		木製品	商物		[14.9]	[9.2]	1	—	f: 片端部丸あり / 丸孔あり	
90-7		陶器	常滑 窯	口縁部片	—	[12.8]	2.6	—	a: 脱脂み抜法 b: 内面衝撃痕 c: 粗砂 / 小石粒 / 海綿状 d: 粗砂 / 長石 / 石英 / 白色粒 e: 中心粗砂	
90-8		石製品	硯	一部欠損	長さ 13.0	幅 1.0	厚さ 0.5	—	b: 粗砂 / 中心粗砂 c: 黄褐色 d: 研磨部を被覆する。中の間の隙間 e: 研磨凹凸状に鍛造 精耐着	
90-9		鉄製品	釘		長さ [10.2]	幅 [0.8]	厚さ 0.7	—	b: 粗砂 / 中心粗砂 c: 黄褐色 d: 研磨部を被覆する。中の間の隙間 e: 研磨凹凸状に鍛造 精耐着	
90-10		鉄製品	釘		長さ [4.8]	幅 [0.4]	厚さ 0.4	—	b: 粗砂 / 中心粗砂 c: 黄褐色 d: 研磨部を被覆する。中の間の隙間 e: 研磨凹凸状に鍛造 精耐着	
90-11		鉄製品	釘		長さ [8.2]	幅 [0.5]	厚さ 0.6	—	b: 粗砂 / 中心粗砂 c: 黄褐色 d: 研磨部を被覆する。中の間の隙間 e: 研磨凹凸状に鍛造 精耐着	
90-12	上製品	銅製品	錢	完形	直径 2.4	内丸 0.8	—	重さ 3.5	f: 無年元 葉書 北宋 1068年	
90-13		漆製品	椀	底部片	—	—	—	—	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 内外面無文 e: 高高右 有内面見込みに跳石を多合せた骨付着	
90-14		木製品	燈明受けか		A9.5 E9.8	A1.3 B1.5	A0.8 B0.8	—	f: 十字の形に組んで使用 / 燈台馬印	
90-15		木製品	蓋状		20.2	0.6	0.3	—	f: 無面方形	
90-16		上製品	ロクロ	元形	4/5	12.2	7.4	3.5	a: 内底ナメラ 外周回転式切 (右) 板状压痕 b: 粗砂 / 雪雲 / 白色粒 / 白色粒 / 小石粒 / 海綿状 c: 中心粗砂	
90-17		上製品	かわらけ (大)	1/4	(8.4)	(5.6)	1.9	—	a: 内底ナメラ 外周回転式切 (右) 板状压痕 b: 粗砂 / 雪雲 / 白色粒 / 海綿状 c: 中心粗砂	
90-18		上製品	かわらけ (小)	3/4	(7.8)	5.4	1.7	—	a: 内底ナメラ 外周回転式切 (右) 板状压痕 b: 粗砂 / 雪雲 / 白色粒 / 白色粒 / 海綿状 / 海綿状計 / 小石粒 c: 中心粗砂	
90-19		上製品	ロクロ	かわらけ (小)	1/3	(7.8)	(5.6)	1.5	a: 内底ナメラ 外周回転式切 (右) 板状压痕 b: 粗砂 / 雪雲 / 白色粒 / 白色粒 / 海綿状計 / 岩呂計 / 小石粒 c: 中心粗砂	
90-20		磁器	青磁 环	底部片	—	(7.8)	[1.5]	—	a: ロクロ成形 b: 黄褐色 - 原黄褐色 黑色粒 / 白色粒 / 海綿状計 / 岩呂計 c: 中心粗砂 d: 粗砂 / 海綿状計 e: 良好 f: 磁器	
90-21		上製品	丸瓦	小片	[7.1]	[7.8]	2.0	—	a: 白面 印き目を丁寧なナメラし 間隔 布目横 / 小切り直し b: 黄褐色 c: 海綿状 / 白色粒 / 小石粒 / 水気滞 c: 黄褐色 d: 黄褐色 e: 布目瓦	
90-22		石製品	滑石 砾用砾	口縁部小 片	—	—	厚さ 3.2	—	a: ノミ状工具による削除付着 b: 黄褐色 c: 海绵状	
90-23		漆製品	皿	3/4	(9.6)	7.2	1.3	—	a: 黑色漆 b: 黑色漆 c: 内外面無文 c: 無高台	
90-24		木製品	蓋状		11.2	0.6	0.4	—	b: 片端部扁平に削り出している / 無面方形	
90-25		木製品	蓋状		24.6	0.5	0.5	—	c: 無面不正確形 / 薄な曲面	

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm/g)	調査項目			
							a: 成形、整形 b: 施工、漆付 c: 色調 d: 植物 e: 燃成 f: 破片			
90-26			木製品	骨状	11枚	23.5 0.5 0.4	f: 磨面方形			
90-27			木製品	骨状	23.2	0.8 0.5	f: 磨面方形			
90-28			木製品	骨状	22.9	0.8 0.4	f: 磨面方形			
90-29			木製品	骨状	22.6	0.7 0.5	f: 磨面方形			
90-30			木製品	骨状	22.2	0.5 0.3	f: 磨面方形			
91-31			木製品	骨状	20	0.8 0.5	f: 磨面不規方形/複数の面取り			
91-32			木製品	骨状	17.9	0.6 0.5	f: 磨面不規形/丁寧な面取り			
91-33			木製品	骨状	18	0.4 0.4	f: 磨面方形			
91-34			木製品	串状	29	1.1 0.7	f: 磨面方形			
91-35			木製品	用途不明	[7.6]	2.4 0.4	f: 磬片か			
91-36			木製品	用途不明	[8.2]	1.8 0.5	f: 片面に溝みを残り出している/納か			
91-37			木製品	用途不明	[9.5]	1.5 1.3	f: 磨面不規形/複数の面取り/片端部削り出し/製作途中か			
91-38			木製品	用途不明	9.7	1.7 0	f: 磨面方形			
91-39			木製品	用途不明	[14.3]	1.1 0.6	f: 磨面方形/丁寧な面取り			
91-40			木製品	用途不明	13.4	1.3 0.9	f: 磨面方形			
91-41			木製品	用途不明	5.5	[2.0] 0.2	f: 加工途上か			
91-42			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.2) (7.8)	3.4	a: 内底ナメ 外周同軸系切 板状压痕 b: 微砂/雲母/赤色粒/白色粒 c: 黄褐色 e: 良好		
91-43			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/2	(12.8)	8.0	3.7	a: 内底ナメ 外周同軸系切 c: 開砂/雲母/赤色粒/白色粒/泥岩片 b: 微砂/雲母/赤色粒/白色粒/泥岩片/やや粗粒 c: 良好 f: 外面黒く変色	
91-44			土製品	ロクロ	1/4	(9.8)	(5.8)	3.35	a: 内底ナメ 外周同軸系切 (右) b: 微砂/雲母/赤色粒/海綿骨片 真上 c: 黄褐色 e: 良好	
91-45			土製品	かわらけ(中)	1/8	7.8	5.6	1.8	a: 内底ナメ 外周同軸系切 (右) b: 微砂/雲母/赤色粒/海綿骨片/やや粗 c: 黄褐色 e: 良好	
91-46			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(8.2)	(5.4)	1.55	a: 内底ナメ 外周同軸系切 板状压痕 b: 微砂/雲母/白色粒/海綿骨片 c: 黄褐色 e: 良好 f: 外周表面に白い斑点	
91-47			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	(7.8)	(5.6)	1.7	a: 内底ナメ 外周同軸系切 (右) b: 板状压痕 c: 微砂/雲母/白色粒/海綿骨片 d: 黄褐色 e: 良好 f: 外周表面に白い斑点	
91-48			陶器	香炉?	底部片	[7.4]	[4.1]	[1.2]	b: 灰白色 黑褐色 精良焼成 小石青綠色 半透明質 貫入 三脚の足 (星に丸印あり) 並びに粗面は蓋か	
91-49			陶器	常滑	口縁部片	—	—	[9.0]	b: 磨面み c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 型式	
91-50			陶器	常滑	裏	—	—	[6.3]	b: 磨面み c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 型式	
91-51	8		陶器	常滑	裏	口縁部片	—	—	[5.6]	b: 磨面み c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 型式
91-52			陶器	常滑	裏	口縁部片	—	—	4.7	a: 磨面み b: 黑灰色 砂粒/長石/石英 白色粒/小石粒 c: 磨面み d: 口縁部に黒褐色の自然焼成 e: 硬質 f: 型式
91-53			陶器	常滑	裏	口縁部片	(10.4)	—	[4.4]	a: 磨面み b: 黑灰色 砂粒/長石/石英 黑褐色 c: 硬質 f: 外周に格子状スクラ b: 磨面み c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 型式
91-54			土器	常滑	火炎	口縁部片	—	—	[5.2]	a: 磨面み b: 磨面み c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 型式
91-55			土製品	陶器系 底部	—	—	—	—	—	b: 灰白色 e: 手質しない f: 丸印あり
91-56			土製品	陶器系 底部	—	4.4	1.3	—	—	b: ロクロ型 c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 型式
91-57			石製品	礫石 中堅	長さ [12.0]	幅 3.6	厚さ 2.6	—	—	a: 表面粗面 4面削 b: 硬質岩 c: 黄褐色灰白色 d: 有野(羽州山) e: 生成地は土仕上にして置きかれるが、建設では引張りとして使用された可能性。 f: 表面両面使用 (他は赤端)
91-58			石製品	礫石 中堅	長さ [7.6]	幅 7.3	厚さ [3.7]	—	—	b: 磨面み c: 磨面み d: 磨面み e: 磨面み f: 表面浮き出している
91-59			鉄製品	釘	長さ 5.8	幅 0.4	厚さ 0.4	—	—	f: 磨面外形状に鑽造 結付筋微細
91-60			木製品	木	下駄	15.1	7.7	1.1	—	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 外面漆塗赤色系漆/スタンプ d: 内外面:向 かい漆色 意匠性不明 e: 不規則 f: 小孔のため全体の意匠配置は不明だ が、内底は丁寧に施文(左)へ、外側の施文は不明間に間に施文され る。漆面は白い。右端に小孔がある。表面:高さ [16.0]/ 幅 [22.0] 前脚部欠損。子供 用衣装の取扱い
92-61			木製品	木	骨状	22.6	0.7	0.7	—	—
92-62			木製品	骨状	21.5	0.5	0.4	—	—	
92-63			木製品	骨状	21	0.6	0.5	—	—	
92-64			木製品	骨状	21	0.7	0.5	—	—	
92-65			木製品	建蔽材	29	4.3	3.8	—	f: 磨面外形像	
92-66			木製品	杭	[21.3]	[5.7]	3.1	—	f: 磬部外観	
92-67			木製品	杭	[25.2]	8.2	0.7	—	f: 丸孔を残している	
92-68			木製品	用途不明	[27.2]	0.1	0.7	—	f: 磬部外観的に残り出し	
92-69			木製品	用途不明	[31.0]	[5.3]	[0.55]	—	f: 建蔽材	
92-70			木製品	用途不明	[32.7]	11.4	0.6	—	f: 磨面外観的に残り出し	
92-71			木製品	用途不明	[23.7]	4	1.2	—	f: 建蔽材/外端端盤	
92-72			木製品	用途不明	[26.8]	5.4	0.8	—	f: 建蔽材	
92-73			木製品	用途不明	19.3	1.3	0.7	—	f: 磨面外形	
92-74			木製品	用途不明	2.4	2.3	1.6	—	f: 磬部外観	
92-75			木製品	用途不明	[6.5]	[4.5]	[3.8]	—	f: 建蔽材	
92-76			木製品	杭	[4.4]	[6.4]	0.8	—	f: 建蔽材	
95-1	8a		上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/3	(12.4)	(7.2)	3.4	a: 内底ナメ 外周同軸系切 板状压痕 b: 開砂/雲母/白色粒/海綿骨片 c: 硬質岩/やや粗粒 c: 喷砂黄色 e: 良好 f: 磨着物付着	
95-2			上製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(12.6)	(6.8)	3.8	a: 内底ナメ 外周同軸系切 c: 開砂/雲母/白色粒/海綿骨片/泥岩片 b: 喷砂黄色 e: 良好	
95-3			木製品	杭	[23.0]	3.4	0.8	—	f: 磬部外観に残りだしている	
95-4	57		上製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.2)	(5.5)	1.6	a: 内底ナメ 外周同軸系切 板状压痕 b: 開砂/雲母/白色粒/海綿骨片 c: 硬質岩/やや粗粒 c: 喷砂黄色 e: 良好	

国番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	調査項目	
95-5	57	主製品	クロカ かわらけ(小)	完形	7.4	4.9	b:成形、整形 c:褐色 d:焼成 e:陶器 f:土器	
95-6			手づくね	小片	—	—	[1.6]	
95-7			青白 碗	底部片	—	5.2	[2.0]	
95-8			常滑 窯	口縁部片	—	—	[10.9]	
95-9			漆製品	蓋	11枚 (6.0) (7.6)	高さ [2.1]	高さ 幅 厚さ e:黒色漆塗装 f:漆み部大粗 f:漆み部は削し込み式になっている	
95-10		本製品	銀状	—	[18.5]	1.4	0.8	
95-11			田邊不明	—	18.4	1.9	1	
95-12			上製品	クロカ かわらけ(大)	5/6	13.5	8.0	4.0
95-13			上製品	クロカ かわらけ(大)	1/3	(12.8)	(7.7)	3.4
95-14			上製品	クロカ かわらけ(大)	1/2	(12.5)	(7.6)	3.1
95-15		58	上製品	クロカ(かわら け) (極小)	完形	5.0	3.4	1.05
95-16			上製品	クロカ(かわら け) (極小)	完形	4.7	3.7	0.85
95-17			上製品	クロカ(かわら け) (極小)	完形	4.4	3.2	0.9
95-18			上製品	クロカ(かわら け) (極小)	完形	4.1	3.2	1.5
95-19			磁器	口縁部小片	—	—	[3.1]	
95-20	8	本製品	銀状	—	22.2	0.8	0.7	
95-21			本製品	銀状	21.2	0.7	0.6	
95-22			本製品	銀状	20.7	0.7	0.6	
95-23			本製品	田邊	[17.4]	[6.3]	0.4	
95-24			田邊不明	—	[24.0]	5.5	1	
95-25		主製品	クロカ かわらけ(中)	1/3	(11.1)	(6.8)	3.0	
95-26			クロカ かわらけ(小)	1/3	(17.8)	(6.4)	1.3	
95-27			常滑	口縁部1期	口縁部片	—	—	[4.0]
95-28			鉄製品	釘	長さ 3.4	幅 0.3	厚さ 0.35	f: 斧頭形 e: 斧頭形
95-29			銅製品	鉢	外径 2.3	—	重さ 0.3	f: 斧頭形 e: 斧頭形
95-30		本製品	木製品	串状	23.9	0.8	0.5	f: 中空な整形
95-31			木製品	著状	20.9	0.6	0.4	f: 純圓形
95-32			木製品	丸状	20.9	0.6	0.6	f: 純圓形 e: 置き型
96-33	99	上製品	手づくね かわらけ(中)	1/2	(8.4)	—	1.8	a: 内底ナメ 外底回転止め切(右) b: 板状直腹 c: 黑砂 d: 褐色 e: 白色 f: 海綿骨針 g: やす組合 h: 黄褐色 i: 良好 j: 外底内面黒く変色
96-34			上製品	手づくね かわらけ(小)	1/3	(8.4)	2.0	a: 内底ナメ 外底回転止め切(右) b: 板状直腹 c: 黑砂 d: 褐色 e: 白色 f: 海綿骨針 g: やす組合 h: 黄褐色 i: 良好 j: 外底内面黒く変色
96-35			上製品	クロカ(かわら け) (極小)	ほぼ完形	4.5	4.0	0.9
96-36			磁器	青白釉 小豆か	底部小片	—	—	[0.8]
96-37			陶器	常滑窯	口縁部片	—	—	[3.5]
96-38		副成土	陶器	常滑窯	刷毛片	—	—	[5.0]
96-39			陶器	月日井1期	口縁部 全体	(21.4)	—	(9.5)
96-40			副製品	鉢	外径 2.3	1.6	—	重さ 3.1
96-41			漆製品	漆桶小明	口縁部 小片	—	—	—
96-42			木製品	筒物	9.2	[3.6]	0.6	f: 机板部分
96-43		8a	木製品	銀状	22.1	1.8	0.8	f: 純圓形
96-44			木製品	著状	23.9	0.8	0.4	f: 純圓形
96-45			木製品	著状	22.7	0.7	0.7	f: 純圓形不円形 / 丁寧な曲取り
96-46			木製品	著状	21.3	0.9	0.4	f: 純圓形 / 番手
96-47			木製品	著状	21.1	0.6	0.5	f: 純圓形不円形 / 丁寧な曲取り
96-48			木製品	著状	21.3	0.6	0.6	f: 純圓形不円形 / 丁寧な曲取り
96-49			木製品	田邊不明	3.1	2.9	0.8	f: 中央に孔があく
96-50			木製品	田邊不明	13.1	1.4	0.6	f: 片端部に薄く削り出している / 丁寧な整形
96-51			木製品	田邊不明	[15.7]	2.8	0.4	f: 一部焼却
96-52			木製品	田邊不明	[31.2]	4.1	1.9	f: 建材か
98-1	8b	陶器	常滑窯	口縁部片	—	—	[6.5]	[3.2]
								f: 脱硝み技法 b: 黄褐色 c: 砂紋 / 白色釉 / 長石 / 石英 c: 布褐褐色 d: 口縁部に自然障壁 e: 硬化 fsub: 筋型

固番号	出土面	遺構番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)	調査項目			
							a: 成形、整形	b: 土、素地、材質	c: 色調 d: 摘調 e: 燃成・発色	
98-2	8b 重複構成土	骨製品	用途不明 加工品	骨状	長さ 3.7	残存幅 0.2	b: 残存部分に切断 / 加工			
98-3		木製品	骨状	骨状	22.3	0.6	0.3	b: 残曲やや扁平な方形		
98-4		木製品	骨状	骨状	21.9	0.6	0.5	b: 残曲方形		
98-5		木製品	骨状	骨状	22	0.7	0.5	b: 残曲方形		
98-6		木製品	骨状	骨状	22	0.6	0.5	b: 残曲不規則形 / 丁寧な曲取り		
98-7		木製品	骨状	骨状	22.1	0.7	0.6	b: 残曲方形		
98-8		木製品	骨状	骨状	21.9	0.6	0.6	b: 残曲不規則形 / 丁寧な曲取り		
98-9		木製品	骨状	骨状	20	0.7	0.5	b: 残曲方形 / 丁寧な曲取り		
98-10		木製品	骨状	骨状	14.2	0.5	0.6	b: 残曲不規則形 / 両端部を斜めに削り出し		
98-11		木製品	骨状	骨状	11.5	0.6	0.6	b: 残曲不規則形		
98-12		木製品	用途不明	骨状	14.1	2.6	1.4	b: 片端部削り / 鮫か		
98-13		木製品	骨状	骨状	7.7	4.8	2.3	b: 内面半円に削りぬく		
99-1	8c 壙蓋土	土製品	ロクロ かわらけ(大)	口縁 - 壁 3/4	(11.6)	(7.8)	3.15	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 赤色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
99-2		土製品	ロクロ かわらけ(小)	口縁 - 壁 1/4	(8.1)	(5.8)	1.6	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
99-3		土製品	手づね かわらけ(小)	口縁 - 壁 1/4	(9.3)	—	[3.2]	a: 外面下指顔面 b: 内底ナメロクロの側面 b: 微砂 / 雪母 / 白色粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好 b: 口縁部 黒ずみ色		
99-4		磁器	青磁	口縁 - 体 部	(10.8)	—	[3.2]	a: ロクロ形 b: 灰色 和良堅壁 c: 灰色透明釉 細刷やや厚い c: 黄褐色 e: 良好		
99-5		磁器	青磁 蓮瓣文鏡	口縁部片	—	—	[3.8]	a: ロクロ形 b: 灰色 精良堅壁 c: 灰色半透明釉 細刷やや厚い 入口有り c: 良好		
99-6		陶器	滑石 甕	唇部片	—	—	[11.0]	a: 残輪郭形 b: 灰色 砂粒 / 白色粒 / 長石 / 石英 c: 黑褐色 d: 脱解部分自然隕落 e: 良好 b: 粘土質に押出文 / 蓋縞文 / 縞模文		
99-7		陶器	滑石 甕	口縁部片	—	—	[9.8]	a: 残輪郭形 b: 灰色 砂粒 / 白色粒 / 長石 / 石英 c: 黑褐色 d: 口縁部自然隕落 e: 良好 f: 素型式		
99-8		陶器	滑石 口片耳1脚	口縁部片	—	—	[7.1]	a: 残輪郭形 b: 内外面ナメロクロ b: 外面体部下部回転へへ割り b: 灰色 砂粒 / 長石 / 石英 c: 小石片 e: 破裂 f: 素型式		
99-9		陶器	滑石 甕	口縁 - 底 部	(18.6)	(15.8)	4.8	a: 残輪郭形 b: 外面体部下部へへ割り b: 明瞭な微砂 / 長石 / 石英 c: 黑褐色 d: 灰色多 c: 良好		
99-10		鉄製品	鍛金具か	長さ 8.2	幅 0.7	厚さ 0.5	—	b: 残曲内角に鉛錆 先端を折り曲げる		
99-11		木製品	板杓子	口片耳1脚	[15.3]	[5.3]	0.3	b: 両端部欠損		
99-12		木製品	用途不明	手づね かわらけ(小)	[16.8]	[2.2]	0.5	b: 端材か		
101-1	9 壙蓋外	土製品	手づね かわらけ(小)	完形	6.6	—	1.2	a: 外面下指顔面 b: 内底ナメロクロ b: 微砂 / 雪母 / 白色 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
101-2		土製品	ロクロ かわらけ(小)	口縁 - 壁 4/5	(8.6)	(6.2)	1.7	a: 外底凹溝 面付に水平切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 三脚		
101-3		陶器	滑石 甕	口縁部片	—	—	[7.3]	a: 残輪郭形 b: 灰色 砂粒 / 白色粒 / 長石 / 石英 c: 黑褐色 d: 口縁へへ割り		
101-4		陶器	滑石 口片耳1脚	口縁部片	—	—	[4.1]	a: 残輪郭形 b: 灰色 砂粒 / 白色粒 / 長石 / 石英 / 小石片 c: 黑褐色 d: 口縁部内側に自然隕落 e: 破裂 f: 素型式		
101-5		陶器	龜山 甕	体部小片	—	—	[4.1]	a: 残輪郭形 b: 内面横ナメロクロ 外面擦子叩き切 b: 灰色 砂粒 / 白色粒 / 黑褐色		
101-6		鉄製品	釣り針か	完形	長さ 7.0	幅 0.5	厚さ 0.4	重さ 2.9	b: 残曲内角形状に鉛錆 先端を尖らせ、U字状に折り曲げる	
101-7		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口縁 - 壁 1/3	(12.3)	(7.2)	3.9	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 破裂 f: 重さ		
101-8		鉄製品	刀子	完形	長さ 17.2	幅 1.0	厚さ 0.1~0.4	重さ 19.6	b: 刀子の長さは9.5cm 部は所々欠損	
101-9		鉄製品	釣	口片耳1脚	長さ 5.8	幅 0.4	厚さ 0.3	b: 残曲内角形状に鉛錆 端部着激しい		
101-10		木製品	手すみ	—	14.5	4	2.3	b: 遺存状態が悪い		
103-1	その他	土製品	ロクロ かわらけ(大)	口縁 - 壁 1/3	(13.9)	(7.3)	3.4	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-2		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口縁 - 壁 1/3	(13.1)	(7.0)	3.6	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-3		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4~底 底	(13.7)	(8.0)	3.2	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-4		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口小~底 底	(13.5)	7.3	4.0	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-5		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口小~底 底	(12.8)	(7.8)	3.0	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-6		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口小~底 底	(12.6)	(7.8)	3.3	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-7		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口小~底 底	(12.8)	(8.5)	3.0	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-8		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口小~底 底	(12.2)	(7.4)	3.2	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-9		土製品	ロクロ かわらけ(大)	口小~底 底	(12.3)	8.0	3.4	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-10		土製品	ロクロ かわらけ(大)	3/4	11.2	7.3	3.0	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		
103-11		土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(11.7)	(6.6)	3.1	a: 内底ナメロクロの側面 b: 外底回転止め切 / 右 b: 板状圧痕 c: 微砂 / 雪母 / 白色粒 / 海綿骨片 / 泥岩粒 やや粗上 c: 黄褐色 e: 良好		

国番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			整理項目
						口径	底径	高さ	
103-12			土製品	ロクロ かわらけ(大)	1/4	(11.2)	(6.0)	2.7	a. 成形、整形 b. 壁土、素地、材質 c. 色調 d. 構造 e. 燃成 f. 烧成 g. 研磨 h. 他
103-13			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/4	(11.0)	(5.0)	3.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切 板状粗面 b. 口砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-14			土製品	ロクロ かわらけ(中)	1/4	(10.4)	(5.4)	3.0	a. 内底ナメ 外底回転舟切 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-15			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(8.0)	(5.0)	1.6	a. 内底ナメ 外底回転舟切 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-16			土製品	ロクロ かわらけ(小) (完形)	1/4(底盤 完成)	(7.8)	5.0	1.9	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-17			土製品	ロクロ かわらけ(小) (完形)	1/4	(7.4)	5.0	1.9	a. 重さ b. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-18			土製品	ロクロ かわらけ(小) (完形)	1/4	(7.6)	5.0	2.0	a. 重さ b. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-19			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.7)	(5.4)	2.0	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-20			土製品	ロクロ かわらけ(小) (完形)	1/3	(7.6)	(4.4)	2.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-21			土製品	ロクロ かわらけ(小) (完形)	1/3	(7.7)	5.0	1.9	重さ a. 内底ナメ・青面 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-22			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.7)	(5.7)	2.1	a. 内底ナメ 外底回転舟切 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-23			土製品	ロクロ かわらけ(小) (ほぼ完形)	7.3	4.5	1.6	重さ a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き	
103-24			土製品	ロクロ かわらけ(小)	3/4	7.6	4.5	2.2	a. 内底ナメ・青面 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-25			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(4.4)	2.3	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 2次焼成
103-26			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/3	(7.3)	(5.1)	1.6	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-27			土製品	ロクロ かわらけ(小)	1/4	(7.4)	(5.0)	2.1	a. 内底ナメ 外底回転舟切 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-28			土製品	ロクロ かわらけ(小)	9/10	7.0	4.7	2.1	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好
103-29			土製品	ロクロ かわらけ(小) (ほぼ完形)	7.8	4.6	2.0	重さ a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き	
103-30	その他の 遺構		土製品	ロクロ かわらけ(小) (ほぼ完形)	7.6	5.0	1.6	重さ a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き	
103-31			土製品	ロクロ かわらけ(小)	4/3	(7.3)	(5.2)	1.6	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-32			土製品	ロクロ かわらけ(小)	長さ 4.3	幅 3.8	厚さ 0.6	3.5	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-33			土製品 円筒形用 転写器	ロクロ かわらけ (転写器)	直径 29	—	厚さ 0.8~1.0	1.6	a. 内底ナメ 外底回転舟切(右) 板状粗面 b. 間砂・雲母・赤色粒・白色粒・青色粒 c. 良好 d. 1口縁部打ち欠き
103-34			土製品 円筒形用 転写器	ロクロ かわらけ (転写器)	—	—	[3.9]	1.6	a. 1口縁部軸孔 b. 体部下部前頭・無調整窓 c. 前縫合部 d. 前縫合部 e. 良好 f. 2次焼成
103-35			陶器	片口跡付	口縁部片	—	[6.0]	1.6	a. 輪縫み技法 b. 間砂粗面 砂粒・長石・白英・小柱石 c. 周端灰・赤端灰(端灰落味) d. 内面部脚下に黄褐色の自然断層
103-36			陶器	片口跡付	口縁部片	—	[6.0]	1.6	a. 輪縫み技法 d. 高台脚付
103-37			陶器	片口跡付	底部片	—	[2.3]	1.6	a. 輪縫み技法 b. 間砂粗面 砂粒・長石・白英・小柱石 c. 周端灰・赤端灰(端灰落味) d. 内面部脚下に自然断層
103-38			陶器	片口跡付	口縁部片	—	[9.1]	1.6	a. 輪縫み技法 d. 高台脚付
103-39			陶器	片口跡付	口縁部片	—	[3.1]	1.6	a. 輪縫み技法 b. 間砂粗面 砂粒・長石・白英・小柱石 c. 周端灰・赤端灰(端灰落味) d. 内面部脚下に自然断層
103-40			陶器	底部 片口跡付	—	13.1	[6.4]	1.6	a. 輪縫み技法 d. 底部下部内面ナメ 内面熱須痕・削痕 砂目底 b. 灰色 砂粒・長石 c. 棕褐色 d. 口縁部内面に自然断層
103-41			陶器	片口跡付	口縁部片	—	[6.2]	1.6	a. 輪縫み技法 d. 底部下部内面ナメ 内面熱須痕・削痕 砂目底 b. 灰色 砂粒・長石 c. 棕褐色 d. 口縁部内面に自然断層
103-42			常滑窯 転用磨擦品	口縁部片	長さ 5.6	幅 [5.6]	厚さ 0.6~1.8	1.6	a. 常滑窯転用陶片 表面と断面を握っている b. 灰色 長石 / 石英 c. 棕褐色 d. 口縁部・手縁部
104-43			陶器	湖 <sup>2</sup> 湖 <sup>2</sup> 剥離	口縁部片	E1/8 ~ 底部 E1/3	[5.6]	4.0	a. ロクロ成形 外底回転舟切 b. 灰白色 砂粒・精良土 c. 灰白色 d. 口縁部・手縁部
104-44			陶器	湖 <sup>2</sup> 湖 <sup>2</sup> 剥離	底部 1/2	[8.0]	—	[2.3]	a. ロクロ成形 尾端外側へ向うに格子目状割れ b. 砂粒・精良土 c. 灰白色 d. 口縁部
104-45			陶器	湖 <sup>2</sup> 湖 <sup>2</sup> 剥離	取手部 のみ	[4.8]	—	[4.2]	a. 輪縫み技法 d. 口縁部・手縁部
104-46			陶器	湖 <sup>2</sup> 湖 <sup>2</sup> 小口人子	1/3	[8.0]	—	[2.7]	a. ロクロ成形 尾端外側へ向うに格子目状割れ b. 砂粒・精良土 c. 灰白色 d. 口縁部
104-47			陶器	湖 <sup>2</sup> 湖 <sup>2</sup> 花瓶	胴~底部	最大径 5.0	4.4	[7.2]	a. ロクロ成形 尾端外側へ向うに格子目状割れ b. 灰白色 砂粒・精良土 c. 灰白色 d. 口縁部

図番号	出土 面	遺構 番号	材質	種別	遺存度	法量 (cm / g)			観察項目 a: 成形、整形 b: 脱土、素地、材質 c: 色調 d: 摺調 e: 焼成 f: 手筋 g: 輪縫み抜法 h: 塗装色 i: 開紗 j: 白色粒 k: 塗褐色 l: 良好 m: 初日一早 n: 初日二晩 o: 初日三晩 p: 初日四晩 q: 初日五晩 r: 初日六晩 s: 初日七晩 t: 初日八晩 u: 初日九晩 v: 初日十晩 w: 初日十一晩 x: 初日十二晩 y: 初日十三晩 z: 初日十四晩
						口径	底径	器高	
104-48			陶器	輪削 切跡	底部 1/3	—	(14.6)	[4.8]	他
104-49			鉄製品	針?		具 (4.1)	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面内角状に鍛造 縫付着
104-50			鉄製品	釘	一部欠損	長さ [4.0]	幅 0.5	厚さ 0.7	f: 断面内角形状に鍛造 縫付着
104-51			鉄製品	釘	完形	長さ 5.6	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面内角形状に鍛造 縫付着
104-52	その他		鉄製品	釘		長さ 4.8	幅 0.3	厚さ 0.3	f: 断面内角状に鍛造 縫付着
104-53			漆製品	椀	1/2	—	5.8	[2.0]	a: 黒色漆 b: 黒色漆 c: 内外面塗装 / 赤色系漆 / 手描き d: 不明 e: 輪高 付 左 内側に漆塗付着 バレットとして使用か
104-54			木製品	蓋状		22	0.8	0.5	f: 断面丸形
104-55			木製品	蓋状		[21.5]	0.6	0.7	f: 断面不正円形 / 丁寧な面取り
104-56			木製品	蓋状		20.5	0.5	0.5	f: 断面不正円形 / 丁寧な面取り
104-57			木製品	蓋状		19.9	0.7	0.5	f: 断面丸形
104-58			近代 磁器	小口径	1/3	(5.0)	(1.8)	2.8	f: 脱板写。手描き 磁化コバルト:透明釉;白色粘質土
104-59			近代 磁器	上瓶の蓋	完形	直径 5.0	つまみ跡 0.8	1.6	f: 手描き 磁化コバルト:透明釉;白色粘質土

表7 出土遺物集計表

第1面																			
遺構名	遺構1	遺構2	遺構3	遺構4	遺構5	遺構6	遺構7	遺構8	遺構9	遺構10	遺構11	遺構12	構成上						
面種	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数						
かわらけ	大	13	51.2	290	5332.4	46	378.9	42	530	345	6787.4	65	912.5						
ロタロ	中	-	-	-	-	-	1	15	-	-	-	1	90						
ロ	小	4	14.6	78	946.4	8	21.6	15	120	93	1121.5	32	27.3						
小片	小片	2	2	30	73.5	-	-	-	13	25.4	5	4.3							
白かわらけ	白かわらけ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4.7					
円盤状	円盤状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9.2					
甕	甕	-	-	-	-	17	1835	9	342.7	8	288	-	-	7	277.9				
壺	壺	-	-	-	-	1	40	-	-	-	-	-	-	-	-				
盃	盃	-	-	-	-	1	17.9	1	70	3	119	-	-	3	288.3				
漬井	漬井	-	-	-	-	3	180.2	-	6	315	-	-	5	358.9					
滑り落滑	滑り落滑	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
漬井 <sup>2</sup>	漬井 <sup>2</sup>	4	54.1	2	34.8	5	150	-	-	1	44.7	1	15	15	334.5				
壺前	壺前	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	45.1	-	1	66.2				
束縛	束縛	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	42.1				
百磁	百磁	-	-	-	-	1	16.1	-	1	13.9	1	4.6	-	1	37.4				
天日	天日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	26.8	-				
火鉢	火鉢	1	72.9	-	-	-	-	-	3	267.3	-	-	5	169.6	-				
瓦器	瓦器	4	167.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
火鉢	火鉢	-	-	-	-	6	955	2	615	2	128.7	-	-	-	-				
不明	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	21.3	-				
金屬	釘	-	1	3.4	-	1	5	3	39	-	-	-	-	-	-				
石製品	跳芦	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	221.3	-				
磨石	磨石	1	23	-	-	-	-	-	1	341.4	-	-	-	1	400				
鏡	鏡	-	-	-	-	-	-	-	1	101.2	-	-	-	-	-				
滑石	滑石	-	1	43	-	1	30	-	-	-	-	-	2	228	-				
雲母	雲母	-	-	-	-	-	-	-	1	2.6	-	-	1	1.1	-				
炭化物	炭化物	-	-	-	1	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
近代遺物	近代遺物	-	-	-	-	-	-	-	2	25.5	-	-	-	-	-				
合計	合計	19	67.8	417	7180.6	58	458.2	96	4265	478	9821	117	1766.9	58	1315	666	(10210.4)	15	673.3

第2面															
遺構名	遺構6	遺構7	遺構8	遺構9	遺構10	遺構11	遺構12	構成上	数	g	数	g	数		
面種	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数		
かわらけ	大	4	100	5	225	1	20	25	1083.1	10	37.6	68	1113.7		
ロ	中	-	-	-	-	-	-	-	3	35	-	-	-		
ロタ	小	1	15	-	-	6	100.7	5	72.4	2	15	11	117.3		
ロ	小片	-	-	-	-	-	1	0.1	-	-	-	-	-		
円盤状	円盤状	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	15	-		
甕	甕	-	-	-	2	285.4	-	1	45	20	1813	-	-		
壺	壺	-	-	-	-	-	-	-	2	80	-	-	-		
盃	盃	-	-	-	-	-	-	-	1	55	-	-	-		
漬井	漬井	-	-	-	-	-	-	-	4	281.1	-	-	-		
壺前	壺前	-	-	-	-	-	-	-	1	358.8	-	-	-		
束縛	束縛	-	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-		
百磁	百磁	-	-	-	-	-	-	-	1	42.6	-	-	-		
火鉢	火鉢	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-		
磨石	磨石	-	-	-	-	-	-	-	3	193.3	-	-	-		
鏡	鏡	-	-	-	-	-	-	-	1	110	-	-	-		
合計	合計	5	115	5	225	1	20	35	1610.5	16	130.1	6	95	116	4214.8

		第3面								
		造構外			構成土					
造構名		泥岩礁成層		南部成層		南上層		南中層	南下層	その他
		数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g
岩種										
大	68	905	136	3165	328	5193.6	236	4720	235	3930
中	1	1	1	90	5	133	1	115	6	205
クロ	小	16	195	16	325	66	817.8	80	1190	58
かわらけ	小片	6	15				17	33.1	10	10
							2	29.6	2	15
								1	40	
白かわらけ										
特殊										
円盤状				1	30				1	5
不明										
鐵	鐵	17	875	1	35	17	767.5	7	230	9
國產陶磁器	青			1	70	1	8.5			
青	青	1	25	2	125	3	80.9	3	190	2
青	白	1	125	13	1405	4	181.1	2	435	3
海綿 <sup>2</sup>	2	65	3	260	3	172.4	1	26.3	2	25.9
砂	砂						1	588.2		
東	東						1	145		
白	青繩						3	19.8		
白	白繩						1	11.5		
青白繩	1	0.8	1	5	3	26.2				
瓦質	瓦						1	5.8		
火鉢	火鉢		2	660	19	314.5	6	1115	13	2289.6
金屬	鉄		2	5	4	12.3	4	240	6	20
釘	釘					1	1.6			
不明	不明		1	25						
石質類	砾石		2	75	2	45.7		1	5	
礫	礫	1	55	1	20			1	385	
滑石	滑石		1	40	1	30		1	25	
火打石	火打石		1	30						
骨加工品	骨加工品							1	5	
炭化物	炭化物		1	15	3	6.5				
	合計	113	2260.8	200	6380	487	8652	352	8286.3	343
								7775.5	31	862.3

		第4面						第4a面			
		記岩地 第内		北側里上		南側里上		南側構成上		その他 礁成土	
造構名		数 : g		数 : g		数 : g		数 : g		数 : g	
		数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g	数 : g
岩種											
大	181270	4	190	13	222	201	4075	141	2456	61	1330
中	1			3	147	2	45	3	240	1	75
クロ	小	11125	2	26	8	430	75	1945	64	1480	34
かわらけ	小片									3	5
	小									1	10
	白かわらけ					5	40				
	円盤状					1	5	1	10		1
鐵	鐵	26	1825	2	85	15	995	26	1465	6	350
國產陶磁器	青									1	115
青	青				1	385			1	30	1
常	1期	2	100	2	625	2	1895	3	245	11	940
常	2期	1	45							1	33
常	3期	1	10	2	180	2	35	4	150	1	35
常	4期					1	15	1	85		
常	5期							1	25		
常	北瀬山系岡					1	10				
常	青繩			1	10	3	36	4	20		3
常	白				1	15				1	10
常	青白繩				1	30	1	15			
常	上質大鉢			1	455			1	65		3
常	瓦質大鉢	2	85		8	1195				3	216
常	瓦	1	145		1	60	2	255	3	230	1
金屬製品	鐵	1	5		11	40				2	5
金屬製品	釘	2			7	55					
金屬製品	火行金	1	5								
金屬製品	刀子				1	80					
石質類	刷						1	2			
石質類	序								1	720	
石質類	砾石										
石質類	硯			5	1085	4	140	1	15		
石質類	滑石			1	110			1	180		
石質類	瓦		1	100			1	30			
石質類	炭化物			1	0.3	1	1.4				
	合計	35	505	39	2945	34	4909	346	10130.3	267	7373.4
								109	3000	235	8121

第5面																				
造構名		造構 18		造構 19		造構 20		造構 21		造構 22		造構 23		板壁東側						
器種		数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g					
かわらけ	大	12	16.5	2	40	3	60	1	15	2	60	1	14	525	4	15	21	1105		
	ロタ口	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	30			
	中	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	30			
	小片	2	35	1	15	2	15	4	105	1	105	10	295	15	1	399				
	白かわらけ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
円盤状		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
甕		1	1	110	1	1	1	1	1	1	1	105	1	1	14	1490				
壺		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	170	2	1	180			
国産陶器	舟形	1	1	35	1	25	1	1	1	1	1	1	1	40	1	1	45	3	245	
	日船	1	1	20	1	25	1	1	1	1	1	1	1	55	1	1	10	3	135	
磨り芯滑		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
不明		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
漁(?)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	90	1	1	1			
青磁		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	4	40	1	1			
白磁		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
黄地・緑地		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
土製火鉢		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
瓦質	火鉢	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	160	1	1	1			
	瓦	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	140	1	1	1			
金属製品	鉢	1	1	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	1			
	釘	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	10	1	1	1			
銅製品		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.6	1	1	1			
不明		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1			
石製品	砾石	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	30	2	1	190	1		
	鏡	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	95	1	1	1			
滑石		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	425	1	1	1			
炭化物		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1			
古代		1	1	15	1	1	1	1	1	1	1	1	1	165	2	1	50	23	910	
合計		17	181.5	7	180	5	1	3	30	6	1	165	2	1	50	20	1	635	29	3549

第5面														
造構名		造構 25		岡田表裏伝造		横成土		配石地窓内		東南起岩刷		横成土		
器種		数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	
かわらけ	大	2	40	86	1470	19	245	31	670	526	15123	1	1	
	ロタ口	1	1	0	0	1	1	1	1	9	305	1	1	
	中	1	10	29	485	1	1	12	110	211	3633	1	1	
	小片	1	1	5	10	1	1	7	1	15	50	1	1	
	白かわらけ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
円盤状		2	115	15	1255	2	85	4	350	63	6430	1	1	
甕		1	1	2.5	1	1	1	1	1	1	185	1	1	
壺		4	1	195	1	1	1	1	1	1	870	1	1	
舟形		3	80	6	370	1	1	1	1	1	70	1	1	
日船		1	1	35	1	1	1	1	1	1	60	1	1	
磨り芯滑		1	1	1	1	1	1	1	1	1	175	1	1	
不明		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
漁(?)		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
国産陶器	青磁	4	1	20	1	1	2	25	9	1	120	1	1	
	白磁	1	1	3.7	1	1	1	1	1	1	30	1	1	
白地・緑地		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
土製火鉢		1	1	130	1	1	1	8	400	1	1	1	1	
火鉢		1	1	10	1	1	1	7	30	1	1	1	1	
瓦		1	1	1	1	1	1	1	1	1	160	1	1	
鉢		2	1	10	1	1	1	7	30	1	1	1	1	
釘		2	1	6.4	1	1	1	1	5	1	1	1	1	
銅製品		1	1	12.6	1	1	1	2	60	1	1	1	1	
不明		1	1	1	1	1	1	1	1	1	360	1	1	
砾石		1	1	1	1	1	1	1	1	1	5	1	1	
鏡		1	1	1	1	1	1	1	1	1	45	1	1	
滑石		1	1	1	1	1	1	1	1	1	645	1	1	
炭化物		1	1	1	1	1	1	1	1	1	142	1	1	
古代		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
合計		8	245	156	4095.2	27	350	50	1170	892	24201.1	1	1	

	第6面	第6a面	第6b面									
	造橋名	砂地	北側構成土	南側構成土	日雇	西北構成土	東構成土	造橋 36	造橋外	構成土東	構成土西	その他構成土
		数: g						数: g	数: g	数: g	数: g	数: g
かわらけ クロ	御橋											
	大	41 : 860	19 : 310	651 : 13315	36 : 600	108 : 2635	59 : 1610	2 : 90	1 : 15	45 : 1366	38 : 900	18 : 605
	中	:	:	12 : 750	:	:	3 : 190	:	:	:	:	:
	小	19 : 495	2 : 25	:	12 : 155	46 : 815	24 : 615	3 : 145	10 : 165	10 : 310	2 : 65	
国産陶器	小片	:	:	19 : 0	:	:	:	:	:	:	:	
	不明	:	:	4 : 300	:	:	:	1 : 40	:	:	:	
	甕	12 : 625	8 : 515	140 : 16000	4 : 95	18 : 1445	30 : 2400	1 : 25	14 : 1230	10 : 780	3 : 165	
	壺	:	:	9 : 1050	:	5 : 350	2 : 90	:	1 : 55	:	:	
土器	1船	1 : 60	1 : 105	43 : 4195	:	4 : 105	6 : 455	:	7 : 230	2 : 75	:	
	日皿	4 : 610	6 : 510	1 : 70	1 : 30	1 : 30	:	1 : 20	1 : 70	:	:	
	脚	3 : 50	:	3 : 35	1 :	650	4 : 112.9	:	2 : 35	1 : 70	:	
	涙瓦	:	:	:	:	2 : 55	:	0 : 0	:	:	:	
磁器	瓶	:	1 : 30	:	:	:	:	:	:	:	:	
	山: 北部	1 : 80	:	:	:	:	:	:	:	:	:	
	茎	:	:	6 : 220	:	:	:	:	:	:	:	
	南部	:	2 : 15	:	:	:	:	:	:	:	:	
不明	青磁	1 : 14.4	:	14 : 170	1 : 6	1 : 5	3 : 20.6	1 : 120	2 : 55	:	:	
	白磁	1 : 5.7	:	4 : 30	1 :	9	:	:	:	1 : 25	:	
	青白磁	:	1 : 3.3	:	:	:	:	:	:	:	:	
	青磁・緑釉	:	8 : 320	:	:	:	:	3 : 70	2 : 335	:	:	
土器	天目	:	1 : 15	:	:	:	:	:	:	:	:	
	上質火鉢	:	:	1 : 40	2 : 105	:	:	4 : 520	:	:	:	
	湘江口系上質	:	1 : 20	:	:	:	:	:	:	:	:	
	瓦	:	2 : 20	:	:	:	:	:	:	:	:	
瓦器	瓦棒	1 : 35	9 : 800	1 : 55	:	1 : 65	:	1 : 155	1 : 35	:	:	
	瓦	:	2 : 480	1 : 175	:	1 : 190	:	:	:	:	:	
	錢	:	6 : 20	1 : 2.9	2 : 8.6	3 : 12.1	:	:	:	:	:	
	釘	2 : 8.4	7 : 75	2 : 6.3	:	1 : 100	:	1 : 5	4 : 25	:	:	
金剛製陶	刀子	:	:	1 :	1.4	:	1 : 20	:	:	:	:	
	火薺	:	1 : 25	:	:	:	:	:	:	:	:	
	不明	:	:	:	1 : 1.4	:	1 : 20	:	:	:	:	
	砾石	:	9 : 1145	:	2 : 10	:	2 : 65	:	:	:	:	
石器類	硯	3 : 33	3 : 193	:	2 : 40	:	:	:	:	:	:	
	滑石	1 : 115	5 : 765	:	2 : 50	:	:	:	:	:	:	
	不明	:	2 : 25	:	:	:	:	:	:	:	:	
	骨加工品	:	1 : 5	:	:	:	:	:	:	:	:	
藍化物	不明	1 : 13	3 : 15	:	1 : 5	1 : 1.2	:	1 : 1	1 : 1	:	1 : 1	
	合計	85 : 2364.5	37 : 1748.3	1197 : 41411.4	39 : 1165.2	190 : 6197.6	149 : 6053.2	3 : 115	5 : 280	92 : 3845	73 : 2721	24 : 860

第7曲		構成上											
道橋名	道橋 43	内				外				構成上			
		数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g
函 橋	大	10	145	26	445	67	1490	85	1610	3	65	7	15
かわらけ	中	6	130	10	170	23	390	34	490	1	100	1	10
ロタク	小	6	130	10	170	23	390	34	490	7	15	7	15
山	鐵	6	395	36	2280	40	3585	46	3320	1	100	1	100
国産陶器	金	5	100	5	100	5	220	2	125	1	100	1	100
滑	土	2	75	4	80	5	495	4	200	1	100	1	100
明治	日始					2	405	1	50	1	100	1	100
不明						1	100						
浦	火	1	105										
前	火	2	110										
山	北					1	10						
東	南			1	10								
船	青磁	3	130			3	45.8						
載	白磁			1	10								
上	青釉・緑釉	1	35			1	310	7	165				
東	土	3	250			1	320						
門戸石上掛	瓦質火鉢					1	60						
瓦質	瓦			3	1045	1	35						
金	銅					1	130						
銅	刀	1	3.5	1	5								
石	刀子	1	40										
器	砾石	1	80										
品	滑石	2	80										
骨	不明	1	10	1	50	1	25						
加工品		1	5										
合計		26	880	92	3718.5	151	8655	197	7175.8				

第8曲													
道橋名	道橋 45			道橋 49			道橋外			構成上			
	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数
かわらけ	大	4	60	4	30	32	480	57	1010	1	100	6	140
ロタク	小	2	70	1	10	6	100	1	10	1	10	1	10
山	小片	3	155	8	1315	19	685	29	250	1	20	1	20
滑	瓦質	1	140	1	100	4	145	1	80	1	100	1	55
明	瓦	2	105			1	76	1	55	1	100	1	55
前	不明												
山	瓦												
東	瓦質												
門戸石上掛	瓦												
瓦質	瓦												
金	銅	1	5										
銅	打	3	20										
石	紙石	1	20										
器	銀	1	280	1	5								
品	滑石	1	270			1	85						
骨	炭化物					1	10						
加工品													
合計		16	820	21	1775	61	1815	106	4388.1				

第9a曲		構成上																					
道橋名	道橋 55	道橋 56			道橋 57			道橋 58			道橋 59			構成上									
		数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数									
かわらけ	大	1	50	2	65	16	125	14	530	6	130	40	545	6	90	4	35	1	10	10	215		
ロタク	小			8	95	4	50	6	15	8	140			2	15			2	40				
山	鐵	1	40	6	530	11	645	15	925	33	1735	1	90	10	915	2	190	15	1330				
滑	金			2	60					2	235	1	20			2	35			1	50		
明	銅			2	90					1	5									1	120		
前	白磁									1	25												
山	青磁					2	30																
東	白磁	1	5	2	90	2	20	1	20	1	5.4									3	70		
門戸石上掛	白磁									1	9												
瓦質	打									1	5									1	20		
金	銅									3	150	1	40										
銅	瓦質火鉢			1	90					1	5												
金	打									1	5												
銅	不明									1	5									1	19.4		
加工品																							
合計		1	50	4	110	37	1080	31	1245	32	1130	90	2494.1	1	90	20	1080	6	155	1	10	36	1919.4

第9曲						
道橋名	道橋 64	道橋外 9曲以下				
		数	g	数	g	
かわらけ	大	3	150	7	143	
ロタク	小	1	60			
山	白小わらけ	1	35			
東	鐵	10	2040	8	470	
滑	金	2	85			
明	銅			1	70	
金	打			1	5	
銅	月子			1	20	
加工品	古代	1	20			
合計		19	2630	1	5	18710

面構造		1		2		3		4		5		6		6a		6b			
	器種	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g		
かわらけ	大	1328	(15397.4)	113	2599.4	1040	18523.6	438	8737	124	3144	723	19386.5	711	36695	203	4845	104	2910
	中	5	299.7	3	35	13	543	9	507	·	·	15	495	12	750	3	190	·	·
	小	333	10508	25	328.4	239	2722.8	194	4555	61	1376	296	5209	243	5365	82	1985	23	685
	小片	101	193	1	0.1	35	60.4	·	·	3	5	12	25	16	495	·	·	·	·
	小	·	·	·	·	·	·	·	1	10	·	·	·	·	·	·	·	·	·
	白かららけ	1	4.7	·	·	4	44.6	5	40	·	·	1	15	·	·	·	·	·	·
	特種	·	·	·	·	·	·	1	40	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·
	円盤状	4	39.5	1	15	2	33	2	15	1	5	3	50	·	·	·	·	·	·
	不明	·	·	·	·	·	·	1	27.4	·	·	·	·	4	300	1	40	·	·
	黄	42	2764.4	23	2143.4	53	2522.5	75	4720	25	2080	102	9960	166	11140	52	3940	28	2200
青磁	青	2	57.3	2	80	2	78.5	·	·	1	115	8	537.5	9	1050	7	440	1	55
	白箱	9	545.2	1	55	11	500.9	2	415	1	5	22	1435	45	4360	10	560	9	305
	日箱	14	1054.1	4	281.1	23	2256.1	20	3805	1	33	17	765	10	1150	3	130	2	90
	磨り合浦	1	92.1	·	·	·	·	1	45	·	1	35	·	·	·	·	·	·	·
	不明	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	1	60	·	·	·	·	·	·
	湘江 <sup>1</sup>	28	603.1	3	161.3	12	584.6	10	410	3	125	9	265	6	105	5	762.9	3	105
	深海	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	2	55	·	·	·	·
	偏前	2	111.3	1	358.8	1	588.2	2	100	·	·	·	·	1	30	·	·	·	·
	束前	2	61.2	·	·	1	145	1	25	·	·	·	·	1	80	·	·	·	·
	山	·	·	·	·	·	·	1	10	·	·	·	·	6	220	·	·	·	·
新石器時代	北部	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	2	15	·	·	·	·
	南部	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·
	不明	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	15	184.4	5	31.6	3	175
	青磁	4	72	1	5	6	74.8	8	80	3	30	18	195	15	184.4	5	31.6	3	175
	白磁	·	·	·	·	·	·	1	11.5	1	15	1	10	1	3.7	5	33.7	1	25
	青白磁	·	·	·	·	·	·	5	32	2	45	·	·	1	3.3	·	·	·	·
	褐釉	·	·	·	·	·	·	1	42.6	·	·	2	39	8	320	·	·	5	405
	天目	2	26.8	·	·	·	·	·	·	·	·	1	15	·	·	3	145	4	520
	大鉢	9	509.8	·	·	·	·	2	1520	3	152	1	70	·	·	1	145	4	520
	湘江内裏上部器	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	1	20	·	·	·	·	·
瓦質器物	瓦器	5	177.3	·	·	1	5.8	·	·	·	·	·	2	20	·	·	·	·	·
	火鉢	10	1698.7	1	10	40	4379.1	10	1280	3	216	13	690	10	835	2	120	2	190
	瓦	·	·	·	·	·	·	7	690	1	90	3	300	2	480	2	365	·	·
	不明	2	21.3	·	·	·	·	·	1	720	·	·	1	25	·	·	·	·	·
	残	·	·	·	·	16	277.3	12	45	2	5	11	50	6	20	6	23.6	·	·
	跳溝	2	221.3	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	1	100	·	·	·	·
	刀子	·	·	·	·	·	1	80	·	·	·	·	·	1	100	·	·	·	·
	側墻器	·	·	·	·	·	1	2	·	·	1	0.6	·	·	·	·	·	·	·
	火薬	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	1	25	·	·	·	·	·	·
	斧	·	·	·	·	·	1	30	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·
金屬製品	不明	·	·	·	·	1	25	·	·	·	·	4	78.6	1	1.4	1	20	·	·
	砾石	3	764.4	3	193.3	5	125.7	10	1240	10	580	9	1145	2	10	2	65	·	·
	鏡	1	101.2	1	110	3	460	2	290	·	2	100	6	226	2	40	·	·	
	鑄石	4	351	3	95	2	130	·	·	3	55	6	880	2	50	·	·	·	·
	雲母	2	3.7	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·
	火打石	·	·	·	·	1	30	·	·	·	·	6	1070	2	25	·	·	·	·
	不明	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	1	1.4	1	20	·	·	·	·
	骨加工品	·	·	·	·	1	5	·	·	·	·	1	5	·	·	·	·	·	·
	炭化物	1	6.8	4	21.5	2	1.7	·	·	9	24.2	4	28	1	1.2	·	·	·	·
	古代遺物	2	25.5	·	·	·	·	·	·	·	·	1	15	·	·	·	·	·	·
	不明	·	·	·	·	·	·	·	·	·	·	1	5	·	·	·	·	·	·
合計		1919	(35710.8)	184	6410.4	1525	34215.3	820	28802.7	235	8121	1289	41520.1	1309	45932.4	396	13409.7	191	7790

面横曲		7		8		8a		8b		8c		9		9曲以下		その他		統計		
器種		数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	数	g	
かわらけ	大	188	3690	97	1580	79	1445	6	90	15	280	3	150	7	145	499	7249.8	5678	106777.7	
	中	3	95													2	11	65	2925.7	
	小	73	1180	15	320	26	300	2	15	2	40	1	60			88	1229.3	1699	35470.6	
	小片	7	15	4	10											25	60.4	207	863.9	
	小															1	10			
	白からけ														1	35		12	139.3	
	特殊															1	40			
	円盤状															1	10	14	169.5	
	不明															6		367.4		
	黄	128	9580	50	4605	66	3875	11	1005	17	1430	16	2940	8	470	20	2410.2	870	66885.5	
因縫陶器類	赤	7	345	1	30											42		2843.3		
	白	15	850	9	465	4	295	1	20	1	50	2	85			3	183.3	145	10149.4	
	日輪	3	945	4	230	2	90									7	813.02	110	11642.32	
	磨り常滑															1	78.8	4	250.9	
	不明	1	100							1	120			1	70		4	350		
	漸江 <sup>†</sup>	1	105	1	40											20	431.1	101	3698	
	深灰					1	25									3		80		
	備前	2	110													2	397.3	11	1695.6	
	東播															4		231.2		
	山：北部	1	10													3		100		
新成陶器類	山：南部	1	10			2	30									9		260		
	不明															1	27.1	3	42.1	
	青磁	6	175.8	5	80	7	140.4			3	70					84		1314		
	白磁	1	10	2	20	1	9									15		148.9		
	青白磁					1	5									9		85.3		
	規格									1	20					1		20		
	黄物：規格	9	530													25		1327.6		
	天目															3		41.8		
	火鉢	4	570													1	11.9	27	3498.7	
	漸江 <sup>†</sup> 内装土器類	1	60	1	20											3		100		
瓦類	瓦頭															8		203.1		
	火鉢	4	1080	1	50	4	240	1	40							2	630	103	11458.8	
	瓦	1	130	1	140											1	64.4	18	229.4	
	不明															2	21.7	4	43	
	残			1	5	1	5									55		430.9		
	跳芦															2		221.3		
	刀子	1	40													4		240		
	附製品															2		2.6		
	火薺															1		25		
	芦															1		720		
金属製品	不明															55		430.9		
	鐵石	1	80	3	530											48		4733.4		
	鏡					2	283									19		1612.2		
	鑄造	2	80	2	353											24		1996		
	雲母															2		3.7		
	火打石															1		30		
	不明	3	625													12		154.4		
	骨加工品	1	5													2	27	5	42	
	炭化物					1	10		1	4.5						23		97.9		
	古代遺物															6	169.5	8	195	
合計	古代															2	20	2	35	
	不明															1	20	2	23	
	合計	464	20420.8	200	8775	194	6439.4	22	1174.5	43	2084.4	20	2635	17	705	686	13850.92	9514	278017.42	

表8 出土動物骨一覧表

no.	面	出土地点	種類	数	備考	no.	面	出土地点	種類	数	備考	
1		道橋5右間	哺乳類	1		73		構成上	哺乳類	肋骨	1	焼けている
2			魚類	1		74	7	構成上	魚類	鱗	1	
3	1	道橋5右間	哺乳類	1		75		構成上		コウイカ	1	
4		道橋5の南	海生哺乳類	1		76	8	道橋外	哺乳類	肩甲骨	1	
5		道橋5右邊	哺乳類	1		77	8a	構成上	哺乳類	不明	1	
6			鳥類	1		78		構成上	魚類	クロダイ科、主に椎骨	1	
7	2	道橋12	哺乳類	1		79	8b	構成上	哺乳類	肋骨	1	
8		構成上	哺乳類	1	不明	80	9	道橋64	魚類	スズキ科、主に椎骨	1	
9						81			哺乳類	椎骨	1	
10			哺乳類	1		82			哺乳類	肋骨	2	
11	3	構成上	魚類	1		83		その他		不明	6	
12			哺乳類	1		84				不明	1	炭化
13			魚類	1								
14												
15			哺乳類	2								
16			骨盤	2								
17			肋骨	7	1点は炭化							
18			海牛哺乳類	1	イルカ類椎骨	6						
19	4	構成上	鳥類	1	3点に切り傷							
20			魚類	1								
21												
22			マダラ	1								
23			タイ類か魚類椎骨	1								
24												
25	4a	道橋外	魚類	1								
26		構成上	海牛哺乳類	1	イルカ類、椎骨	1						
27			哺乳類	1	不明	1						
28		道橋19	魚類	1	タイ類か主に椎骨	1						
29		道橋21	哺乳類	1	不明	1						
30		東板壁間道	魚類	1	タイ類か主に椎骨	1						
31			哺乳類	1	ノウサギ、脛骨	1						
32		圓錐裏付近	魚類	1	椎骨	1						
33												
34			哺乳類	1	イルカ類、椎骨	1						
35					肋骨	2						
36	5	構成上	魚類	1	不明、主に椎骨	3						
37					不明、椎骨	1						
38					不明、背破片	13						
39			海牛哺乳類	1	クジラ科、椎骨	1						
40					クジラ科、肋骨	1						
41			哺乳類	1	イルカ類、肋骨	1						
42					ノウサギ類、肋骨	1						
43			哺乳類小	1	環椎か	1	焼けている					
44			海牛哺乳類	1	助骨	1						
45			魚類	1	タイ類か、主に椎骨	1						
46		北構成上	哺乳類	1	ノウサギ、脛骨	1						
47					舟形	1						
48					不明	1						
49			鳥類か	1	不明	1						
50					コウイカ	1						
51	6	南構成上	魚類	1	タイ類か、前腕端骨	1						
52					ヌスキ類、前腕端骨	1						
53					鰓条骨	2						
54					椎骨	1						
55					肋骨か	2						
56					小舟	6						
57					不明	1						
58		道橋28	魚類	1	鱗	多数						
59		貝殻			火葬骨か	1	炭化					
60					コウイカ	1	破片?					
61		構成上西北	魚類	1	コウイカ	1						
62			魚類	1	不明	1						
63	6a		魚類	1	不明	1						
64					タイ類、前腕骨	1						
65					タイ類、角骨	1						
66					タイ類、脊椎	1						
67					不明	1						
68					不明	1						
69		構成上東	哺乳類	1	ネズミ、大脛骨	1						
70	6b		魚類	1	不明	1						
71		構成上西	哺乳類	1	ネズミ、下脛骨	1						
72					不明	1						

表9 出土貝類一覧表

図	4	5	6	6a	6 b
出土地点	南岸成土	西岸成土	横濱成土	西岸成土	西岸成土
ハマグリ(右)	4		3 2	1 28 9 1	218
ハマグリ(左)	2	2	2 8	2 31 11 19	193
チョウセンハマグリ(右)			8	28 4 3	158
チョウセンハマグリ(左)			2 10	34 12 4	196
ハマグリ(一個体)					4
チョウセンハマグリ(一個体)					5
サザエ(角あり)				2 1	46
サザエ(角なし)				1	1
サザエ(腹)					15
アカニシ	3	1 1	3 11	2 16	5 6
イガイ(右)					63
イガイ(左)			1		68
クロワビ	1	2	1	7	2 4
マタカラウビ				2	4
アワビ 小片			1 1		1 2
トコブシ				4	1 1
キサゴ	4	23	79 30 3	144 13 137	49 744 1 12 34
イボキサゴ		34	64 10 7	173 17 19	39 986 1 10 72
ダンベイキサゴ	1	17	41 2 2	43	6 3 73 1 4
バイガイ		3	3 4 1	1	6 6 2
ウミニナ		3	1 1		3 1 3
イボウミニナ			3	4	1 9 3
ホソウミニナ					1 2
ツメガレイ	1	1	2 3		1 1
タボガレイ		3	1 2	33	1 2 7
バティラ				10	2 2 1
イタヤガレイ				1	
シングニン					
シオフキガイ		6	8	1	1
アラムシロガイ				1	3 7
マガキ				1	
コウイカ				1	
ザルガイ				1	
マツカサガイ					
ハイガイ(左)			1		
サトウガイ					
カシバン					1
クチベニガイ					1
スガイ				2	1
エビスガイ					1
シジミ					
アサリ		3		3	
アサリ(右)					
アサリ(左)					
オオツチガイモドキ			1		
マテガイ					2 1
カキ					
イガイ 小片					
加工?				1	
不明					
合計	9 4 2 1 1 11 120 1 7 347 83 37 1415 30 190 213 2062 3 8 110 218 4				

図	出土地点	7		8		8a			8b		8c		9		その 他	合計							
		遺 跡 43	構 成 土 石 43	遺 跡 45	構 成 土 石 45	遺 跡 49	構 成 土 石 49	遺 跡 55	構 成 土 石 55	遺 跡 56	構 成 土 石 56	遺 跡 57	構 成 土 石 57	遺 跡 58	構 成 土 石 58	遺 跡 59	構 成 土 石 59	遺 跡 61	構 成 土 石 61	遺 跡 64	構 成 土 石 64	9 面以下	
	ハマグリ(右)	3	3	32	3	2	18			4	9	1										465	
	ハマグリ(左)	1	5	3	13	1	12			3		8	1	2									414
	チョウセンハマグリ(右)	4	2	9	15	1	6	11		1	2		1	3	1	1	1	3	3	3	3	367	
	チョウセンハマグリ(左)	1	5	5	24	1	5	8		4	1	5	5	1	4	3		2	459			2	459
	ハマグリ(一個体)																						6
	サザエ(角なし)			1	3	1	1	2						1	1								5
	サザエ(角なし)																						4
	サザエ(裏)			1				1						1									22
	アカニシ	1	3	1		1	2	1	1	2	4	1	1	1									67
	イガイ(右)			1			1																1
	イガイ(左)				2	1				1		1		1									76
	クロアワビ																						23
	マダカアワビ	1	1	1																			13
	アワビ 小片	3				1	2																8
	トコブシ					1		1															7
	キサゴ	1	4	27	3	8	2					11	1	1									1351
	イボロサゴ	3	18	29	2	8	8	1				11	1	1	3								1507
	ダンペイキサゴ	1	1	1		4	1			3	8	2	2	1									217
	バイガイ						1	1	1		2	1	1										33
	ウミニナ																						13
	イボウミニナ																						20
	ホソウミニナ																						3
	ツメタガイ	1	3			1																	14
	クボガイ																						49
	バティラ					1						1											17
	イタヤガイ					1		1															3
	テンニシ							1															1
	シオフキガイ											2											18
	アラムシロガイ																						11
	マガキ																						1
	コワイカ																						1
	ザルガイ																						1
	マツカサガイ					1																	1
	ハイガイ(左)								1														1
	サツウガイ																						1
	カシバン																						1
	クチベニガイ																						1
	スガイ										1	3											7
	エビスガイ																						1
	シジミ			1																			1
	アサリ																						6
	アサリ(右)														1								1
	アサリ(左)													1									1
	オオツチガイモドキ					1																	2
	マテガイ																						3
	カキ											1											1
	イガイ 小片	15	24	47	147	1	12	37	73	2	2	17	1	15	63	15	5	20	4	2	6	5384	
	加工?																						0
	不明																						1
	合計	15	24	47	147	1	12	37	73	2	2	17	1	15	63	15	5	20	4	2	6	5384	

表 10 出土果核類一覧表

No.	面	区分	モモ	スモモ	オニグルミ	ヒメタマゴ	ウメ	クリ	カチキ	ヌクシ	ツバメ	アカツツ	合計
1	1	道耕 5 個間		1								1	
2		道耕外	3									3	
3		道耕外	2	1								3	
4	3	横成上 南上刷	5	1			少					(6)	
5		横成上 南中刷		3								3	
6		横成上 南下刷	2	1								3	
7		道耕外						1				1	
8	4	横成上 南	3	1			8					12	
9		横成上	1									1	
10		道耕外	3									3	
11	4a	横成上	1									1	
12		横成上	1									1	
13		道耕 18	2				2					4	
14		道耕 22		2			1					3	
15		道耕 24 東板壁	1									1	
16		道耕 24 北板壁北		1								1	
17		道耕 24 北板壁北					8	1				9	
18		道耕 24 北板壁北						1				1	
19	3	道耕 24 板壁	1									1	
20		道耕 25 園中東周辺		2	2	約 50 片		150				(154)	
21		横成上 南地裏					1					1	
22		横成上 南地裏					1					1	
23		横成上					2					2	
24		横成上	3	2	1	15						21	
25		横成上	1			1						2	
26		横成上 中	2									2	
27	6	南横成上	5	8	1	10						24	
28		道耕 28				1	多数	2				(3)	
29		豆树	1									1	
30		横成上	1	1	2		1					5	
31	4a	横成上 内北	1			1					1	3	
32		横成上 東	1			1						2	
33		横成上 東	2	1	2	1	6	1				13	
34		横成上 東	1			1						2	
35		横成上 東		2			3					5	
36	4b	横成上 内北		1			1					2	
37	7	道耕 43	1	1	1							3	
38		横成上	1									1	
39		道耕 49	1	1								2	
40		道耕外	2	1		3						6	
41	8	横成上			1							1	
42		横成上	1									1	
43		横成上				2				2		4	
44	8a	道耕 59	1			1						2	
45	8c	道耕 62		1								1	
46		横成上	1									1	
47	9	道耕 64	1					1				1	
48		横成上										1	
合計			52	1	34	7	6	(68)	4	150	2	1	325

表 11 出土木製品集計表

器種	出土面		1 構成土	2 透構土	3 透析構成土	4 透析地盤内		4a 透析地盤上		5 透析地盤内		6 透析構成土											
	透析構成土	透析地盤内	透析構成土	透析地盤内	透析構成土	透析構成土	透析地盤内	透析構成土	透析地盤内	透析構成土	透析地盤内	透析構成土	砂漿										
飲食	箸	1	24	148	212	285	7	9	151	37	12	9	53	39	213	8	11	782	29	4	696		
	串(蒸籠)			1	2	2		1		1		2		1			2	22		11			
	瓶(子)																	1		1			
調理	俎板									1													
容器	曲物																						
	圓																						
調度	折敷			3	3	5			10			3	2	3	15	1	2	26		11			
	笠																	5		1			
	繩			2																			
	小籠鉤?											2											
燈火	蠟明台																						
履物	通底下靴		1							1		1		1				7		5			
	通底下靴																	1					
	草履																						
遊戲具	跳杖	1	2	2	7				7	2		1	6	21	15	85	1	15					
	木球										1												
工具	刀子鍔																						
	劍																						
	鐵																						
	鐵具																						
紡織	手杼木			1	1			1							1		1						
	刀(柄・鞘)							1															
建具	扇狀											2							2				
	帷																						
	不明						2																
建築部材	梁											2	1	1	4								
	柱												2		2								
	梁版																	1					
	枋																						
	板材								5		1	25	1	29	3	34	7	33	2				
	角材											2	3	12			9	4	2				
	板檻											8			5								
	不明			4	28	20	17		5		6	1			18								
その他	炭化物		1																				
	根																						
	跡																	1					
	用途不明	1	6	65	21	30	1	4	4	44	22	2	23	56	8	84	3	2	31				
	合計	1	1	2	44	246	273	39	9	15	13	224	71	16	1	60	58	17	364	2	17	38	1089
																		40	6	781			

出土品		6a			6b			7			8			8a			8b			
器種	貢用	西北構成土	東側構成土	道縫外	道縫内	集成土	集成土	道縫43	集成土(西)	集成土(北)	集成土	道縫49	道縫外	集成土	道縫55	道縫56	道縫57	道縫58	道縫59	構成土
		1	100	106	2	11	26	9	5	7	27	22	3	60	10	4	8	14	37	
飲食	箸	5	3			1							1						1	
	串(萬箸)																			
調理	鉗子																			
容器	俎板																			
	曲物																		1	
	蓋																			
調度	折敷				2	2			1		3		2				1		2	
	盐																			
	鹽																			
	小猫鉤?																			
燈火	電明台												2							
	迷路下駄											1	2							
履物	素面下駄																			
	足環	2	1	5		7	6	1	1		8	4	2	8	2	1	1	3	2	
遊戯具	毬杖			1												1		2	2	
工具	木球																			
	釘																			
	刀子鍔							1												
農具	鋤																			
	杵																			
	件																			
紡織	手杼(木)																			
	刀(木、鐵)																			
建具	板状					1														
	檻																			
	不明						1													
建築部材	梁	1				2						1								
	壁版	1				1	3			2		1		3			3		1	
	杭	1				1					1		1	1					1	
	板材		6			7					25									
	角材		3										11	4					3	
	板檻																			
	不明		2			3			4	3		1		10		2				
その他	炭化物																			
	磚		1																	
	胎																			
	用途不明	3	13	19	1	2	13	14	4	3	17	6	3	9	37	21	3	2	2	
	合計	9	123	142	1	4	47	53	16	10	31	44	62	10	5	135	57	1	5	6
																	7	13	28	
																	93			

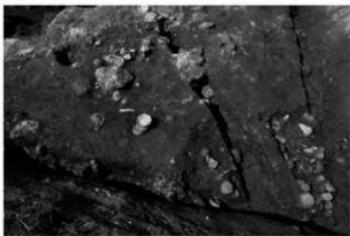
出上面		8c		9		その他	合計
器種		遺物	遺物	遺物	6面以下		
飲食	箸	4	5	-	15	320w	
	串 (米箸)				56		
調理	杓子			2			
	俎板			1		1	
容器	曲物	1		1	32		
	壺				4		
調度	折敷	2	1	1	小片 多数	(101)	
	笠				6		
	縄				2		
	小箱鉤?				2		
燈火	燈明台				2		
履物	達磨下駄				19		
	差駄下駄				1		
	草履	2	1	2	226		
遊戯具	毬杖				1		
	木球				2		
工具	距				5		
	刀子鍔				1		
農具	鋤				1		
	杵				1		
筋繩	手押木			1	6		
	刀 (柄・鞘)				1		
建築部材	板状				1		
	椎				4		
	不明				2		
	梁				1		
	柱				12		
	礎版				17		
	杭				7		
	角材				182		
その他	板材				53		
	板壁				13		
	不明	1			124		
	炭化物				2		
	根				1		
	蹄り				1		
	用途不明	22	4	4	693		
	合計	27	10	13	-	1 16 4811	

表 12 箸状木製品出土面別統計表

面	断面形	4角	5角	6角	7角	8角	
		191	380	166	12	1	
面	3.本数	24.3	30.8	25.6	23.8	21	
		20.5	19.8	20.5	21.75		
面	中央値	19.3	19.2	20.2	20.45		
		18.5	18.55	18.6	18.9		
面	最小値	12.5	12.1	13.6	14.5		
		19.39	19.219	19.485	20.15		
面	平均値	54	85	55	3		
		25.5	23.8	25.9	21.6		
面	3.本数	21.4	21.23	20.5	21.6		
		19.9	20	19.5	21.4		
面	中央値	19.2	18.9	18.8	16.9		
		16.2	15.2	16	16.9		
面	最小値	26.098	19.995	19.822	19.967		
		73	124	90	8		
面	4a.本数	24.2	24.1	24.8	24.2		
		21.4	21.2	21.2	22.8		
面	中央値	20.4	20.2	20	21.5		
		19	19	19	19.15		
面	4a.本数	12.8	15.2	16.8	17.6		
		26.655	20.104	20.097	21.088		
面	5.本数	185	447	413	69	9	
		24.5	26	27.2	25	23.8	
面	中央値	21.2	21.1	21.55	22.4	22.9	
		20	20.4	20.5	21	20.8	
面	5.本数	19.1	19.2	19.4	19.8	19	
		13.2	13	11.8	14.8	18.6	
面	平均値	19.997	20.202	20.373	21.103	21.044	
		2	12	20	6		
面	6.本数	3	2	10			
		20.8	19.4	22.8			
面	中央値	20.8	19.4	21.8			
		19.9	18.9	20.8			
面	6.本数	19.8	18.4	19.5			
		19.8	18.4	17			
面	平均値	20.167	18.9	20.34			



1. 1区1面全景（北から）



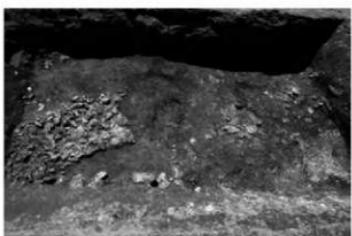
2. 1区1面遺構2（南から）



3. 1区1面遺構5周辺掘り下げ状態（北から）



4. 1区1面遺構5（北東から）



5. 2区1面全景（北から）



5. 2区1面遺構4（南西から）

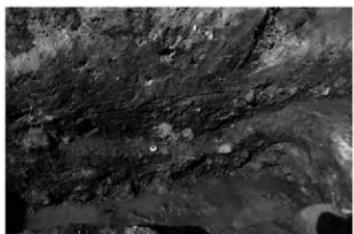


7. 2区2面全景（北から）

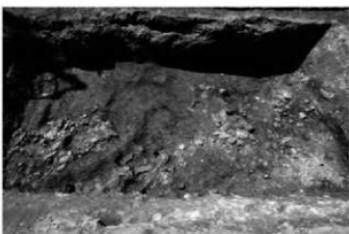


8. 1区2面全景（南西から）

写真図版 2



1. 1区2面遺構10（南から）



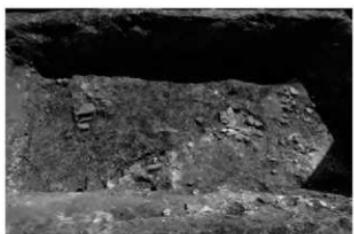
2. 2区2面全景（北から）



3. 1区3面全景（北から）



5. 1区4面全景（北から）



4. 2区3面全景（北から）



6. 2区4面全景（北から）



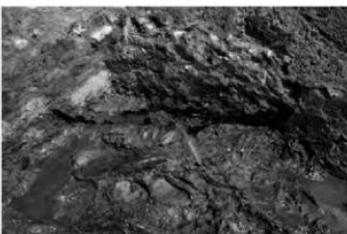
7. 3面構成土木製品出土状況（北から）



8. 3面構成土漆器・草履出土状況（北から）



1. 1区4面西南板と杭（北から）



2. 2区4面遺構 15（西南から）



3. 2区4面遺構 16（南から）



4. 2区4面遺構 16部分（南から）



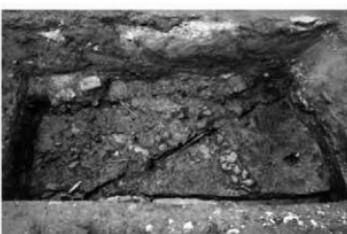
5. 2区4a面全景（北から）



7. 1区5面全景（北から）



6. 2区4a面泥岩地業下面（西から）



8. 2区5面全景（北から）

写真図版4



1. 2区5面遺構24(北から)



2. 2区5面遺構24(南東から)



3. 2区5面遺構24北側板組(南から)



4. 2区5面遺構24北側板組(北から)



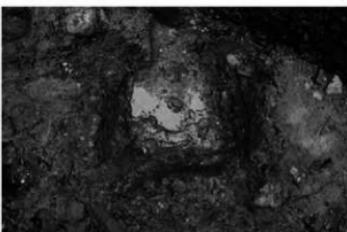
5. 2区5面遺構24板列北側(南から)



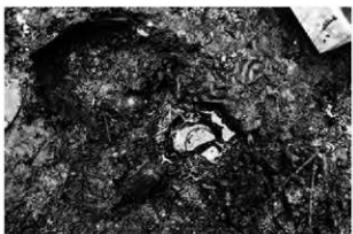
6. 2区5面遺構25圓炉裏(西から)



7. 2区5面遺構25圓炉裏内堆積(西から)



8. 2区5面遺構25圓炉裏据方(西南から)



1. 1区5面漆器出土状況（北から）



2. 1区5面構成土漆器出土状況（北から）



3. 2区5面圓炉裏周辺遺物出土状況（西から）



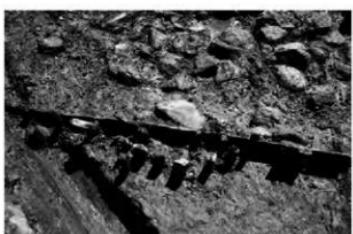
4. 2区5面遺構 26傍遺物出土状況（北から）



5. 2区5面遺構 26（東南から）



7. 1区6面全景（北から）



6. 2区5面遺構 26板列（北西から）



8. 2区6面全景（北から）

写真図版 6



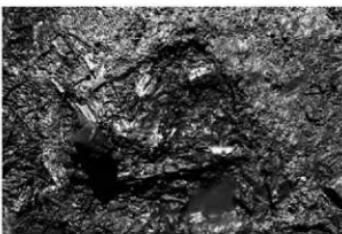
1. 2区6面遺構 27板列（南から）



2. 2区6面遺構 27板列（北から）



3. 2区6面漆板検出状況（西から）



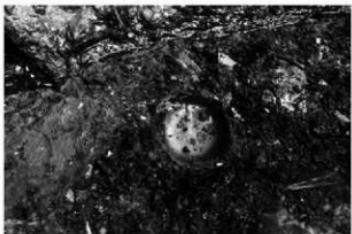
4. 1区6面鳥帽子出土状況（西から）



5. 1区6面構成土漆器出土状況（北から）



6. 2区6面漆器出土状況（北から）



7. 2区6面漆器出土状況（西から）



8. 2区6面草履出土状況（南から）



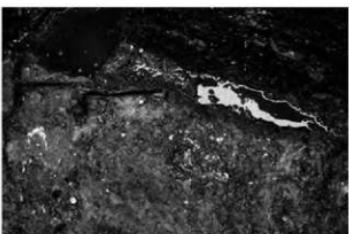
1. 2区 6a 面全景（北から）



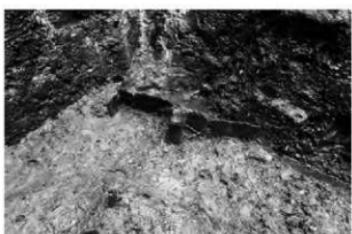
2. 2区 6a 面下全景（北から）



3. 1区 6a 面全景（西から）



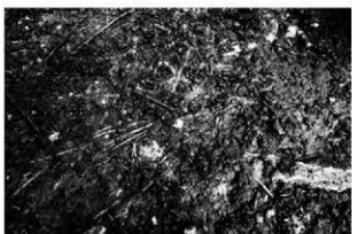
4. 2区 6a 面遺構 28 検出状況（北から）



5. 2区 6a 面遺構 29（北から）



6. 2区 6b 面全景（北から）



7. 2区 6b 面遺構 28（東から）



8. 2区 6b 面遺構 29（北から）

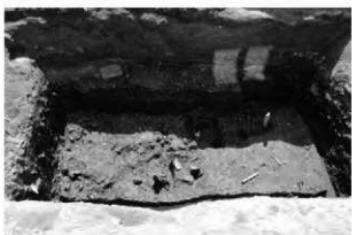
写真図版 8



1. 1区7面全景（南から）



3. 1区7面横板出土状況（西南から）



2. 2区7面全景（北から）



4. 1区7面遺構44（北から）



5. 2区7面構成土呪符木簡出土状況（南から）



1. 1区8面全景（北から）



2. 1区8面東南板組（北から）



3. 2区8面全景（北から）



4. 2区8面遺構49（東から）



5. 1区8a面全景（北から）



6. 1区8b面全景（北から）



7. 2区8a面全景（北から）



8. 2区8b面全景（北から）



1. 2区8b面遺構 60（東南から）



2. 2区8c面遺構全景（北から）



3. 2区9面全景（南から）



4. 2区9面遺構 64（北から）



5. 2区深堀（北から）



6. 2区深堀（南から）



7. 2区東壁板列上段検出状況（西から）



8. 2区東壁板列下段検出状況（西から）



1. 1区西壁セクション（東から）



2. 2区西壁セクション（東から）



3. 2区東壁セクション（西から）



4. 1区東壁セクション（西から）



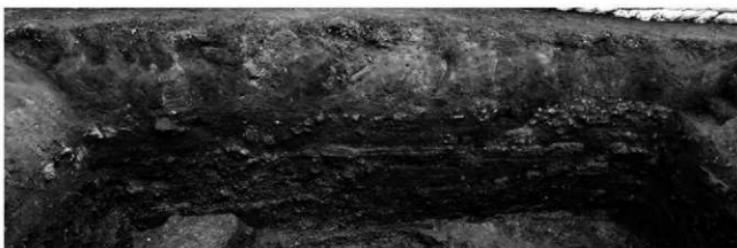
5. 2区北壁セクション（南から）



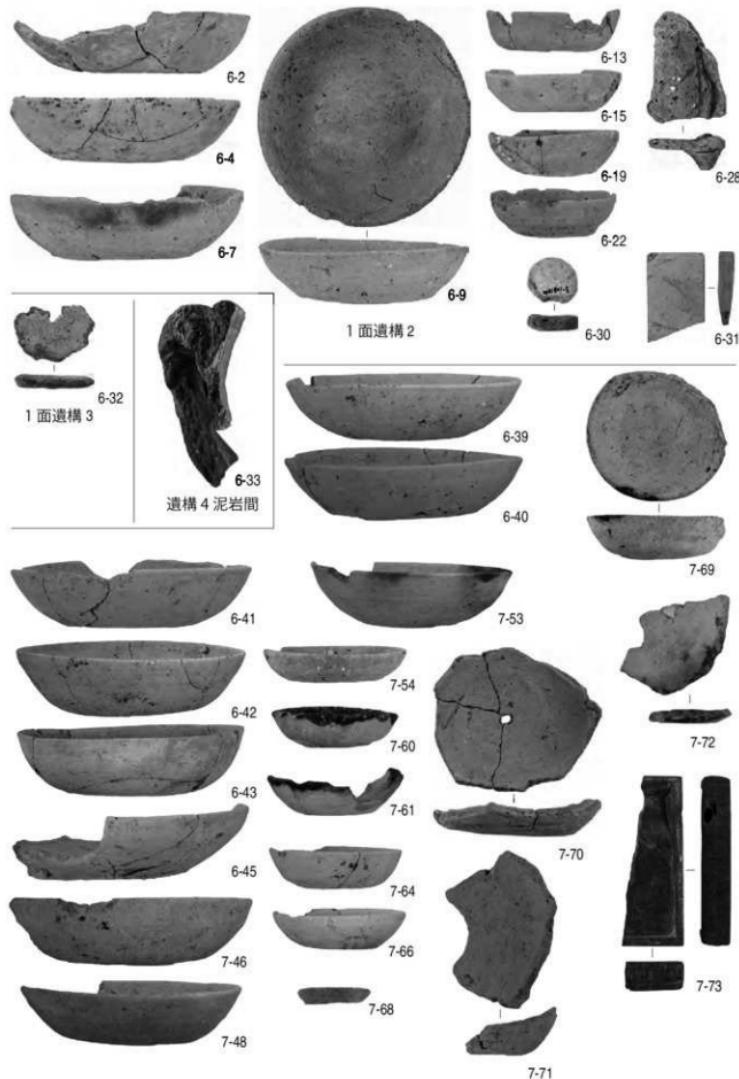
1. 1区南壁セクション（北から）



4. 2区南壁セクション（北から）



5. 1区北壁セクション（南から）

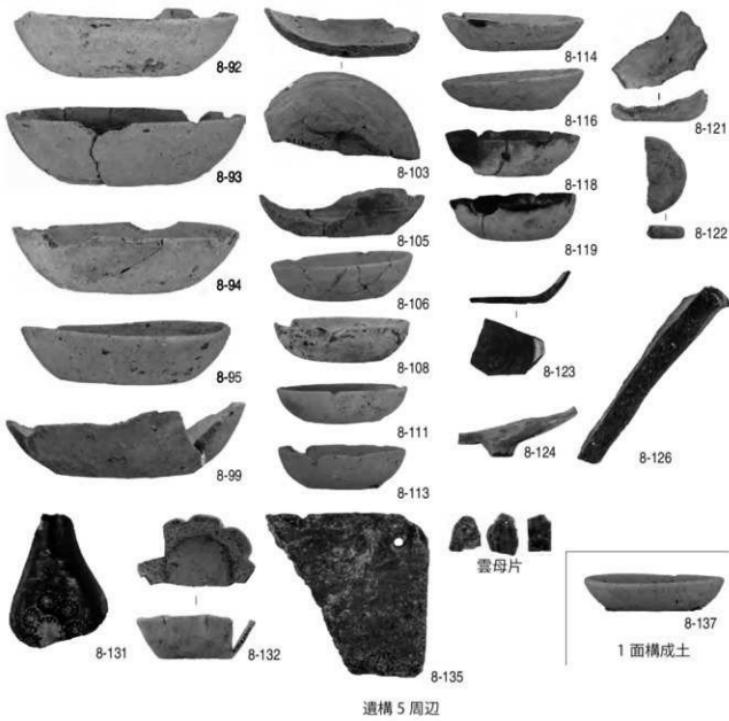




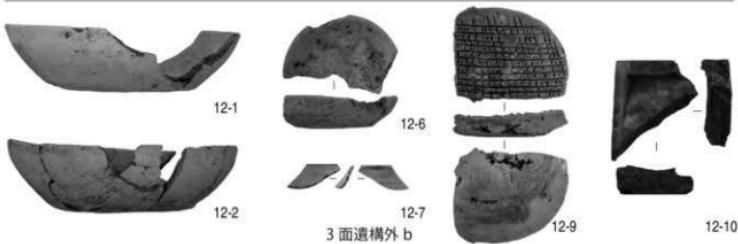
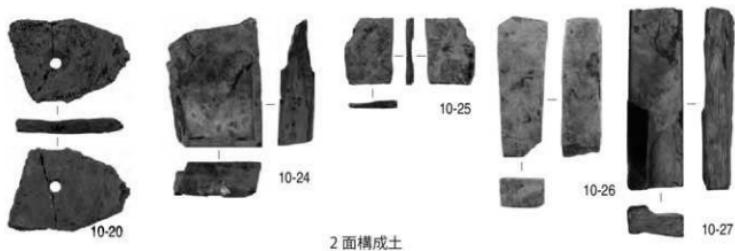
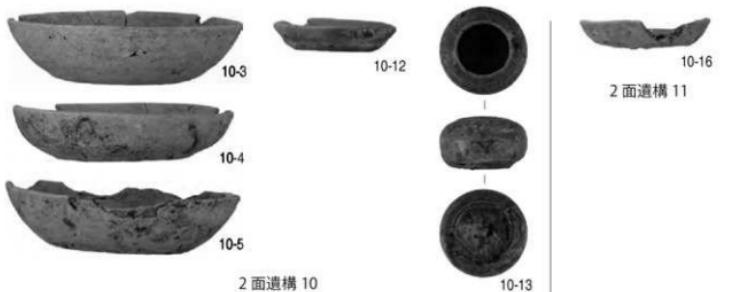
遺構 5 泥岩間

遺構 5 泥岩層間

1面遺構 4 南側

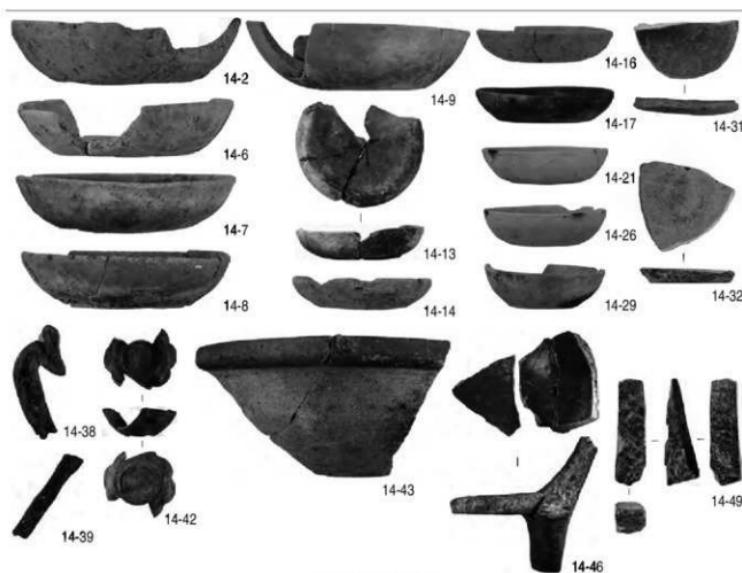


遺構 5 周辺

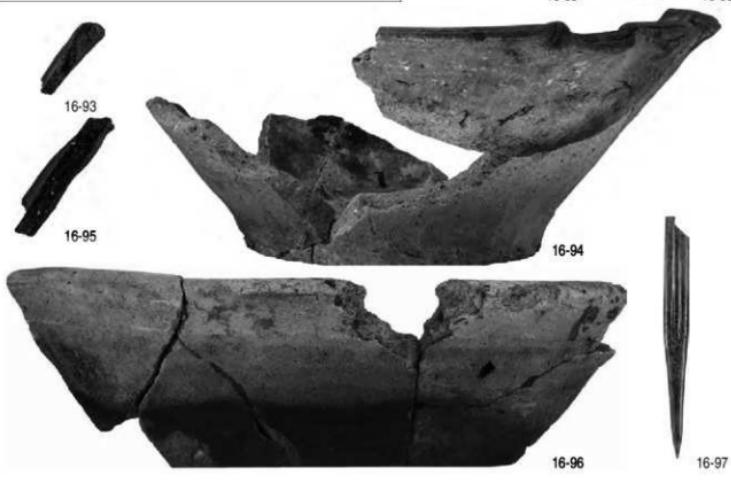
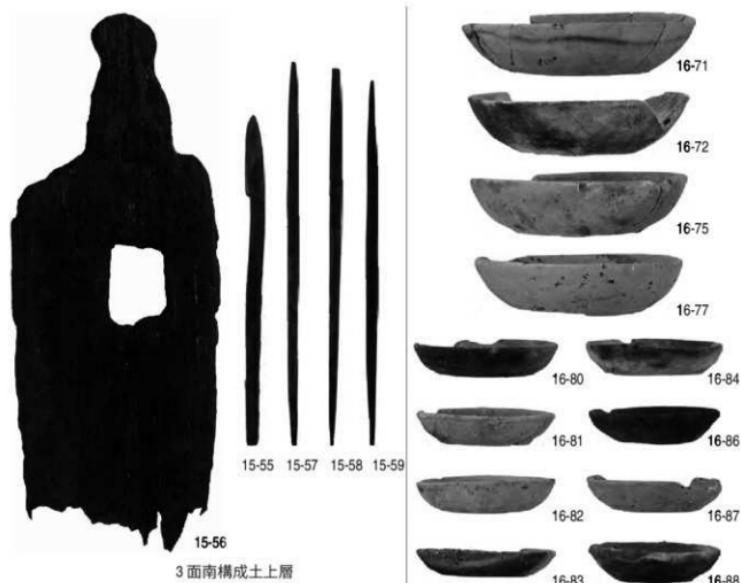




3面遺構外 b



3面南構成土上層





17-103



1



17-109



17-107



17-108



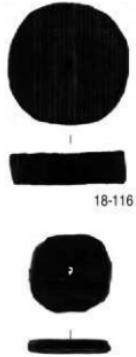
17-111



17-114



18-115



18-116

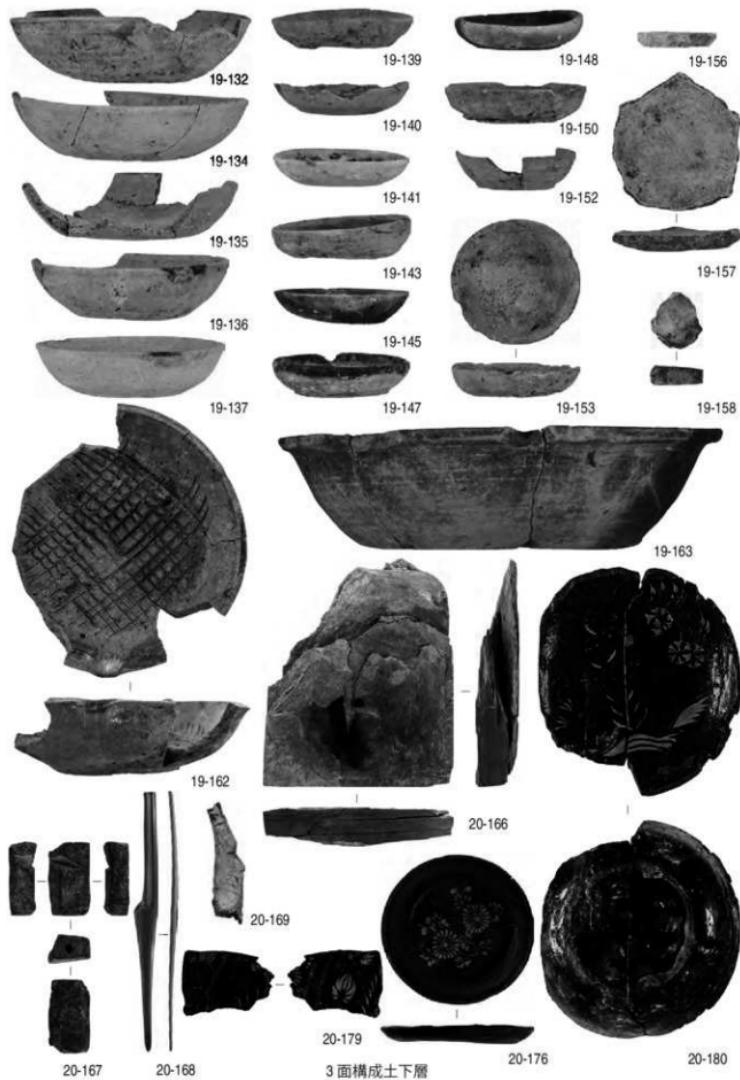


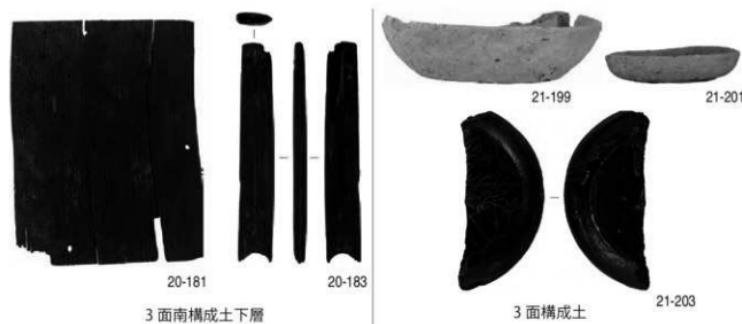
18-121

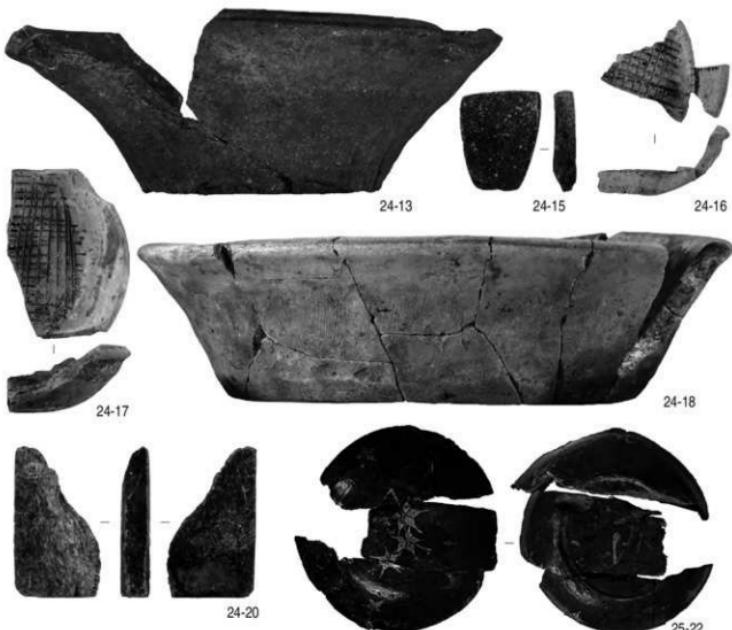


18-118

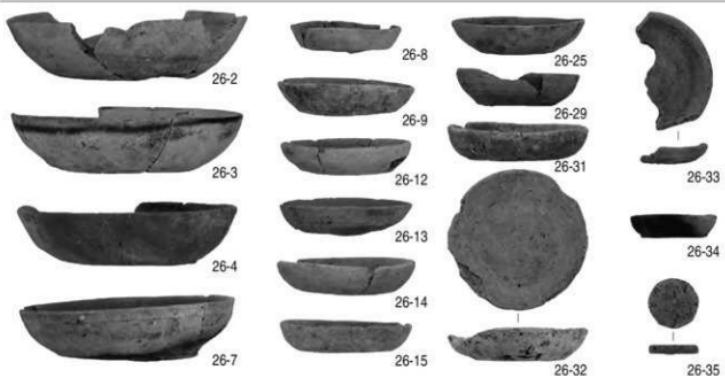
3 面構成土中層



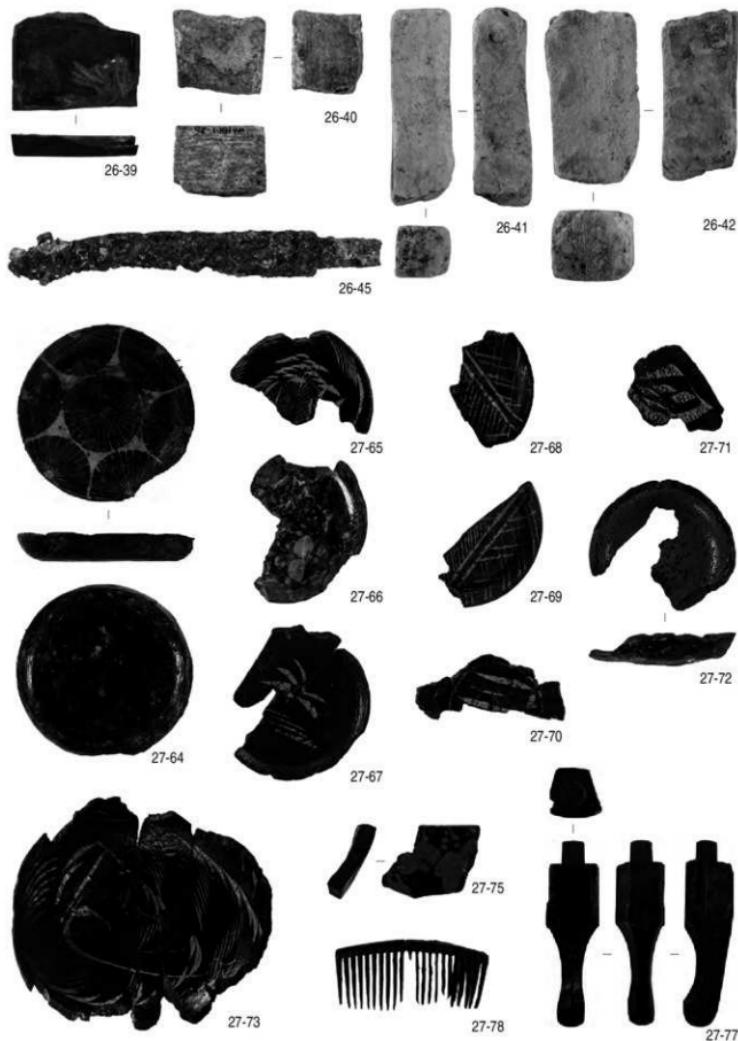




4面遺構外



4面南側構成土

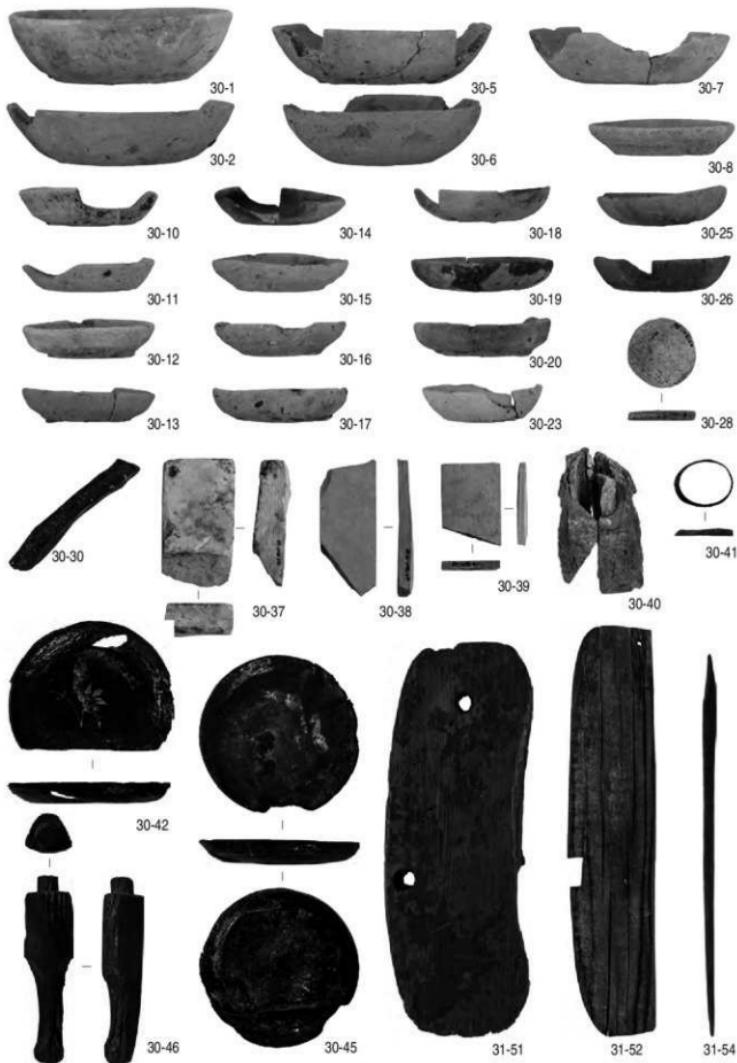


4 面南側構成土

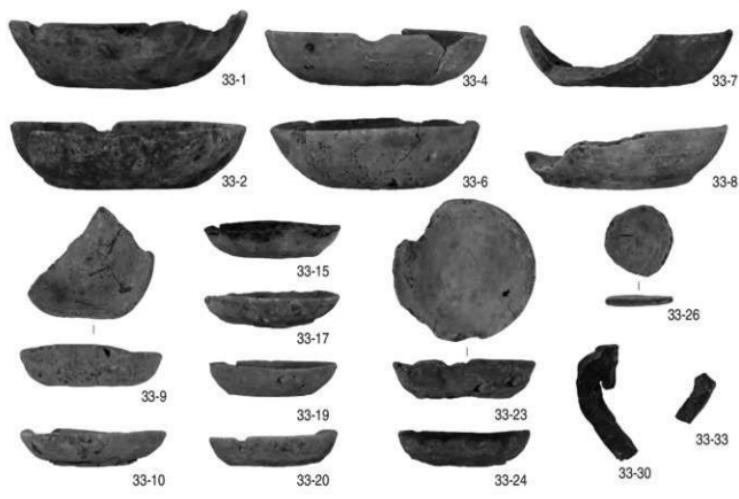
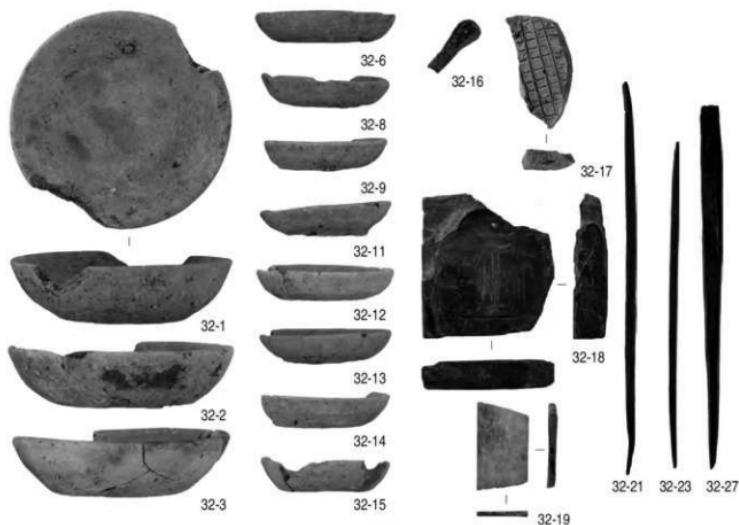


4 面南側構成土

写真図版 24

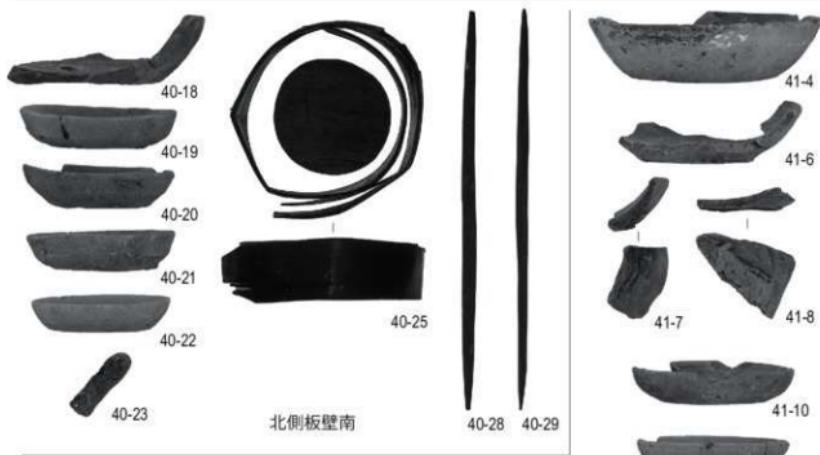


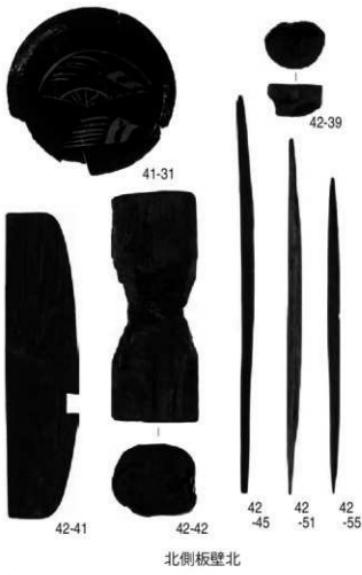
4面構成土



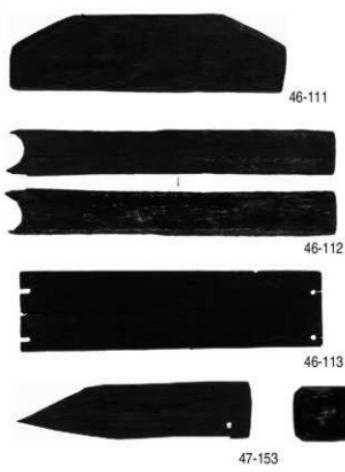
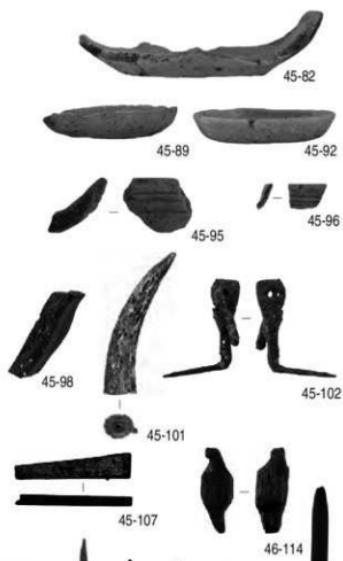


5 面遺構 18

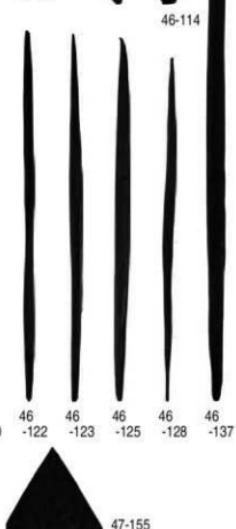


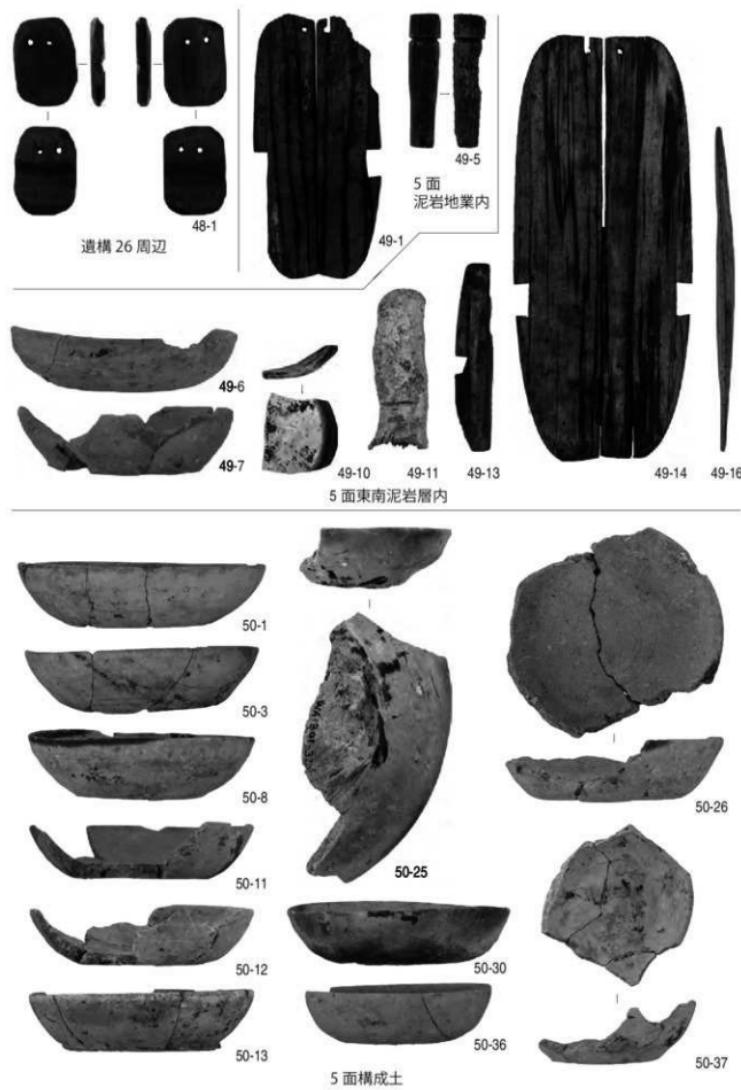


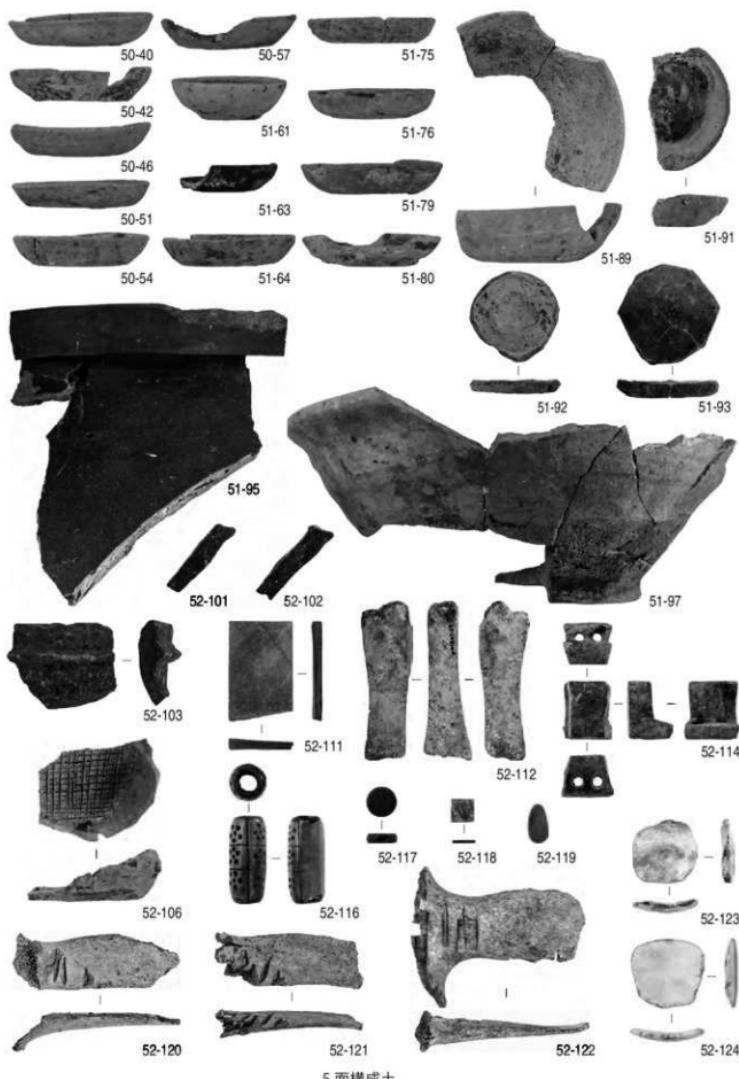
北側板壁北

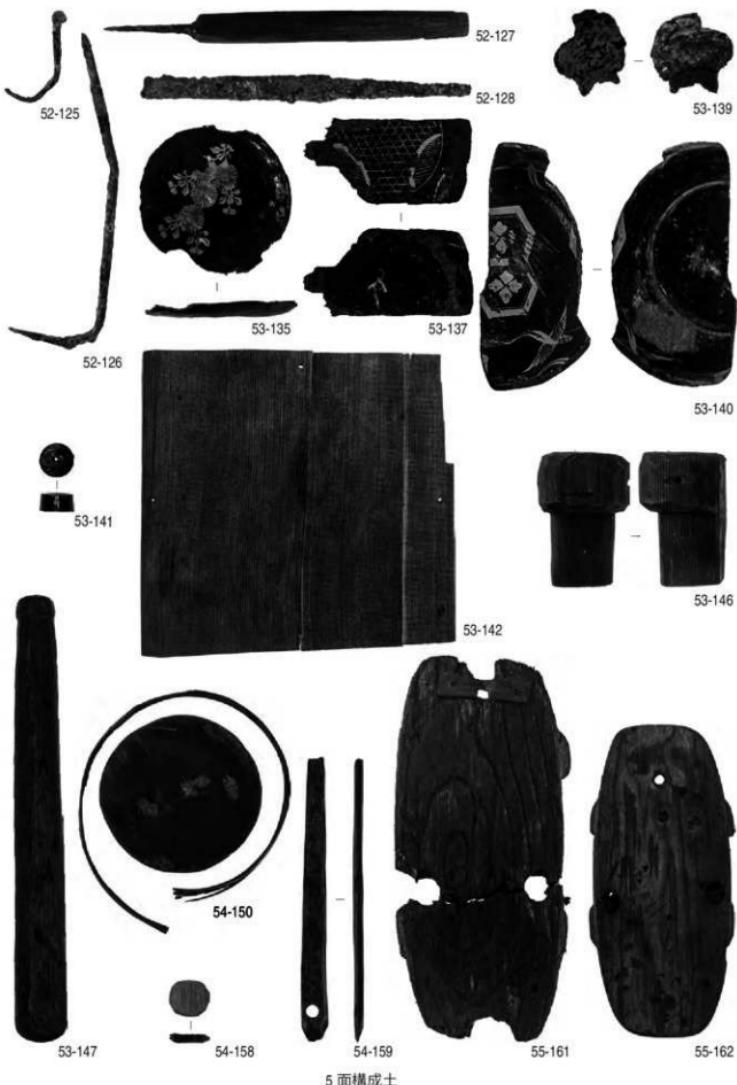


囲炉裏周辺

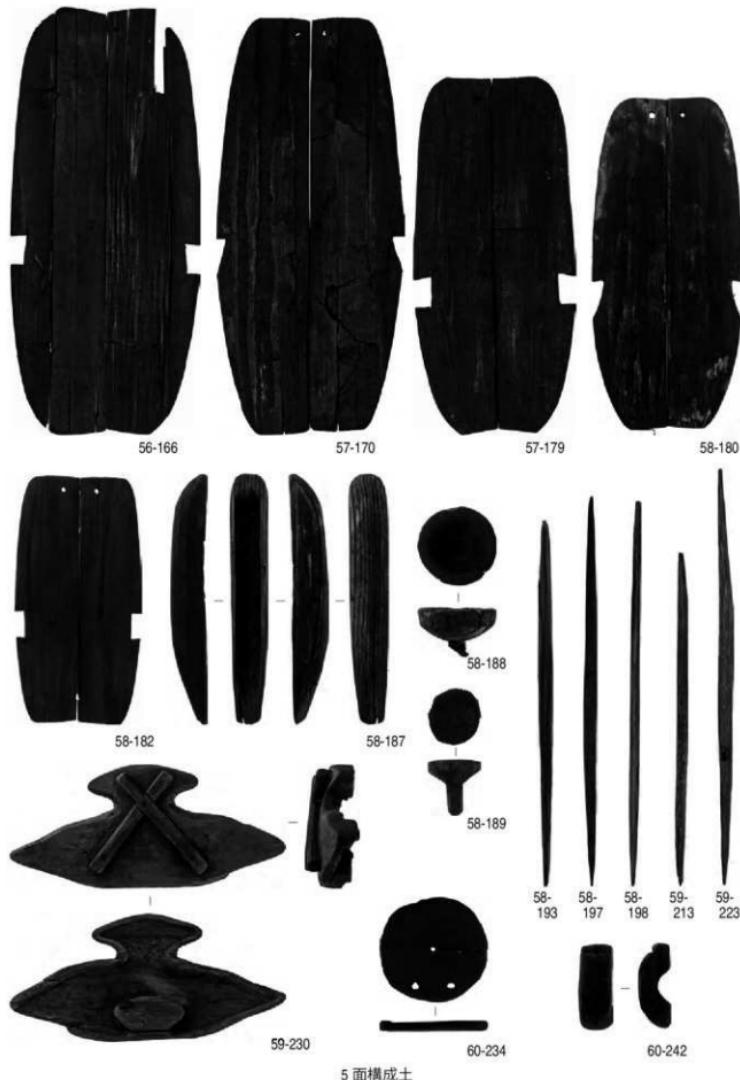


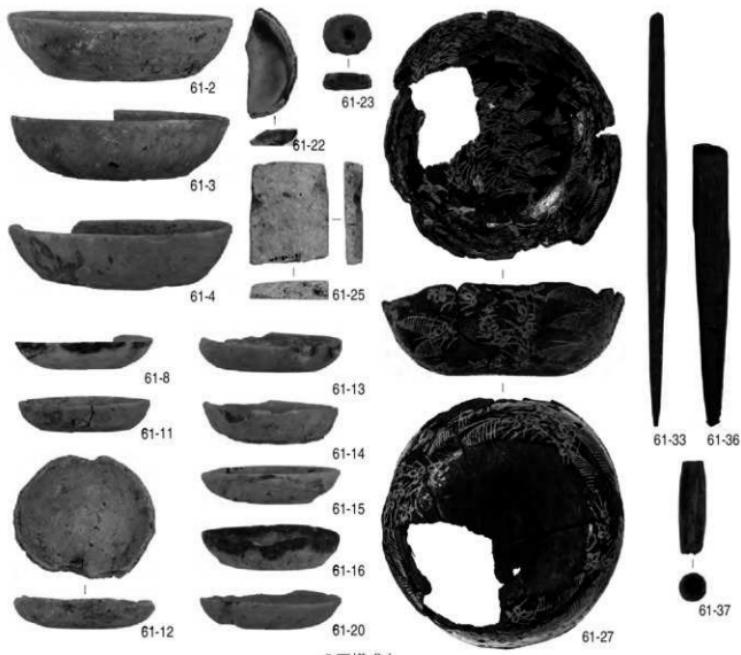


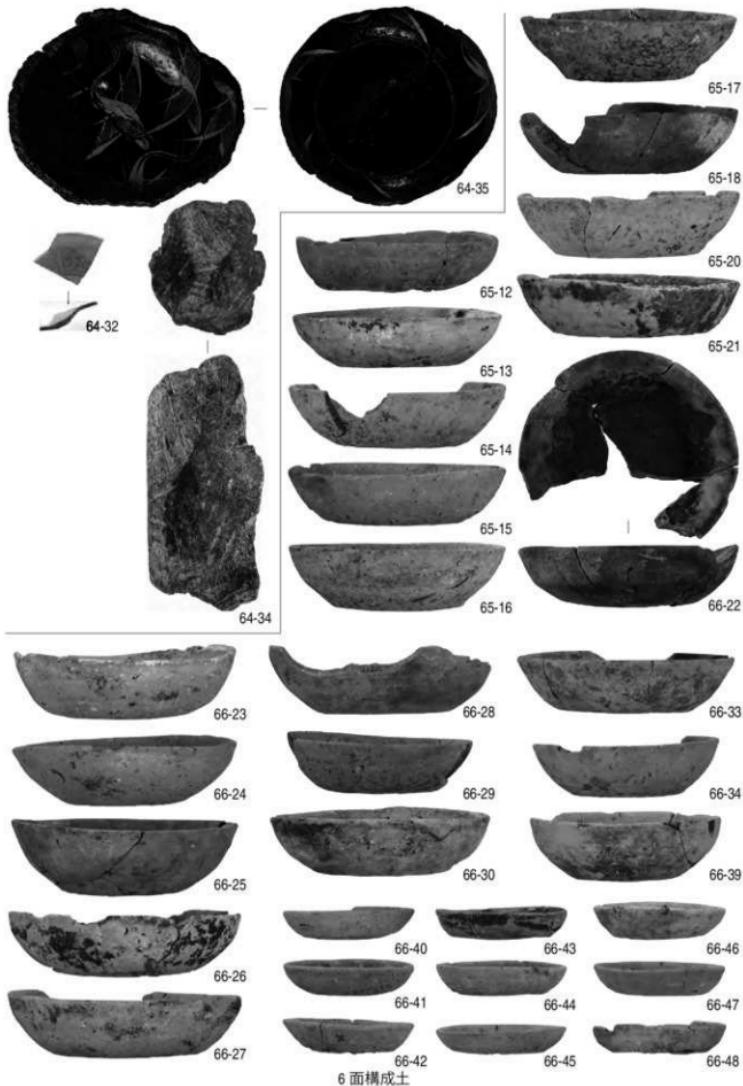


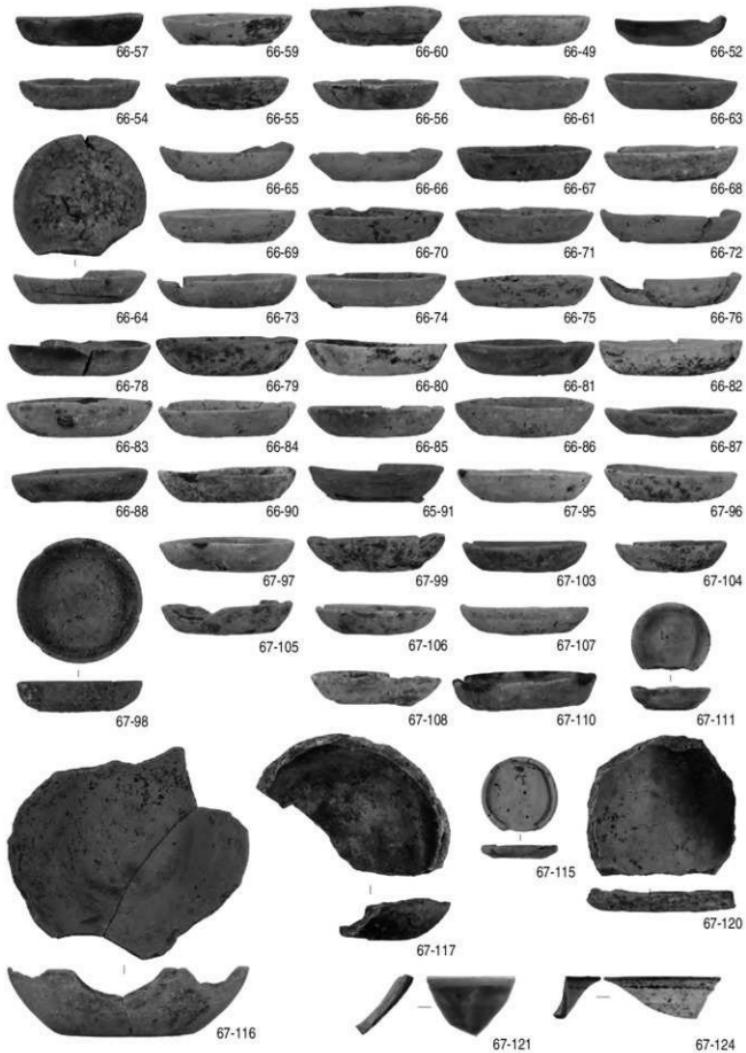


5面構成土

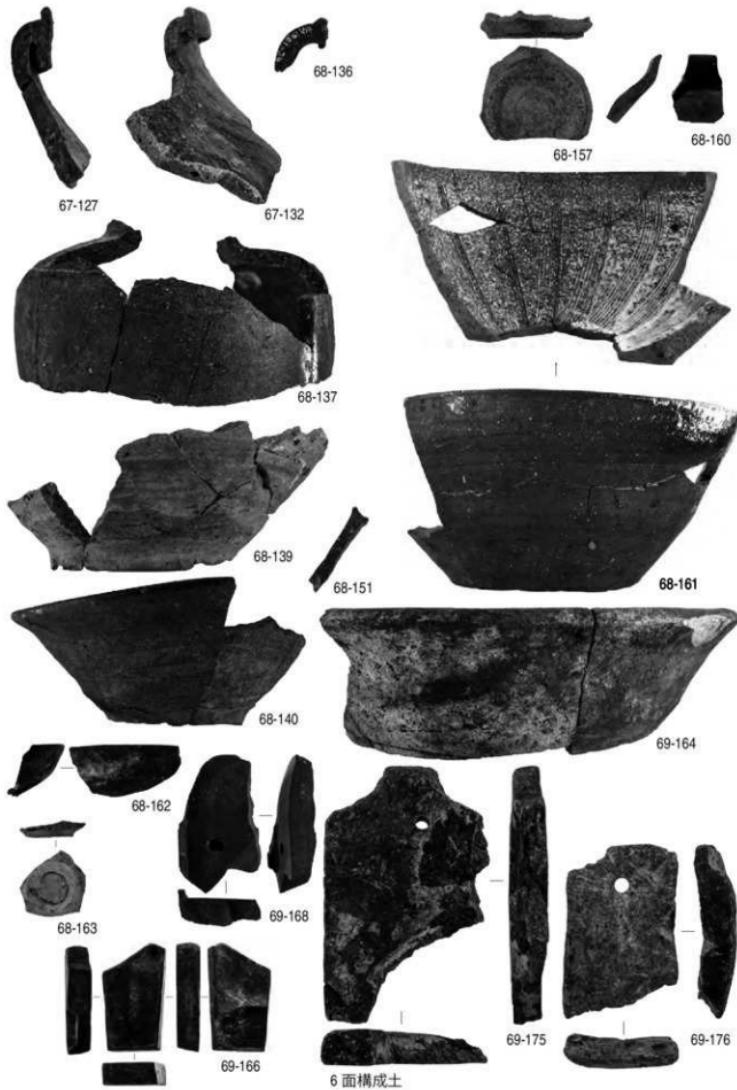


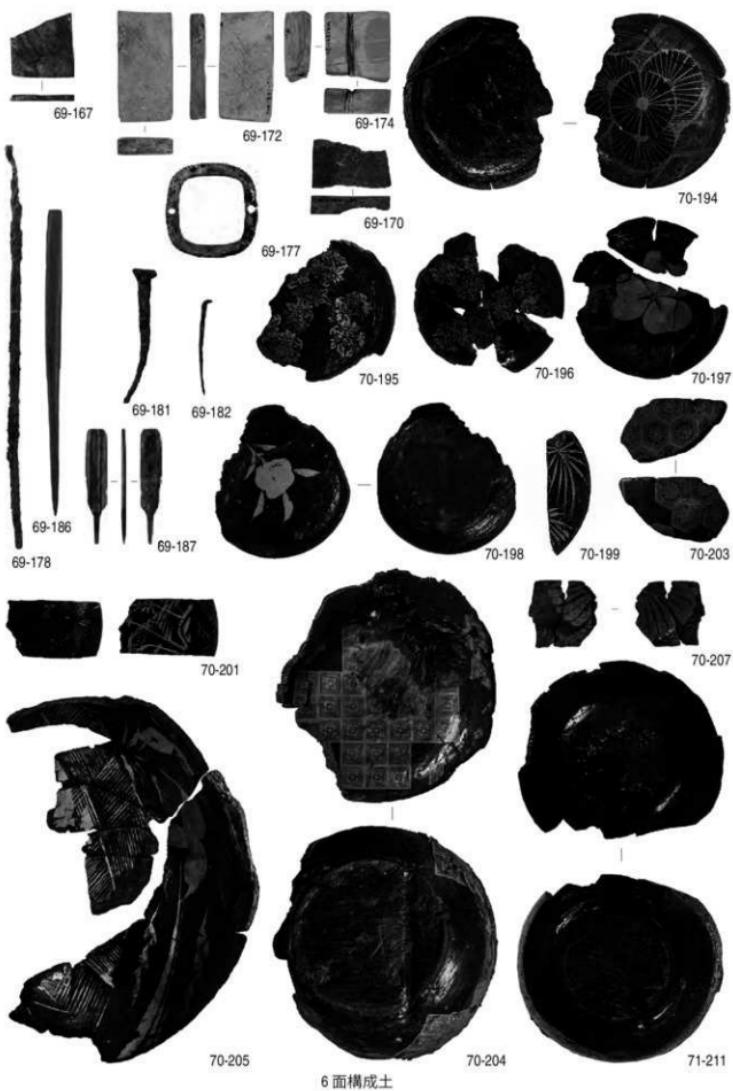






6面構成土







71-214



71-217



71-219



72-222



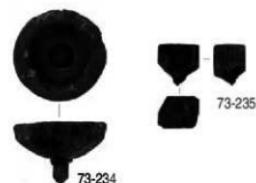
73-229



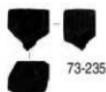
72-225



73-231



73-234



73-235



76-1



76-2



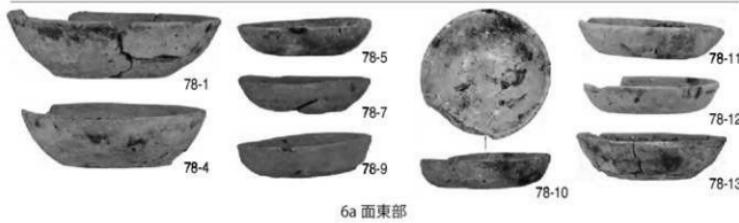
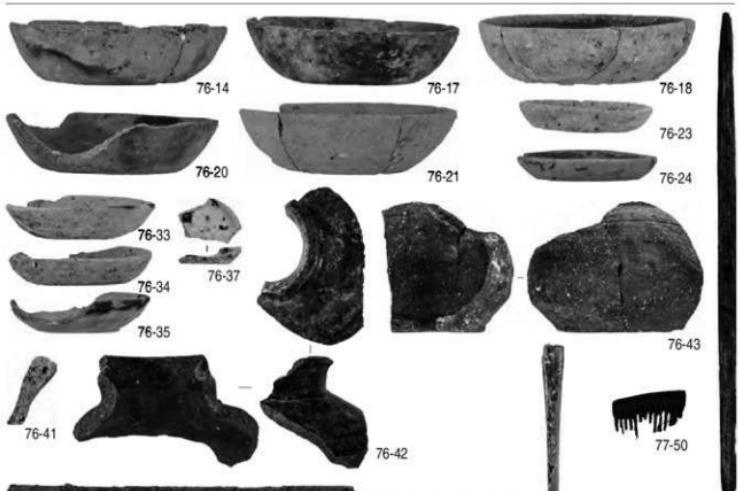
76-3

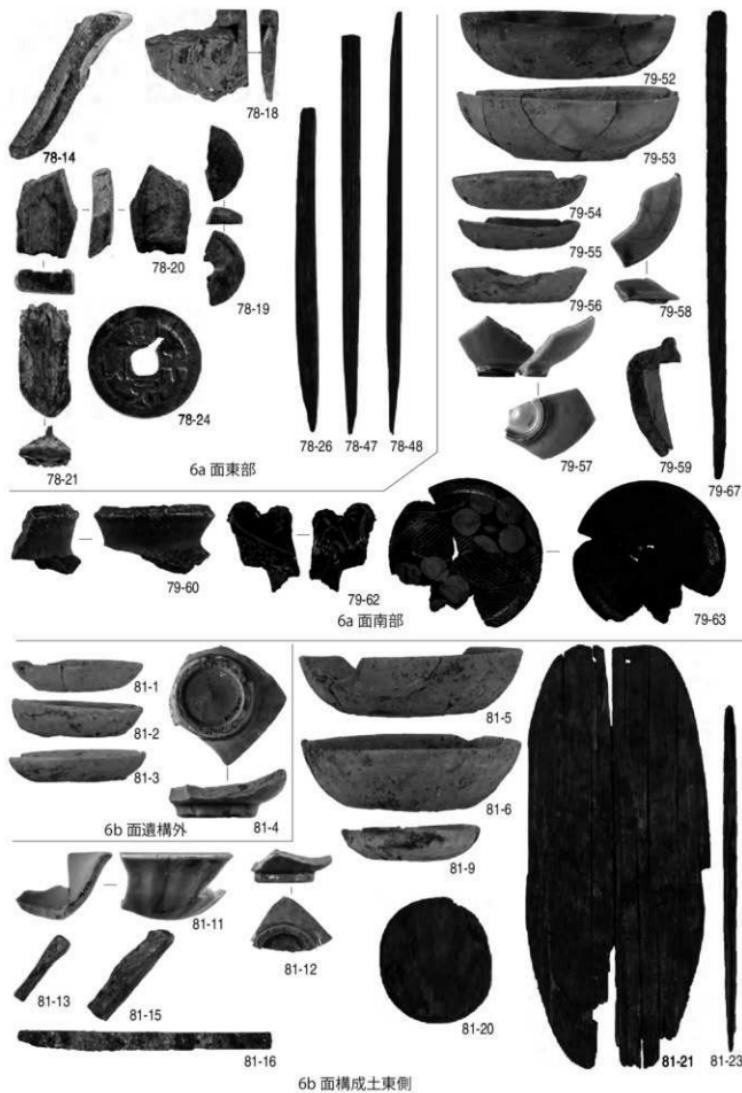


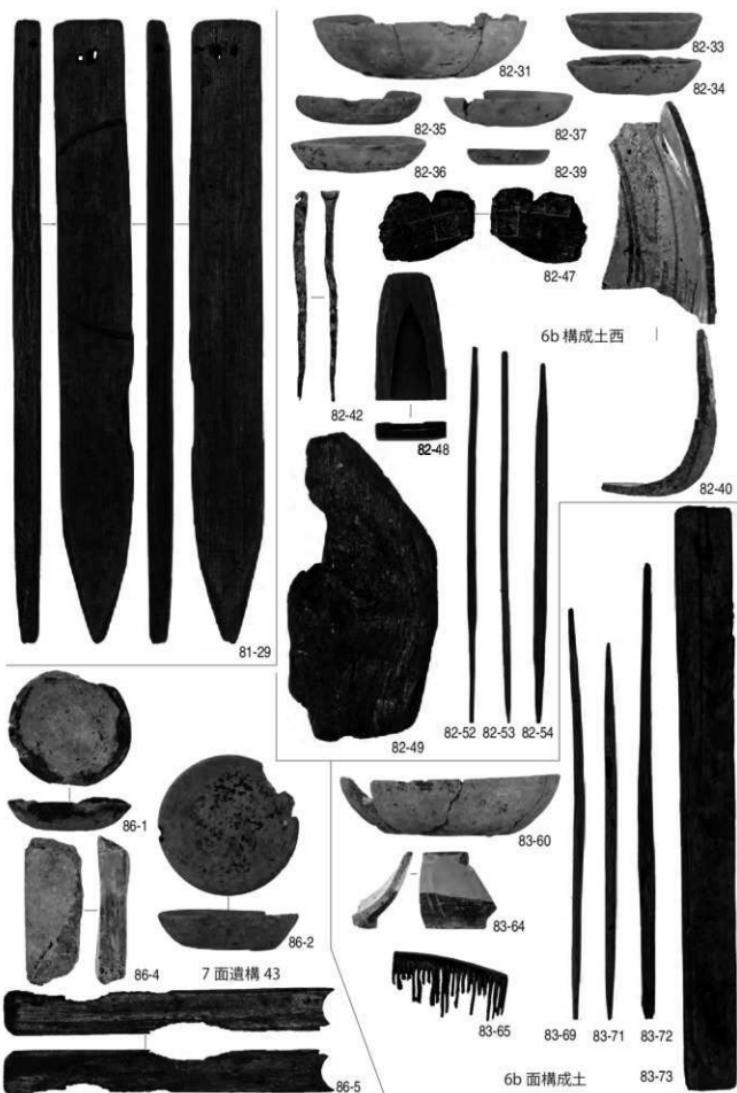
76-4

6 面構成土

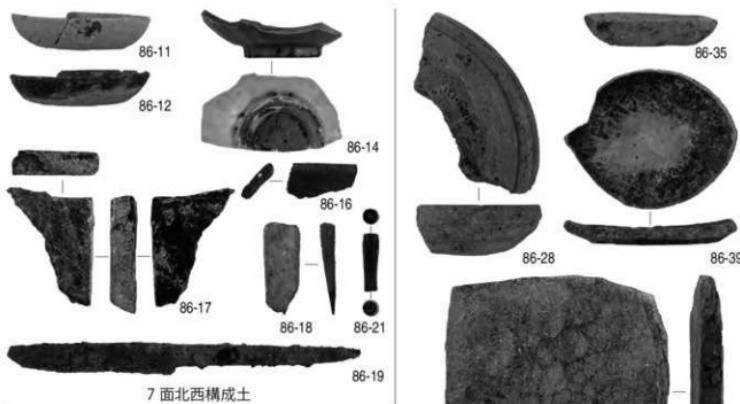
6a 面貝層







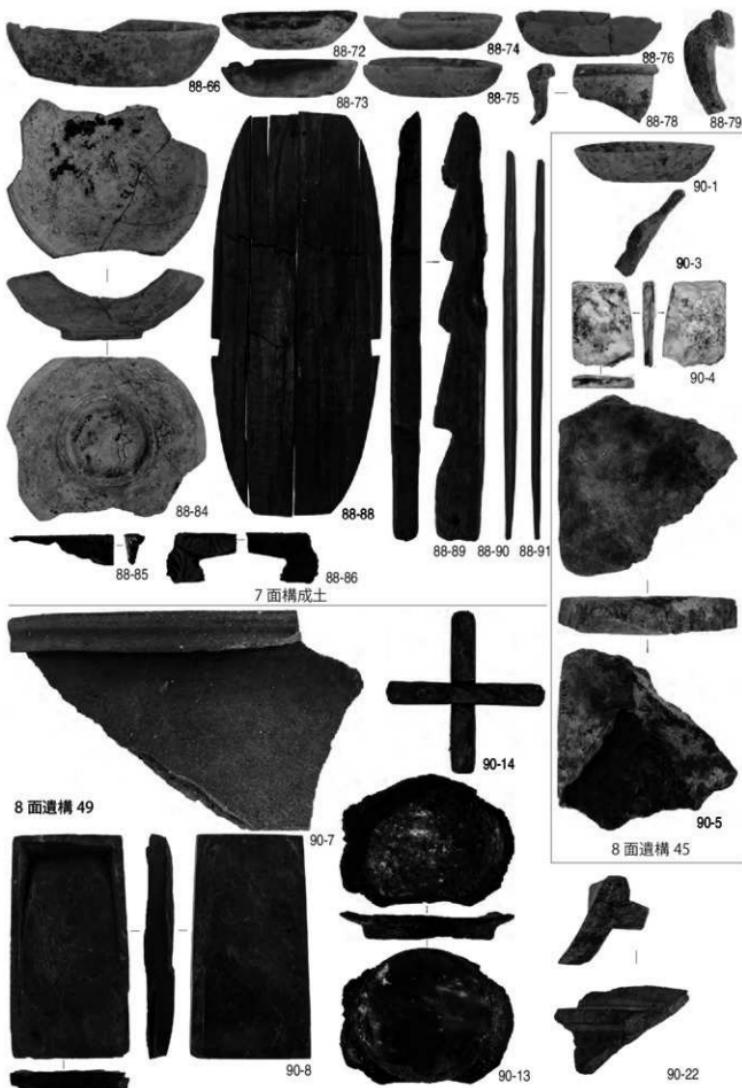
写真図版 42



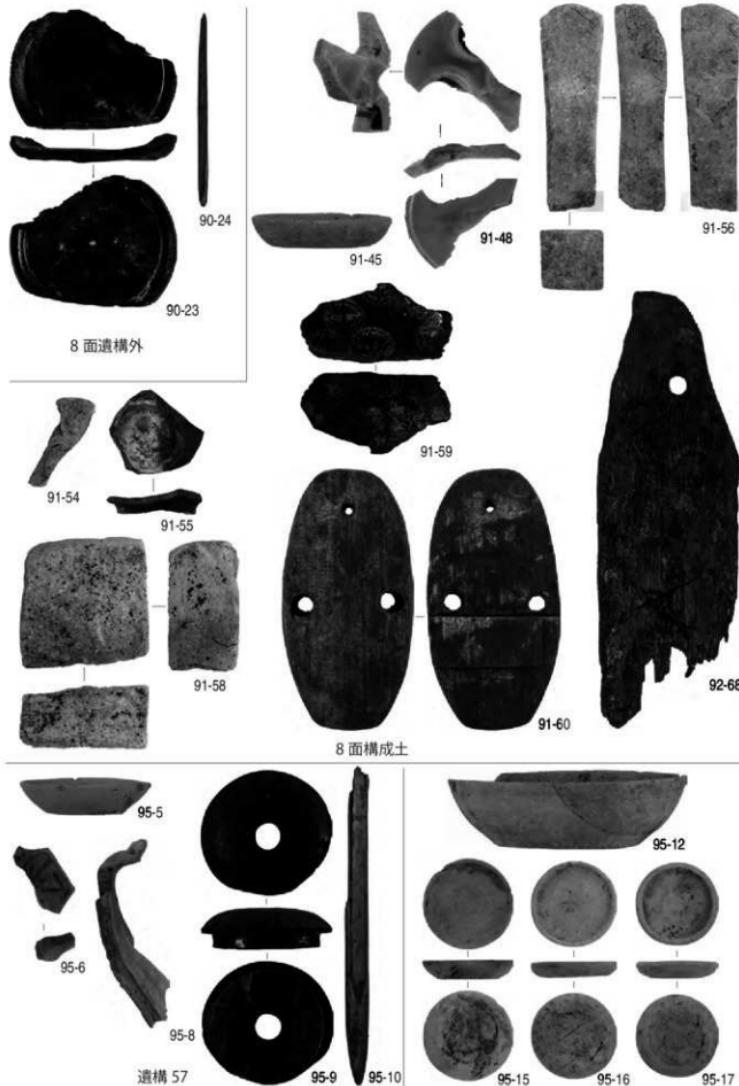
7面北西構成土



7面北東構成土

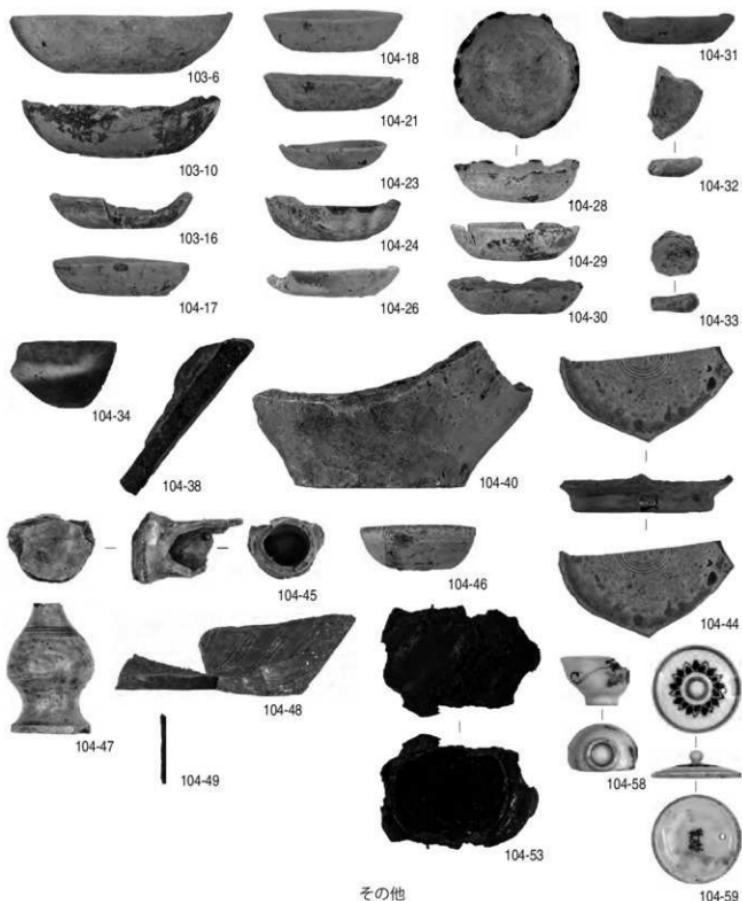


写真図版 44

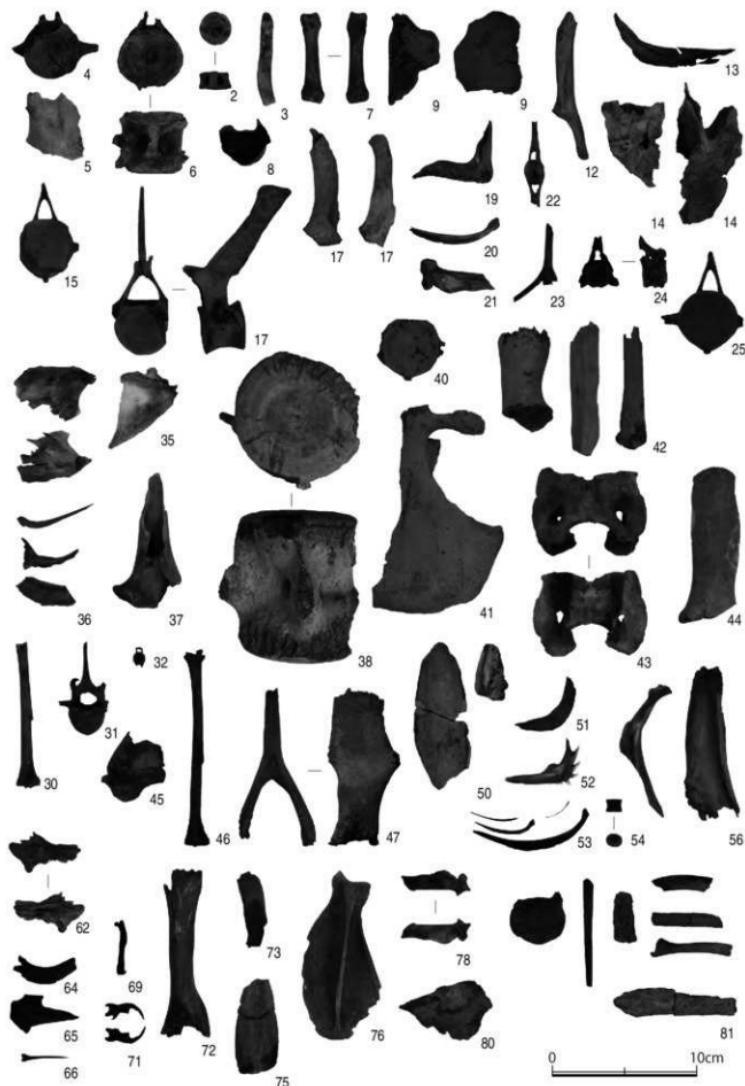


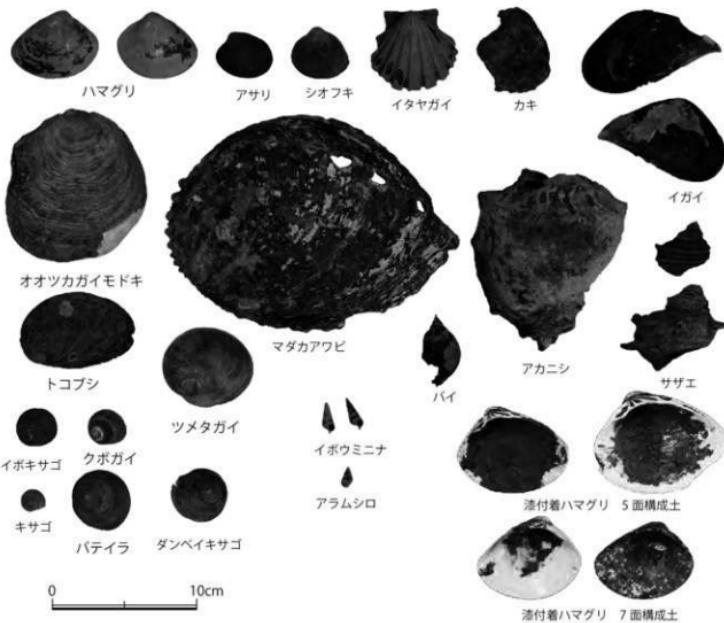
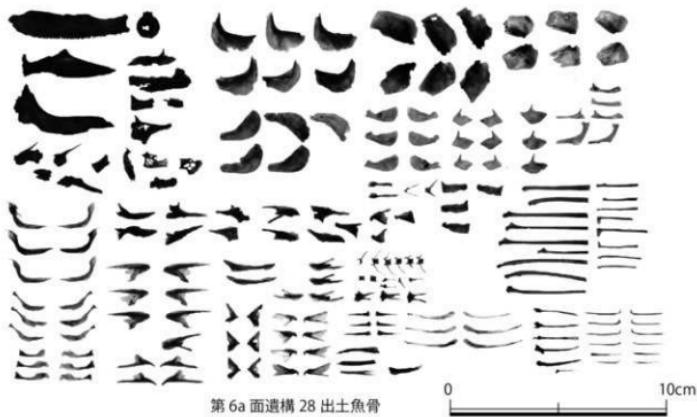


写真図版 46



その他





鎌倉城 (No. 87)

極楽寺一丁目 136 番 7、137 番 3 地点

## 例 言

1. 本編は、鎌倉市極楽寺一丁目 136 番 7、137 番 3において実施した、「鎌倉城」(鎌倉市 No. 87 遺跡)の発掘調査報告である。
2. 発掘調査は令和 3 年 3 月 16 日から同年 4 月 9 日にかけて、個人住宅兼集合住宅の建設に伴う国庫補助事業として、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。調査の対象面積は、102.65 m<sup>2</sup>である。
3. 発掘調査体制は、以下のとおりである。

調査担当者	押木弘己
調査員	菅野知子、廣田倫子
作業員	鰐沼 稔、吉澤 功、高柳雅一、加茂俊夫、三嶋義人、岡 利文、太田 輝、高橋裕喜(公益社団法人 鎌倉市シルバー人材センター 文化財班)
調査協力	株式会社 博通、株式会社 斎藤建設
資料整理・報告書作成	押木
4. 本報告の執筆は、第一章を米澤雅美が、第二章～第六章を押木が行った。
5. 資料整理および本報告の作成は、鎌倉市文化財課分室で行った。
6. 本調査に係わる出土遺物および各種記録類は、鎌倉市教育委員会が保管している。本調査地の略称は市教育委員会の統一基準に従って「KJ 2004」とし、出土品への注記などに使用した。

## 凡 例

1. 掘図の縮尺は、遺構・遺物とともに図中に表示している。
2. 本書中に記載した国土座標値は、世界測地系 (JGD2011- 第 IX 系)に基づいている。
3. 掘図に示した方位標は座標北 (Y 軸) で、真北はこれより 0° 09' 25" ほど東に振れている。
4. 遺構掘図中の水系高は、海拔値を示す。
5. 出土遺物の年代観は以下の文献を参考としたが、筆者が各所見を理解し切れていない部分もある。
  - ◆かわらけ・遺物全体の様相：宗基秀明 2019『鎌倉出土かわらけの系譜と編年—東国社会の変質と中世の成立（後）：かわらけの編年と中世社会』『鶴見大学紀要 第 56 号 第 4 部 人文・社会・自然科学編』鶴見大学
  - ◆瓦質土器：河野眞知郎 1993『中世鎌倉火鉢考』『考古論叢神奈川 第 2 集』神奈川県考古学会
  - ◆輸入陶磁器：『大宰府条坊跡 X V —陶磁器分類編一』太宰府市教育委員会 2000
  - ◆瀬戸窯製品：藤澤良祐 2008『中世瀬戸窯の研究』高志書院
  - ◆常滑・渥美窯製品：『愛知県史 別編窯業 3 中世・近世常滑系』愛知県 2012
  - ◆遺物觀察表（図 6 下段）のうち、かわらけ胎土の分類記号（A～E）は以下の内容を示す。

A : 粉質	B : 泥質	C : 精良・硬質	D : 泥質・精良	E : 砂質・硬質
--------	--------	-----------	-----------	-----------

これらはいずれも在地産土器であり、基本的に白色針状物質（骨針化石）、泥岩粒・雲母片などの混入物を含むが、個体ごとに有無・多寡もある。大よそ E → D → C → A という順で新しくなり、C は所謂「薄手丸深型」に、A は所謂「戦国タイプ」に使用される。

## 目 次

### 本文目次

第一章 調査に至る経緯	252
第二章 遺跡の位置と歴史的環境	252
第三章 調査の経過と方法	255
第四章 基本土層	257
第五章 検出遺構と出土遺物	
第1節 検出遺構	258
第2節 出土遺物	258
第六章 調査成果のまとめ	264

### 挿図目次

図1 調査地点の位置	253	図4 1面全体図	259
図2 調査区配置図	255	図5 1面土坑列エレベーション図	260
図3 調査区壁土層断面図	256	図6 出土遺物	260

### 表目次

表1 鎌倉城（極楽寺一丁目136番7、137番3） 発掘調査にかかる届出等の文書	252	表3 出土遺物観察表	261
表2 周辺の主な調査地点	254	表4 出土遺物カウント・計量表	262・263

### 写真図版目次

#### 図版1

- I区表土掘削（南西から）
- I区1面上 泥岩塊集積プラン（北東から）
- I区東部1面 土坑列1・2プラン（北東から）
- I区東部1面 土坑列1・2完掘（北東から）
- I区1面 全景（南東から）

#### 図版2

- I区東部1面 土坑列1・2完掘（南西から）
- I区北東隅1面 崩落岩盤（南西から）
- I区1面 泥岩混の斜面堆積（北東から）
- I区1面 遺物出土状況
- II区東部1面 土坑列3～4プラン（西から）

#### 6. II区1面 土坑列3～オ半断面（北西から）

- II区東部1面 土坑列3～6（西から）
- II区1面 全景（南東から）

#### 図版3

- II区1面 土坑列3～6（北東から）
- II区1面 土坑列3～6（北から）
- II区1面下 斜面堆積断面（南東から）
- II区東部1面下 斜面堆積断面（南西から）
- II区西部1面下 斜面堆積断面（南東から）

#### 図版4 出土遺物

## 第一章 調査に至る経緯

令和2年7月、当該地における土木工事について事業者より鎌倉市教育委員会文化財課へ相談があった。その内容は、現地表下650cmに達する柱状改良工事を行う集合住宅建設の計画であった。当該地は周知の埋蔵文化財包蔵地であり、事前に行なった確認調査の結果、現況地盤面より深さ60cmで中世遺物包含層、遺構を確認し、更に下層まで遺跡が残存していることが確認された。その結果により、当該工事計画が埋蔵文化財に影響を及ぼすことが避けられないとの判断に至った。

令和2年9月29日付で事業者より文化財保護法第93条の規定に基づく埋蔵文化財発掘の届出を受理した。これに対して、令和2年10月9日付で神奈川県教育委員会教育長より発掘調査を実施する旨の指示が通知され、当該地の埋蔵文化財については発掘調査を実施して、記録保存の措置を図ることとなった。事業者は令和3年2月12日付で鎌倉市教育委員会に発掘調査依頼書を提出し、発掘調査は令和3年3月15日に開始し、令和3年4月9日に終了した。

表1 鎌倉城（極楽寺一丁目136番7、137番3）発掘調査にかかる届出等の文書

文書種別・内容	文書番号	日付	発信者	受信者	備考
確認調査 依頼		令和2年7月17日	事業者	鎌倉市教育委員会	
実施		令和2年9月16日・17日			
提出 通知	文遺第61078号	令和2年9月29日	事業者	神奈川県教育委員会	
出土品の手続き 発見届 保管証		令和3年5月10日	鎌倉市教育委員会	鎌倉警察署	
認定と帰属	文遺第51004号	令和3年5月18日	神奈川県教育委員会	神奈川県教育委員会 土地所有者	

## 第二章 遺跡の位置と周辺の発掘成果

本調査地は鎌倉市極楽寺一丁目136番7、137番3に所在する。遺跡名の「鎌倉城」は鎌倉旧市街地を三方から囲む丘陵地に設定された広範囲に及ぶ遺跡で、本地点は市域南西部の丘陵に刻まれた谷戸内に立地する。現地表面の標高は、22.3m弱を測る。北東に続く谷戸奥に突き当たった丘陵頂（巌山山）には五合桥遺跡（仏法寺跡）があり、平成14年に学術発掘が実施されている（図1-①A～D）。その結果、北部のA・B区では13世紀後半～14世紀前半頃に構築されたとみられる土塁が確認され、その前身となろう下層土塁の存在から、出現時期はさらに遡る可能性がある。その南側のC区は丘陵最高位の堀部に設定され、やはり13世紀後半頃、その基本形が構築されたものと考えられている。最南部のD区は丘陵上を東西30m、南北70mの範囲で削り出された平坦面に設定され、柱間3mの礎石建物の他、掘立柱式の建物や構造、池などの遺構が検出されている。池中からは13世紀後半および14世紀後半～15世紀の、二時期におよぶ柿経が出土し、前者は忍性と日蓮が祈雨の靈験を競ったという伝承の残る、文永八年（1271）とも時期的に重なる。鎌倉低地～海岸線を一望できるロケーションにあって、中世都市鎌倉の外縁に置かれた聖地という宗教上の役割とともに、周辺が元弘三年（1333）の新田義貞による鎌倉攻めの舞台となったように、有事の際は軍事拠点としての役割も付されていたのであろう。

今回の調査地点と同じ谷戸内での発掘調査例は少なく、本地点が4例目となる（図1-①～④）。

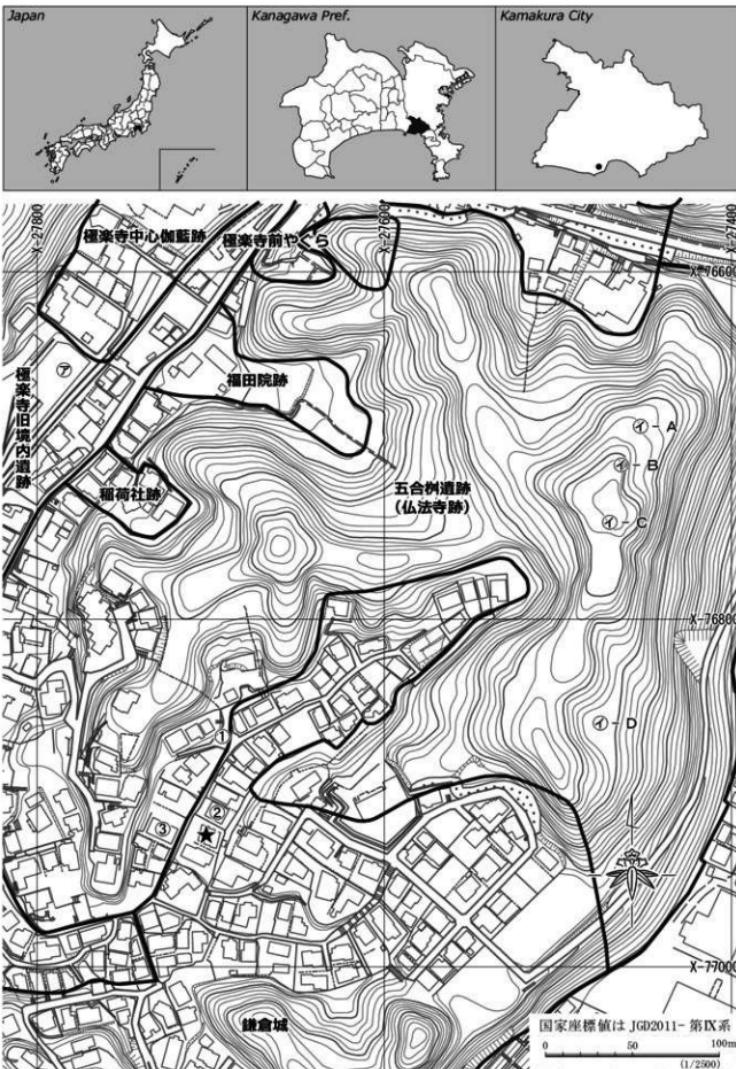


図1 調査地点の位置

表 2 周辺の主な調査地点（番号は図 1 に対応）

No.	地番	調査年度 (開始年度)	面積 (a)	所収文献
<b>鎌倉城 (No. 87)</b>				
★ 楠条寺一丁目 136 番 7、 137 番 3		2021 年度	102	本報告
① 楠条寺一丁目 123 番 1 外		2005 年度	134	『楠条寺旧境内遺跡発掘調査報告書』(未)鎌倉遺跡調査会 審木秀雄 2006
② 楠条寺一丁目 136 番 1 外		2008 年度	115	『鎌倉城発掘調査報告書』(未)鎌倉遺跡調査会 審木秀雄 2012a
③ 楠条寺一丁目 112 番 1		2008 年度	140	『鎌倉城発掘調査報告書』(未)鎌倉遺跡調査会 審木秀雄 2012b
<b>鎌倉寺中心伽藍跡 (No. 290)</b>				
⑦ 楠条寺三丁目 298 番 1 外		1998 年度	600	『楠条寺旧境内遺跡』(未)鎌倉寺中心伽藍跡発掘調査会 審木秀雄 1998
<b>五合桟道跡 (仏法寺跡) (No. 292)</b>				
④ 楠条寺一丁目 30 番外		2002 年度	1100	『五合桟道跡 (仏法寺跡) 発掘調査報告書』鎌倉市教育委員会 福田 誠・他 2003

★)。概して中世遺構面の枚数は少なく、検出遺構・出土遺物とともに希薄な調査成果となっている。近隣住民の話では、地点②・★と③との間の道路は 50 年ほど前までは川であったといい、現在は道路下の暗渠になっているということなので、中世の本地点周辺は、現在以上に利用可能な平坦地が少なかつたことが推察できる。本地点の北隣となる地点②では 2 枚の遺構面が検出され、上層の 1 面では近世の掘立柱建物が、下層の 2 面では銅鏡 75 枚が埋納された小土坑や常滑窯を据えた土坑が検出され、13 世紀後半～14 世紀中頃までに営まれた遺構群と報告されている。また、現行の道路を挟んで西に接する地点③では 1 枚のみ遺構面が遺存しており、破碎泥岩を敷いた区画遺構や小規模な礎石建物、土坑などが検出されている。僅少な出土遺物から、地点②の 2 面と同様の年代幅が想定されている。また、須恵器など古代の遺物片も出土しており、報告書では古代以前における周辺遺跡の動向についても言及がなされている。最も谷戸奥の地点①では 1 枚の遺構面が調査され、13 世紀後半頃と推測される礎石建物や溝、方形土坑などが検出されている。各地点の報告書では、地点①で焼けた泥岩塊が多く見られ、火葬骨も散見されることを根拠に火葬址の存在に言及していたり、②・③では須恵器やスラグの出土から横穴墓や中世以前の製鉄遺構が周辺に存在した可能性が指摘されている。それら推論の当否については今後の発掘成果に委ねるしかないが、概して、現状では鎌倉時代後期の 13 世紀後半頃に谷戸内から丘陵上にかけての土地利用が活発化し、それ以前の開発痕跡は認めにくい、という考古学的知見としてまとめることができるだろう。次章以下で述べる本地点の調査成果も、概ね同じ内容となっている。

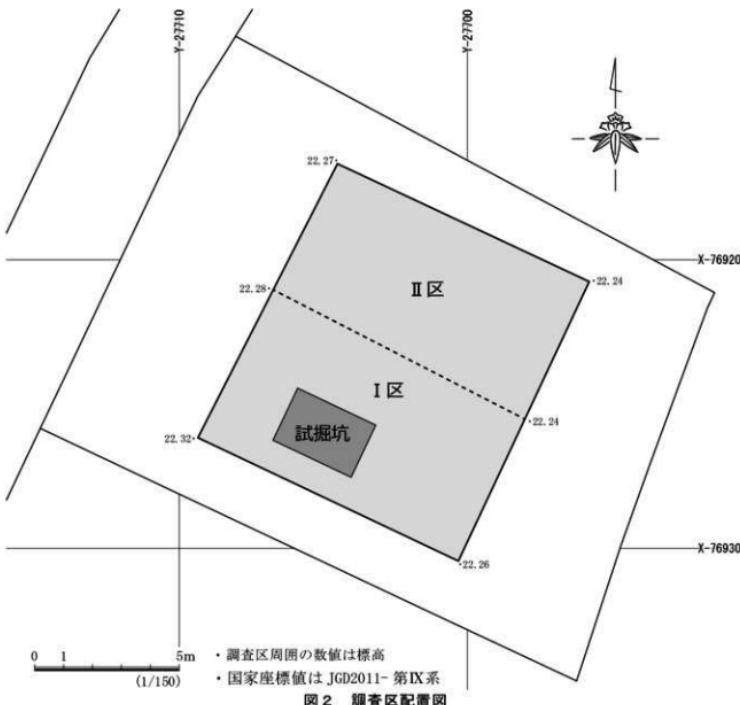
各地点の調査報告書は、表 2 を参照。

### 第三章 調査の経過と方法

掘削による発生土置き場を敷地内に確保する都合上、調査区は南半部のⅠ区と北半部のⅡ区とに分割した。また、掘削による崩落の危険性を考慮して隣地境から1.5 m以上離れた位置に調査区を設定したことにより、調査対象範囲は当初予定の108.66 m<sup>2</sup>から、最終的に102.65 m<sup>2</sup>に減じる結果となった。

Ⅰ・Ⅱ区ともに厚さ60 cmほどの表土層は重機によって除去し、以下、中世遺物包含層より下位の土については人力で掘削した。なお、今回の調査では、安全面への配慮から止むを得ず未調査範囲が生じることとなった。

測量・図面作成には調査区の形状に即した任意の平面直角座標を設定して用い、これに国家座標系(JGD2011)座標値を付与させることで、調査範囲を正確に公共地図上に合成させ得る根拠とした。標高も含めた国家座標値は、近隣の市道上に打設された都市再生街区多角点20B56と同節点2A178との2点間関係を起点とし、光波測距儀を用いて調査敷地内に移動した。



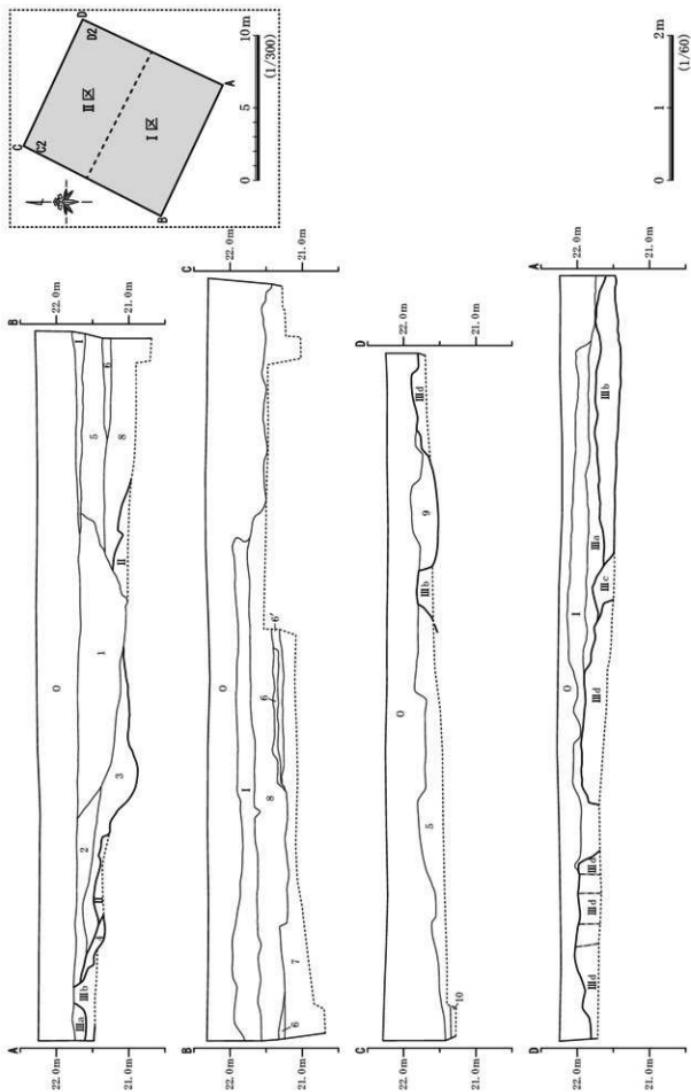


图 3 调查区土壤剖面图

### 土層説明（図3に対応）

- |                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| I 灰褐色土 表土。コンクリートブロックなど含む。  | 1. 泥岩ブロック                   |
| I 灰褐色土 砂質土。近世以降の耕作土。       | 2. 暗褐色土 泥岩粒多量。              |
| II 暗灰褐色砂 流水にともなう山砂の堆積か。    | 3. 暗褐色土 粘質土。泥岩粒多量、炭粒微量。     |
| III a 暗灰褐色土 粘質土。泥岩粒多量。     | 4. 暗灰褐色土 粘質土。泥岩粒多量、締まりあり。   |
| III b 暗褐色土 粘質土。締まりあり。炭粒微量。 | 5. 暗灰褐色土 泥岩粒やや多い。           |
| III c 暗黄褐色土 粘質土。泥岩粒多量。     | 6. 灰褐色砂 炭粒少量。締まりあり。         |
| III d 崩落岩盤                 | 7. 暗灰褐色土 粘質土。泥岩粒多量。         |
|                            | 8. 暗灰褐色土 粘質土+砂。泥岩粒多量、炭粒少量。  |
|                            | 9. 灰褐色土 粘質土。                |
|                            | 10. 黒褐色土 泥岩粒多量、炭粒少量。【I面土坑5】 |

令和3年3月15日に調査範囲の南半部（I区）について重機による表土掘削を実施し、翌16日から人力掘削による発掘調査に着手した。I区の埋め戻しおよび北半部（II区）の表土掘削は3月30日に行い、4月9日にはII区に係る全ての掘削・記録作業を終了した。その後、II区の埋め戻しは同12日、調査関係用具の撤収は同19・22日に行って、現地調査に係る全ての工程を完了した。

この後、出土品および記録類の整理作業と報告書の作成に着手し、文化財課分室にて約半月の期間を要した。

## 第四章 基本土層

本地点における土層の堆積状況は、図3に示した。現地表面の標高は22.2～22.3m前後で、敷地内においては目立った高低差はなかった。表土層（0・I層）は60cmほどの厚さで堆積し、これを重機で除去したところで中世の遺物包含層が検出された。本地点は、本来の地形が西に向けて落ち込む谷であったところを平坦に切土造成された結果として現況に至っており、中世層以下は西側へと下がる斜面堆積となっていた。よって、調査区内を概ね同一レベルで掘り下げた場合は、東側ほどより古い段階の土層を露出させていることになる。今回の調査では確認調査のデータに基づき、概ね地表下110cm前後までで掘削を切り上げ、以下は谷戸内の自然堆積土であった（II層）。一方で調査区の北東角付近では地表下わずか20cmほどで崩落岩盤ブロックを主体とする基盤層を確認する結果となった。

こうした複雑な堆積状況下、調査区東半部を中心に標高21.3～21.7m前後で土坑群のプランが確認できるに及び、ここを1面とした。盛土整地面ではなく、西側で山砂層（II層）、東側で粘質土層（III層）という異なる性質の土層上で確認され、切土による造成面であったと推測できる一方、本来の掘り込み面が削平され失われてしまった可能性も考えられる。なお、確認調査で第1面と認識された泥岩塊主体の土層は調査区全域に広がらない部分的なものであったことから、斜面堆積の構成土と判断した。人頭大程度の泥岩塊が調査区の南部中央付近に集中的に堆積したもので、周囲の堆積状況も考慮した結果、おそらくは自然崩落ではなく、凹地を埋めるために人为的に投げ込まれたものと認識している。

## 第五章 検出遺構と出土遺物

### 第1節 検出遺構

今回は、実質1枚の遺構面（1面=図4）について調査を行った。前章で述べたように西側に落ちる斜面堆積上を水平にカットして検出した面で、調査区の東端部では岩盤を露頭させての調査となった。表土自体が西側に向けて厚くなるため、必然的に遺構の確認レベルも西側が低い。西側1/3ほどでは、表土直下に泥岩粒を比較的多く含む硬質の土層が検出され、I区調査時には切通状の道路遺構であった可能性も考えた。走行軸は調査地西辺の現行道路と同じであることから谷戸奥に通じる道路の前身機能は想定し得るもの、人工物ではなく自然堆積であった可能性も含め断定はできない。この泥岩混入層、および下位の斜面堆積土からは中世の遺物細片がごく稀に出土することがあり、基本的には中世以降、谷戸奥の上方堆積土が流入することで形成された地形であったと考えて良いだろう。

泥岩混入土の以東、調査区の東側2/3では縦横に並んだ土坑列が検出された。南半のI区では削平のため遺存状態が良好ではなかったが、概ね規則的に配置・構築されており、同時期、もしくは短期間のうちに東側尾根の裾部に順次形成され、機能した遺構群として評価できる。I・II区では、各々北端部で土坑列が途切れる部分があり、また両区の配列軸には僅かながら差異が見られることから、現状では東西5基×南北4基ほどで一ブロックを構成していた可能性を考えている。

各土坑の埋土は泥岩粒を含む暗褐色～暗灰褐色色土の単層であり、均質な様相であることから同時期に廃絶→人為的埋め戻しという経過を辿ったと推察している。概して埋土中からの出土遺物は非常に僅少で、小片ばかりで時期推定の根拠とするにも躊躇する。当面、図6-1・2などから、13世紀後半～14世紀前半の年代幅で考えておきたい。

同様の配列を呈する土坑群の事例は、鎌倉市内ではやぐら内やその前面の平場岩盤上などで散見することができる。断面すり鉢形の土坑が複数列にわたって並んでおり、「貯蔵穴」としての報告例がある。ここに常滑窯産などの陶器甕を据え並べたという解釈で、本事例にも同じ用途・性格を考えて差し支えないだろう。ただし市内遺跡において、肝心の甕が据えたままで遺存している例を未だ知らないので、土坑の廃絶に当たっては甕を他所へ移設した後、一まとめに埋め戻して土地改変を行ったと考えるのが妥当であろう。よって甕の内容物については想像を膨らませる以外に手段はないが、土坑周辺には物的証拠となる痕跡が皆無であることから、水や油・酒・味噌などの各種液体や醸造製品を、日々の必要に応じて貯蔵していたのではないかと推察する。

### 第2節 出土遺物

本地点で出土した遺物は非常に少量で、表2に掲出したものが全てである。いずれも破片資料ばかりであることから、前述したように出土遺構の年代観を絞り込むことは難しい。こうした中、基本土層のIIIb層・暗褐色粘質土からは奈良～平安時代を中心とする土師器・須恵器といった遺物が散見された。これも量的にまとまったものではないが、割れ口が摩滅した資料は殆ど見られないで、谷戸内などに近在した集落跡に由来する品々と考えている。当地周辺に営みをもった理由など、さらなる発掘成果の蓄積を待って検討してみたい。

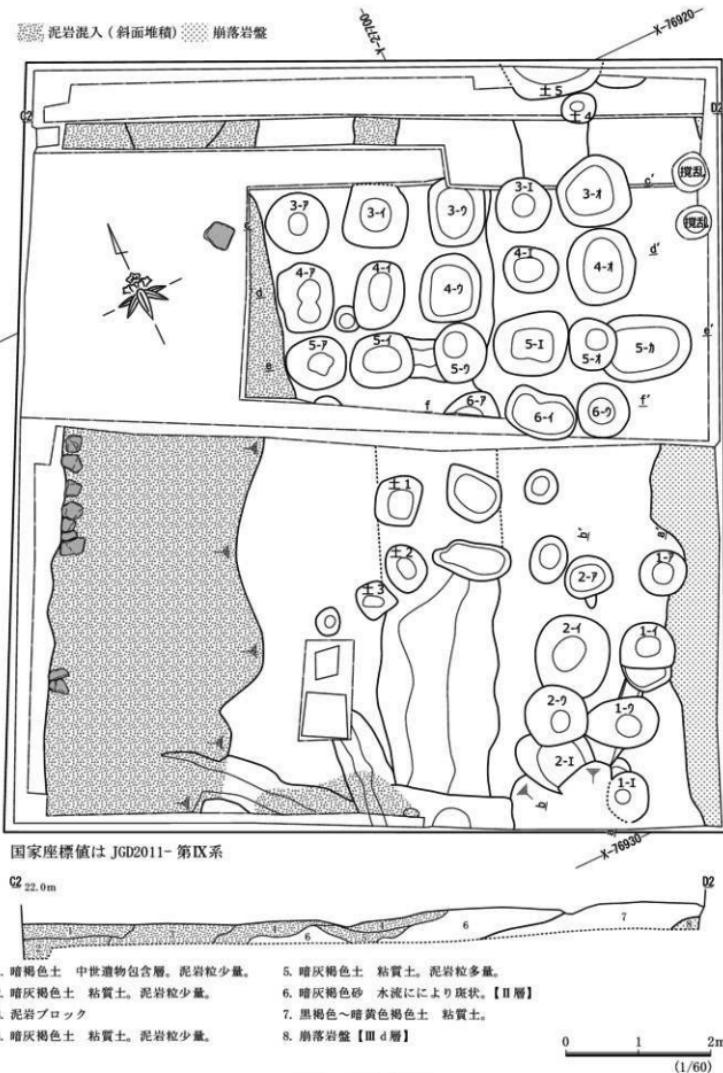


図4 1面全体図

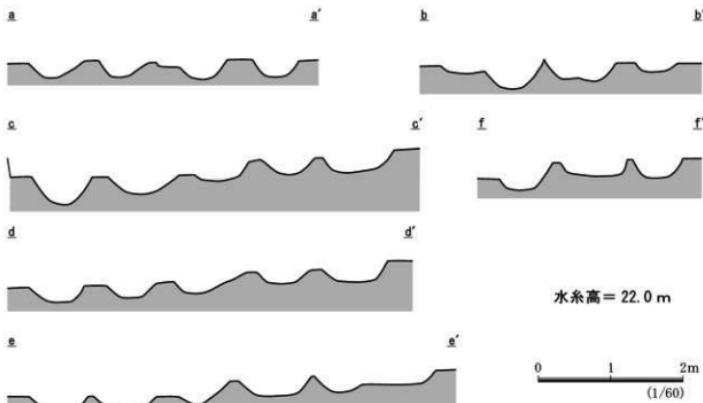


図5 1面土坑列エレベーション図

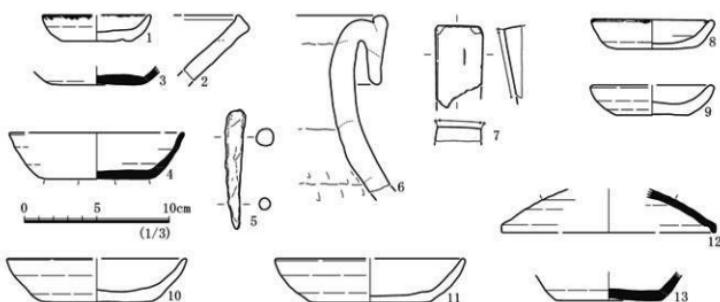


図6 出土遺物

図6-3・4は南北企窓産の須恵器坏で、3は底部外面の回転糸切り痕が無調整のままで残り、4は糸切り後、外側周縁だけを回転ヘラケズリ調整している。8世紀後半～9世紀前半頃の所産であろう。

表3 出土遺物観察表

遺物 番号	種別	器種	残存率	法量(cm)			重量 (g)	胎土 B+E	色調 素材/表面	内底 調査	外底 圧痕	出土遺構・ 胎土ほかの特徴
				口径・長さ	底径・幅	高さ・厚さ						
図6 1	在土器	クロカワラケ 小	1/3	(7.4)	(5.0)	1.8	[25]	B+E	淡橙褐色	ナデ	板状	1面 土坑例1-1
図6 2	搬入陶器	常滑窯 片口鉢II類	口小片	—	—	—	[46]		暗赤褐色			1面 土坑例1-1
図6 3	搬入陶器	須恵器 环	底3/4	—	6.2	[1.3]	[41]	白針	黒灰			1面 土坑例1-1
図6 4	搬入陶器	須恵器 环	D11/8 底2/3	(11.8)	7.2	3.2	[49]	白針	黒灰			1面 土灰例4-9 南北企窓産か
図6 5	鉄製品	釘	完形か	8.2	径 1.3	—	13					1面 土坑例6-7
図6 6	搬入陶器	常滑窯 甌	口～頸 小片	8.1	1.7	1.8	[520]	長石	暗赤褐色			1面 土坑5 7型式
図6 7	石製品	砾石 仕上げ砥	欠損	[5.7]	3.3	[1.2]	[25]		黄白			1面 シミ 鳴滻
図6 8	在土器	クロカワラケ 小	完形	8.2	6.0	2.1	63	B	淡灰黃	ナデ	摩耗 不明	1面上 西側中世遺物包含層
図6 9	在土器	クロカワラケ 小	2/3	(8.3)	5.0	2.1	[48]	B	淡橙褐色	ナデ	板状	1面上 西側中世遺物包含層
図6 10	在土器	クロカワラケ 大	1/3	(12.2)	(7.6)	3.1	[79]	B+E	淡橙	ナデ	板状	1面下サブトレンチ
図6 11	在土器	クロカワラケ 大	D11/4 底2/3	(12.8)	8.2	3.1	[63]	C	淡橙	ナデ	摩耗 不明	1面下サブトレンチ 東側中世遺物包含層
図6 12	搬入陶器	須恵器 环蓋	口1/8	(14.7)	—	[3.0]	[20]		淡灰～灰			1面下サブトレンチ 東側中世遺物包含層
図6 13	搬入陶器	須恵器 环	底1/3	—	(7.2)	[2.0]	[35]	白針?	灰			1面下 東側古代遺物包含層 南北企窓産か

表4 出土遺物カウント・計量表

種別 产地等	圓種	分類	破片数	重量 (g)
確認調査時				
ロクロかわらけ	大		1	14
土器・かわらけ	小片		1	8
常滑	甕		6	291
土師器	ケズリ甕		1	291
鉄製品	釘		1	4
表土				
ロクロかわらけ	小		1	25
	大		12	161
常滑	甕	7~8型式	13	1322
	片口鉢	II	2	268
石製品	滑石鉢		1	47
肥前系縄器	染付瓶		1	2
土師器	相模型甕		2	13
須恵器	坏		2	26
1面上泥岩塊集積				
ロクロかわらけ	大		18	263
土器・かわらけ	小片		7	31
常滑	甕	8型式まで	3	126
	片口鉢	I	1	21
鉄製品	釘		1	6
	ケズリ甕		3	28
土師器	甕?		1	10
1面上中世遺物包含層				
ロクロかわらけ	小		2	16
	大		22	272
土器・かわらけ	小片		30	117
常滑	甕		12	1138
	片口鉢	I	7	447
瓦質土器	火鉢	IIIか	1	15
搬入土器	南伊勢系鍋		1	5
鉄製品	釘		8	36
石製品	仕上砥		1	5
土師器	相模型甕		4	24
	ケズリ甕		2	41
須恵器	坏		2	13
1面上西側中世遺物包含層				
ロクロかわらけ	小		2	112
	大		14	152
土器・かわらけ	小片		27	104
瀬戸	御皿		1	53
常滑	甕	6型式まで	29	2145
	小甕		1	87
搬入土器	跨付鍋		1	4
土師器	相模型甕		9	83
ロクロ土師器	坏		1	4
須恵器	坏		4	43
	甕?		1	20
1面上精査時				
ロクロかわらけ	小		1	5
	大		1	32
1面 シミ(中世遺物包含層)				
ロクロかわらけ	小		1	4
	大		2	22
土器・かわらけ	小片		3	12
石製品	仕上砥	鳴滝か	1	26
須恵器	甕		1	7
1面 土坑1				
ロクロかわらけ	大		1	6
常滑	甕		1	17
1面 土坑2				
鉄製品	釘		1	9
種別 产地等				
1面 土坑3				
常滑	甕		1	64
1面 土坑4				
常滑	甕		1	33
1面 土坑5				
ロクロかわらけ	小		1	7
	大		1	6
常滑	甕	7型式	1	612
1面 土坑列1-7				
土器・かわらけ	小片		1	4
常滑	甕		1	26
土師器	相模型甕		1	8
1面 土坑列1-イ				
常滑	甕		1	10
土師器	相模型甕		1	4
須恵器	坏		1	41
1面 土坑列1-ク				
ロクロかわらけ	大		2	9
1面 土坑列1-ズ				
ロクロかわらけ	大		1	7
常滑	甕		1	43
土師器	相模型甕		1	4
須恵器	坏		1	2
1面 土坑列2-7				
常滑	片口鉢	I	1	12
1面 土坑列2-イ				
ロクロかわらけ	大		1	24
土器・かわらけ	小片		4	13
常滑	甕	8型式	3	82
搬入土器	鍋・釜		1	4
土師器	相模型坏		1	9
須恵器	坏		1	7
1面 土坑列2-ク				
土器・かわらけ	小片		2	13
土師器	相模型甕		1	5
須恵器?	坏?	中世か	1	9
1面 土坑列2-ズ				
土器・かわらけ	小片		3	6
常滑	甕		2	185
瓦質土器	火鉢	IIIか	1	63
鉄製品	釘		1	6
土師器	相模型甕		1	5
須恵器	坏		1	4
1面 土坑列3-4				
常滑	甕		1	256
1面 土坑列3-オ				
ロクロかわらけ	大		2	18
常滑	甕		2	276
1面 土坑列4-7				
土師器	ケズリ甕		1	4
1面 土坑列4-ク				
かわらけ	小片		2	8
土師器	相模型甕		1	15
須恵器	坏		1	49
	甕		1	31
1面 土坑列4-ズ				
土師器	相模型甕		1	3
須恵器	甕		1	21

種別 產地等	圓種	分類	破片數	重量 (g)
<b>1面 土坑列4-4</b>				
土師器	甕		1	2
須恵器	壺蓋？		1	15
<b>1面 土坑列5-7</b>				
かわらけ	小片		1	3
<b>1面 土坑列5-9</b>				
ロクロかわらけ	大		1	26
かわらけ	小片		2	5
常滑	甕		1	21
土師器	相模型甕		1	4
<b>1面 土坑列5-1</b>				
かわらけ	小片		3	10
常滑	甕		1	43
鉄製品	釘		2	21
須恵器	壺		2	10
<b>1面 土坑列5-3</b>				
常滑			1	26
<b>1面 土坑列5-5</b>				
かわらけ	小片		1	4
搬入土器	鍋・釜		1	4
<b>1面 土坑列6-7</b>				
ロクロかわらけ	大		1	7
鉄製品	釘		1	13
土師器	相模型甕		1	8
<b>1面 土坑列6-9</b>				
ロクロかわらけ	大		1	5
須恵器	壺		1	1
<b>1面下東側古代・中世遺物包含層</b>				
ロクロかわらけ	大		1	64
土器・かわらけ	小片		3	10
土師器	相模型甕		12	51
須恵器	壺		1	20
古式土師器？	甕？		1	12
<b>1面下東側古代遺物包含層</b>				
土器・かわらけ	小片		13	39
常滑	甕		2	43
不明陶器	不明 常滑に近い		1	11
搬入土器	鍋・釜		1	5
	相模型壺？		1	5
土師器	壺		1	4
	相模型甕		25	158
	ケズリ甕		2	15
須恵器	壺		4	11

## 第六章 調査成果のまとめ

本地点では1枚の中世遺構面上、「貯蔵穴」と目されるすり鉢状の土坑列および谷戸内道路の可能性を窺わせる泥岩粒混入土層を確認した。現状、調査地の東側にはコンクリート擁壁で覆われた、垂直に切り立った崖面となっているが、これは昭和戦後期の宅地造成によるものであり、それ以前には一定の傾斜度をもつ尾根部であったことが推察できる。調査区東側では崩落岩盤からなる基盤層を検出し、西へ向けて急角度で落ち込む状況を確認できたことは、上記推測を裏付けるものである。土坑列は東側の岩盤上から西側の斜面堆積土上にかけて、やや底面レベルを低くしながら構築されているが（図5）、土坑下の斜面堆積土である基本土層のⅡ層（図3）には極めて少量ながら中世遺物細片が混入していることから、中世のある時期までは谷戸内における自然堆積が進み、そこに人為的なる平場造成を施した後、土坑列を構築したものと考えられる。土坑埋土からの出土遺物も僅少だが、斜面堆積土中の遺物も含めた様相、および周辺の発掘調査成果にも照らして考えると、大よそ13世紀後半～14世紀前半の間に當まれたものと推察している。鎌倉時代前期の営みについて現状の調査成果だけでは知り得ないが、少なくとも本地点を含む谷戸内全体におよぶものではなかっただろう。当谷戸における、調査の進展・蓄積を待ちたい。

土坑列については、かねて類似例に対して指摘のある「貯蔵穴」と考えて大過ないだろう。普遍的とまでは言えないまでも中世鎌倉の谷戸利用を特徴付ける遺構であり、他地域における類例なども参考としながら利用実態を復元し、都市生活を考証する際の素材にできればと考えている。

中世を遡る奈良・平安時代の遺物についても、前章で述べたように谷戸内の周辺に集落の存在が推察できる。中世以降の地形改変によって湮滅してしまっている可能性もあるが、今後、周辺での調査に当たっては留意しておく必要があろう。



1. I 区表土掘削（南西から）



2. I 区 1 面上 泥岩塊集積プラン（北東から）



3. I 区東部 1 面 土坑列 1・2 プラン（北東から）



4. I 区東部 1 面 土坑列 1・2 完掘（北東から）



5. I 区 1 面 全景（南東から）

図版 2



1. I区東部1面 土坑列1・2完掘（南西から）



2. I区北東隅1面 崩落岩盤（南西から）



3. I区1面 泥岩混の斜面堆積（北東から）



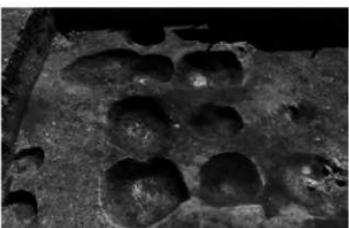
4. I区1面 遺物出土状況



5. II区東部1面 土坑列3～4プラン（西から）



6. II区1面 土坑列3-4半截断面（北西から）



7. II区東部1面 土坑列3～6（西から）



8. II区1面 全景（南東から）



1. II区1面 土坑列3～6（北東から）



2. II区1面 土坑列3～6（北から）



3. II区1面下 斜面堆積断面（南東から）

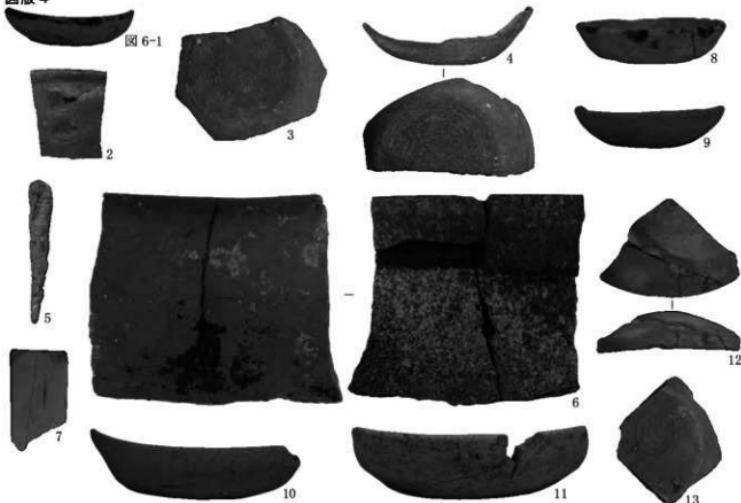


4. II区東部1面下 斜面堆積断面（南西から）



5. II区西部1面下 斜面堆積断面（南東から）

図版 4



1～3:1面 土坑列1-4 4:1面 土坑列4-9 5:1面 土坑列6-7 6:1面 土坑5 7:1面 シミ

8・9:1面上 西側中世遺物包含層 10:1面下サブトレンチ 11・12:1面下サブトレンチ 東側中世遺物包含層

13:1面下 東側古代遺物包含層

出土遺物（縮尺=約2/5）

**報告書抄録**

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかきいきんきゅうちょうさほうこくしょ						
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書						
副書名	令和3年度発掘調査報告						
巻次	38 (第1分冊)						
シリーズ名							
シリーズ番号							
編著者	後藤 健／押木弘己						
編集機関	鎌倉市教育委員会						
所在地	〒248-0012 鎌倉市御成町12番18号						
発行年月日	西暦2022年3月25日						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東經	調査期間	調査面積 (m <sup>2</sup> )	調査原因
所取遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号				
わかみやおおじしゅうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	神奈川県鎌倉市 雪ノ下一丁目 161番43	14204	242	35° 19' 25"	139° 33' 6"	20180717 ~ 20181026	55.18 (柱状改良工事)
かまくらじょう 鎌倉城	神奈川県鎌倉市 極楽寺一丁目 136番7、137番3	14204	87	35° 18' 22"	139° 31' 43"	20210315 ~ 20210409	102.65 (柱状改良工事)

所取遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
わかみやおおじしゅうへんいせきぐん 若宮大路周辺遺跡群	都市 域館跡	中世	ピット、土坑、板壁建物、閉塗裏、板列	土器・陶磁器・石製品・金属製品・木製品・自然遺物	丘陵端の平野部に立地。閉塗裏を伴う板壁建物が検出された。木製品を含む大量の遺物が出土。
かまくらじょう 鎌倉城	城館跡	中世	土坑	土器・陶磁器・土師器・須恵器	西に落ち込む谷戸地形に立地。東側の平地では断壁の痕跡と思しき中世の土坑列が検出された。

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 38  
令和3年度発掘調査報告  
(第1分冊)

発行日 令和4年(2022年)3月25日

編集・発行 鎌倉市教育委員会  
印 刷 丸庄有限会社

## 第1分冊 正誤表

箇所	誤	正
50頁 15行目～ 16行目	出土遺物（図38）：17～19は小型かわらけ。	出土遺物（図38）：16～18は小型かわらけ。
52頁 2行目～ 3行目	出土遺物（図38）：10は中型かわらけ、11は 小型かわらけ。	出土遺物（図38）：9は中型かわらけ、10は 小型かわらけ。
52頁 6行目～ 7行目	出土遺物（図38）：12は小型かわらけ、13は 常滑片口鉢II類、14は草履芯、15は箸状木製 品、16は用途不明の板材。	出土遺物（図38）：11は小型かわらけ、12は 常滑片口鉢II類、13は草履芯、14は箸状木製 品、15は用途不明の板材。